

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和5年度調査）の
報告案について

○ リフィル処方箋の実施状況調査 （右下頁）

・報告書（案）	1頁
・NDBデータ	245頁
・調査票	246頁

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和5年度調査）

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査
（令和5年度調査）

リフィル処方箋の実施状況調査

報告書（案）

◆◆目次◆◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	2
4. 調査項目	3
5. 調査検討委員会	8
II. 調査の結果	9
1. 回収結果	9
2. 病院・診療所調査	10
1) 施設の状況（令和5年7月1日現在）	11
2) リフィル処方箋について	27
3. 医師調査	60
1) 回答者ご自身について	61
2) リフィル処方箋について	66
4. 保険薬局調査	79
1) 薬局の状況（令和5年7月1日現在）	80
2) 届出の状況	92
3) リフィル処方箋の対応状況	93
4) 医療機関等との連携について	118
5) リフィル処方箋に関する薬局・薬剤師への影響等	124
5. 患者調査（郵送調査）	132
1) この調査票のご記入者	133
2) 患者さんご自身のことについて	134
3) 医療機関や保険薬局の利用状況等について	138
4) これまでにリフィル処方箋を交付された経験	145
5) これからのリフィル処方箋の利用意向	160
6) リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等	185
6. 患者調査（インターネット調査）	186
1) この調査票のご記入者	186
2) 患者さんご自身のことについて	188
3) 医療機関や保険薬局の利用状況等について	194
4) これまでリフィル処方箋を交付された経験	200
5) これからのリフィル処方箋の利用意向	215
6) リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等	242

I. 調査の概要

1. 目的

令和4年度診療報酬改定において、症状が安定している患者について、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の仕組みを設け、処方箋の様式を変更した。

これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響等について調査・検証を行った。

2. 調査対象

本調査では、「(1)病院・診療所調査」「(2)医師調査」「(3)保険薬局調査」「(4)患者調査(郵送調査)」および「(5)患者調査(インターネット調査)」の5つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

(1) 病院・診療所調査

令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある病院から500件、同期間に発行実績がない病院から500件をそれぞれ無作為抽出し、同様に令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある診療所から500件、同期間に発行実績がない診療所から500件をそれぞれ無作為抽出し、合計で2,000施設を調査対象とした。

(2) 医師調査

病院・診療所票の調査対象となった施設に勤める医師のうち、外来を担当する医師を、各施設から2名(リフィル処方箋の発行経験のある医師を特定できている場合は発行したことのある医師と発行したことのない医師を1名ずつ、特定できていない場合は無作為に2名)を調査対象とした。調査客体数は最大で4,000人(2×2,000=4,000)とした。

(3) 保険薬局調査

令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の受付実績がある薬局から500件、同期間に受付実績がない薬局から500件をそれぞれ無作為抽出し、合計で1,000施設を調査対象とした。

(4) 患者調査(郵送調査)

上記(1)病院・診療所調査の対象施設の調査日に外来した患者、並びに、上記(3)保険薬局調査の対象施設の調査日に来局した患者を調査対象とした。1施設につき2名を本調査の対象とし、調査客体数は最大で6,000人(2,000×2+1,000×2=6,000人)とした。

(5) 患者調査(インターネット調査)

直近3か月間で、保険薬局に処方箋を持って来局した患者を調査対象とした。調査客体数は3,000人とした。

3. 調査方法

本調査の「(1)病院・診療所調査」「(3)保険薬局調査」「(4)患者調査（郵送調査）」は、郵送発送による自記式アンケート調査方式により実施した。回答は、紙媒体（IDを印字した調査票）に記入後、郵送返送する方法と、専用ホームページより電子調査票をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。

「(4)患者調査（郵送調査）」については、自記式調査票（患者票）の配布は上記(1)および(3)の対象施設（病院・診療所、保険薬局）を通じて行い、回収は事務局宛の専用返信封筒により患者から直接郵送で行った。

「(2)医師調査」は、医師向けの依頼状の配布は上記(1)の対象施設（病院・診療所）を通じて行い、回収は専用ホームページよりWeb上で回答用フォームに記入・送信する形式とした。

「(5)患者調査（インターネット調査）」については、インターネット上での回答・回収とした。

調査実施時期は、令和5年7月26日から9月15日であった。

4. 調査項目

各調査の調査票（「(1)病院・診療所調査」「(2)医師調査」「(3)保険薬局調査」「(4)患者調査（郵送調査）」「(5)患者調査（インターネット調査）」の調査項目は以下のとおりである。

(1) 病院・診療所調査

設問種類	設問項目
1. 施設状況について	所在地（都道府県）
	開設者
	医療機関の種別
	許可病床数
	過去1年間の病床数変更の有無
	標榜診療科
	外来分離の有無
	地域医療情報連携ネットワークの参加有無
	外来を担う医師の人数
	外来の患者数
	処方箋の発行枚数
2. リフィル処方箋について	リフィル処方箋の制度の認知
	（制度を知っている場合）
	リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ
	リフィル処方箋を発行したことのある医師を知っている又は自身で発行しているか
	（発行したことのある医師を知っている又は自身で発行した場合）
	施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数の把握状況（令和5年4～6月）
	（リフィル処方箋の発行枚数がわかる場合）
	病院全体のリフィル処方箋発行回数、分割調剤発行回数
	（リフィル処方箋の発行枚数がわかる場合）
	リフィル処方箋発行数が多い常勤医師を多い順に、個人別のリフィル発行枚数、全処方箋発行枚数
	（発行したことのある医師を知っている又は自身で発行した場合）
	どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか
	（発行したことのある医師を知っている又は自身で発行した場合）
	リフィル処方に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無
	（発行したことがあり、トレーシングレポートがあった場合）
	リフィル処方箋のトレーシングレポート受領頻度
	（発行したことがあり、トレーシングレポートがあった場合）
リフィル処方に関するトレーシングレポートで、提供された情報	
（発行したことがあり、トレーシングレポートがあった場合）	
リフィル処方に関するトレーシングレポートで、提供してほしい情報	
（発行したことのある医師を知っている又は自身で発行した場合）	
薬剤師の受診勧奨を受け受診した患者数	
（発行したことのある医師を知っている又は自身で発行した場合）	
リフィル処方箋を発行した理由	
（発行したことのある医師を知らない場合）	
リフィル処方箋を発行しなかった理由	

設問種類	設問項目
	リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
	リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し (積極的に検討する場合) 「積極的に検討する」と回答した理由
	(検討には消極的な場合) 「検討には消極的」と回答した理由
	このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること

(2) 医師調査

設問種類	設問項目
1. 回答者について	性別
	年代
	主な担当診療科
	外来診察患者数
2. リフィル処方箋について	リフィル処方箋の制度の認知 (制度を知っている場合) リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ
	リフィル処方箋の発行有無 (発行したことがある場合) どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか
	(発行したことがある場合) リフィル処方箋を発行した理由
	(発行したことがない場合) リフィル処方箋を発行しなかった理由
	リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
	リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し (積極的に検討する場合) 「積極的に検討する」と回答した理由
	(検討には消極的な場合) 「検討には消極的」と回答した理由
	このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること

(3) 保険薬局調査

設問種類	設問項目
1. 薬局の状況について	所在地（都道府県）
	開設者
	同一グループ等による薬局店舗数
	開設年
	チェーン薬局（同一経営者が20店舗以上を所有する薬局の店舗）か否か
	どのような場に立地しているか
	応需医療機関数
	最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合
	（最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合で）
	集中度が最も高い医療機関情報：診療所・病院の別、診療科の種類
	（最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合で）
	集中度が最も高い医療機関情報：最も多く処方箋を受け付けた医療機関と貴薬局との位置関係
	（最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合で）
	集中度が最も高い医療機関情報：あてはまる診療科
	貴薬局の売上高に占める保険調剤売上の割合（令和4年度決算）
調剤基本料の届出状況	
全処方箋の受付回数（令和5年4月～6月の合計）	
職員数（薬剤師、かかりつけ薬剤師、その他事務職員等）	
貴薬局の認定等の状況	
2. 届出の状況について	かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出
	地域支援体制加算の届出
	連携強化加算の届出の有無
3. リフィル処方箋の対応状況について	リフィル処方箋の仕組みについて知っているか
	リフィル処方箋の受付経験
	（受付ありの場合）
	受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数
	（受付ありの場合）
	どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けたか
	（受付ありの場合）
	どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか
	（受付ありの場合）
	どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか、の中で最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科
	（受付ありの場合）
	リフィル処方箋の受付件数（令和5年4月～6月の合計）
（受付ありの場合）	
リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数（令和5年4月～6月）	
（受付ありの場合）	
リフィルの上限まで使用されなかった理由	
（受付あり、受診勧奨をした場合）	
薬剤師が受診勧奨をした回数 <全体・調剤時・フォローアップ時>	
（受付あり、受診勧奨をした場合<フォローアップ時が1件以上>）	
受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談状況	

設問種類	設問項目
	(受付あり、受診勧奨をした場合) 薬剤師が受診勧奨をした理由
	(受付あり、受診勧奨をした場合) 受診勧奨の際に行ったこと
	(受付ありの場合) リフィル処方箋による調剤の可/否の判断に困った経験の有無
	(受付あり、調剤の可/否の判断に困った場合) リフィル処方箋による調剤の可/否の判断に困った際に行った疑義照会の内容
	(受付ありの場合) 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験の有無
	(受付あり、薬局が途中で変わった経験ありの場合) リフィル処方箋の途中で患者が薬局を変えた場合の内訳
	(受付あり、薬局が途中で変わった経験あり、自薬局から他薬局がある場合) どのような方法で他薬局へ情報提供を行ったか
	(受付あり、薬局が途中で変わった経験あり、自薬局から他薬局がある場合) どのような内容を情報提供したか
	(受付あり、薬局が途中で変わった経験あり、他薬局から自薬局がある場合) どのような方法で他薬局から情報提供を受けたか
	(受付あり、薬局が途中で変わった経験あり、他薬局から自薬局がある場合) どのような内容を情報提供されたか
	(受付ありの場合) リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際、提供してほしい情報
	(受付ありの場合) リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況
	(受付ありの場合) リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法
	(受付ありの場合) 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること
4. 医療機関との連携について	服薬情報等提供料の算定の有無
	リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験の有無
	(リフィル処方箋のトレーシングレポート提供ありの場合) リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容
5. リフィル処方箋の薬局・薬剤師への影響等について	リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
	患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験の有無
	(患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けたことがある場合) 受けた相談の内容
	(患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けたことがある場合) 患者の希望を処方医に連絡したことの有無

(4) 患者調査（郵送調査）・ (5) 患者調査（インターネット調査）

設問種類	設問項目
1. 調査票の記入者について	この調査票のご記入者は患者さんご本人か
2. 患者自身のことについて	性別 年齢 お住まい 薬局の窓口で支払うお金の有無
3. 医療機関や保険薬局の利用状況について	ご自身が、定期的を受診している医療機関（病院・診療所）、診療科の数 定期的に決まった薬の処方を受けているか （定期的に決まった薬の処方を受けている場合） 定期的な処方を受けている期間 リフィル処方箋を知っているか
4. これまでリフィル処方箋を交付された経験について	リフィル処方箋について医師から説明を受けたことの有無 （説明を受けた場合） リフィル処方箋についての説明はどのように行われたか （説明を受けた場合） リフィル処方箋についての説明は理解できたか リフィル処方箋を交付されたことの有無 （交付有る場合） リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か （交付有る場合） 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か （交付有る場合） 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分のお薬が処方されたか （交付有る場合） リフィル処方箋の1回目の処方で、どこの薬局に行ったか （交付有る場合） リフィル処方箋の2回目以降の処方で、薬局を変えたか （交付有り、2回目以降薬局を変えた場合） 薬局を変更した理由 （交付有り、2回目以降薬局を変えた場合） 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われたかの有無
5. これからのリフィル処方箋の利用意向について	リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることは何か リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか、1回目 リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか、2回目
6. リフィル処方箋に関するご意見・ご要望	リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・計2回開催した。

【委員】（○は委員長、五十音順、敬称略）

- | | |
|--------|---|
| 秋山 美紀 | 慶應義塾大学環境情報学部 教授（第1回まで委員長） |
| 津留 英智 | 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 理事長
全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会 委員長 |
| 豊見 敦 | 公益社団法人日本薬剤師会 常務理事 |
| 羽鳥 裕 | はとりクリニック 理事長 |
| ○本田 文子 | 一橋大学大学院経済学研究科・社会科学高等研究院 教授 |

【オブザーバー】（敬称略）

- | | |
|-------|-----------------------|
| 永瀬 伸子 | お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授 |
|-------|-----------------------|

※所属は報告書取りまとめ時のもの

II. 調査の結果

1. 回収結果

「(1)病院・診療所調査」の有効回答数（施設数）は700件、有効回答率は35.0%、「(2)医師調査」の有効回答数（医師数）は528件、「(3)保険薬局調査」の有効回答数（施設数）は582件、有効回答率は58.2%、「(4)患者調査（郵送調査）」の有効回答数は1,119件、「(5)患者調査（インターネット調査）」の有効回答数は3,000件であった。

図表 1-1 今年度の回収の状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
(1)病院・診療所調査	2,000件	700件	35.0%
病：リフィル発行実績有り	500件	215件	43.0%
病：リフィル発行実績無し	500件	147件	29.4%
診：リフィル発行実績有り	500件	192件	38.4%
診：リフィル発行実績無し	500件	146件	29.2%
(2)医師調査	—	528件	—
(3)保険薬局調査	1,000件	582件	58.2%
リフィル受付実績有り	500件	305件	61.0%
リフィル受付実績無し	500件	276件	55.2%
(4)患者調査（郵送調査）	—	1,119件	—
(5)患者調査（インターネット調査）	—	3,000件	—

※保険薬局調査については、回収IDが不明のケースが1件発生したため、全体集計には含まれているものの、リフィル処方箋の受付実績あり、なしのどちらの小分類にも含まれていない回答がある。

※医師調査、患者調査（郵送調査）については、病院や薬局から何部配布されたかが把握できない方法で調査を行っていることから、発送数と有効回答率の表記を行っていない。また、患者調査（インターネット調査）については、回答数が3,000件になるまで回収を続けるという他との調査とは異なる方式で調査を行っていることから、発送数、有効回答率の表記を行っていない。

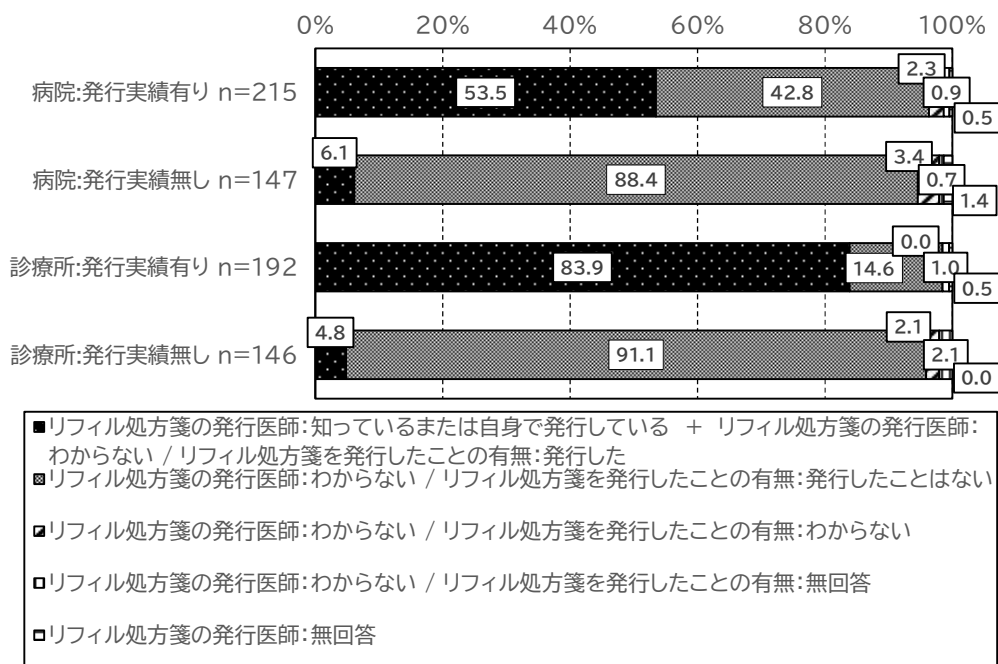
2. 病院・診療所調査

【調査対象等】

○調査票 施設票
調査対象：令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある病院から500件、同期間に発行実績がない病院から500件をそれぞれ無作為抽出し、同様に令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある診療所から500件、同期間に発行実績がない診療所から500件をそれぞれ無作為抽出した
回答数：700施設
回答者：開設者・管理者

以下、本調査では「リフィル処方箋の発行実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の発行実績が有ることを指します。また、グラフ内の凡例である「病院：発行有り」「病院：発行無し」「診療所：発行有り」「診療所：発行無し」の発行有無は、上記の令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の発行実績の有無を指します。

図表 2-1 院内でリフィル処方箋を発行したことがある医師を知っている、または自身で発行しているか、わからない場合はリフィル処方箋を交付したことがないか（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）

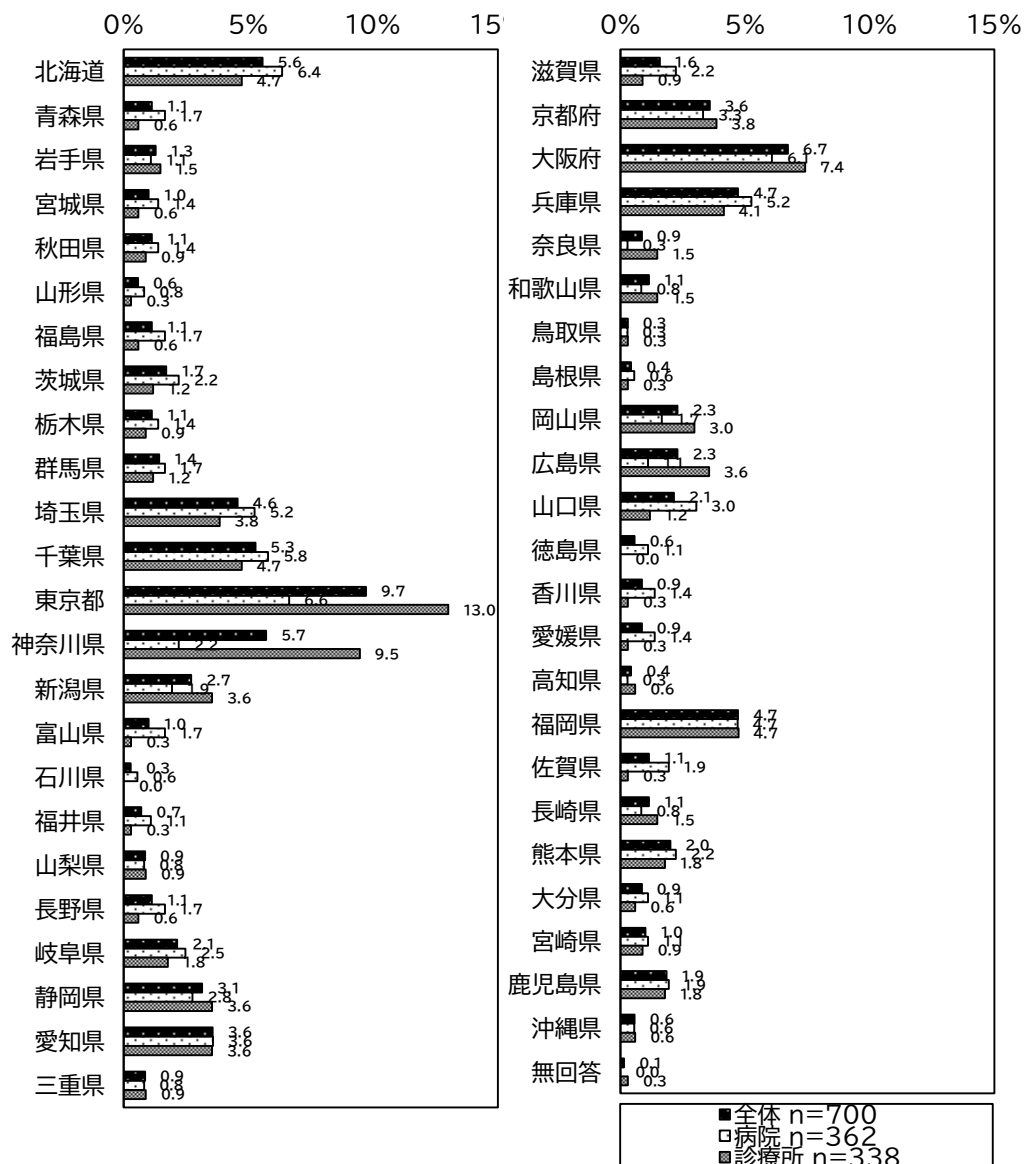


1) 施設の状況（令和5年7月1日現在）

(1) 所在地

回答があった医療機関の所在地は病院・診療所ともに「東京都」が最も多くそれぞれ6.6%、13.0%であった。

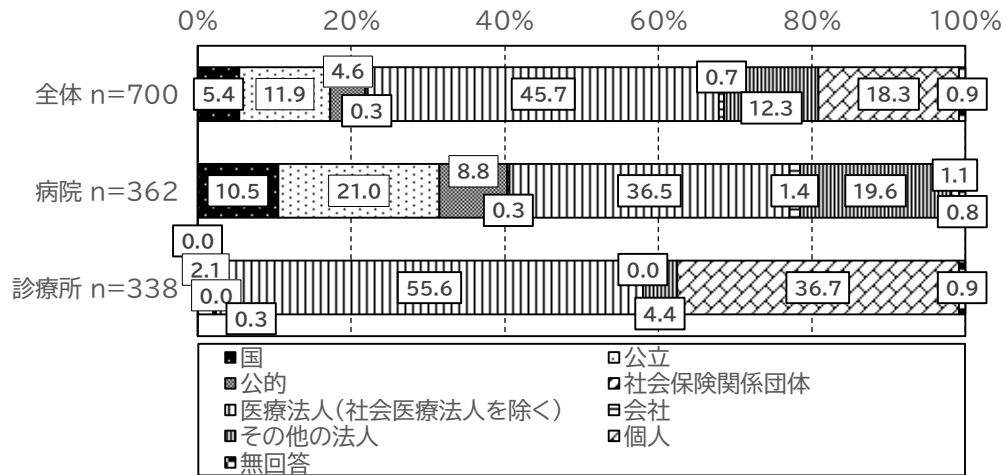
図表 2-2 所在地
(病院・診療所別)



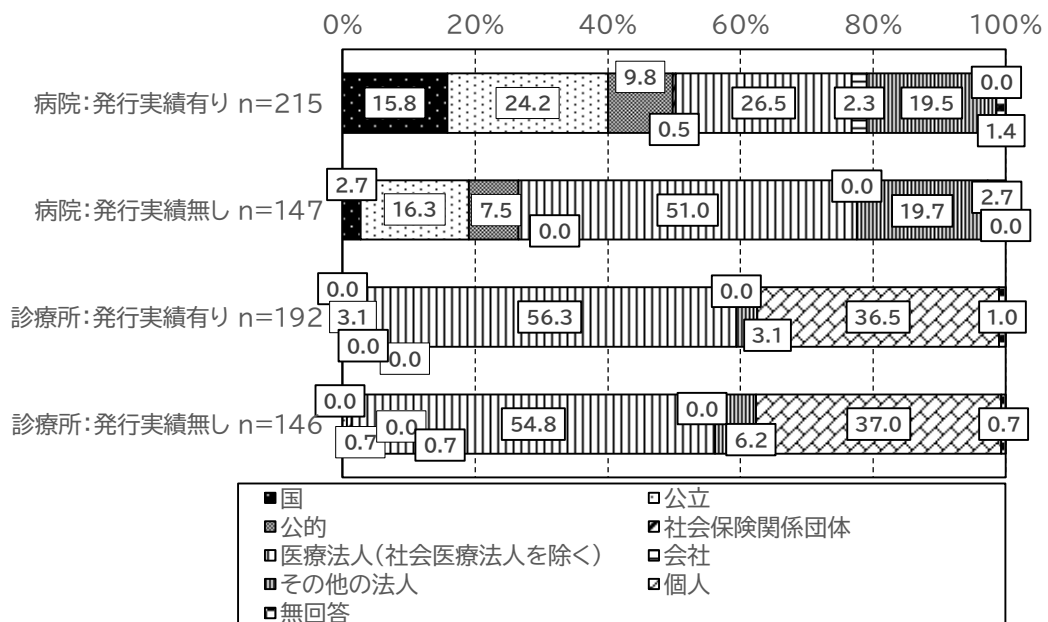
(2) 開設者

回答があった医療機関の開設者は病院・診療所ともに「医療法人（社会医療法人を除く）」が最も多くそれぞれ 36.5%、55.6%であった。

図表 2-3 開設者
(病院・診療所別)



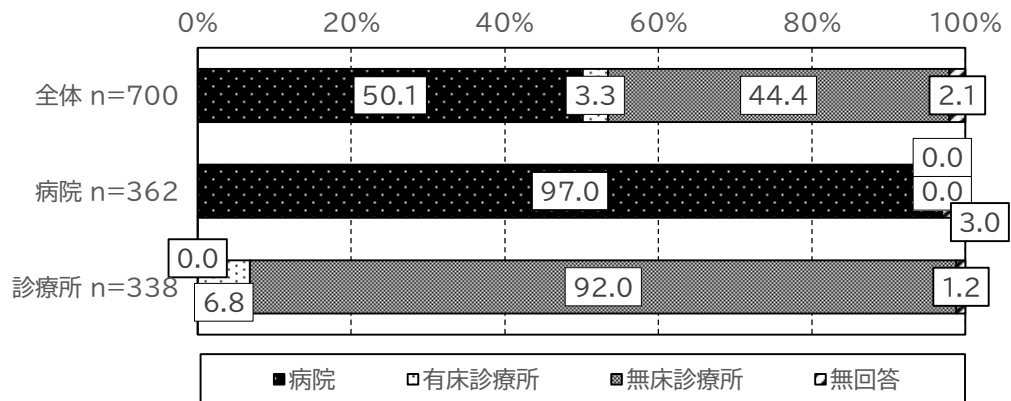
図表 2-4 開設者
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



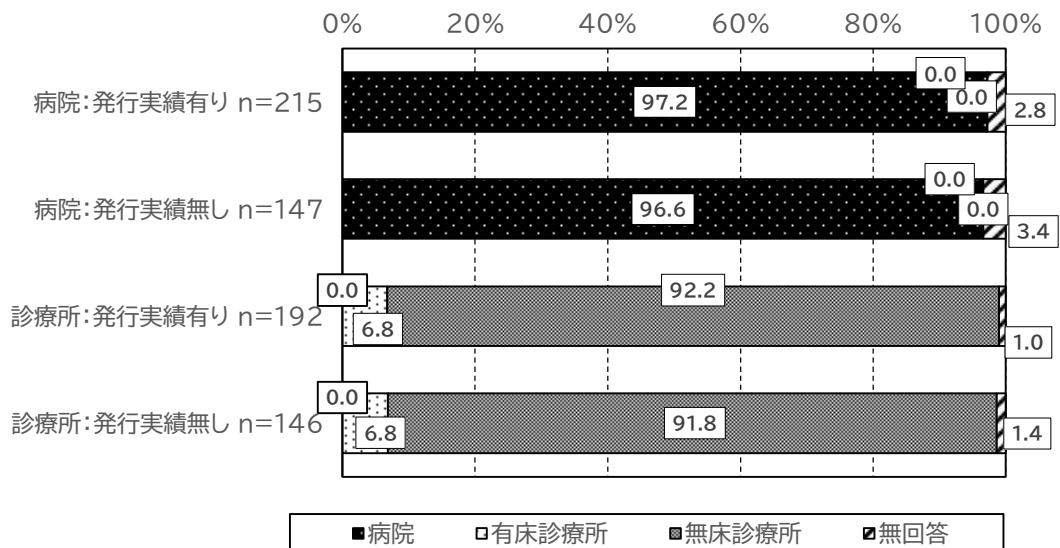
(3) 医療機関の種別

医療機関の種別についての調査票上での回答は、診療所は「有床診療所」が6.8%、「無床診療所」が92.0%であった。

図表 2-5 医療機関の種別
(病院・診療所別)



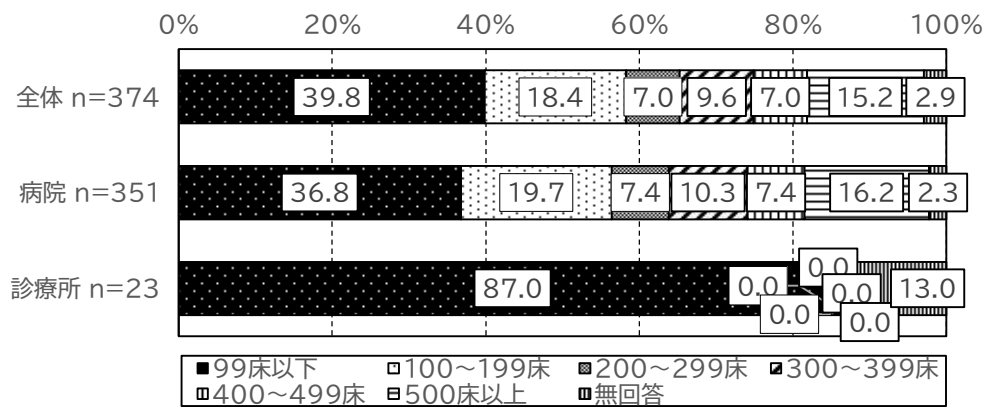
図表 2-6 医療機関の種別
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



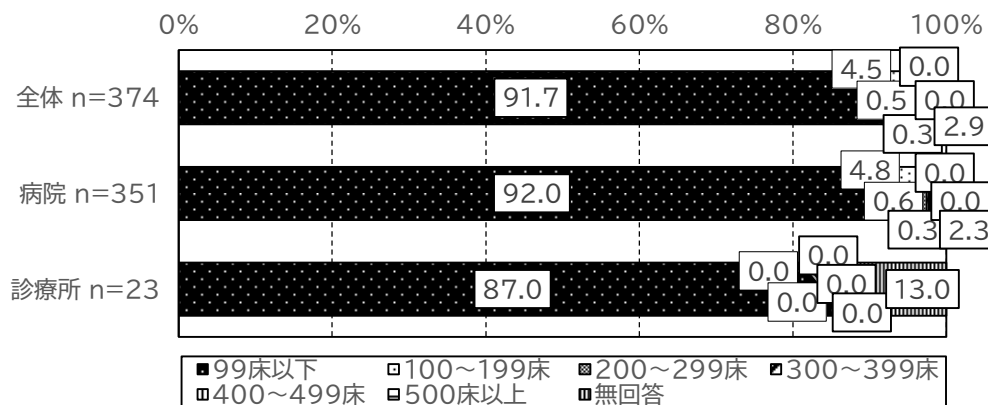
(4) 許可病床数 ((3)で施設種別を「病院」または「有床診療所」と回答した施設が対象)

許可病床数については、リフィル処方箋発行実績の有る病院では施設全体で400～499床が最も多く26.3%、リフィル処方箋発行実績の無い病院では99床以下最も多く40.8%であった。

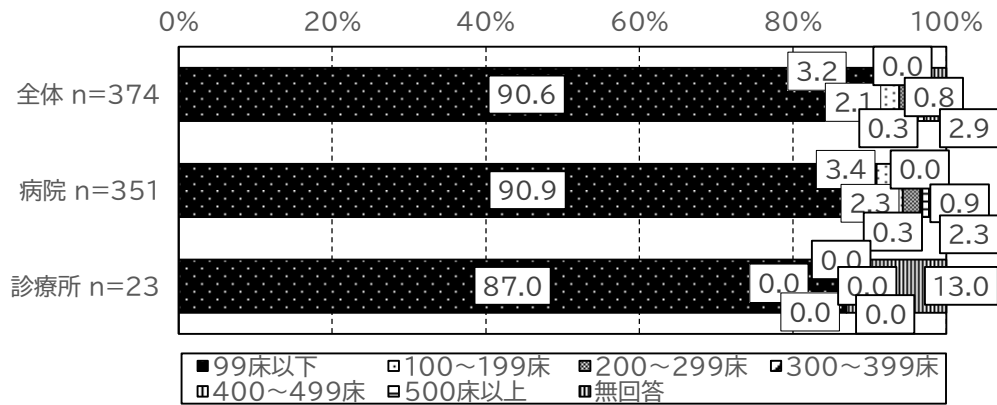
図表 2-7 許可病床数 一般病床
(病院・診療所別)



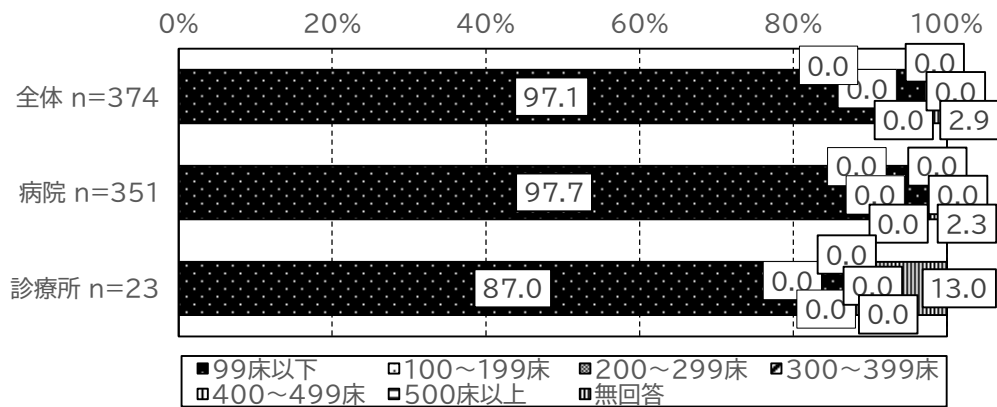
図表 2-8 許可病床数 療養病床
(病院・診療所別)



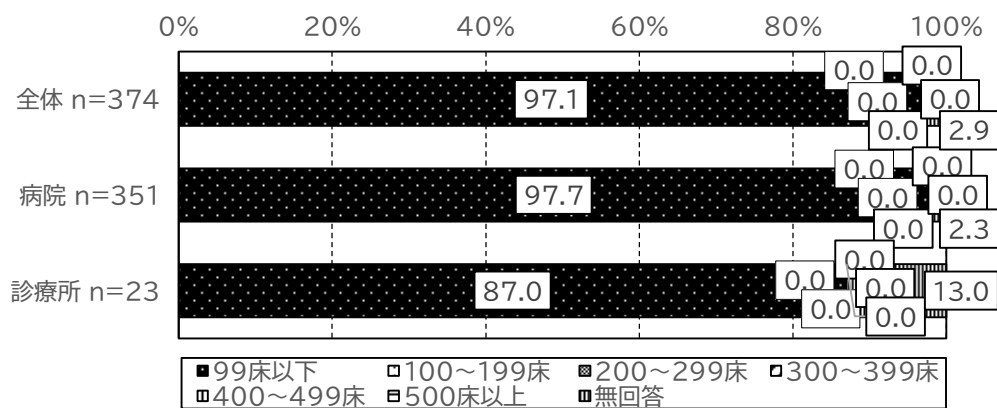
図表 2-9 許可病床数 精神病床
(病院・診療所別)



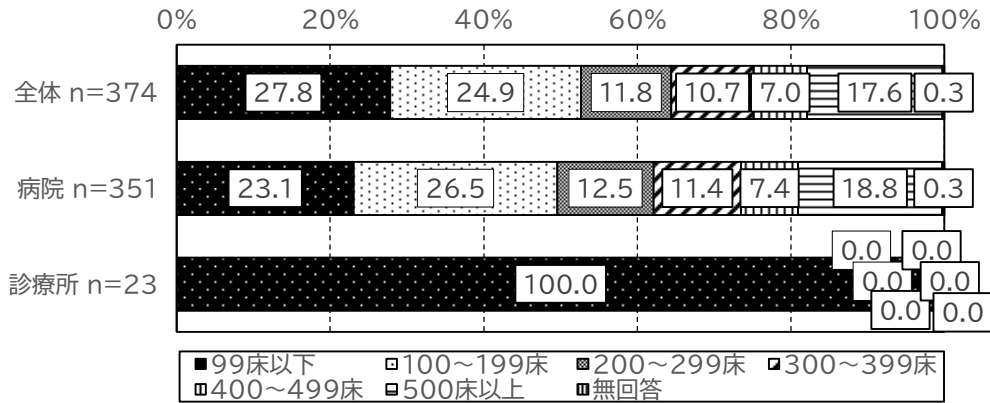
図表 2-10 許可病床数 結核病床
(病院・診療所別)



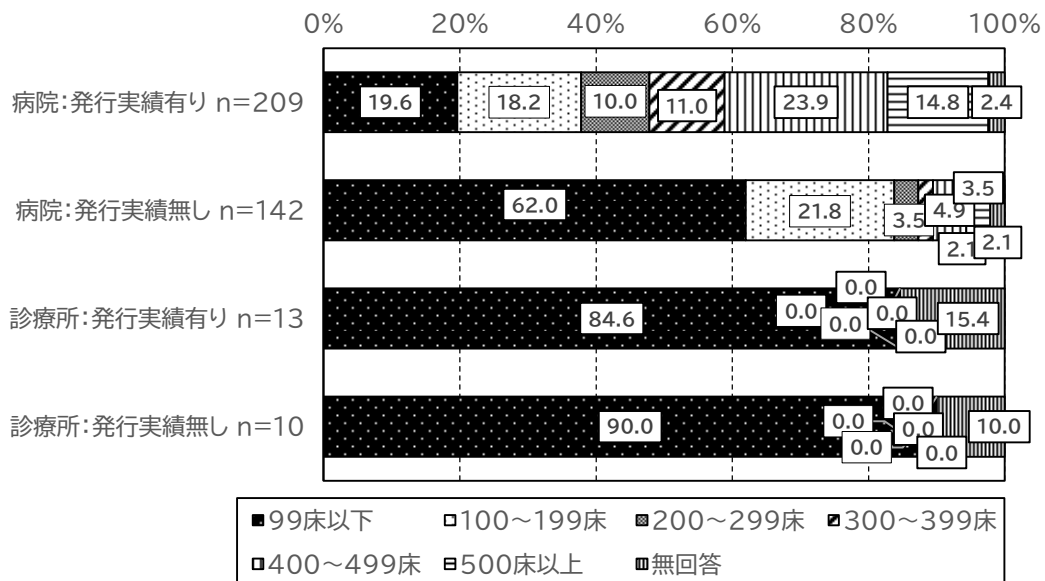
図表 2-11 許可病床数 感染症病床
(病院・診療所別)



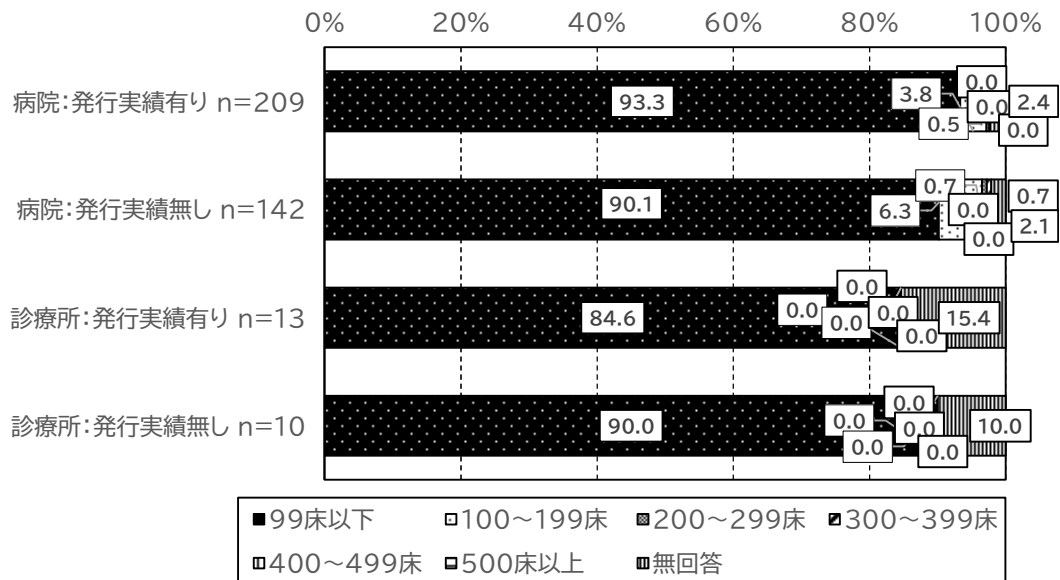
図表 2-12 許可病床数 施設全体
(病院・診療所別)



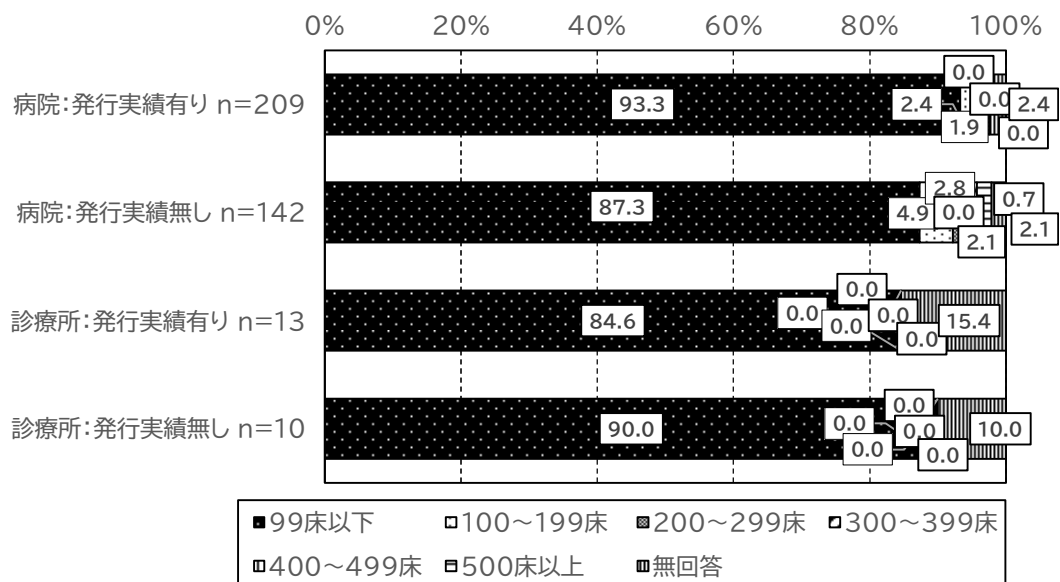
図表 2-13 許可病床数 一般病床
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



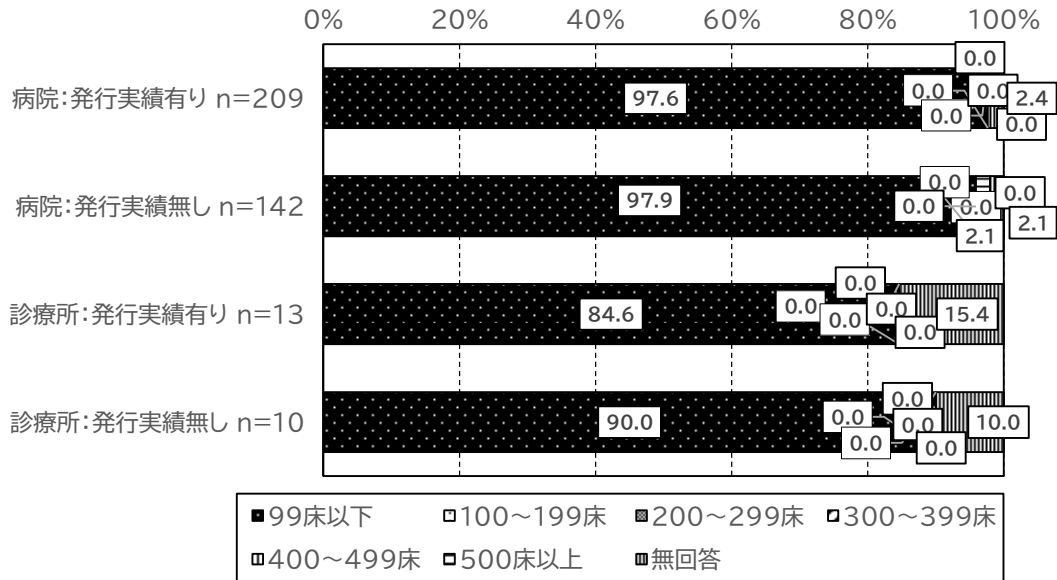
図表 2-14 許可病床数 療養全体
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



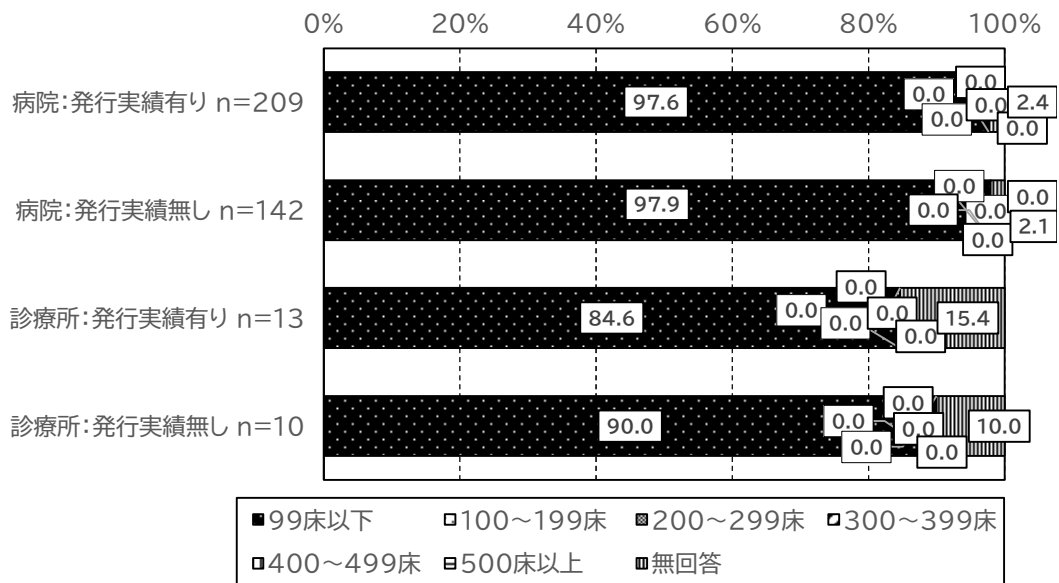
図表 2-15 許可病床数 精神全体
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



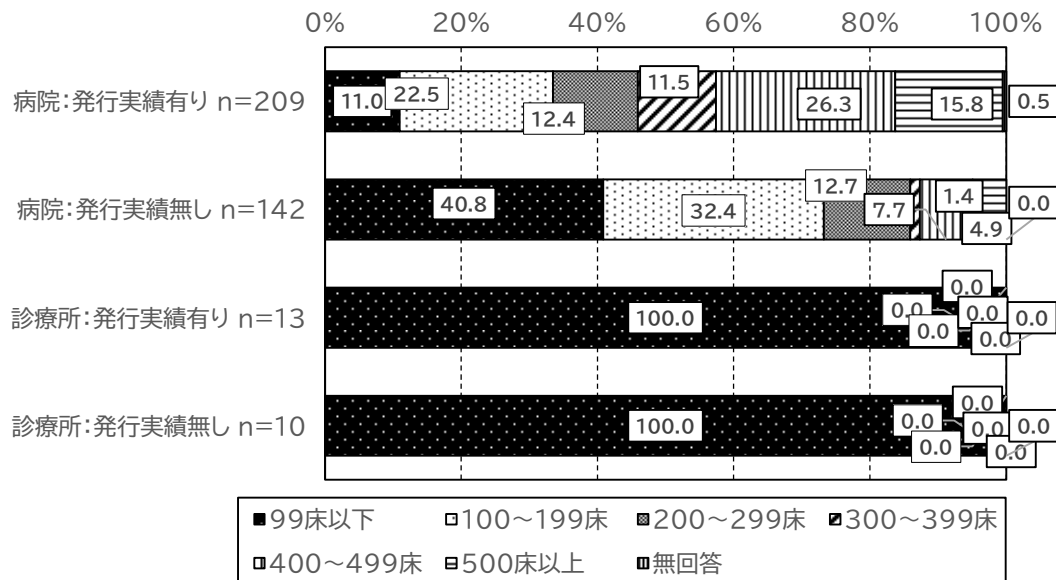
図表 2-16 許可病床数 結核全体
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



図表 2-17 許可病床数 感染症全体
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



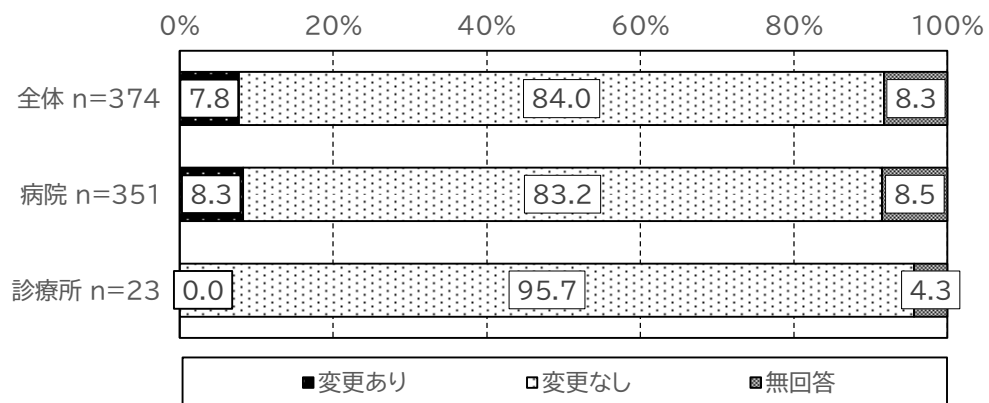
図表 2-18 許可病床数 施設全体
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



(5) 過去1年間の病床数変更 ((3)で施設種別を「病院」または「有床診療所」と回答した施設が対象)

過去1年間の病床数変更について、病院では「変更あり」が8.3%、「変更なし」が83.2%であった。診療所では「変更あり」が0.0%、「変更なし」が95.7%であった。

図表 2-19 過去1年の病床数変更
(病院・診療所別)

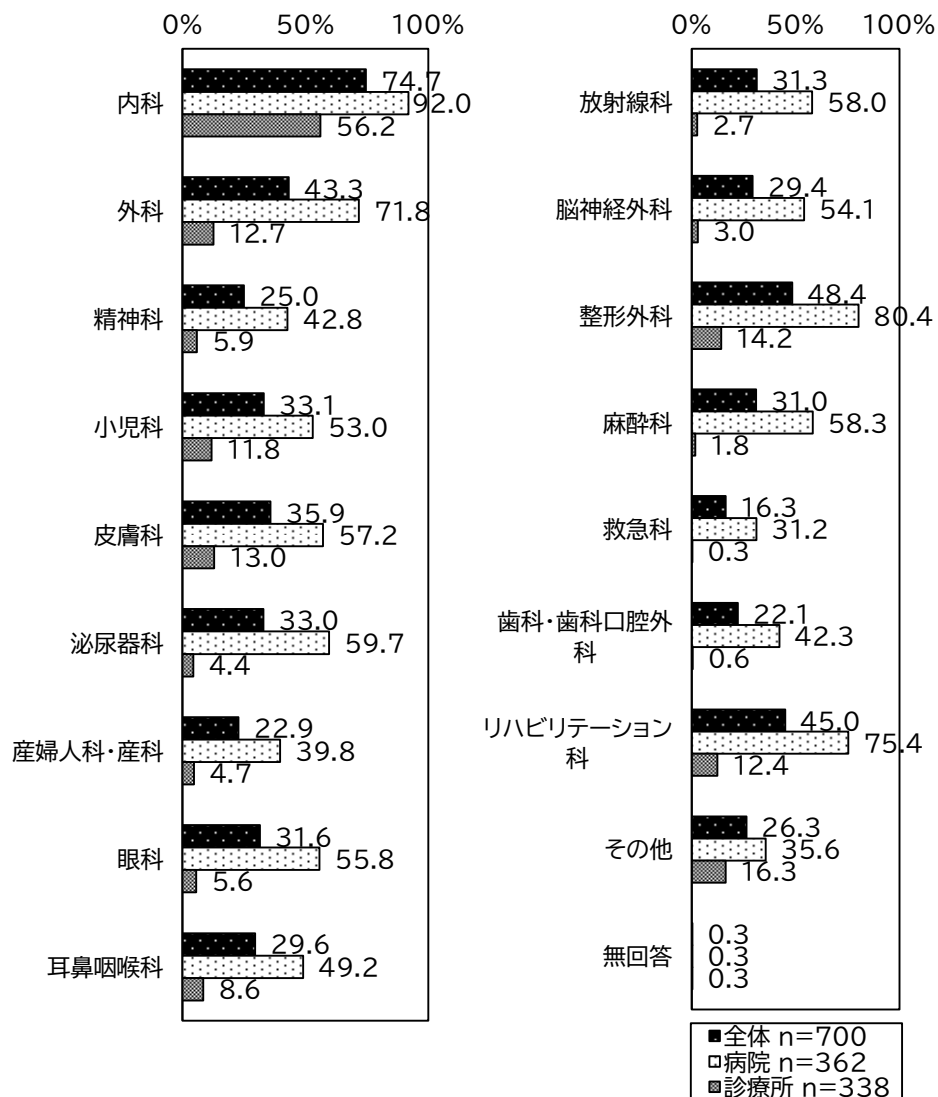


(6) 標榜診療科

標榜診療科は、病院では「内科」が92.0%で最も多く、診療所も同じく「内科」が最も多く、56.2%であった。

また、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所の全てにおいて、「内科」が最も多くそれぞれ96.3%、85.7%、54.2%、58.9%であった。

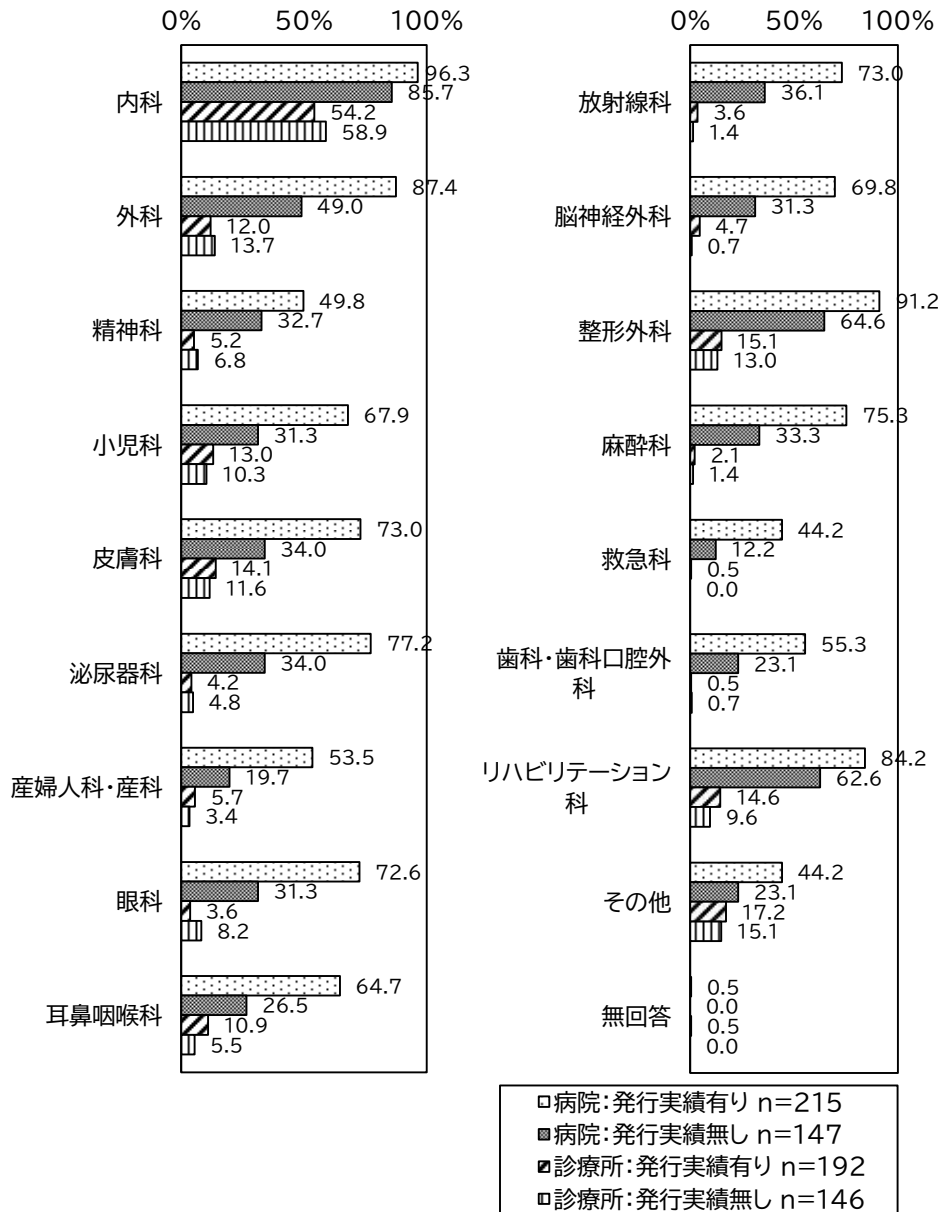
図表 2-20 標榜診療科（複数回答）
（病院・診療所別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・形成外科
- ・病理診断科
- ・緩和ケア内科
- ・アレルギー科
- ・リウマチ科 など

図表 2-21 標榜診療科（複数回答）
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）

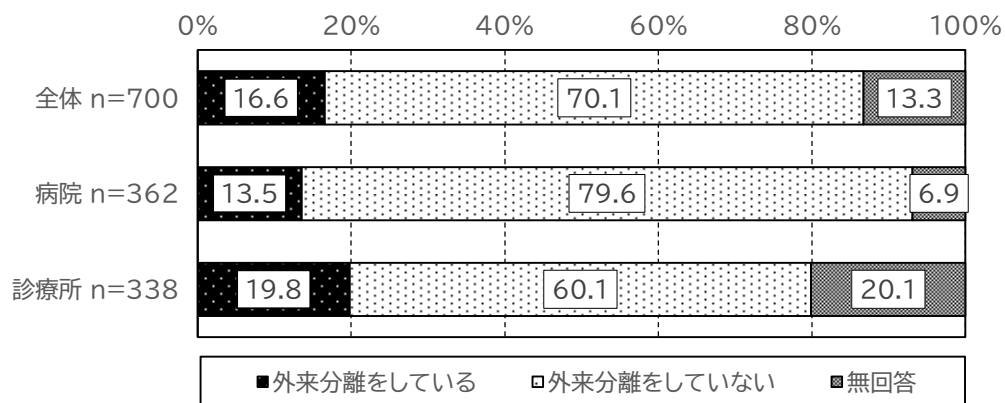


(7) 外来分離の状況

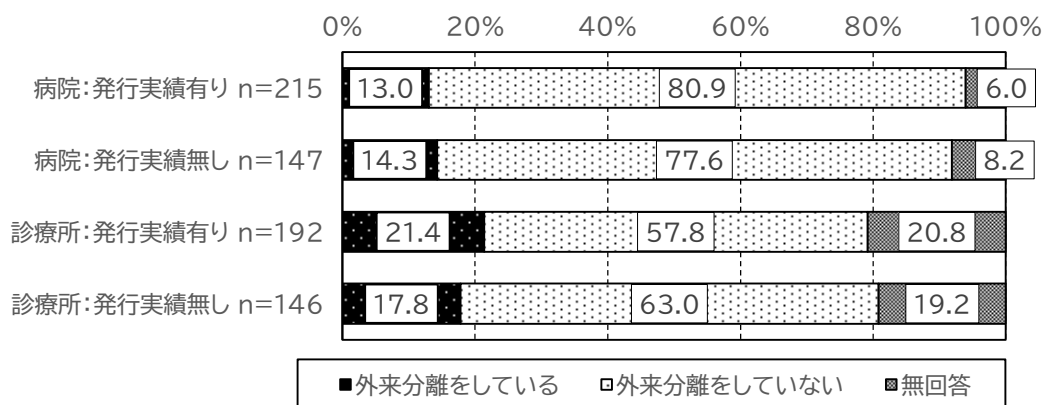
外来分離の状況については、病院では「外来分離をしている」が13.5%、「外来分離をしていない」が79.6%であった。診療所では「外来分離をしている」が19.8%、「外来分離をしていない」が60.1%であった。

リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所において「外来分離をしている」割合はそれぞれ、13.0%、14.3%、21.4%、17.8%であった。

図表 2-22 外来分離の状況
(病院・診療所別)



図表 2-23 外来分離の状況
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

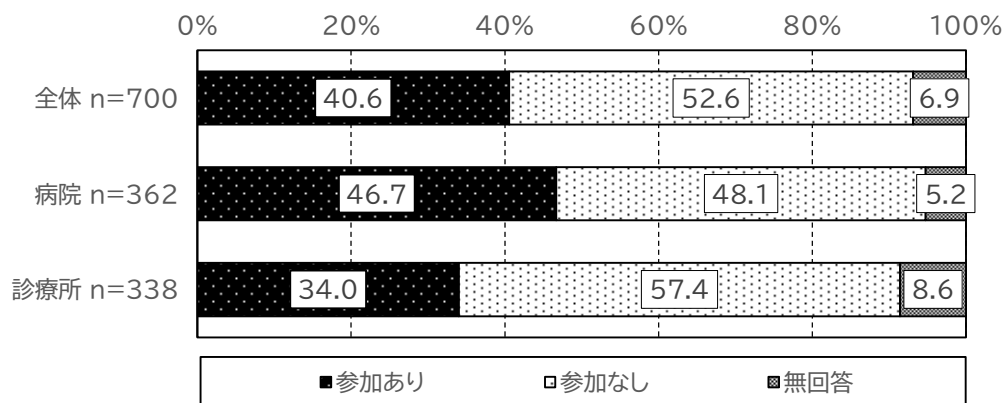


(8) 地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無

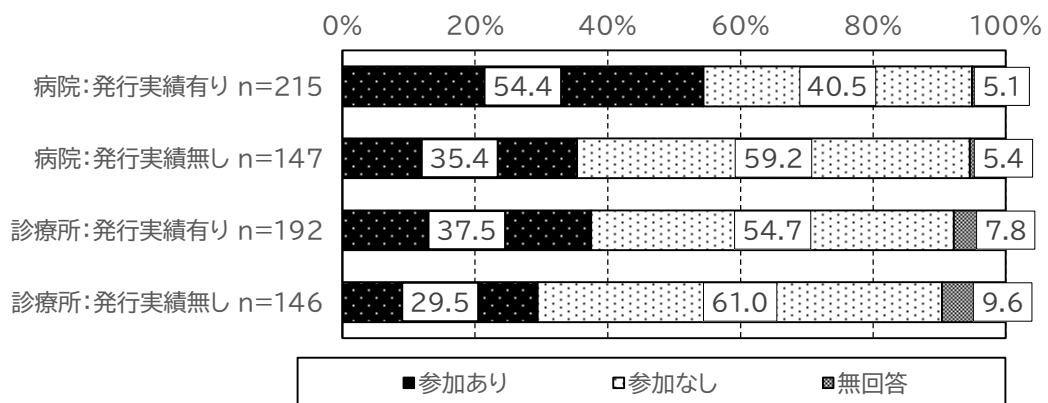
地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無については、病院は「参加あり」が46.7%、「参加なし」が48.1%、診療所は「参加あり」が34.0%、「参加なし」が57.4%であった。

リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所において「参加あり」の割合はそれぞれ、54.4%、35.4%、37.5%、29.5%であった。

図表 2-24 地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無
(病院・診療所別)



図表 2-25 地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



(9) 外来を担う医師の人数

外来を担う医師の人数については、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では常勤医師が平均で 86.8 人、リフィル処方箋の発行実績の無い病院では常勤医師が平均で 21.4 人、リフィル処方箋の発行実績の有る診療所では常勤医師が平均で 2.2 人、リフィル処方箋の発行実績の無い診療所では常勤医師が平均で 1.2 人であった。

図表 2-26 外来を担う医師の人数
(病院・診療所別)

(単位：人)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	常勤医師	669	31.7	82.2	2.0
	非常勤医師 実人数	468	27.7	59.0	9.0
	非常勤医師 常勤換算	382	10.4	39.4	2.2
病院	常勤医師	342	60.2	107.3	64.0
	非常勤医師 実人数	313	39.4	68.8	18.0
	非常勤医師 常勤換算	268	14.4	46.4	4.5
診療所	常勤医師	327	1.8	6.3	1.0
	非常勤医師 実人数	155	4.1	12.2	1.0
	非常勤医師 常勤換算	114	1.0	3.3	0.2

図表 2-27 外来を担う医師の人数
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

(単位：人)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院： 発行実績 有り	常勤医師	203	86.8	124.2	46.0
	非常勤医師 実人数	191	52.0	81.3	31.0
	非常勤医師 常勤換算	165	19.8	57.1	5.8
病院： 発行実績 無し	常勤医師	139	21.4	57.4	6.0
	非常勤医師 実人数	122	19.7	34.1	10.0
	非常勤医師 常勤換算	103	5.6	16.6	2.0
診療所： 発行実績 有り	常勤医師	187	2.2	8.3	1.0
	非常勤医師 実人数	88	5.4	15.7	1.0
	非常勤医師 常勤換算	64	1.3	4.4	0.2
診療所： 発行実績 無し	常勤医師	140	1.2	0.4	1.0
	非常勤医師 実人数	67	2.3	4.4	1.0
	非常勤医師 常勤換算	50	0.5	0.8	0.1

(10) 外来の患者数

4～6月の外来の患者数については、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では平均で18,615.6人、リフィル処方箋の発行実績の無い病院では平均で8,755.4人、リフィル処方箋の発行実績の有る診療所では平均で4,193.3人、リフィル処方箋の発行実績の無い診療所では平均で3,409.9人であった。

図表 2-28 外来の患者数
(病院・診療所別)

(単位：人)

	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	565	8344.9	9587.0	4507.0
病院	260	13609.7	11555.8	9707.5
診療所	305	3856.8	3582.2	3065.0

図表 2-29 外来の患者数
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

(単位：人)

	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院：発行有り	128	18615.6	11848.5	17303.5
病院：発行無し	132	8755.4	8926.8	5870.0
診療所：発行有り	174	4193.3	4155.9	3298.5
診療所：発行無し	131	3409.9	2582.9	2712.0

(11) 処方箋の発行枚数

4～6月の処方箋の発行枚数については、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では平均で10,816.8枚、リフィル処方箋の発行実績の無い病院では平均で5003.5枚、リフィル処方箋の発行実績の有る診療所では2,964.4枚、リフィル処方箋の発行実績の無い診療所では平均で1,844.5枚であった。

図表 2-30 処方箋の発行枚数
(病院・診療所別)

(単位：枚)

	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	563	5209.7	5923.3	2900.0
病院	274	8101.1	7061.2	6086.0
診療所	289	2468.4	2388.9	2074.0

図表 2-31 処方箋の発行枚数
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

(単位：枚)

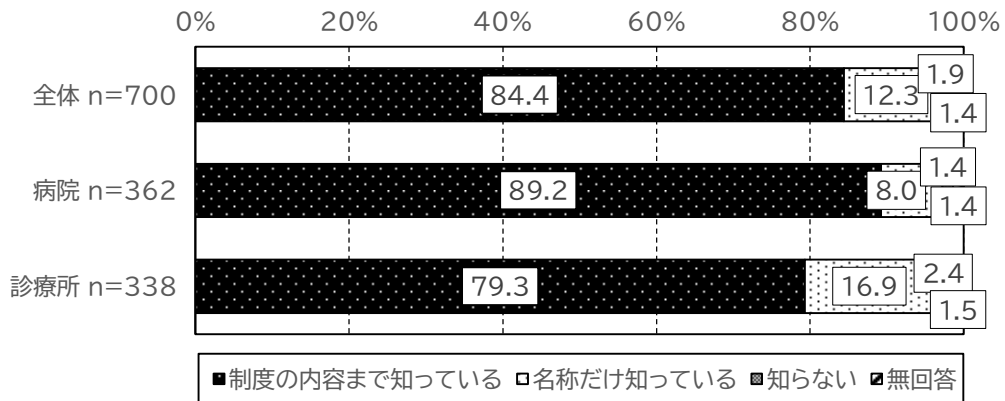
	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院：発行有り	146	10816.8	7254.3	10367.0
病院：発行無し	128	5003.5	5380.3	2821.0
診療所：発行有り	161	2964.4	2752.3	2598.0
診療所：発行無し	128	1844.5	1641.2	1700.0

2) リフィル処方箋について

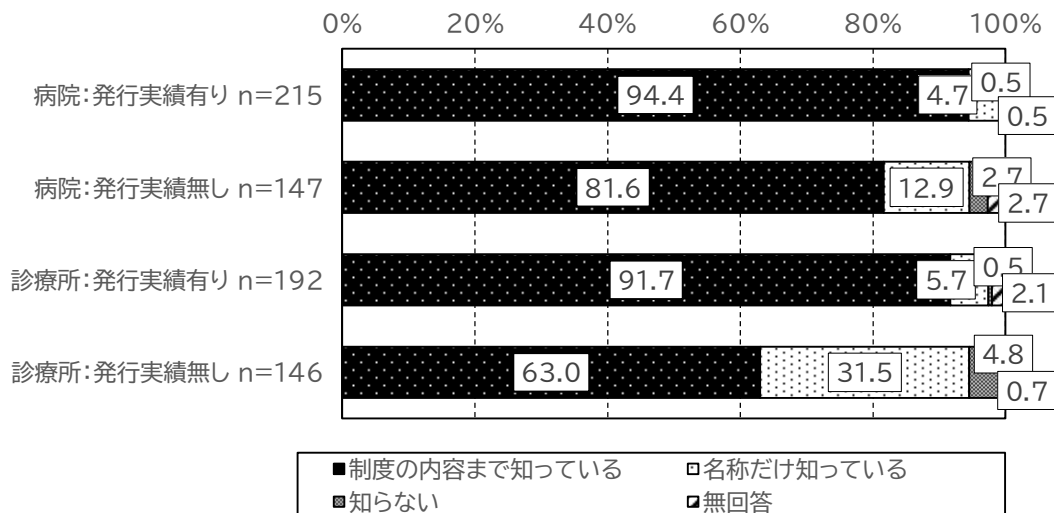
(1) リフィル処方箋の制度の認知

リフィル処方箋の制度の認知について、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所において「制度の内容を知っている」の割合はそれぞれ、94.4%、81.6%、91.7%、63.0%であった。「名称だけ知っている」の割合はそれぞれ、4.7%、12.9%、5.7%、31.5%であった。

図表 2-32 リフィル処方箋の制度の認知
(病院・診療所別)



図表 2-33 リフィル処方箋の制度の認知
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



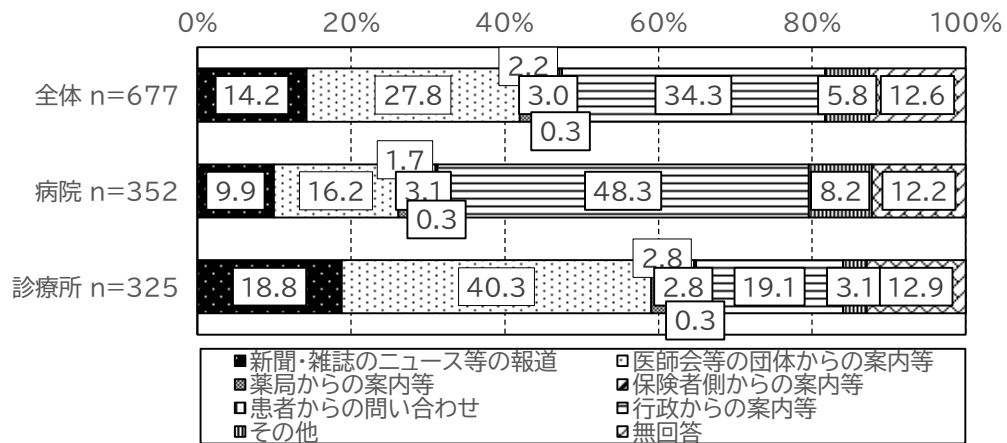
① リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ（リフィル処方箋について制度の内容まで知っているまたは、名称だけ知っている施設が対象）

リフィル処方箋の制度を知ったきっかけについて、リフィル処方箋について制度の内容を知っているまたは、名称だけ知っている施設に対して確認した。その結果、病院では「行政からの案内等」が48.3%で最も多く、診療所では「医師会等の団体からの案内等」が40.3%と最も多かった。

リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院においては「行政からの案内等」が最も多くそれぞれ55.9%、36.7%であった。発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所においては「医師会等の団体からの案内等」が最も多くそれぞれ37.4%、

44.2%であった。

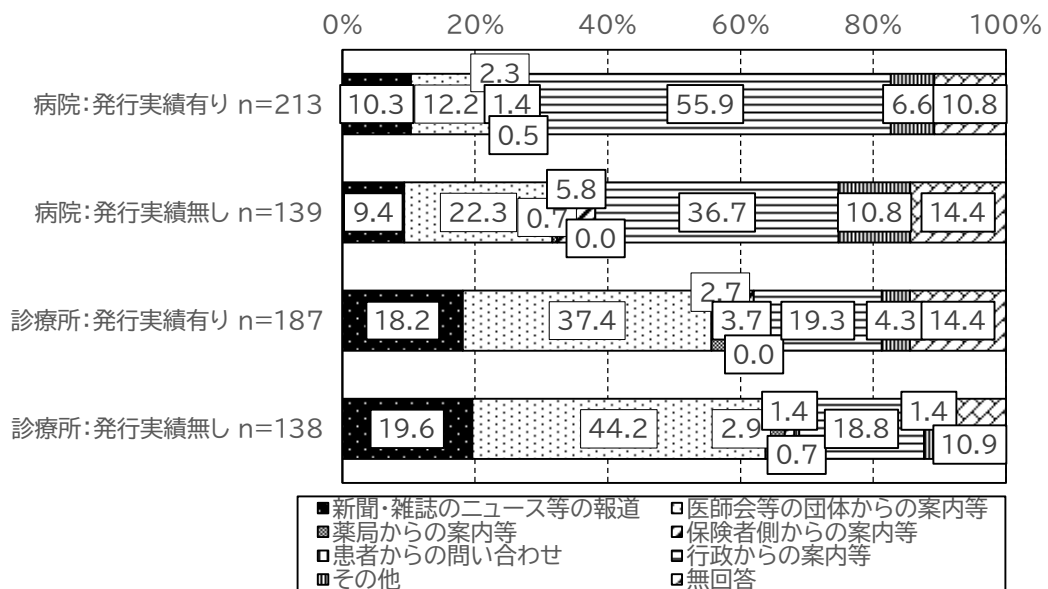
図表 2-34 制度を知ったきっかけ
 (リフィル処方箋について制度の内容まで知っているまたは、名称だけ知っている施設が対象)
 (病院・診療所別)



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・診療報酬改定の説明資料
- ・レセコンメーカーの会社からの説明

図表 2-35 制度を知ったきっかけ
 (リフィル処方箋について制度の内容まで知っているまたは、名称だけ知っている施設が対象)
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

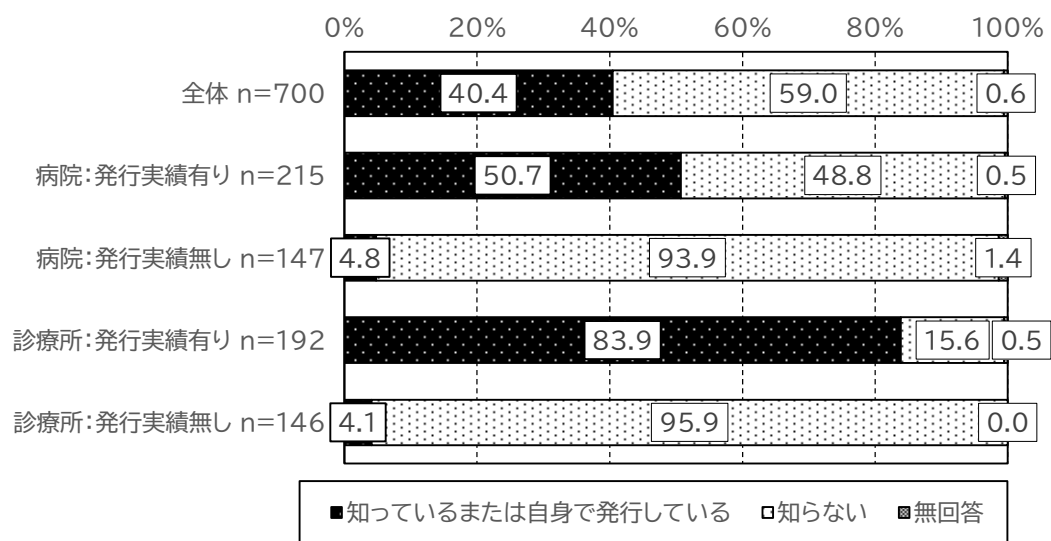


(2) 院内でリフィル処方箋を発行したことがある医師を知っている、または自身で発行しているか

院内でリフィル処方箋を発行したことがある医師を知っている、または自身で発行しているかについては、「知っているまたは自身で発行している」と回答した割合は、リフィル処方箋の発行実績のある病院・発行実績のない病院・発行実績のある診療所・発行実績のない診療所において、それぞれ 50.7%、4.8%、83.9%、4.1%であった。

図表 2-36 院内でリフィル処方箋を発行したことがある医師を知っている、または自身で発行しているか

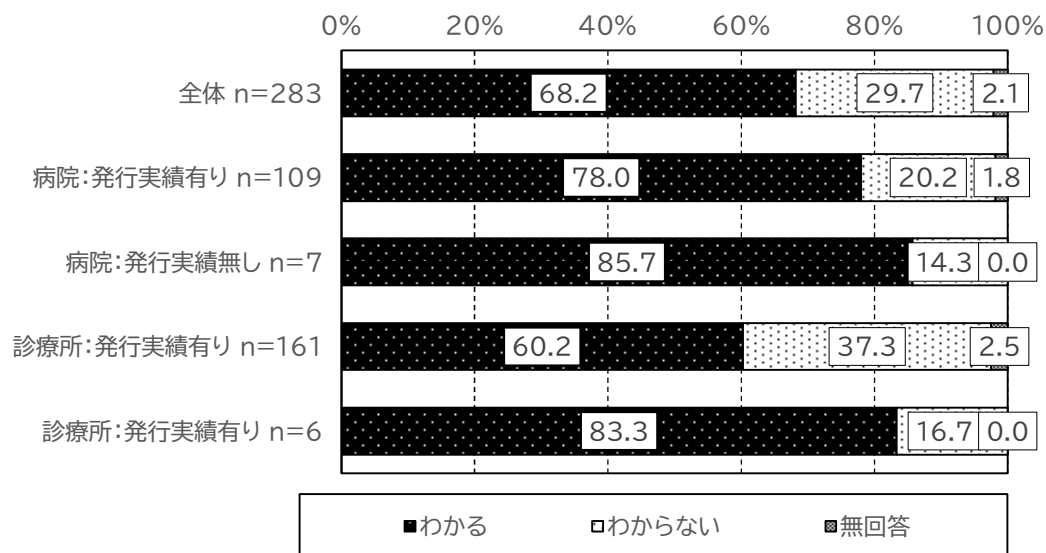
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



① 院内全体で発行したリフィル処方箋の枚数の把握状況 (令和5年4～6月)
(院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象)

院内全体で発行したリフィル処方箋の枚数の把握状況 (令和5年4～6月) について、院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行していると回答した施設に確認した。その結果、リフィル処方箋の枚数を「わかる」と回答した割合は、リフィル処方箋の発行実績が有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所において、それぞれ 78.0%、85.7%、60.2%、83.3%であった。

図表 2-37 施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数の把握状況（令和5年4～6月）
 （院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは
 自身で発行していると回答した施設）
 （病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



② 貴院が全体で発行したリフィル処方箋の発行枚数等（施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象）

リフィル処方箋の発行枚数について、院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行していると回答した施設に確認した。その結果、院内全体で発行したリフィル処方箋の枚数の平均は、リフィル処方箋の発行実績が有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所において、それぞれ412.5枚、1.3枚、89.8枚、1.2枚であった。

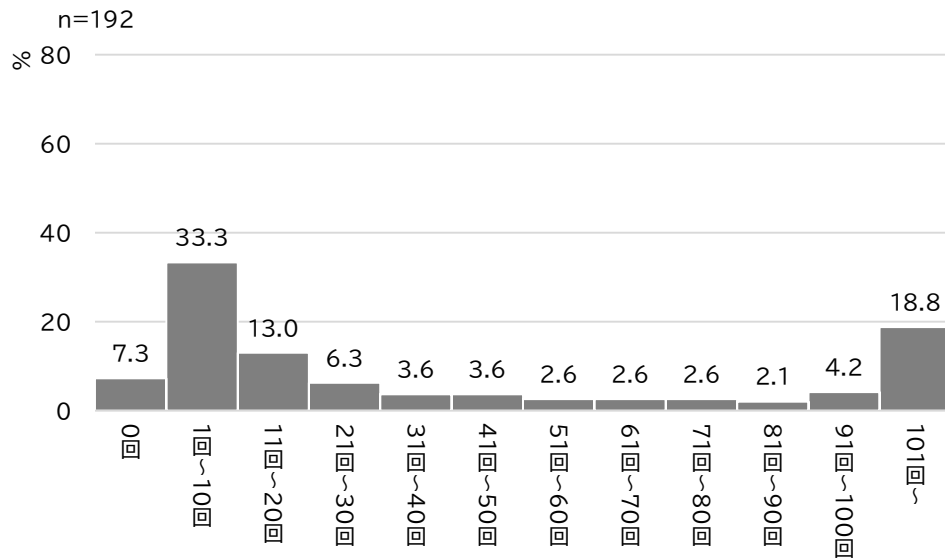
図表 2-38 施設全体で発行したリフィル処方箋の発行枚数
 （施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象）
 （病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）

（単位：枚）

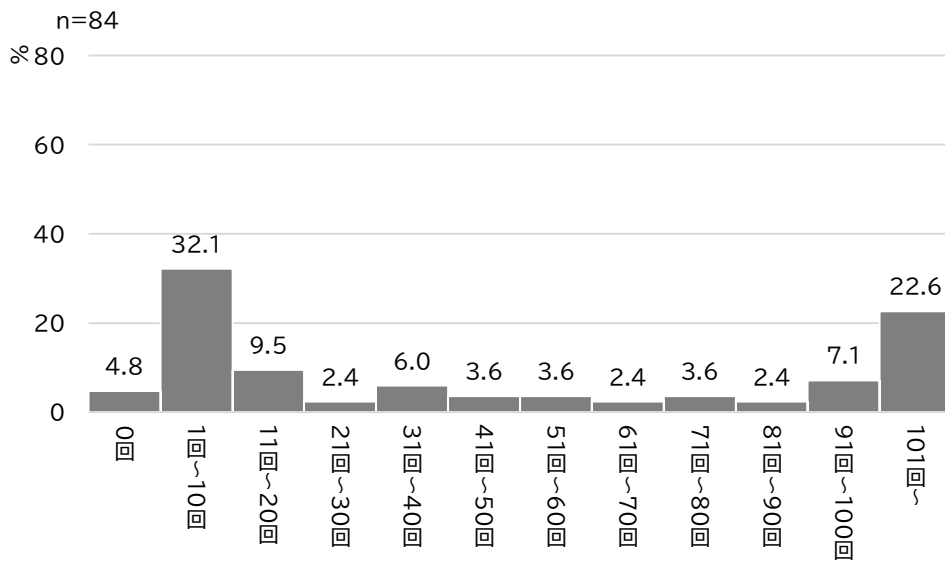
		回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体		192	225.9	1548.8	17.0
病院	発行実績有り	84	412.5	2323.3	33.0
	発行実績無し	6	1.3	2.0	0.5
診療所	発行実績有り	97	89.8	224.5	17.0
	発行実績無し	5	1.2	2.2	0.0

※ 施設単位でのリフィル処方箋の発行実績の有無は、令和4年10～12月の実績にもとづいており、調査の回答時点とは異なる。

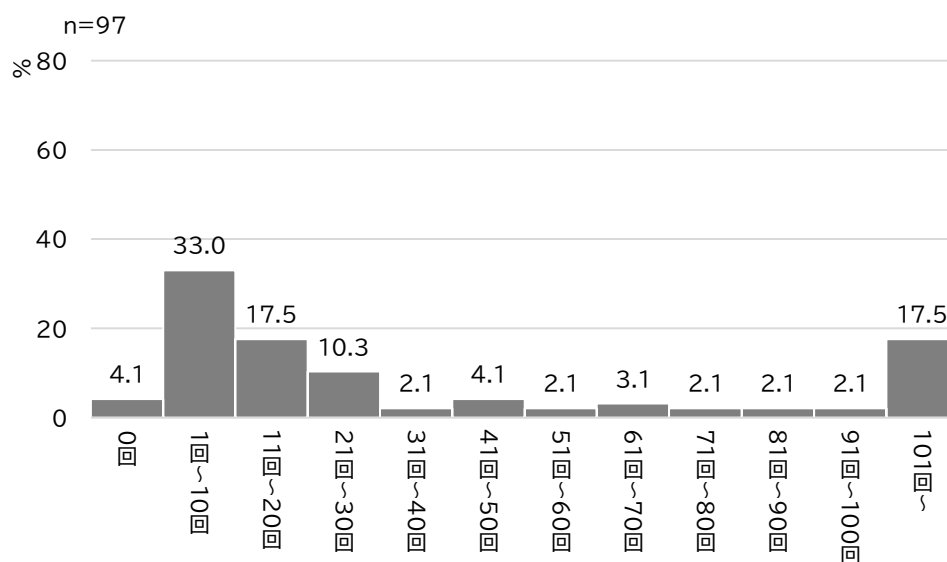
図表 2-39 施設全体で発行したリフィル処方箋の発行枚数等の分布
 (施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象)
 (全体)



図表 2-40 貴院が全体で発行したリフィル処方箋の発行枚数等の分布
 (施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象)
 (リフィル処方箋の発行実績の有る病院)



図表 2-41 貴院が全体で発行したリフィル処方箋の発行枚数等の分布
 (施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象)
 (リフィル処方箋の発行実績の有る診療所)

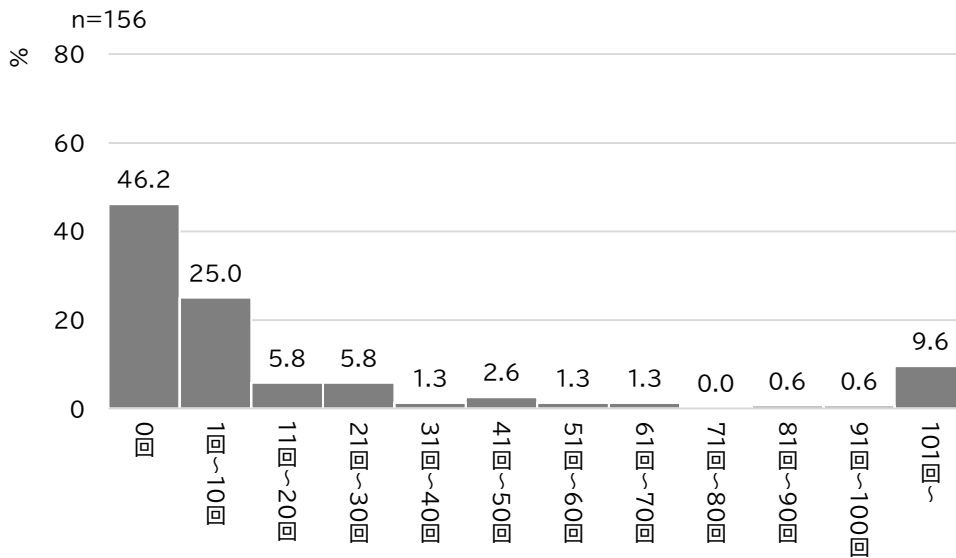


図表 2-42 貴院が全体で発行した分割調剤の指示回数等
 (施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象)
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

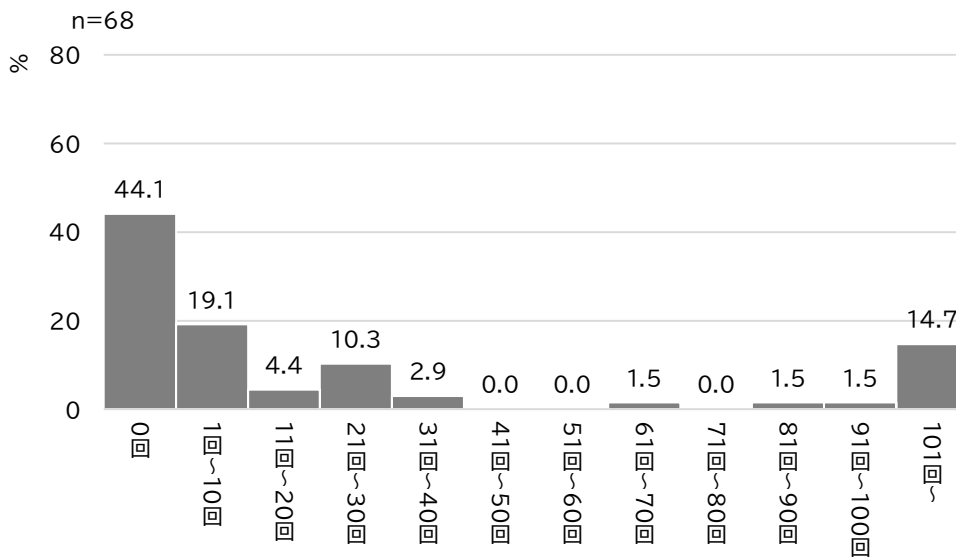
(単位：回)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体		156	39.5	127.9	2.0
病院	発行実績有り	68	51.2	132.5	2.0
	発行実績無し	4	0.0	0.0	0.0
診療所	発行実績有り	80	33.5	130.0	2.0
	発行実績無し	4	0.8	1.5	0.0

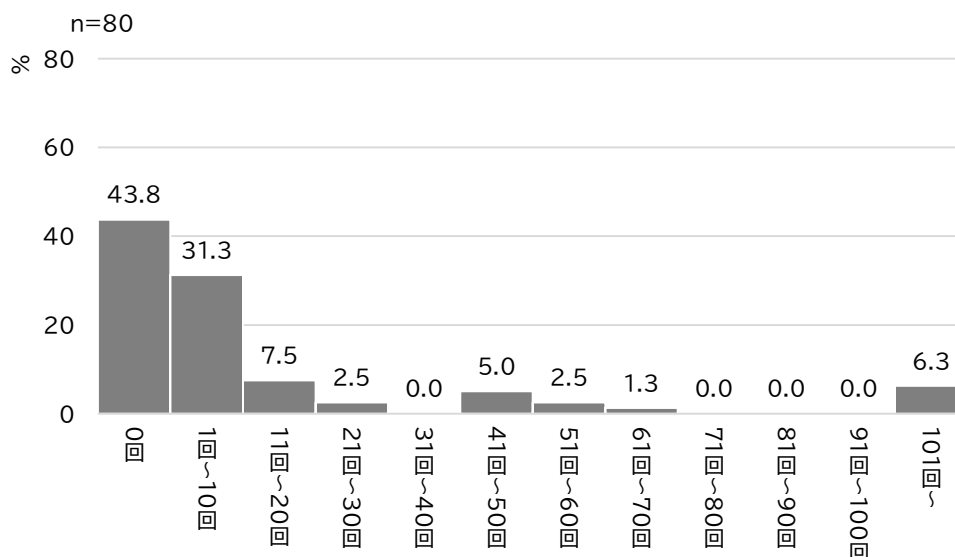
図表 2-43 貴院が全体で発行した発行した分割調剤の指示回数の分布
 (施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象)
 (全体)



図表 2-44 貴院が全体で発行した発行した分割調剤の指示回数の分布
 (施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象)
 (リフィル処方箋の発行実績の有る病院)



図表 2-45 貴院が全体で発行した発行した分割調剤の指示回数の分布
 (施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設のみ対象)
 (リフィル処方箋の発行実績の有る診療所)



③ 貴院において外来を担当する常勤医師のうち、リフィル処方箋の発行枚数が多い順に上から5番目までの医師の a. 有無、b. リフィル処方箋の発行枚数、c. 全処方箋の発行枚数

【a. 2番目～5番目までの医師の有無】

外来を担当する常勤医師のうちリフィル処方箋の発行枚数が多い順に2番目から5番目までの医師の有無について施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設に確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では、2番目～5番目について「有」と答えた割合は、75.3%・65.4%・53.1%・46.9%であった。同様にリフィル処方箋の発行実績の有る診療所において2番目～5番目について「有」と答えた割合は、11.8%・4.3%・3.2%・2.2%であった。

【b. リフィル処方箋の発行枚数】

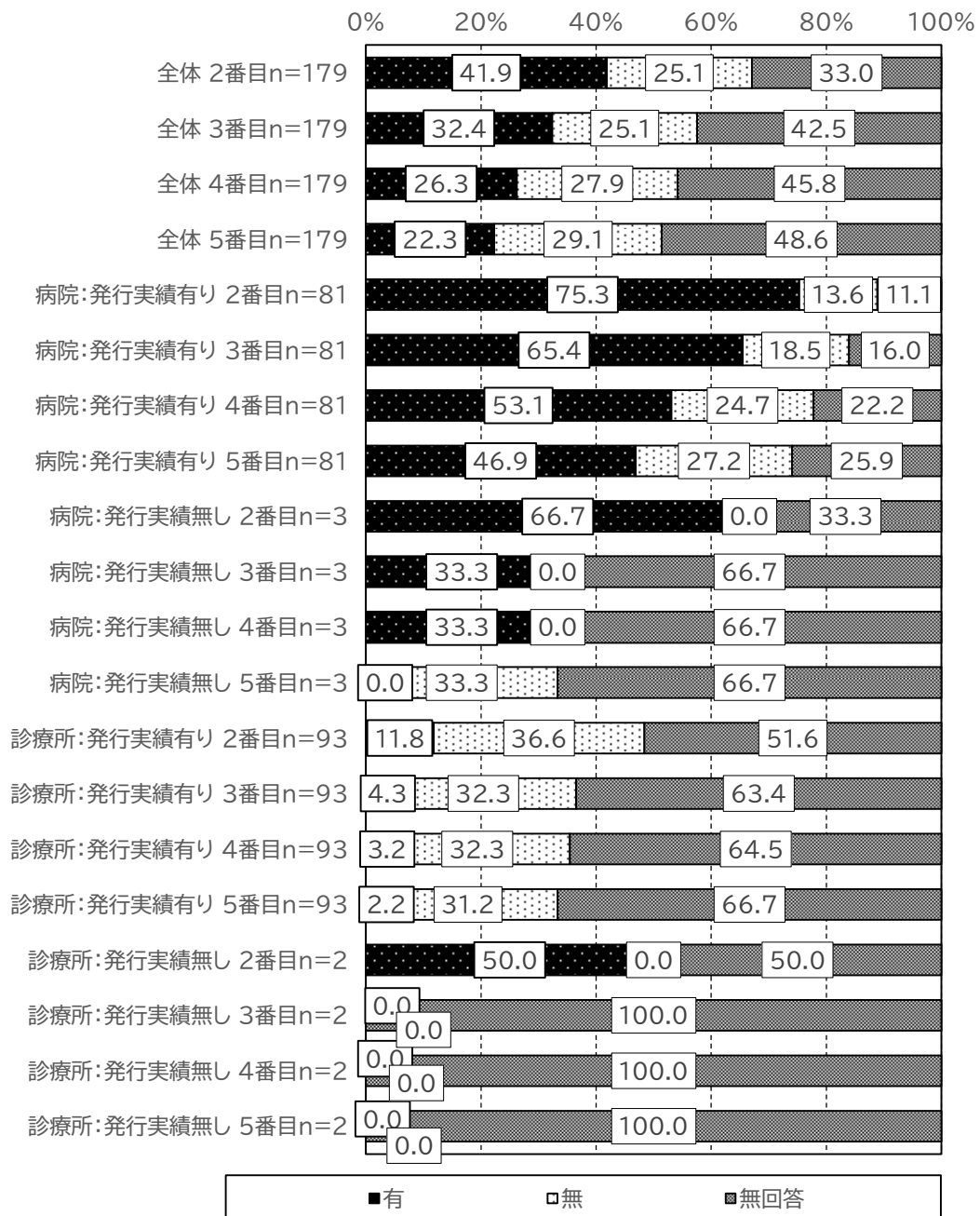
外来を担当する常勤医師のうちリフィル処方箋の発行枚数が多い順に1番目から5番目までの医師のリフィル処方箋発行枚数について施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設に確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では、1番目の医師は平均で54.7枚であった。同様にリフィル処方箋の発行実績の有る診療所において1番目の医師は平均で89.1枚であった。

【c. 全処方箋の発行枚数】

外来を担当する常勤医師のうちリフィル処方箋の発行枚数が多い順に1番目から5番目までの医師の全処方箋の発行枚数について施設全体で発行したリフィル処方箋の枚数がわかる施設に確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の

有る病院では、1番目の医師は平均で454.9枚であった。同様にリフィル処方箋の発行実績の有る診療所において1番目の医師は平均で2120.6枚であった。

図表 2-46 外来を担当する常勤医師のうち、リフィル処方箋の発行枚数が多い順に上から2番目～5番目の医師の有無
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



図表 2-47 院において外来を担当する常勤医師のうち、リフィル処方箋の発行枚数が多い順に上から1番目～5番目の医師のそれぞれのリフィル処方箋発行枚数（4～6月）
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）

（単位：枚）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	1番目	154	70.2	186.9	15.5
	2番目	67	31.4	90.7	11
	3番目	53	27.4	88.2	4
	4番目	42	29.4	92.9	4.5
	5番目	36	29.3	92.3	4
病院： 発行実績有り	1番目	72	54.7	120.7	17.5
	2番目	58	33.3	96.7	11.5
	3番目	49	29.4	91.5	5
	4番目	39	31.6	96.1	6
	5番目	35	30.1	93.6	4
病院： 発行実績無し	1番目	3	1.3	0.6	1
	2番目	2	1	0	1
	3番目	1	1	—	1
	4番目	1	1	—	1
	5番目	0	—	—	—
診療所： 発行実績有り	1番目	77	89.1	236.3	16
	2番目	7	24.6	33.7	11
	3番目	3	2	1	2
	4番目	2	1.5	0.7	1.5
	5番目	1	2	—	2
診療所： 発行実績無し	1番目	2	3	2.8	3
	2番目	0	—	—	—
	3番目	0	—	—	—
	4番目	0	—	—	—
	5番目	0	—	—	—

図表 2-48 院において外来を担当する常勤医師のうち、リフィル処方箋の発行枚数が多い順に上から2番目～5番目の医師のそれぞれの全処方箋発行枚数
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

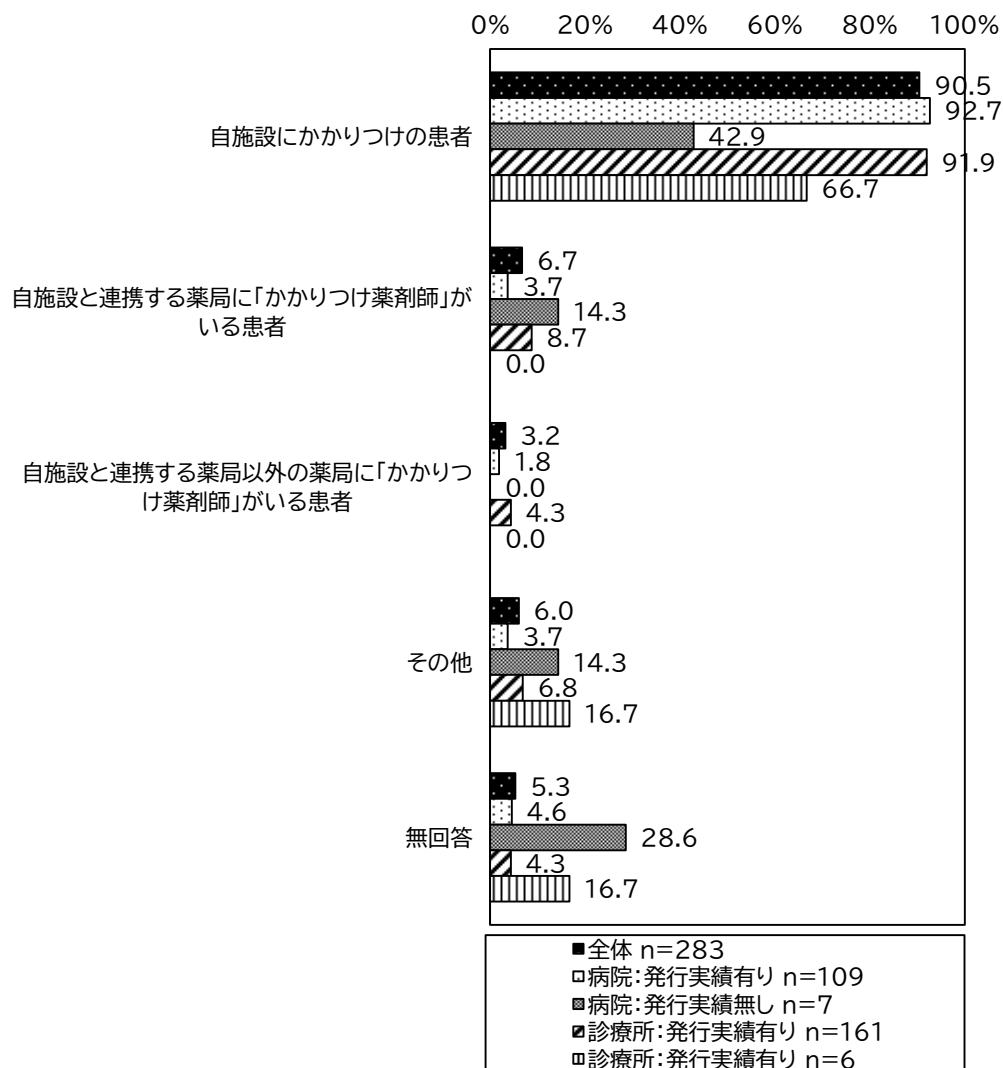
(単位：枚)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	1 番目	136	1239.3	1502.8	539
	2 番目	63	360.5	379.1	226
	3 番目	53	270.2	264.6	160
	4 番目	43	296.3	275	189
	5 番目	37	246.5	240.4	159
病院： 発行実績有り	1 番目	67	454.9	537.4	273
	2 番目	55	366.1	374.8	228
	3 番目	49	284.6	269.7	191
	4 番目	39	307.7	281.7	189
	5 番目	35	255.3	244.1	163
病院： 発行実績無し	1 番目	2	10	11.3	10
	2 番目	2	6.5	7.8	6.5
	3 番目	1	1	—	1
	4 番目	1	1	—	1
	5 番目	0	—	—	—
診療所： 発行実績有り	1 番目	65	2120.6	1716.1	1869
	2 番目	6	427.2	456.8	224.5
	3 番目	3	125.7	42.4	113
	4 番目	3	246.7	175	194
	5 番目	2	92.5	62.9	92.5
診療所： 発行実績無し	1 番目	2	101.5	142.1	101.5
	2 番目	0	—	—	—
	3 番目	0	—	—	—
	4 番目	0	—	—	—
	5 番目	0	—	—	—

④ どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか（院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象）

どのような患者にリフィル処方箋を発行しているかについて、院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行している施設に対して確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所の全てにおいて「自施設にかかりつけの患者」が最も多くそれぞれ 92.7%、42.9%、91.9%、66.7%であった。

図表 2-49 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか（複数回答）
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



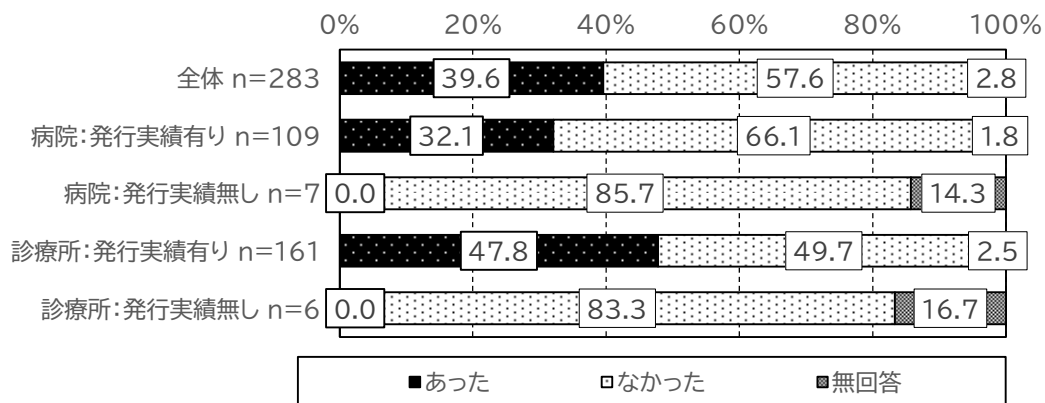
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・慢性疾患で安定している患者
- ・老健施設の入居者
- ・2か月以上にわたってしっかりと内服できている患者
- ・婦人科で低用量ピルを処方する患者 など

① リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無（院内でリフィル処方箋の発行したことのある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象）

リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無について、院内でリフィル処方箋を発行したことのある医師を知っているまたは自身で発行している施設を対象に確認した。その結果、リフィル処方箋に関する服薬情報提供書が「あった」と回答した割合は、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所でそれぞれ 32.1%、0.0%、47.8%、0.0%であった。

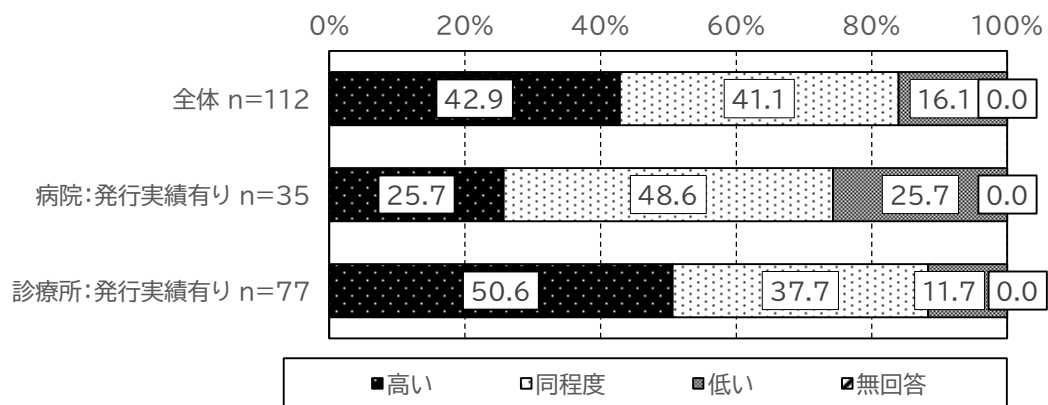
図表 2-50 リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無（院内でリフィル処方箋の発行したことのある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象）
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



②-5-a. 症状が安定している通常の処方箋と比較したリフィル処方箋のトレーシングレポート受領頻度
 (リフィル処方箋に関する服薬情報提供書があった施設のみ対象)

リフィル処方箋のトレーシングレポート受領頻度について、服薬情報提供書があったと回答した施設に対して確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の有る診療所において、症状が安定している通常の処方箋と比較して「高い」と回答した割合はそれぞれ 25.7%、50.6%、「同程度」はそれぞれ 48.6%、37.7%、「低い」はそれぞれ 25.7%、11.7%であった。

図表 2-51 症状が安定している通常の処方箋と比較したリフィル処方箋のトレーシングレポート受領頻度
 (リフィル処方箋に関する服薬情報提供書があった施設のみ対象)
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



②-5-b.リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報

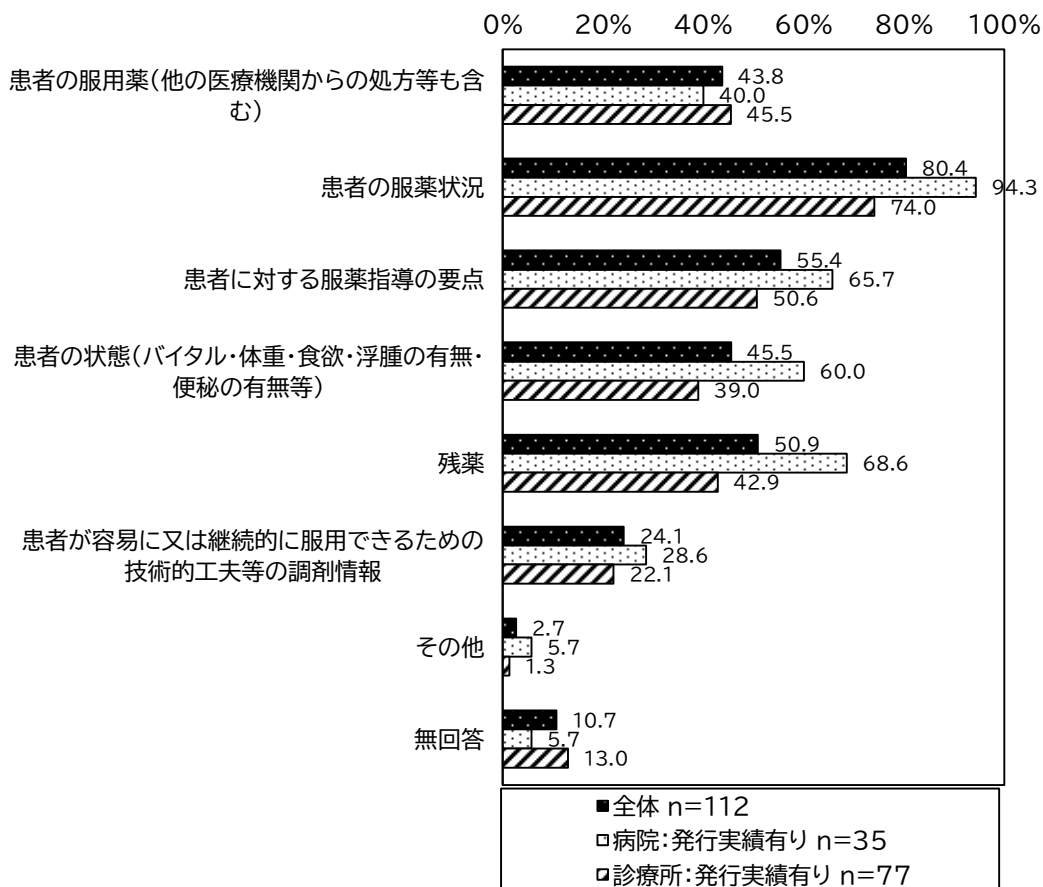
(服薬情報提供書があったと回答した施設のみ対象)

リフィル処方箋に関するトレーシングレポートで提供された情報について、服薬情報提供書があったと回答した施設に対して確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の有る診療所のいずれにおいても「患者の服薬状況」が最も多くそれぞれ 94.3%、74.0%であった。

図表 2-52 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報 (複数回答)

(服薬情報提供書があったと回答した施設のみ対象)

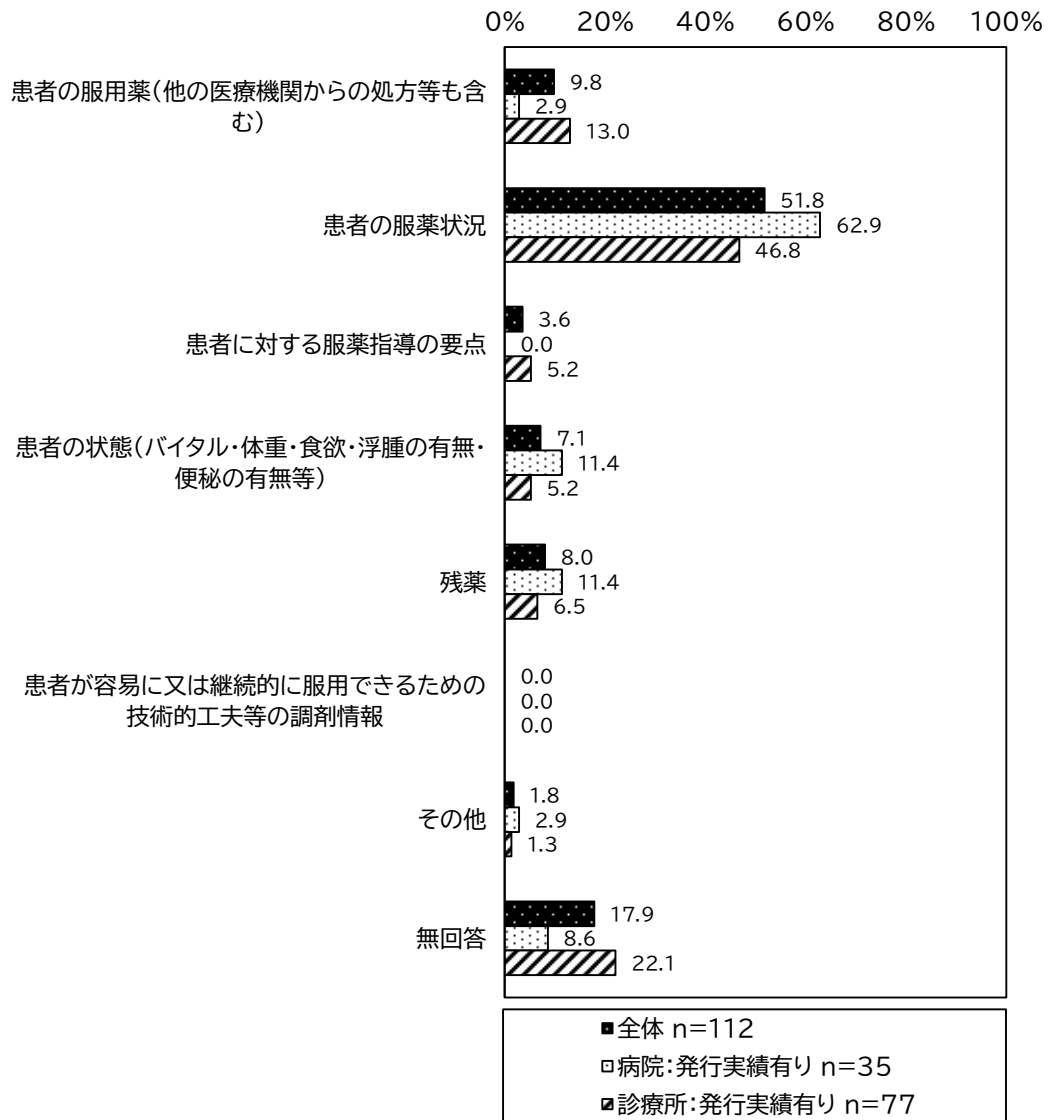
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



【その他 (自由記載) の具体的な内容】

- ・そもそもトレーシングレポートが来ない
- ・患者からの訴え

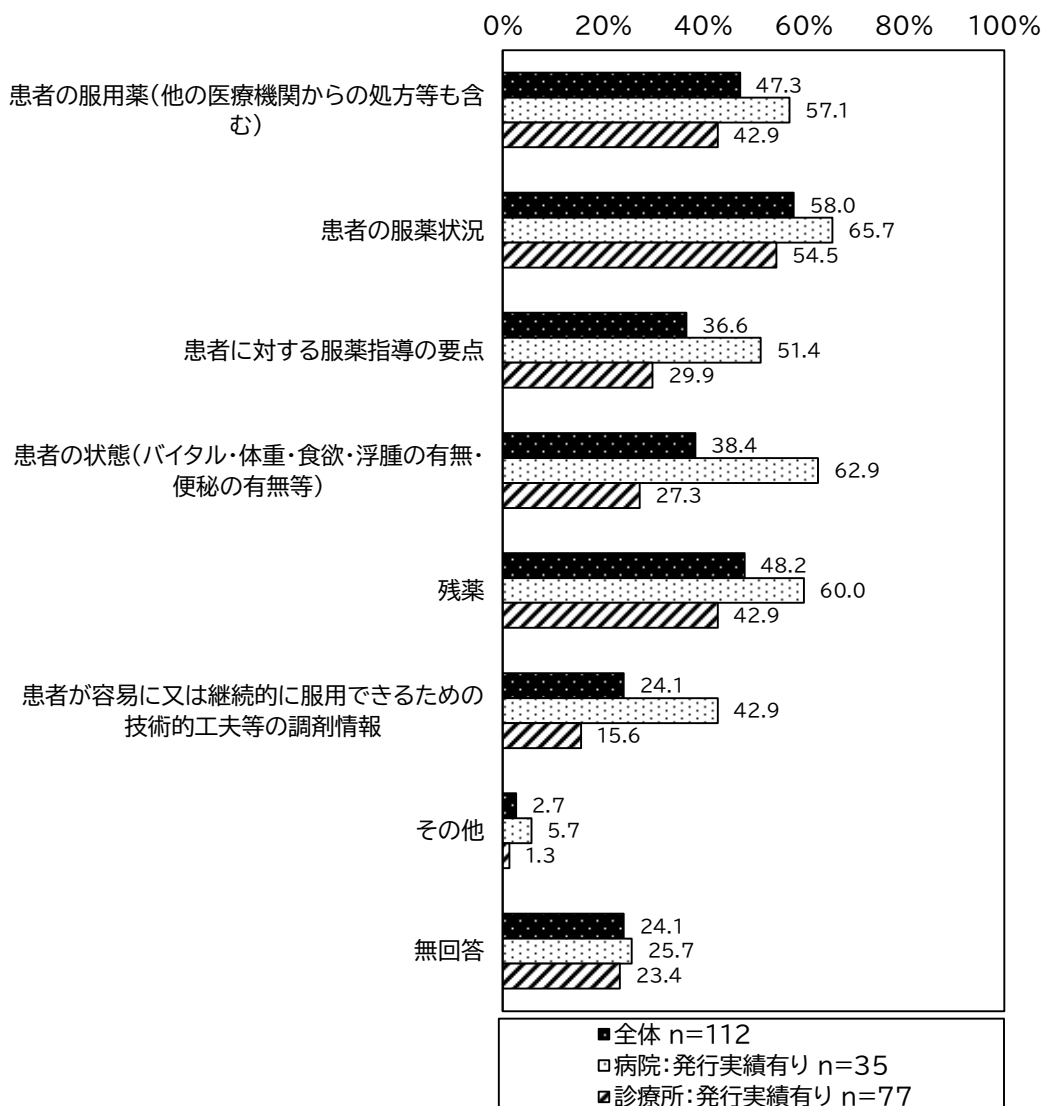
図表 2-53 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報
 (最も多いもの一つ) (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



②-5-c.リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報

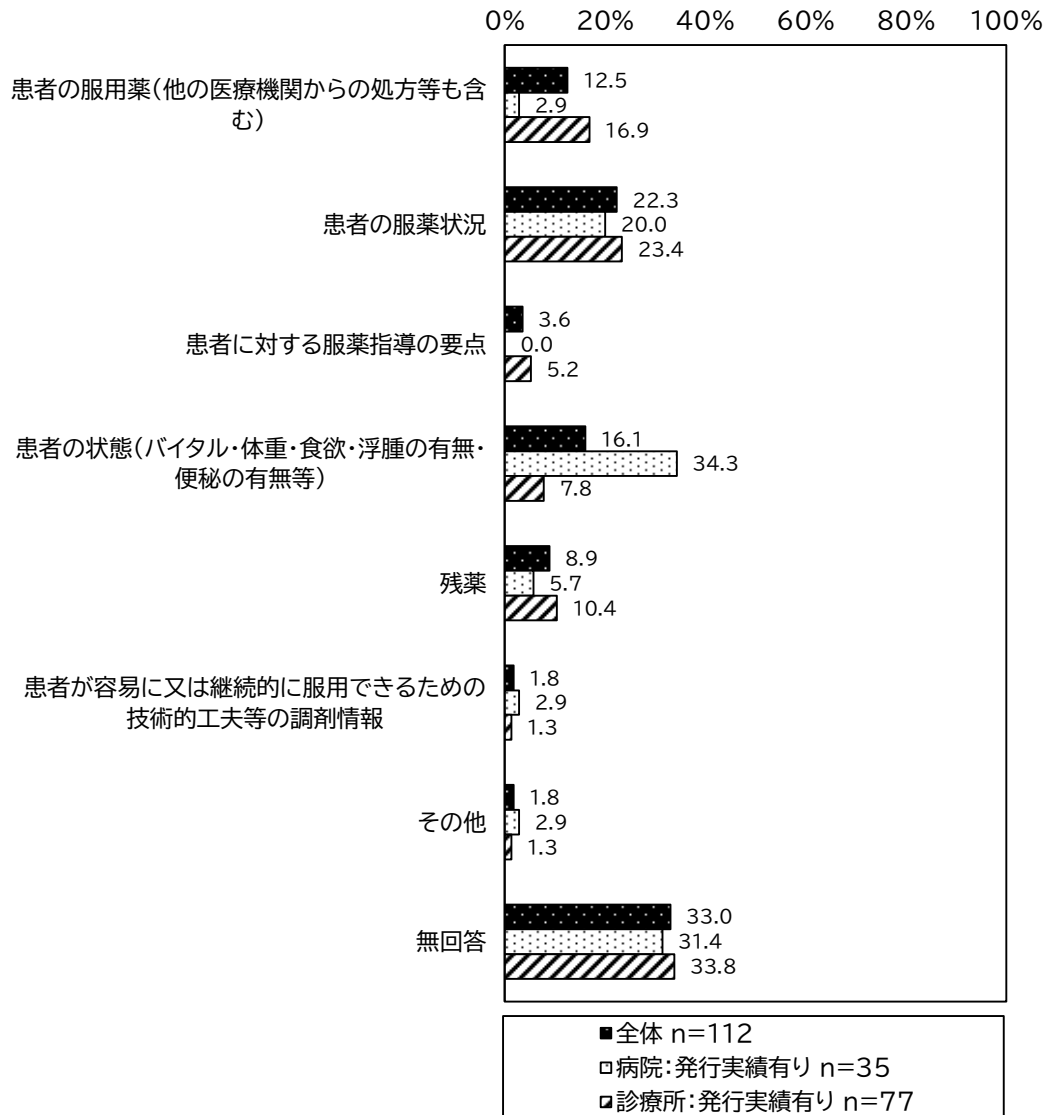
リフィル処方箋に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報について、服薬情報提供書があったと回答した施設に対して確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の有る診療所のいずれにおいても「患者の服薬状況」が最も多くそれぞれ65.7%、54.5%であった。2番目に多い選択肢は、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「患者の状態（バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等）」で62.9%、リフィル処方箋の発行実績の有る診療所では「患者の服用薬（他の医療機関からの処方等も含む）」と「残薬」で42.9%であった。

図表 2-54 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報（複数回答）
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】 ※提供された情報と共通
 ・そもそもトレーシングレポートが来ない
 ・患者からの訴え など

図表 2-55 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報
 (最重要のもの一つ) (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



② 薬剤師の受診勧奨を受け受診した患者数（院内でリフィル処方箋の発行したことのある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象）

薬剤師の受診勧奨を受け、受診した患者数について、院内でリフィル処方箋の発行したことのある医師を知っているまたは自身で発行している施設に確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所において、受診勧奨を受け受診した人数の平均は、それぞれ0.9人、1.1人、0.0人であった。

図表 2-56 薬剤師の受診勧奨を受け受診した患者数
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）

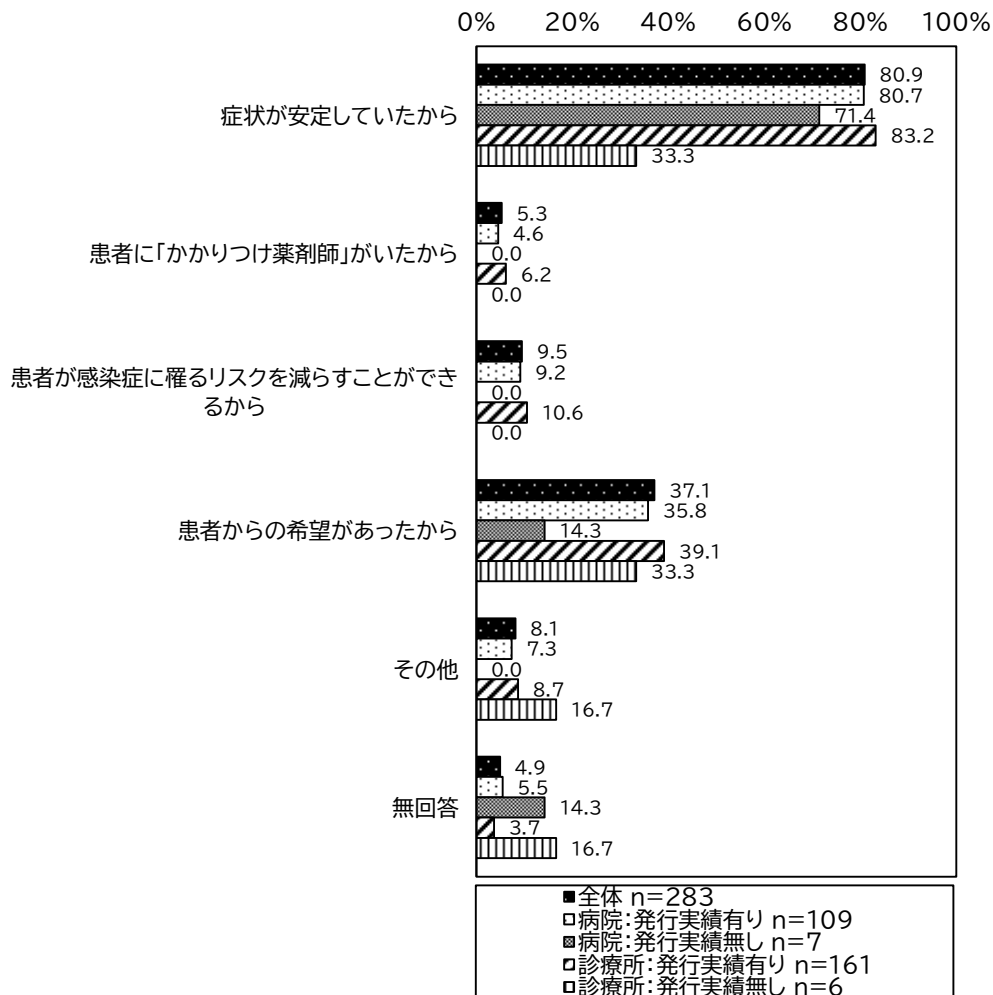
（単位：人）

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体		67	1.0	4.3	0.0
病院	発行実績有り	16	0.9	3.8	0.0
	発行実績無し	0	—	—	0.0
診療所	発行実績有り	49	1.1	4.5	0.0
	発行実績無し	2	0.0	0.0	0.0

③ リフィル処方箋を発行した理由（院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象）

リフィル処方箋を発行した理由については、院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行している施設に確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所のいずれにおいても「症状が安定していたから」が最も多くそれぞれ 80.7%、71.4%、83.2%、33.3%であった。発行実績の無い診療所については「患者からの希望があったから」も同じく 33.3%で最多であった。

図表 2-57 リフィル処方箋を発行した理由（複数回答）
（院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象）（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

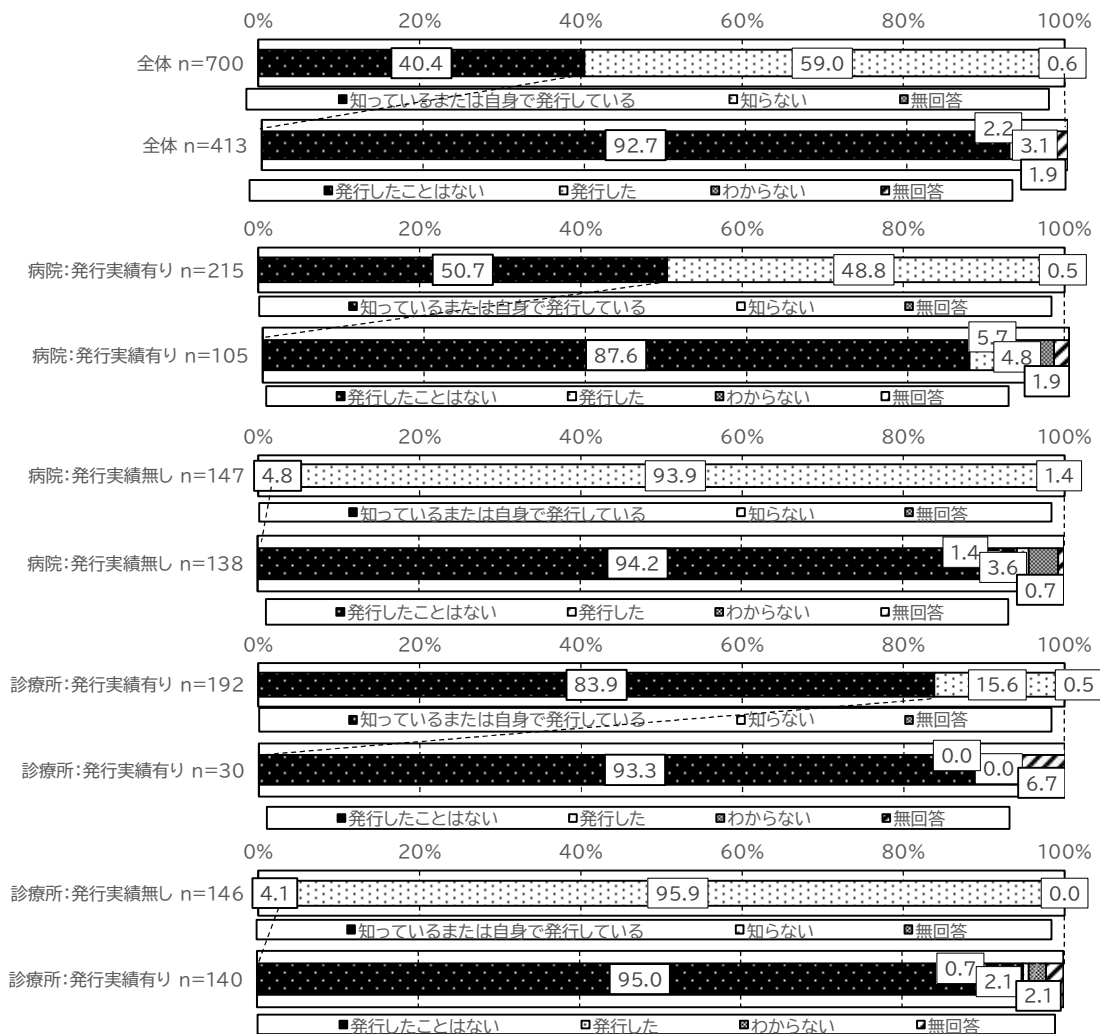
- ・患者本人の経済的な事情を勘案
- ・医療費削減の政策に協力するべきと考えたため
- ・受診頻度を抑制するため
- ・遠距離通院等の患者の事情を勘案

④ リフィル処方箋を発行したことはないか（院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知らない施設のみ対象）

施設にてリフィル処方箋を発行したことはないかについて、院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知らない施設に確認した。その結果、「発行したことはない」と回答した割合は、リフィル処方箋の発行実績の有る病院・発行実績の無い病院・発行実績の有る診療所・発行実績の無い診療所のそれぞれで87.6%、94.2%、93.3%、95.0%であった。

図表 2-58

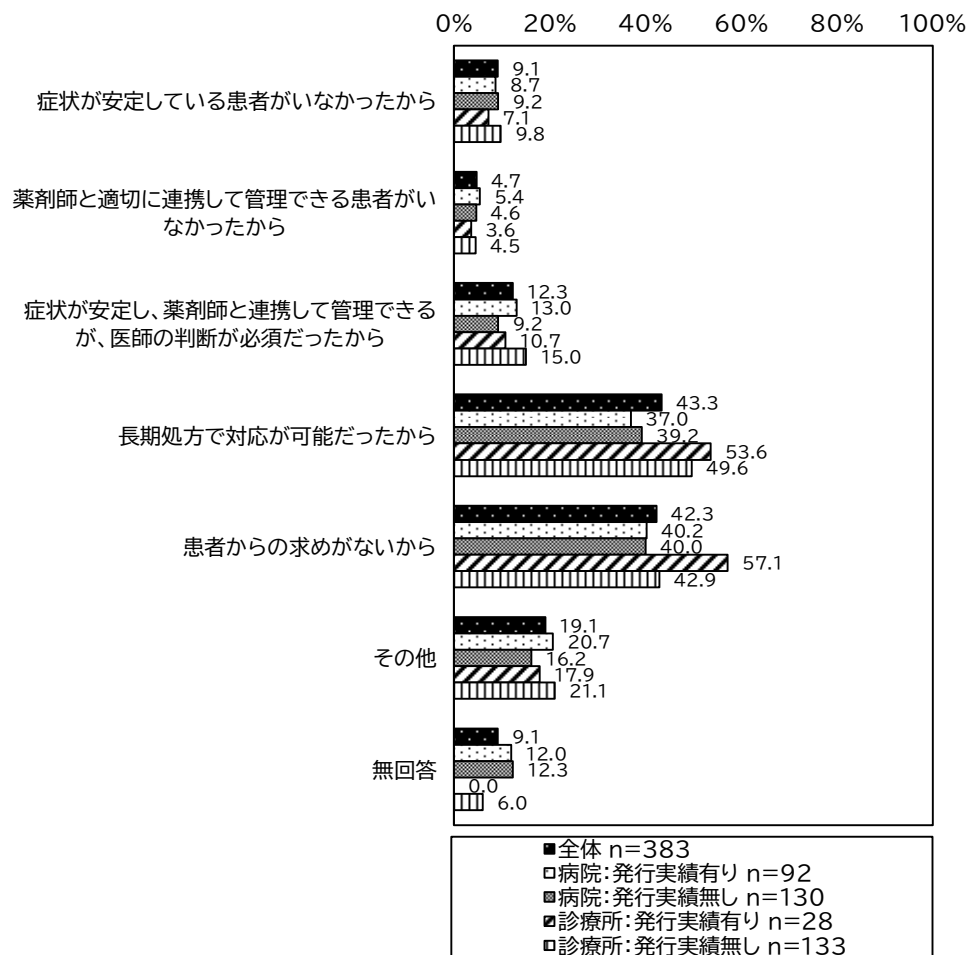
リフィル処方箋を発行したことがある医師を知っている、または自身で発行しているか(上段)
 リフィル処方箋を発行したことはないか(下段)
 (下段：院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知らない施設のみ対象)
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



④-1.発行したことが無い理由(リフィル処方箋を発行したことはない施設のみ対象)

リフィル処方箋を発行したことが無い理由について、院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知らない、かつ発行したことが無いと回答した施設を対象に確認した。その結果、リフィル処方箋の発行実績が有る病院・発行実績が無い病院では「患者からの求めがないから」が最も多くそれぞれ40.2%、40.0%であった。リフィル処方箋の発行実績が有る診療所では「患者からの求めがないから」が最も多く57.1%であった。リフィル処方箋の発行実績が無い診療所では「長期処方に対応可能だったから」が最も多く49.6%であった。

図表 2-59 リフィル処方箋を発行したことが無い理由（複数回答）
 （院内でリフィル処方箋の発行したことがある医師を知らない、
 かつ発行したことが無いとか回答した施設のみ対象）
 （病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

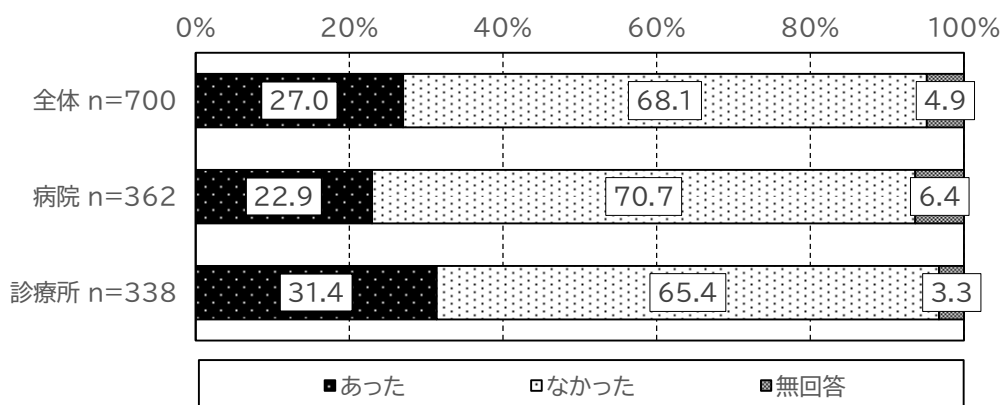
- ・対象外となる症状、医薬品（向精神薬等）であったため
- ・病院として運用を認めていないため
- ・院内処方であるため
- ・必要性を感じないため
- ・システムが対応していないため

(3) リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無

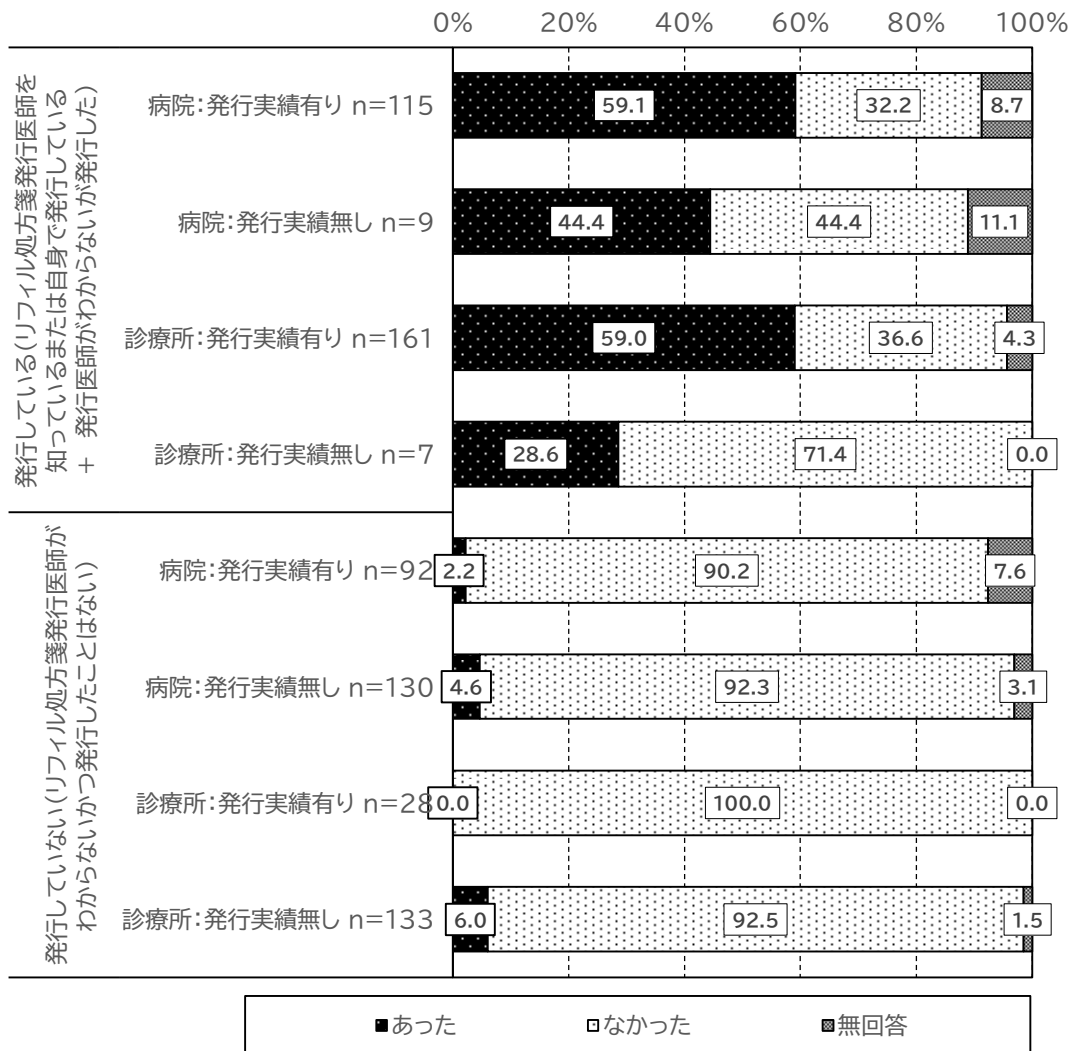
リフィル処方箋の発行についての患者からの希望の有無については、リフィル処方箋を発行していると調査票上で回答した（リフィル処方箋を発行した医師を知っているまたは自身で発行している、または発行医師がわからないが発行したと回答）施設のうち、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「あった」が59.1%「なかった」が32.2%、発行実績の無い病院では「あった」が44.4%「なかった」が44.4%、発行実績の有る診療所では「あった」が59.0%「なかった」が36.6%、発行実績の無い診療所では「あった」が28.6%「なかった」が71.4%であった。

リフィル処方箋を発行していないと調査票上で回答した（リフィル処方箋を発行した医師がわからないかつ発行したことはないと回答）施設のうち、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「あった」が2.2%「なかった」が90.2%、発行実績の無い病院では「あった」が4.6%「なかった」が92.3%、発行実績の有る診療所では「あった」が0.0%「なかった」が100.0%、発行実績の無い診療所では「あった」が6.0%「なかった」が92.5%であった。

図表 2-60 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(病院・診療所別)



図表 2-61 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別)

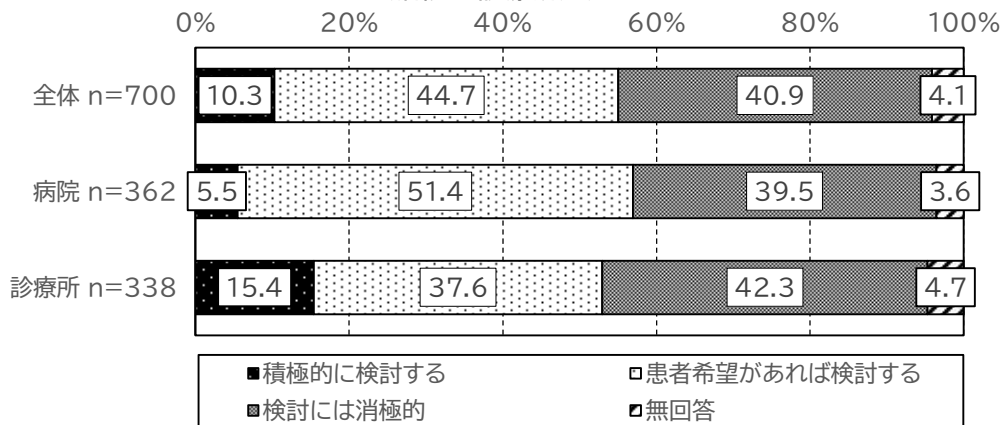


(4) リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し

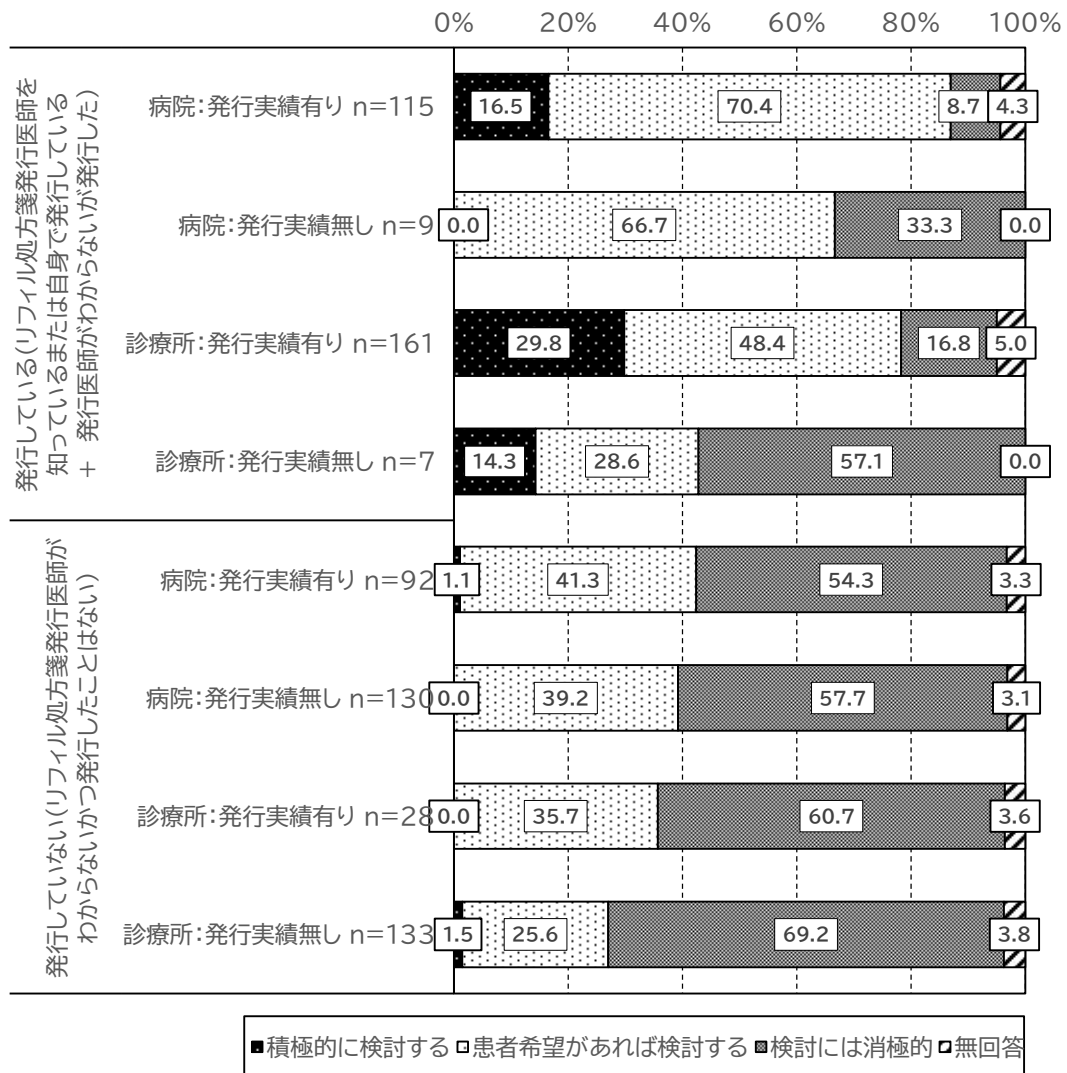
リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しに関しては、リフィル処方箋を発行していると調査票上で回答した（リフィル処方箋を発行した医師を知っているまたは自身で発行している、または発行医師がわからないが発行したと回答）施設のうち、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「積極的に検討する」が16.5%「検討には消極的」が8.7%、発行実績の無い病院では「積極的に検討する」が0.0%「検討には消極的」が33.3%、発行実績の有る診療所では「積極的に検討する」が29.8%「検討には消極的」が16.8%、発行実績の無い診療所では「積極的に検討する」が14.3%「検討には消極的」が57.1%であった。

リフィル処方箋を発行していないと調査票上で回答した（リフィル処方箋を発行した医師がわからないかつ発行したことはないと回答）施設のうち、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「積極的に検討する」が1.1%「検討には消極的」が54.3%、発行実績の無い病院では「積極的に検討する」が0.0%「検討には消極的」が57.7%、発行実績の有る診療所では「積極的に検討する」が0.0%「検討には消極的」が60.7%、発行実績の無い診療所では「積極的に検討する」が1.5%「検討には消極的」が69.2%であった。

図表 2-62 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(病院・診療所別)



図表 2-63 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
 (調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別・
 リフィル処方箋の発行実績の有無別)



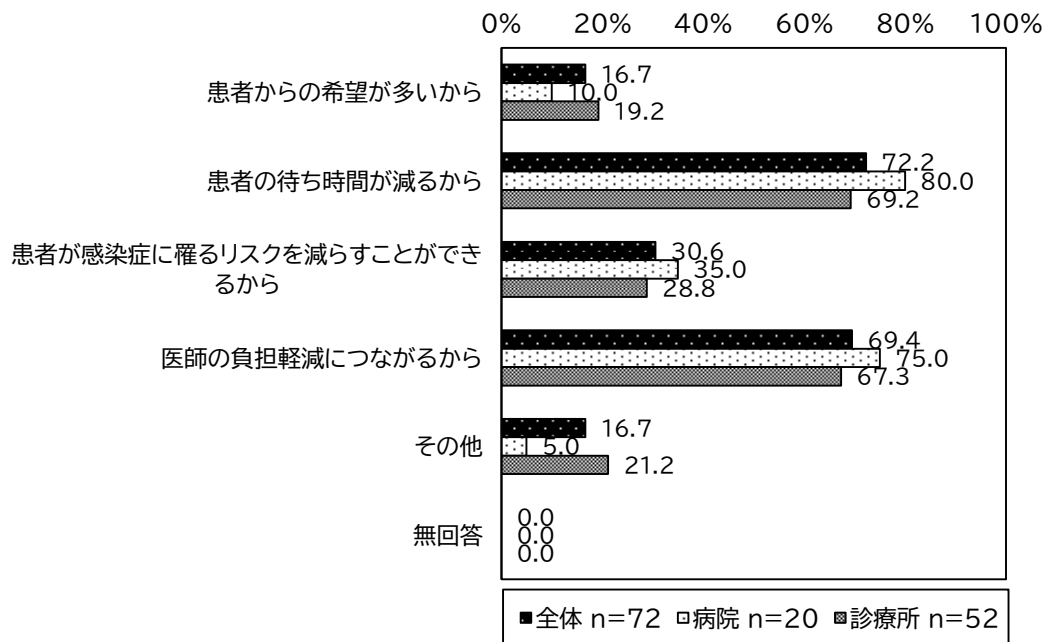
※上記の「発行実績」はNDB上でのリフィル処方箋の発行実績の有無を指します。

(5) 「1. 積極的に検討する」と回答した理由（リフィル処方箋の発行について積極的に検討する施設を対象）

積極的に検討すると回答した理由について、リフィル処方箋の発行について積極的に検討する施設を対象に確認した。その結果、リフィル処方箋を発行していると調査票上で回答した（リフィル処方箋を発行した医師を知っているまたは自身で発行している、または発行医師がわからないが発行したと回答）施設のうち、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「患者の待ち時間が減るから」が最も多く84.2%、発行実績の有る診療所では「患者の待ち時間が減るから」が最も多く72.9%であった。

リフィル処方箋を発行していないと調査票上で回答した（リフィル処方箋を発行した医師がわからないかつ発行したことはないと回答）施設のうち、リフィル処方箋の発行実績の無い診療所では「医師の負担軽減につながるから」が最も多く100.0%であった。

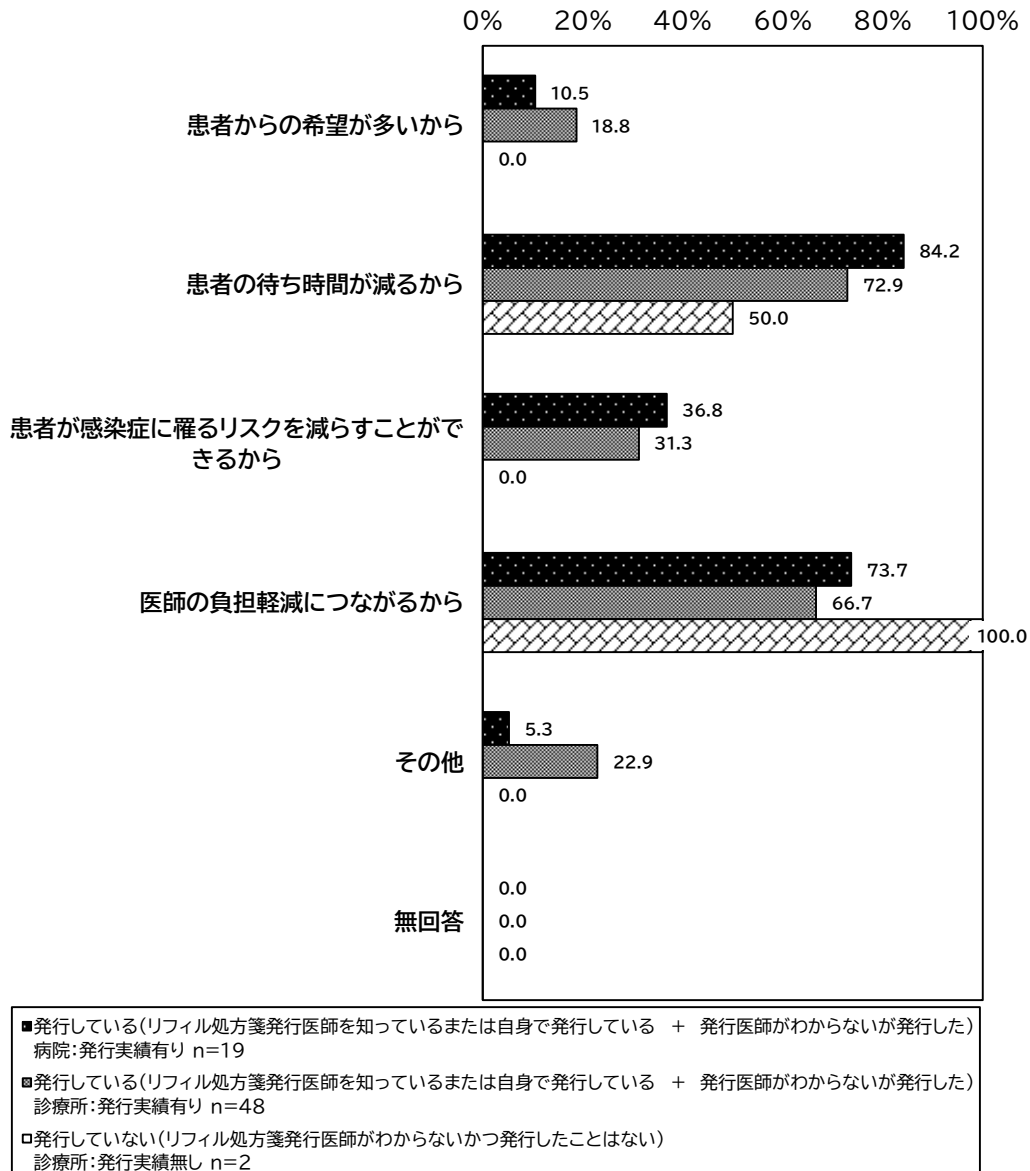
図表 2-64 「1. 積極的に検討する」と回答した理由（複数回答）
（リフィル処方箋の発行について積極的に検討する施設）
（病院・診療所別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・医療費の削減、医療資源の節約につながる
- ・服薬中断を避けることができる
- ・1か月等定期的に薬局に通ってくれることがアドヒアランス等の面で安心できる

表 2-65 「1. 積極的に検討する」と回答した理由（複数回答）
 （リフィル処方箋の発行について積極的に検討する施設）
 （調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別・
 リフィル処方箋の発行実績の有無別）



※上記の「発行実績」は NDB 上でのリフィル処方箋の発行実績の有無を指します。

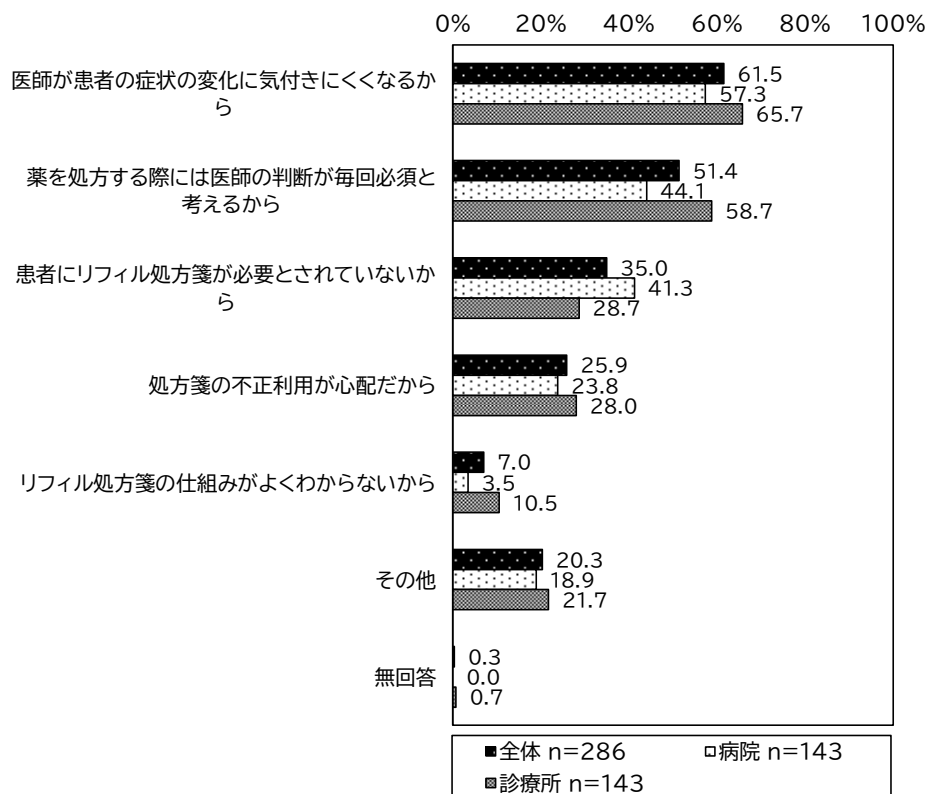
(6) 「3. 検討には消極的」と回答した理由(リフィル処方箋の発行について検討には消極的な施設を対象)

検討には消極的と回答した理由についてリフィル処方箋の発行について検討には消極的な施設に確認した。その結果、リフィル処方箋を発行していると調査票上で回答した(リフィル処方箋を発行した医師を知っているまたは自身で発行している、または発行医師が

わからないが発行したと回答) 施設のうち、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く 70.0%、発行実績の無い病院では「患者にリフィル処方箋が必要とされていないから」が最も多く 66.7%、発行実績の有る診療所では「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く 74.1%、発行実績の無い診療所では「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く 100.0%であった。

リフィル処方箋を発行していないと調査票上で回答した(リフィル処方箋を発行した医師がわからないかつ発行したことはないと回答) 施設のうち、リフィル処方箋の発行実績有る病院では「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く 58.0%、発行実績無い病院では「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く 57.3%、発行実績有る診療所では「患者にリフィル処方箋が必要とされていないから」が最も多く 82.4%、発行実績無い診療所では「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く 64.1%であった。

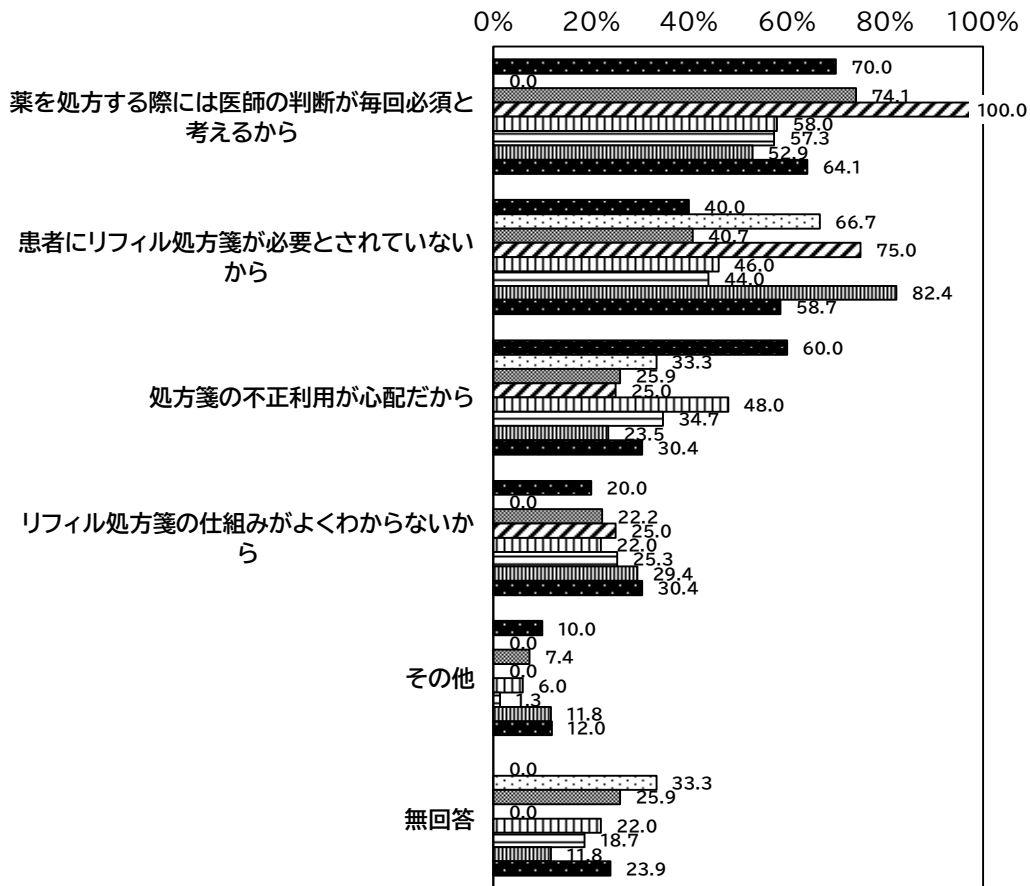
図表 2-66 「3. 検討には消極的」と回答した理由(複数回答)
(リフィル処方箋の発行について検討には消極的な施設を対象)
(病院・診療所別)



【その他(自由記載)の具体的な内容】

- ・長期処方代替可能だから
- ・医療機関側にメリットがないから
- ・対象外となる症状、医薬品(向精神薬等)がほとんどだから
- ・院内処方が基本であるから
- ・院内スタッフが制度を理解していない、理解が難しいから
- ・患者側が制度を理解していない
- ・急性期医療を主体とする施設だから
- ・症状が安定した患者は、他院への逆紹介となるから
- ・病院として発行しないと決めたため

図表 2-67 「3. 検討には消極的」と回答した理由（複数回答）
 （リフィル処方箋の発行について検討には消極的な施設を対象）
 （調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別・
 リフィル処方箋の発行実績の有無別）



■発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 病院:発行実績有り n=10
 □発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 病院:発行実績無し n=3
 ■発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 診療所:発行実績有り n=27
 □発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 診療所:発行実績無し n=4
 □発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 病院:発行実績有り n=50
 □発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 病院:発行実績無し n=75
 □発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 診療所:発行実績有り n=17
 ■発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 診療所:発行実績無し n=92

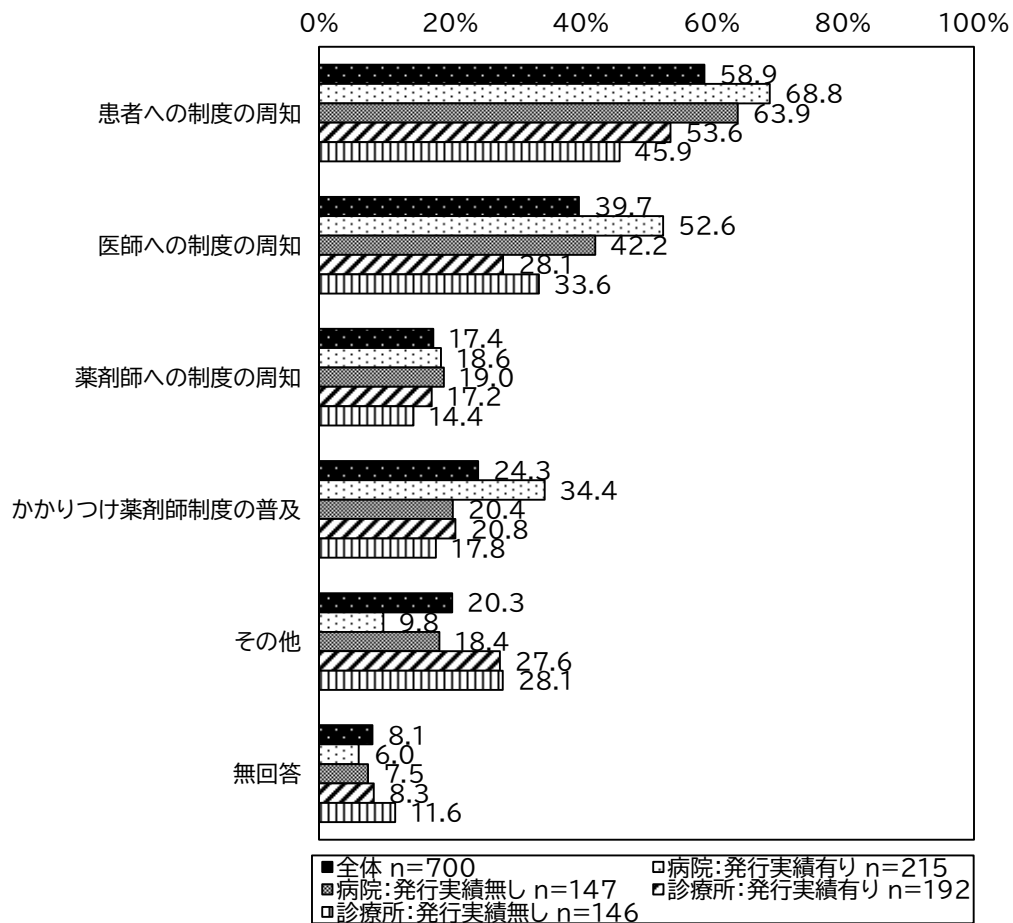
※上記の「発行実績」はNDB上でのリフィル処方箋の発行実績の有無を指します。

(7) このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること

リフィル処方箋の課題と考えられることについては、リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「患者への制度の周知」が最も多く68.8%、次いで「医師への制度の周知」が多く52.6%であった。発行実績の無い病院でも「患者への制度の周知」が最も多く63.9%、次いで「医師への制度の周知」が多く42.2%であった。

リフィル処方箋の発行実績の有る診療所では、「患者への制度の周知」が最も多く53.6%次いで「医師への制度の周知」が多く28.1%であった。発行実績の無い診療所では「患者への制度の周知」が最も多く45.9%次いで「医師への制度の周知」が多く33.6%であった。

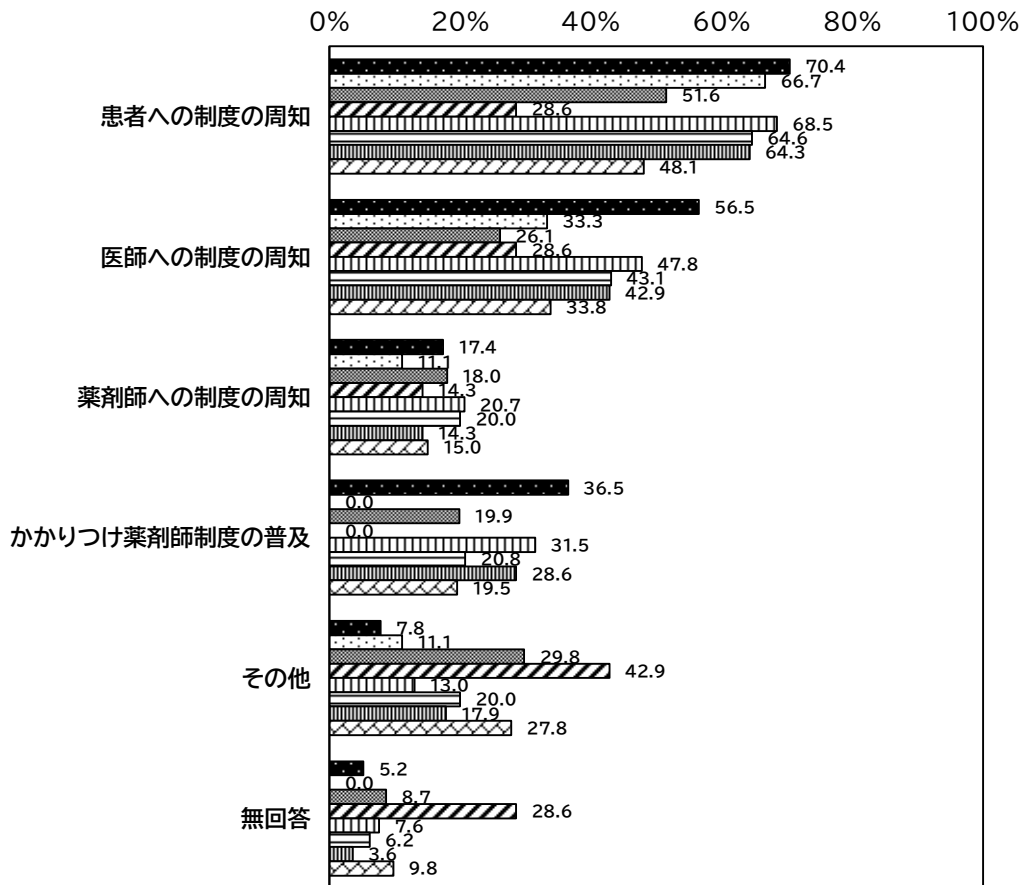
図表 2-68 リフィル処方箋の課題と考えられること（複数回答）
（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・ 90日処方等との差の意義付け
- ・ オーダーリングシステムの改変等のシステム対応
- ・ 制度に関する報道
- ・ リフィル処方箋で処方したこと、調剤したことをスムーズに病薬で共有する仕組みの構築
- ・ 責任は医師へという状況でも発行したほうがよいと考えられるインセンティブ設計
- ・ 医療機関としては減収、薬局としては手間増加というデメリットを超えるインセンティブ設計
- ・ リフィル処方箋制度は不要 など
- ・ 患者が処方箋を紛失した際の対応
- ・ 患者の症状変化があった際のリスク管理
- ・ 日数制限の緩和

図表 2-69 リフィル処方箋の課題と考えられること（複数回答）
 （調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別・
 リフィル処方箋の発行実績の有無別）



■発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 病院:発行実績有り n=115
 □発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 病院:発行実績無し n=9
 ■発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 診療所:発行実績有り n=161
 ■発行している(リフィル処方箋発行医師を知っているまたは自身で発行している + 発行医師がわからないが発行した) 診療所:発行実績無し n=7
 □発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 病院:発行実績有り n=92
 □発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 病院:発行実績無し n=130
 ■発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 診療所:発行実績有り n=28
 □発行していない(リフィル処方箋発行医師がわからないかつ発行したことはない) 診療所:発行実績無し n=133

※上記の「発行実績」はNDB上でのリフィル処方箋の発行実績の有無を指します。

3. 医師調査

【調査対象等】

○医師調査

調査対象：病院・診療所票の調査対象となった施設に勤める医師のうち、外来を担当する医師を、各施設から2名（リフィル処方箋の発行経験のある医師を特定できている場合は発行したことがある医師と発行したことがない医師を1名ずつ、特定できていない場合は無作為に2名を各施設が抽出し、回答）

回答数：528名

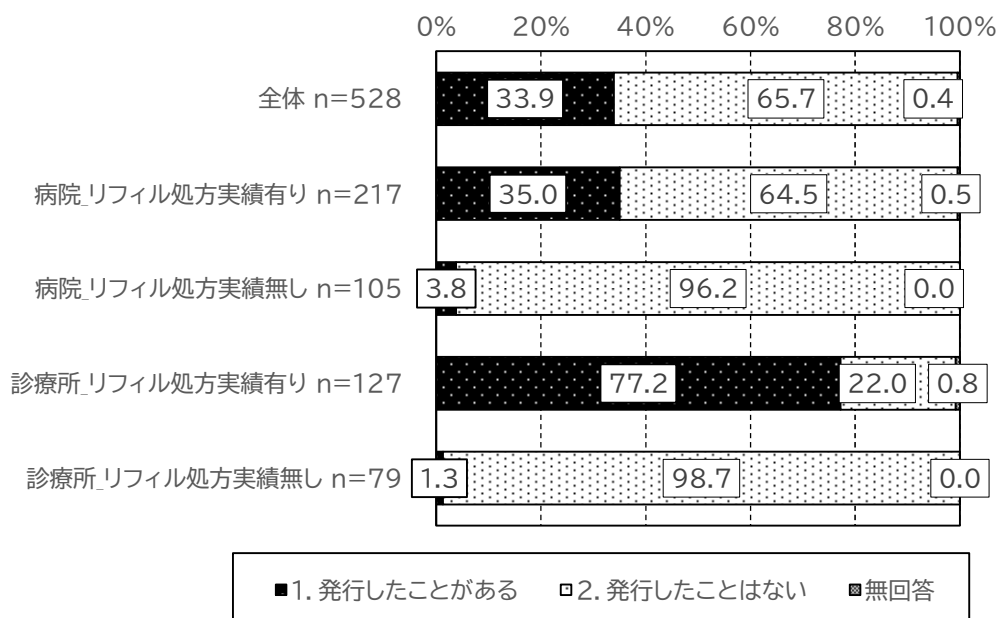
回答者：医師

リフィル処方箋の発行実績（NDB上）の有無と、回答上の発行経験有無について

グラフ内の「病院：リフィル処方実績有り」「病院：リフィル処方実績無し」「診療所：リフィル処方実績有り」「診療所：リフィル処方実績無し」は、医師の施設単位でのNDB上の発行実績を指す。一方、「発行したことがある」「発行したことはない」は医師個人のリフィル処方箋をした経験の有無についての回答を指す。

リフィル処方箋の発行有無について、リフィル処方箋の発行実績の有る病院の医師は「発行したことがある」が35.0%、「発行したことはない」が64.5%、リフィル処方箋の発行実績の無い病院の医師は「発行したことがある」が3.8%、「発行したことはない」が96.2%であった。

リフィル処方箋の発行実績の有る病院の医師は「発行したことがある」が77.2%、「発行したことはない」が22.0%、リフィル処方箋の発行実績の無い病院の医師は「発行したことがある」が1.3%、「発行したことはない」が98.7%であった。

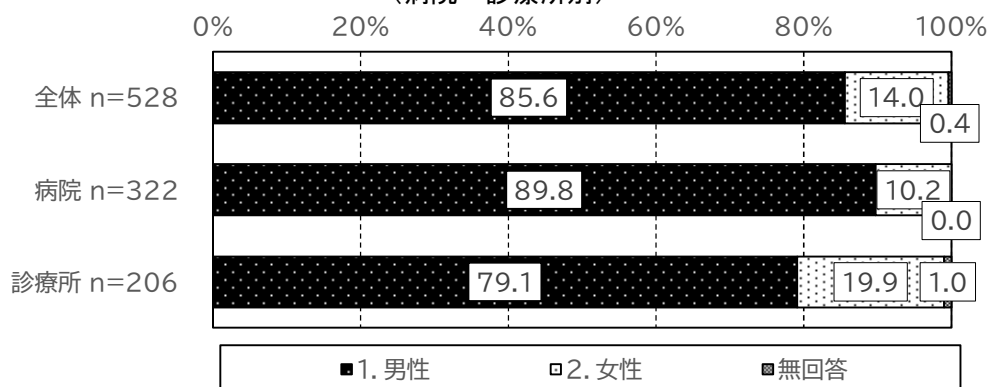


1) 回答者ご自身について

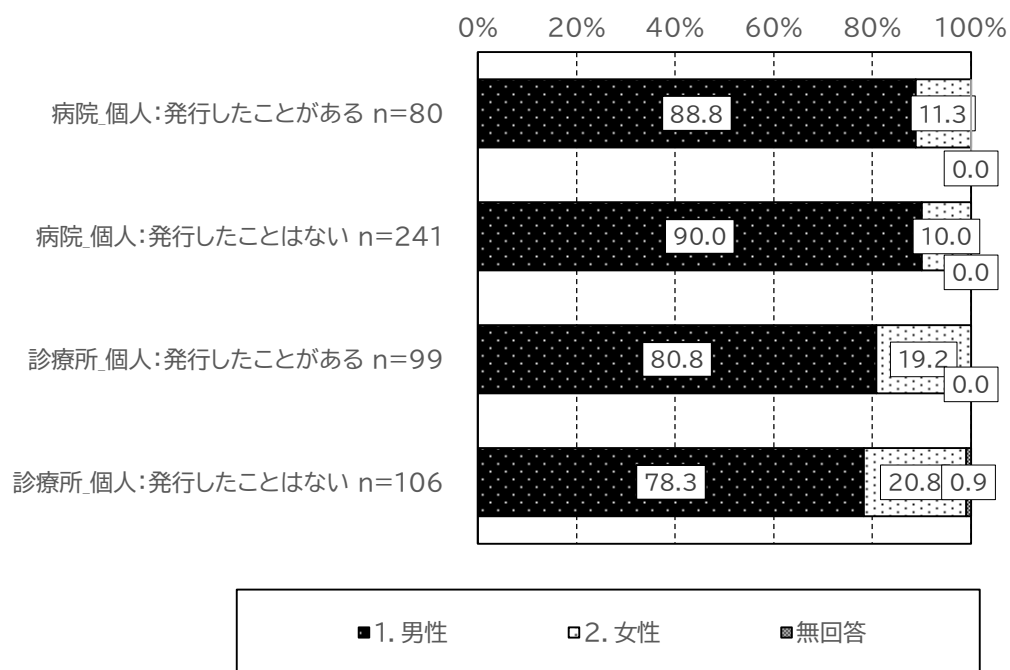
(1) 性別

性別については、病院では「男性」が89.8%、「女性」が10.2%、診療所では「男性」が79.1%、「女性」が19.9%であった。

図表 3-1 性別
(病院・診療所別)



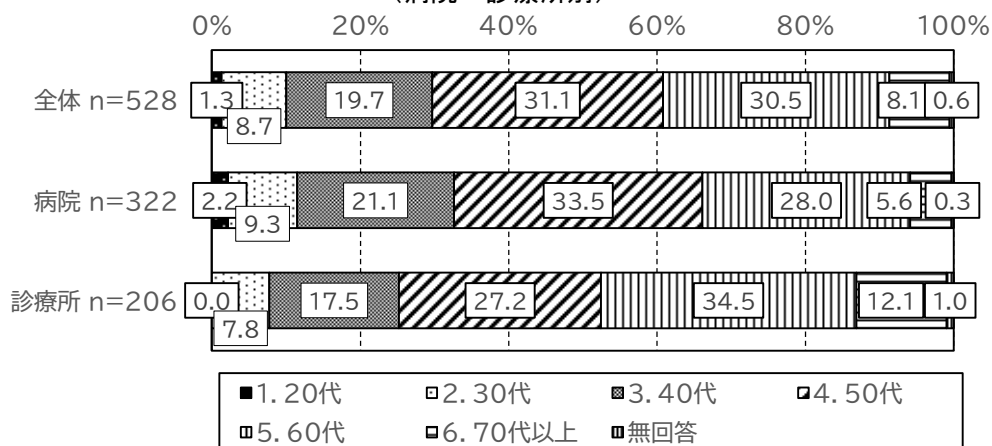
図表 3-2 性別
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



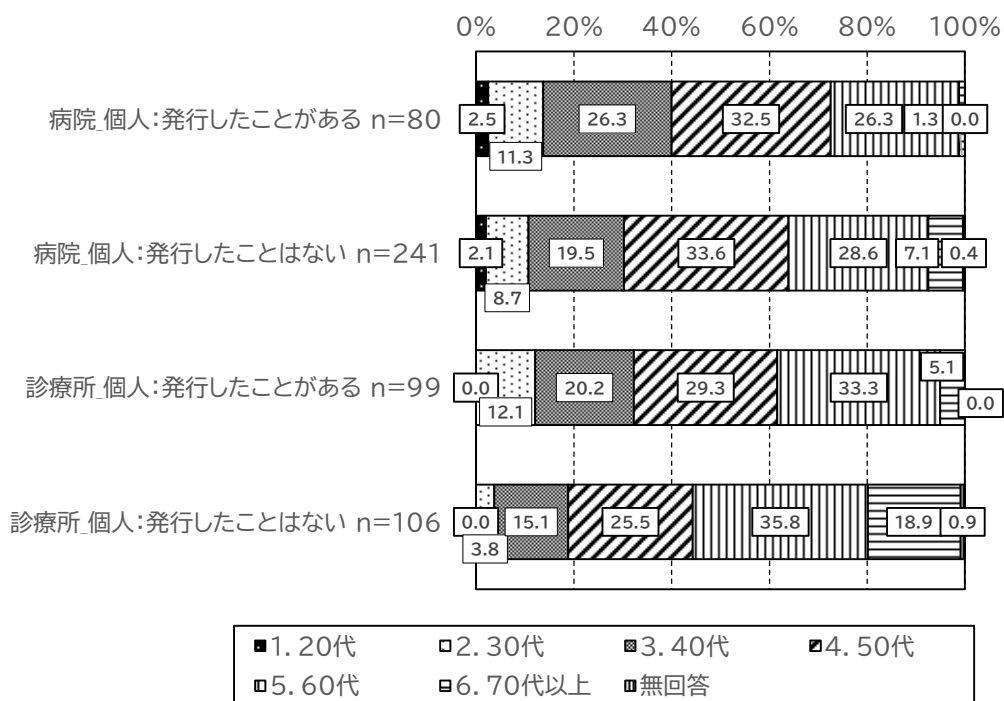
(2) 年代

年代については、病院では「50代」が最も多く33.5%、次いで「60代」が多く28.0%、診療所では「60代」が最も多く34.5%、次いで「50代」多く27.2%であった。

図表 3-3 年代
(病院・診療所別)

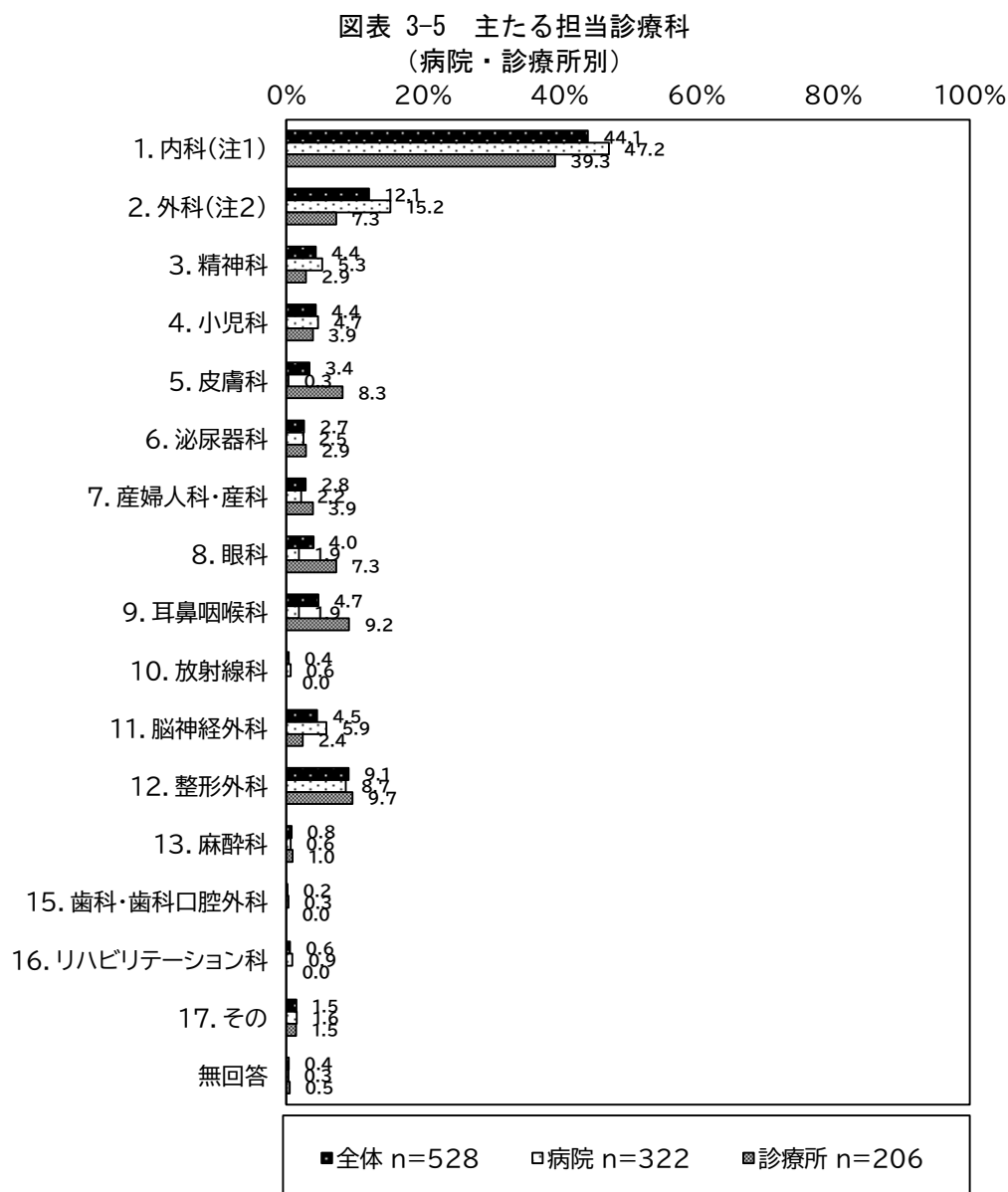


図表 3-4 年代
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)

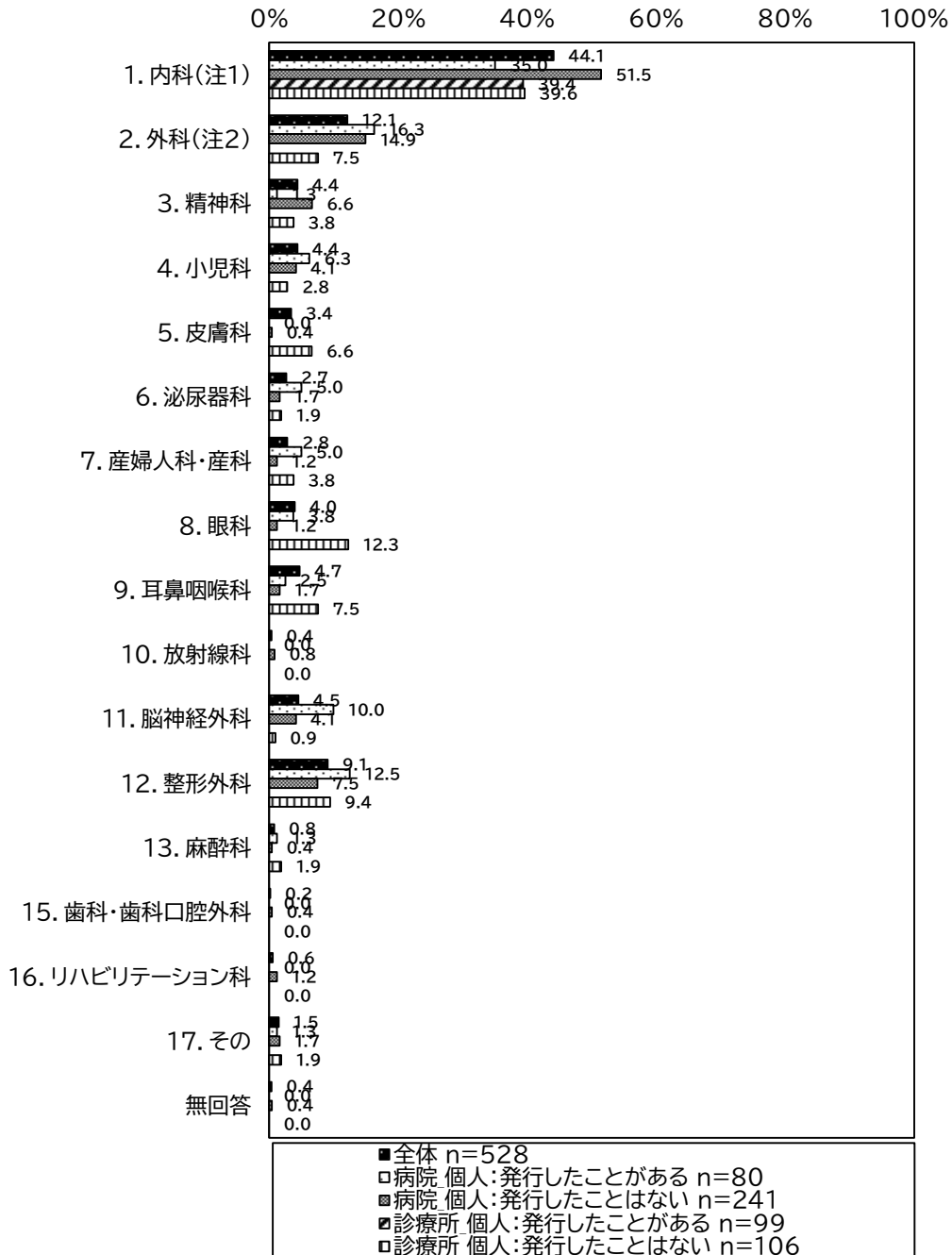


(3) 主たる担当診療科

主たる担当診療科については、病院の場合は「内科」が最も多く47.2%、次いで「外科」が多く15.2%であった。診療所の場合は「内科」が最も多く39.3%、次いで「整形外科」が多く9.7%であった。



図表 3-6 主たる担当診療科
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



(4) 外来診察患者数

外来診察患者数については、以下の通り。

図表 3-7 外来診察患者数
(病院・診療所別)

(単位：人)

施設種別	回答 医師数	平均値	標準偏差	中央値
全体	425	1,820.8	1,918.6	969.0
病院	257	1,049.9	1,477.1	550.0
診療所	168	3,000.2	1,920.3	2,829.5

図表 3-8 外来診察患者数
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)

(単位：人)

施設種別	医師個人のリフィル 発行有無	回答 医師数	平均値	標準偏差	中央値
病院	発行したことがある	65	1,218.0	1,632.5	715.0
	発行したことはない	191	996.4	1,423.7	504.0
診療所	発行したことがある	84	3,217.1	1,828.1	3,000.0
	発行したことはない	84	2,783.2	1,995.7	2,400.0

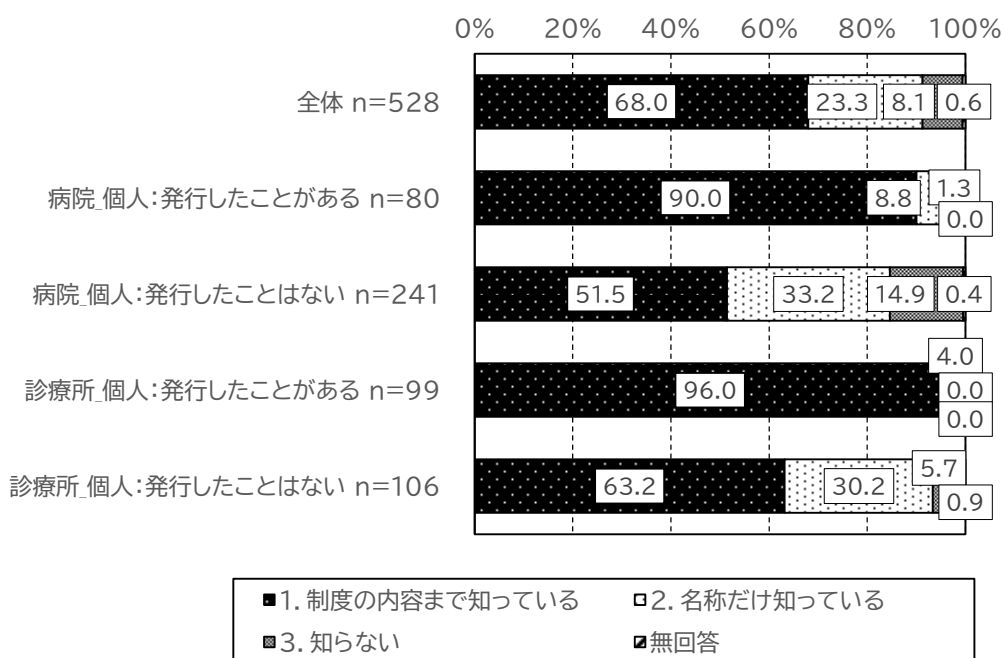
2) リフィル処方箋について

(1) リフィル処方箋の制度の認知

リフィル処方箋の制度の認知については、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合「制度の内容を知っている」が90.0%、「名称だけ知っている」が8.8%、「知らない」が1.3%、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は「制度の内容を知っている」が51.5%、「名称だけ知っている」が33.2%、「知らない」が14.9%であった。

診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は「制度の内容を知っている」が96.0%、「名称だけ知っている」が4.0%、「知らない」が0.0%、診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は「制度の内容を知っている」が63.2%、「名称だけ知っている」が30.2%、「知らない」が5.7%であった。

図表 3-9 リフィル処方箋の制度の認知
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)

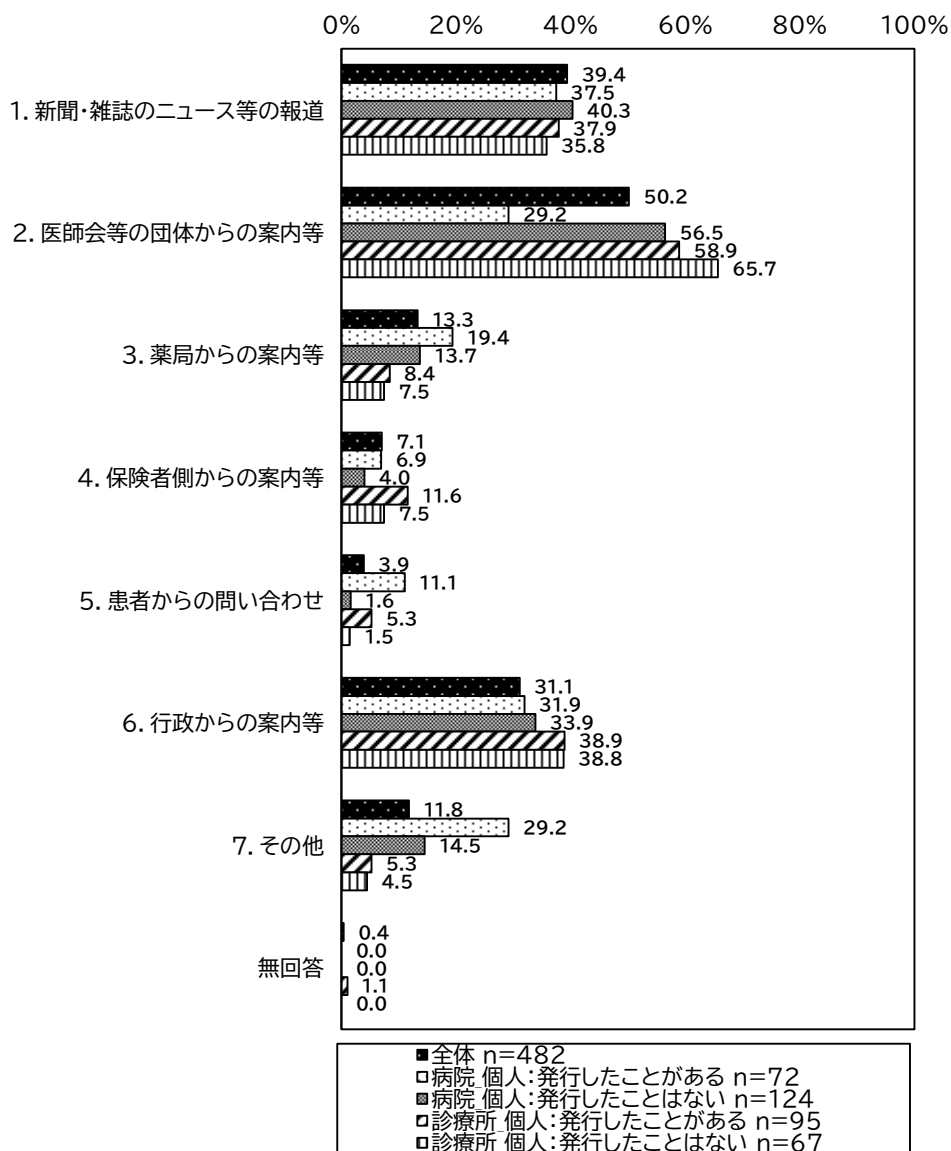


① リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ（リフィル処方箋の制度を「制度の内容まで知っている」または「名称だけ知っている」医師が対象）

リフィル処方箋の制度を知ったきっかけについて、リフィル処方箋の制度を「制度の内容まで知っている」または「名称だけ知っている」医師を対象に確認した。その結果、病院の医師でリフィル処方箋を発行したことがある場合は「新聞・雑誌のニュース等の報道」が最も多く37.5%、病院の医師でリフィル処方箋を発行したことがない場合は「医師会等の団体からの案内等」が最も多く56.5%であった。

診療所の医師でリフィル処方箋を発行したことがある場合は「医師会等の団体からの案内等」が最も多く 58.9%、診療所の医師でリフィル処方箋を発行したことがない場合は「医師会等の団体からの案内等」が最も多く 65.7%であった。

図表 3-10 リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ（複数回答）
 （リフィル処方箋の制度を「制度の内容まで知っている」または「名称だけ知っている」医師）
 （病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

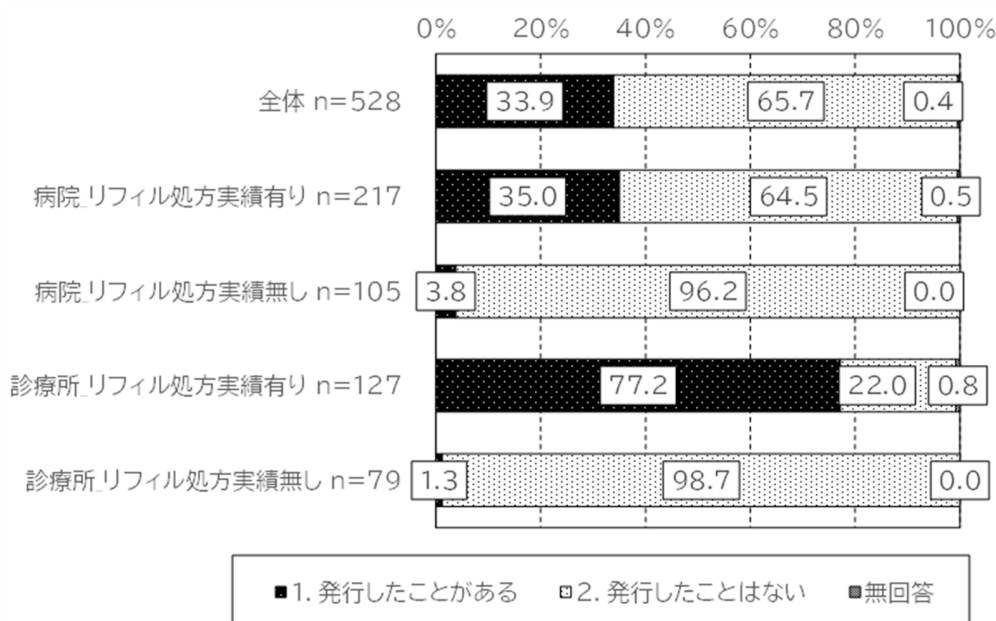
- ・ 薬局からの案内
- ・ インターネットからの情報
- ・ 院内通知、院内研修会
- ・ 診療報酬改定の説明資料 など

(2) リフィル処方箋の発行有無

リフィル処方箋の発行有無について、リフィル処方箋の発行実績の有る病院の医師は「発行したことがある」が35.0%、「発行したことはない」が64.5%、リフィル処方箋の発行実績の無い病院の医師は「発行したことがある」が3.8%、「発行したことはない」が96.2%であった。

リフィル処方箋の発行実績の有る病院の医師は「発行したことがある」が77.2%、「発行したことはない」が22.0%、リフィル処方箋の発行実績の無い病院の医師は「発行したことがある」が1.3%、「発行したことはない」が98.7%であった。

図表 3-11 リフィル処方箋の発行有無
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)

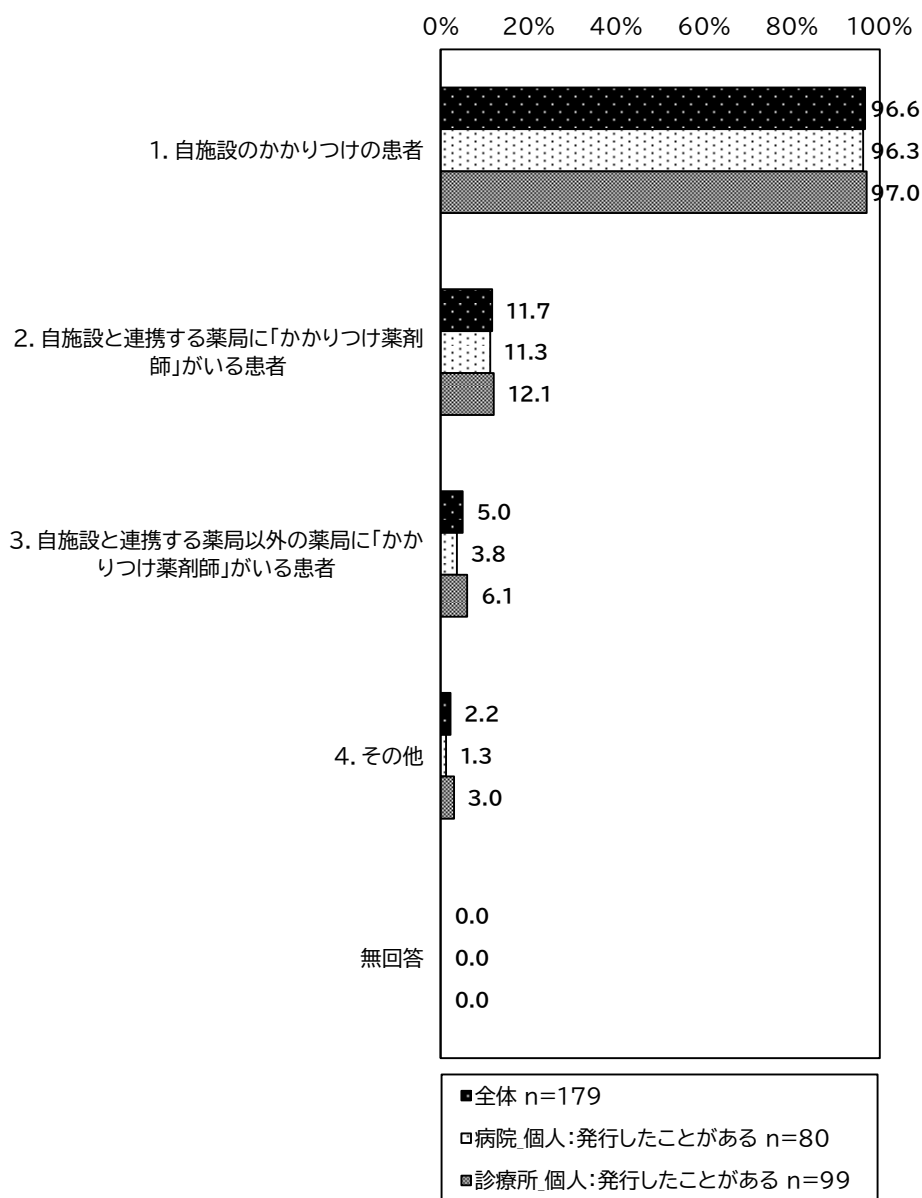


※ 施設単位でのリフィル処方箋の発行実績の有無は、令和4年10～12月の実績にもとづいており、調査の回答時点とは異なる。

(3) どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか (リフィル処方箋を発行したことがある医師が対象)

どのような患者にリフィル処方箋を発行しているかについて、リフィル処方箋を発行したことがある医師を対象に確認した。その結果、病院の医師の場合も診療所の医師の場合も「自施設のかかりつけの患者」が最も多く、それぞれ96.3%、97.0%であった。

図表 3-12 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか（複数回答）
 （リフィル処方箋を発行したことがある医師）
 （病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）

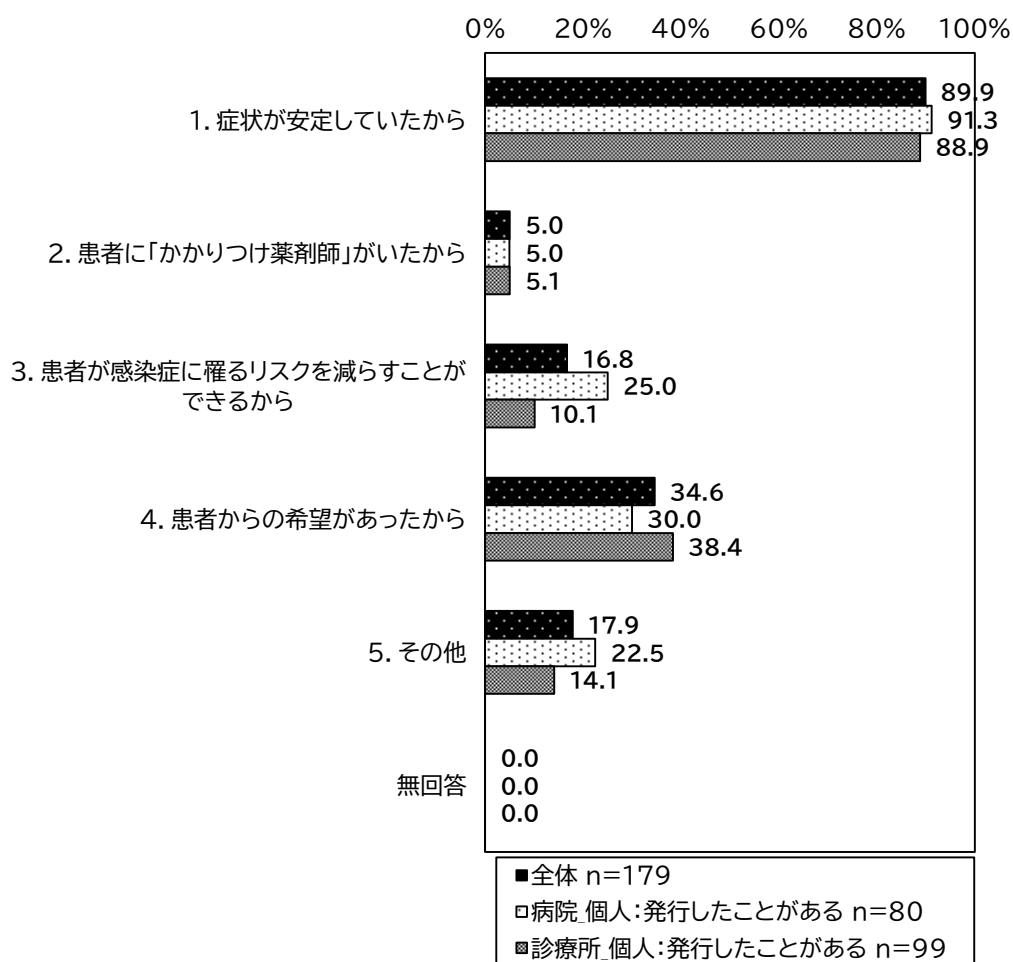


【その他（自由記載）の具体的な内容】
 ※具体的な記載なし

(4) リフィル処方箋を発行した理由（リフィル処方箋を発行したことがある医師が対象）

リフィル処方箋を発行した理由について、リフィル処方箋を発行したことがある医師を対象に確認した。その結果、病院の医師の場合も診療所の医師の場合も「症状が安定していたから」が最も多く、それぞれ91.3%、88.9%であった。

図表 3-13 あなたがリフィル処方箋を発行した理由（複数回答）
（リフィル処方箋を発行したことがある医師）
（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



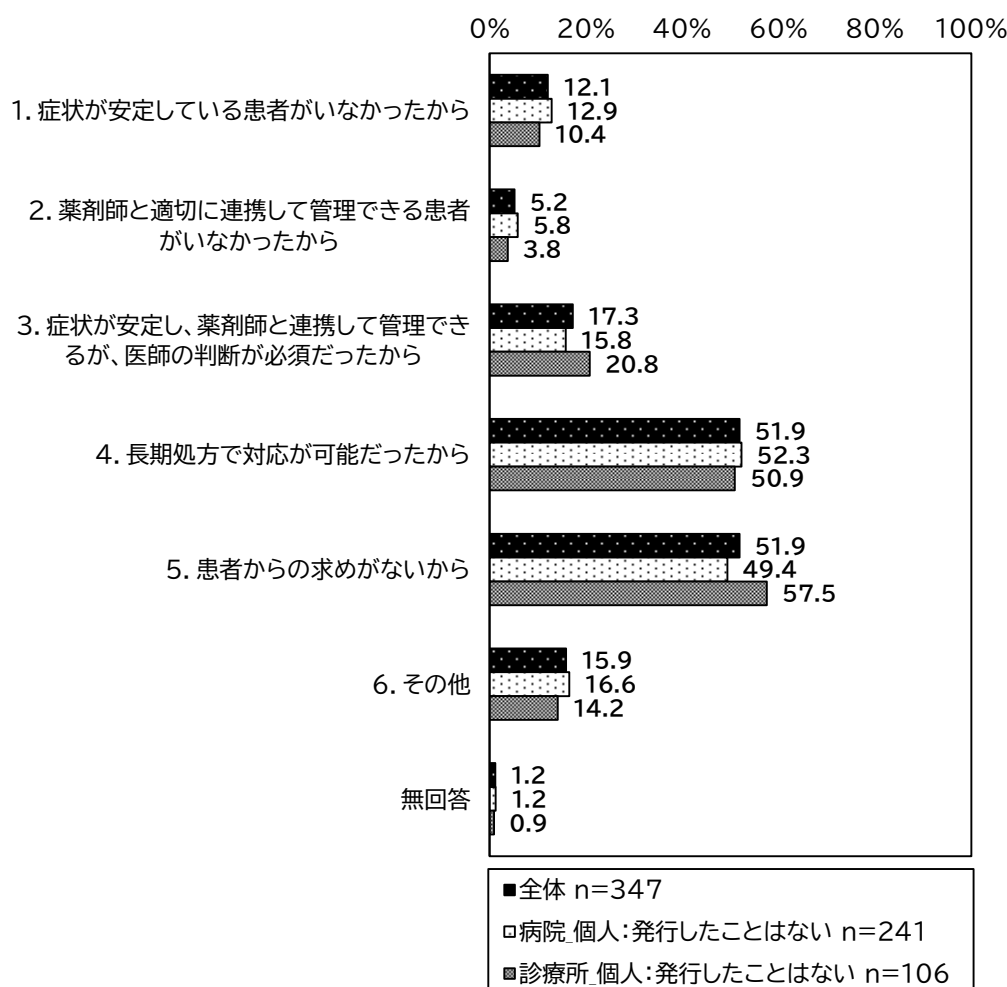
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・受診頻度、診察回数を減らすため
- ・通院困難な患者の便益確保のため
- ・服薬の中断を回避するため など

(5) リフィル処方箋を発行しなかった理由（リフィル処方箋を発行したことがない医師が対象）

リフィル処方箋を発行しなかった理由について、リフィル処方箋を発行したことがない医師を対象に確認した。その結果、病院の医師の場合は「長期処方に対応が可能だったから」が最も多く、52.3%であった。診療所の医師の場合は「患者からの求めがないから」が最も多く 57.5%であった。

図表 3-14 あなたがリフィル処方箋を発行しなかった理由（複数回答）
（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



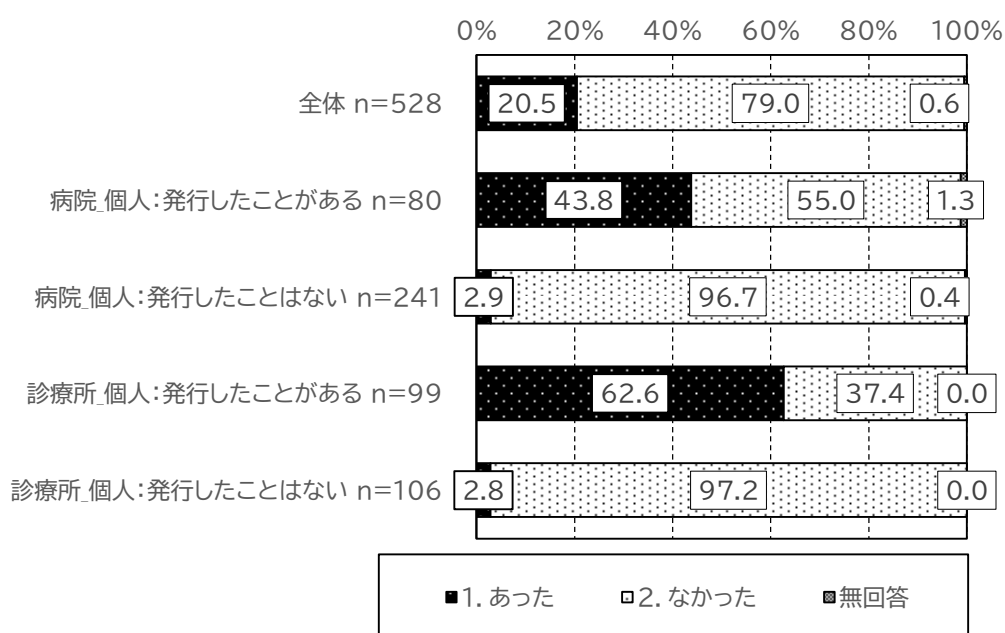
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・ 症状、薬の副反応のチェックが困難になるため
- ・ 制度ができたことを忘れていた、知らなかったから
- ・ 向精神薬等の制度対象外の医薬品を処方することが多いため
- ・ 院内の体制が整っていないため
- ・ 病院の方針としてリフィル処方箋を処方しないことになっているから
- ・ 診察による収入が減ってしまうため など

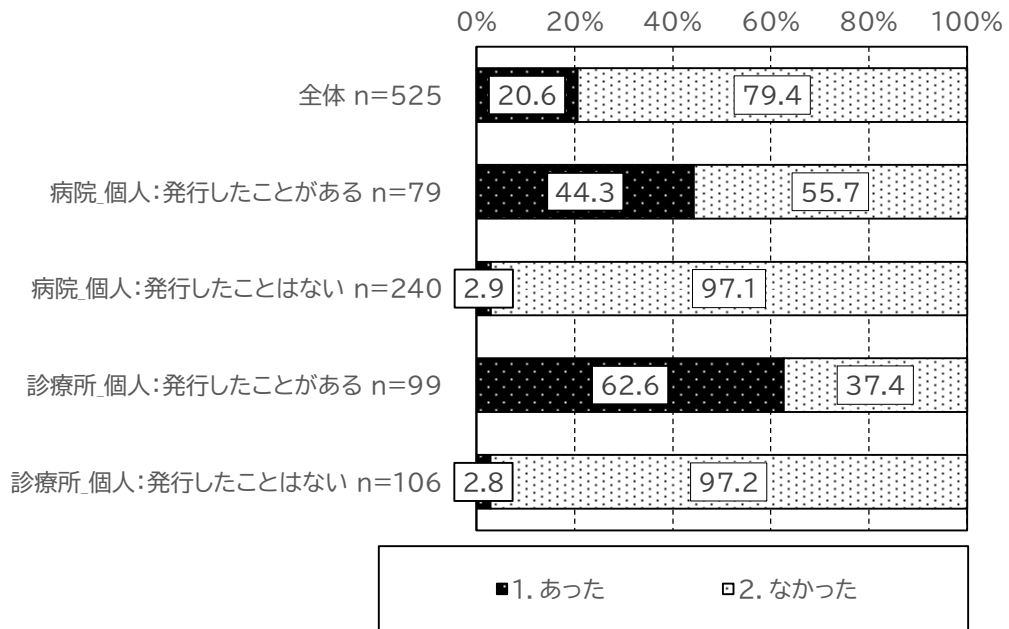
(6) リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無

リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無は、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は「あった」が43.8%、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は「あった」が2.9%であった。診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は「あった」が62.6%、診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は「あった」が2.8%であった。

図表 3-15 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



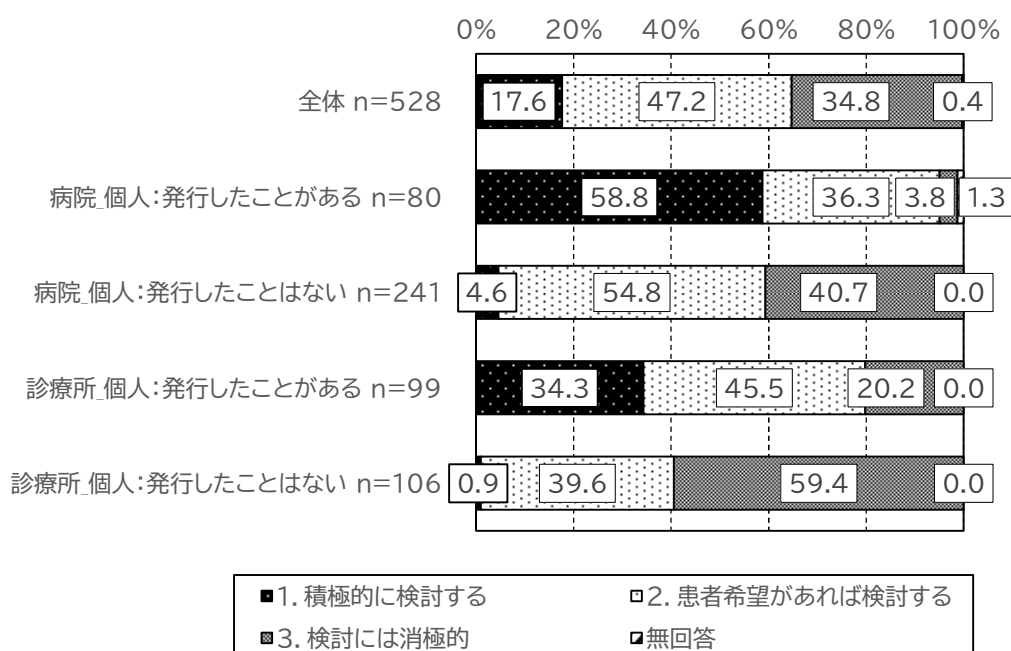
図表 3-16 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無 <無回答除く>
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



(7) リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し

リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しは、「積極的に検討する」と回答した割合は、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は58.8%、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は4.6%、診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は34.3%、診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は0.9%であった。

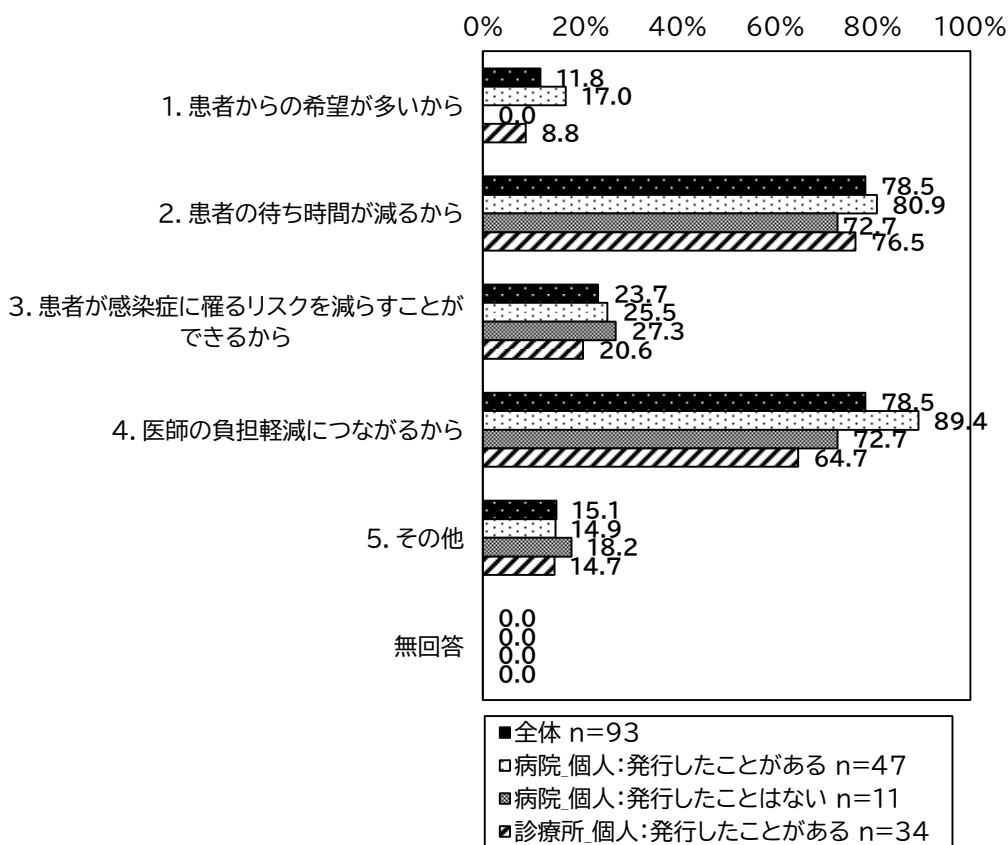
図表 3-17 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別)



(8) (7)で「1. 積極的に検討する」と回答した理由（リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しを積極的に検討するとした医師が対象）

(7)で「1. 積極的に検討する」と回答した理由を、リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しを積極的に検討するとした医師を対象に確認した。その結果、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は「医師の負担軽減につながるから」が最も多く89.4%であった。病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は「患者の待ち時間が減るから」と「医師の負担軽減につながるから」が最も多く72.7%であった。診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は「患者の待ち時間が減るから」が最も多く76.5%であった。

図表 3-18 (7)で「1. 積極的に検討する」と回答した理由（複数回答）
（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



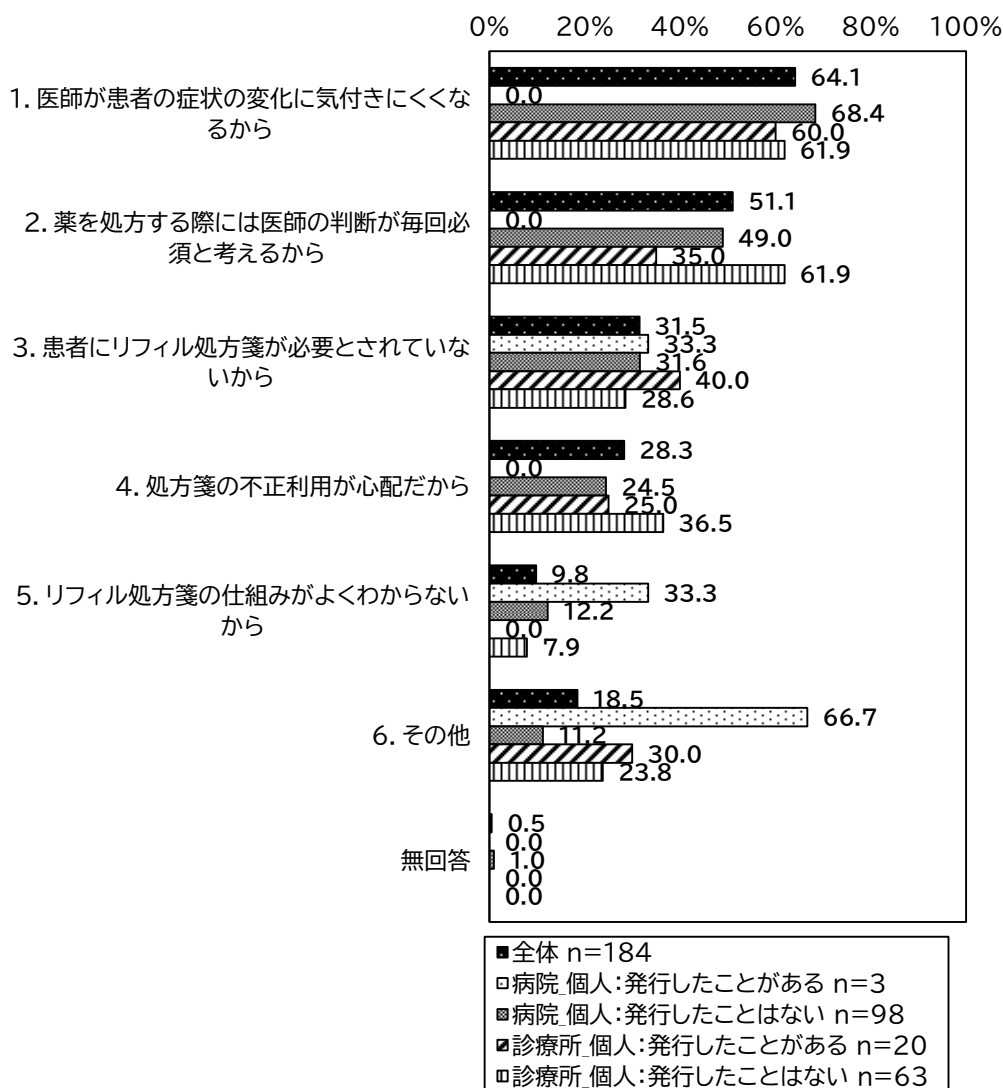
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・通院のために仕事を調整するなどの患者負担が減るため
- ・本当に診察が必要な患者に集中できる など

(9) (7)で「3. 検討には消極的」と回答した理由（リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しを検討には消極的と回答した医師が対象）

(7)で「3. 検討には消極的」と回答した理由を、リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しを検討には消極的と回答した医師を対象に確認した。その結果、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は「その他」が最も多く66.7%、次いで「患者にリフィル処方箋が必要とされていないから」と「リフィル処方箋の仕組みがよくわからないから」が33.3%であった。病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は「医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから」が最も多く68.4%であった。診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合は「医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから」が最も多く60.0%であった。診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合は「医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから」と「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く61.9%であった。

図表 3-19 (7)で「3. 検討には消極的」と回答し理由（複数回答）
（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

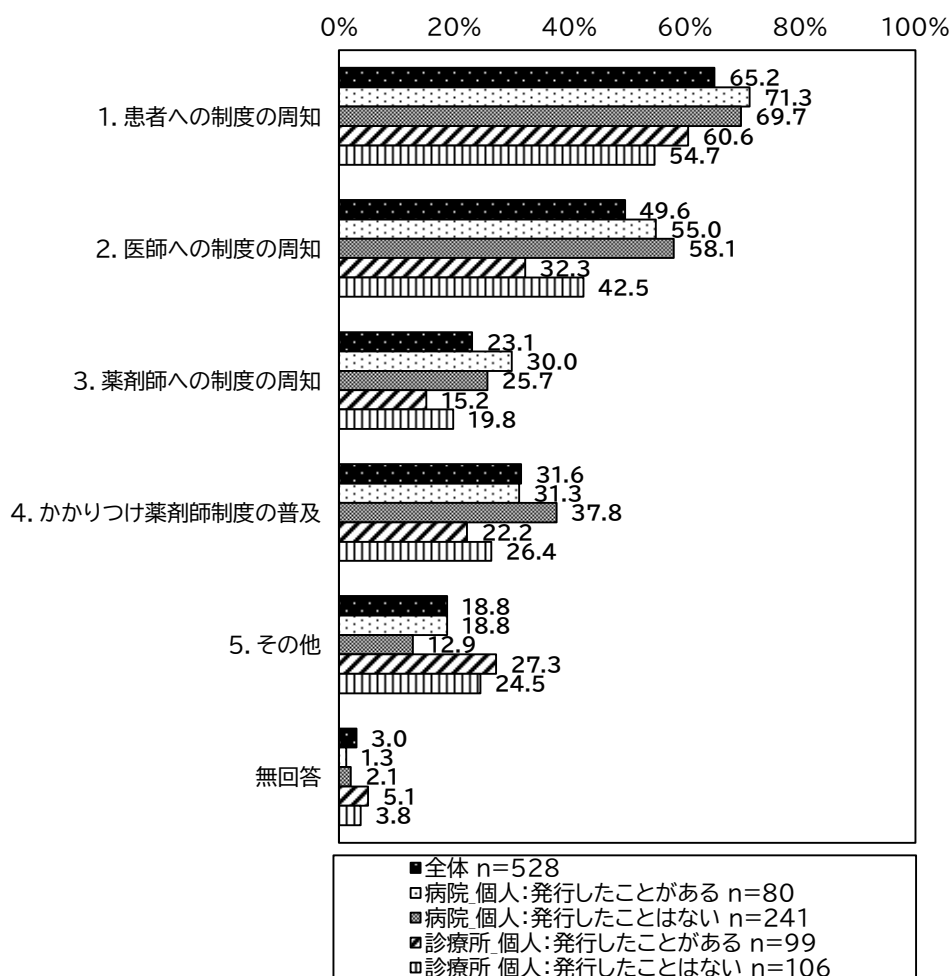
- ・こまめな情報交換がしづらい
- ・リフィル処方箋を処方できるほど安定している患者は、かかりつけ医で診てもらうため
- ・向精神薬等の制度対象外の医薬品を処方することが多いため
- ・病院の方針として決まっているため など

(10) このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること

このほか、リフィル処方箋の課題と考えられることについては、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合「患者への制度の周知」が最も多く71.3%、病院の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合「患者への制度の周知」が最も多く69.7%であった。

診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがある場合「患者への制度の周知」が最も多く60.6%、診療所の医師で医師個人としてリフィル処方箋を発行したことがない場合「患者への制度の周知」が最も多く54.7%であった。

図表 3-20 このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること（複数回答）
（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・ 2回目の処方をおぼれる患者が多いため、スマートフォン等でアラートするシステムがあるとよい
- ・ リフィル処方の期間が短いので、延ばしてほしい
- ・ 病院、薬局側の体制面に不備がある
- ・ 処方制限のある薬剤の長期処方緩和がまずは重要
- ・ 処方箋紛失時の対応を考えると、安易に患者に勧めることはできない

4. 保険薬局調査

【調査対象等】

○調査票 保険薬局票

調査対象：令和4年10月から12月の間に、5件以上のリフィル処方箋の受付実績がある薬局から500件、同期間に受付実績がない薬局から500件をそれぞれ無作為抽出し、合計で1,000施設を調査対象とした

回答数：582施設

回答者：開設者・管理者

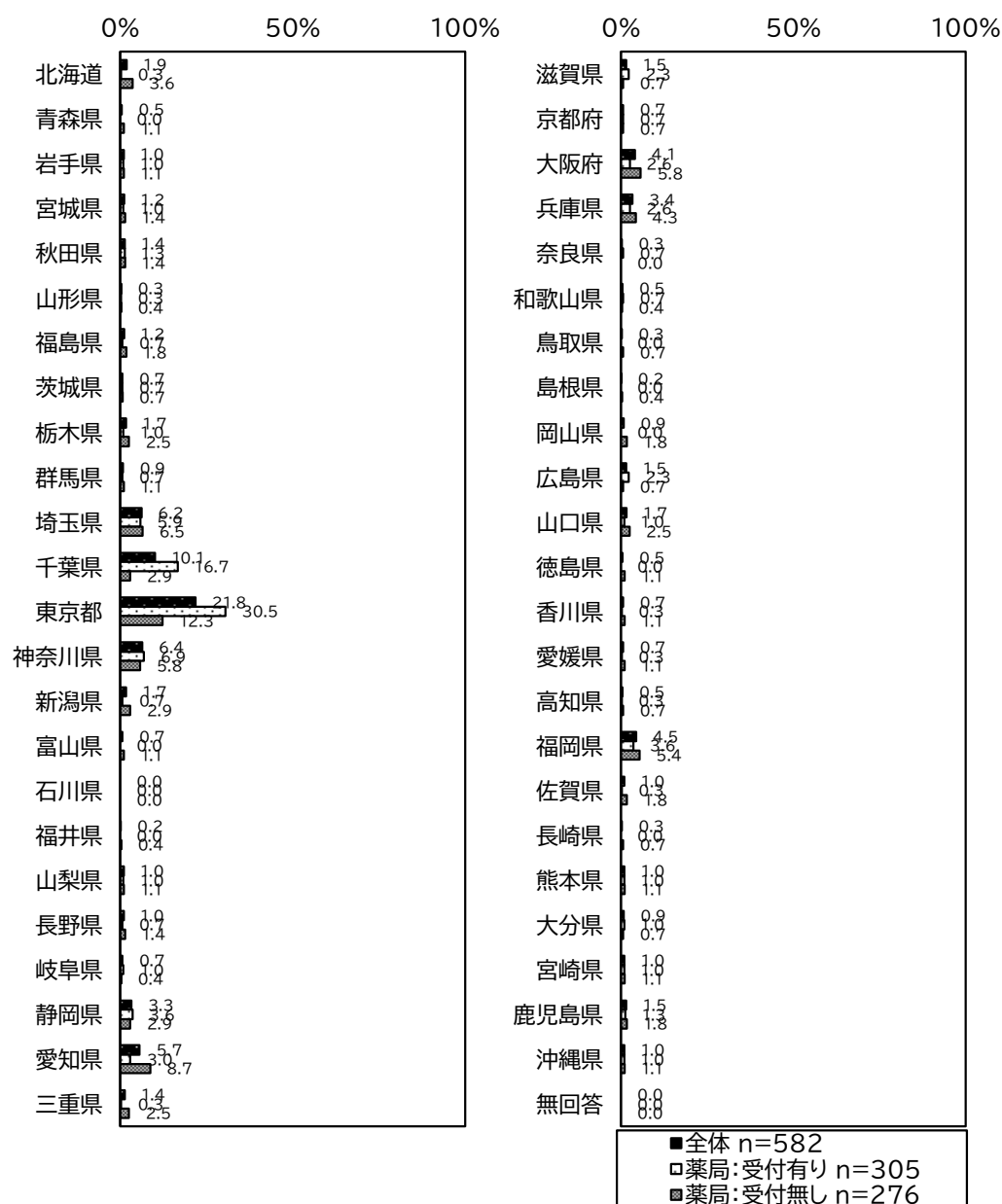
以下、本調査では「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。また、グラフ内の凡例である「受付有り」「受付無し」は、上記の令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績の有無を指します。

1) 薬局の状況（令和5年7月1日現在）

(1) 所在地

所在地はリフィル処方箋の受付実績が有る薬局は「東京都」が30.5%と最も多く、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局も「東京都」が12.3%と最も多かった。

図表 4-1 所在地
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

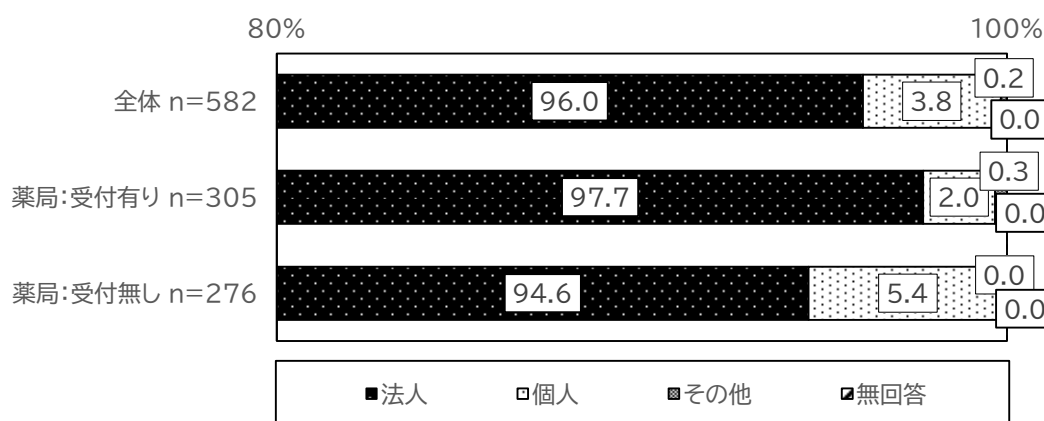


※回収 ID が不明のケースが 1 件発生したため、全体集計には含まれているものの、リフィル処方箋の受付実績あり、なしのどちらの小分類にも含まれていない回答がある。

(2) 開設者

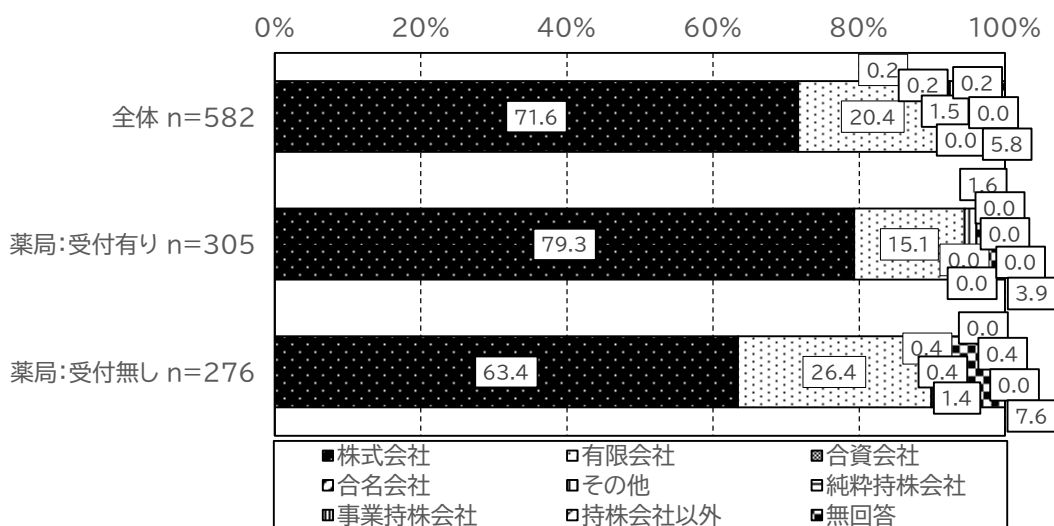
開設者はリフィル処方箋の受付実績が有る薬局は「法人」が97.7%、「個人」が2.0%、「その他」が0.3%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局は「法人」が94.6%、「個人」が5.4%、「その他」が0.0%であった。

図表 4-2 開設者
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



【その他（自由記載）の具体的な内容】
※具体的な記載なし

図表 4-3 開設者（法人の内訳）
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



(3) 同一グループ等による薬局店舗数

同一グループ※による薬局店舗数は、リフィル処方箋の受付実績有りの薬局で平均 457.5 店舗、リフィル処方箋の受付実績無しの薬局で平均 220.8 店舗であった。

図表 4-4 同一グループ（財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう）等による薬局店舗
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：店舗）

	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	543	343.3	635.8	16.0
受付実績有り	282	457.5	713.3	59.5
受付実績無し	260	220.8	513.8	5.0

※ 同一グループは次の基準により判断する（調剤基本料の施設基準における同一グループの考え方と同様）

1. 保険薬局の事業者の最終親会社
2. 保険薬局の事業者の最終親会社の子会社
3. 保険薬局の事業者の最終親会社の関連会社
4. 1 から 3 までに掲げる者と保険薬局の運営に関するフランチャイズ契約を締結している者

(4) 開設年

開設年については、リフィル処方箋の受付実績有りの薬局が平均で 2007 年中、リフィル処方箋の受付実績無しの薬局が平均で 2006 年中であった。

図表 4-5 開設年
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

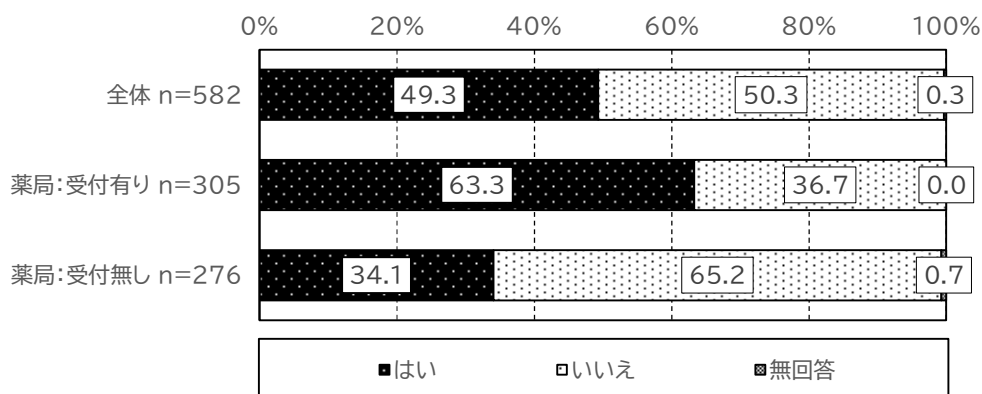
（単位：年(西暦)）

	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	543	2006.6	14.9	2010.0
受付実績有り	276	2007.2	14.0	2011.0
受付実績無し	266	2006.0	15.8	2010.0

(5) チェーン薬局（同一経営者が20店舗以上を所有する薬局の店舗）か否か

チェーン薬局（同一経営者が20店舗以上を所有する薬局の店舗）かどうかについては「はい」と回答割合が、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では63.3%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では34.1%であった。

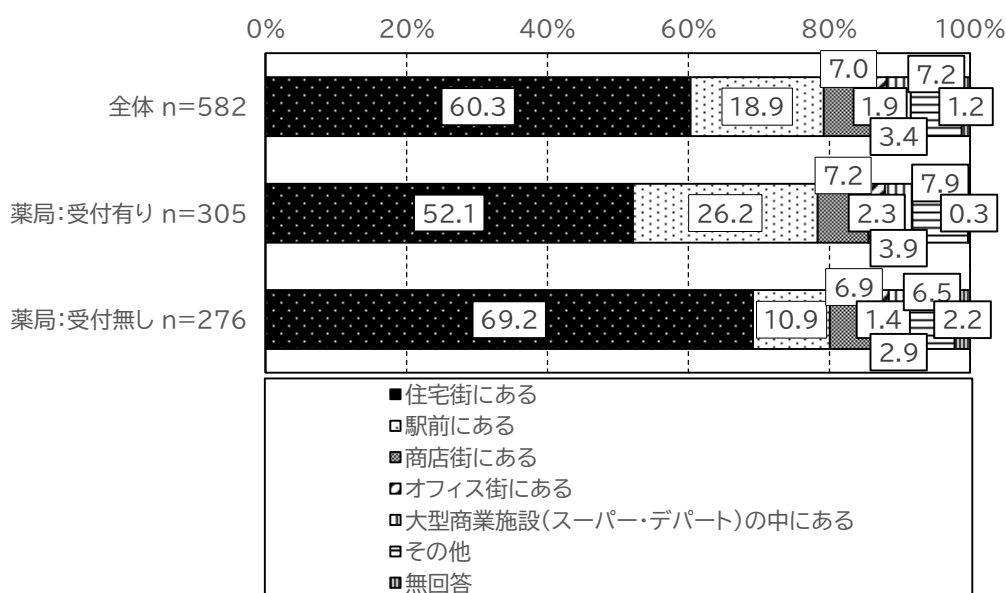
図表 4-6 チェーン薬局（同一経営者が20店舗以上を所有する薬局の店舗）か（リフィル処方箋の受付実績有無別）



(6) 薬局の立地

薬局の立地は「住宅街にある」が最も多く、リフィル処方箋を受け付けたことがある薬局では52.1%、リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局では69.2%であった。

図表 4-7 薬局の立地（リフィル処方箋の受付実績有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・医療機関の門前
- ・国道、幹線道路沿い
- ・医療ビルの中 など

(7) 応需医療機関数（令和5年4月～6月の月平均値）

令和5年4月～6月の期間における応需医療機関数について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局は平均で92.2施設、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局は平均で42.1施設であった。

図表 4-8 応需医療機関数（令和5年4月～6月の月平均値）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：施設）

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	508	66.7	60.8	49.0
受付実績有り	250	92.2	68.2	80.0
受付実績無し	257	42.1	39.4	29.0

(8) 最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合

令和5年4月～6月の期間において、最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋割合については、リフィル処方箋の受付実績有りの薬局が平均52.8%、リフィル処方箋の受付実績無しの薬局が平均69.2%であった。

図表 4-9 最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

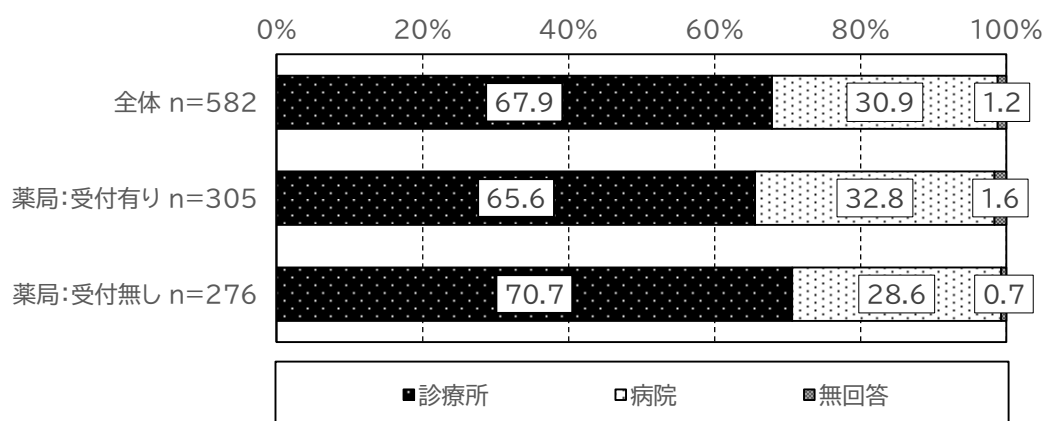
（単位：%）

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	568	60.6	30.3	64.5
受付実績有り	296	52.8	29.7	50.0
受付実績無し	271	69.2	28.7	80.0

① 最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療所・病院の別

令和5年4月～6月の期間において、最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療所・病院の別については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「診療所」が65.6%、「病院」が32.8%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「診療所」が70.7%、「病院」が28.6%であった。

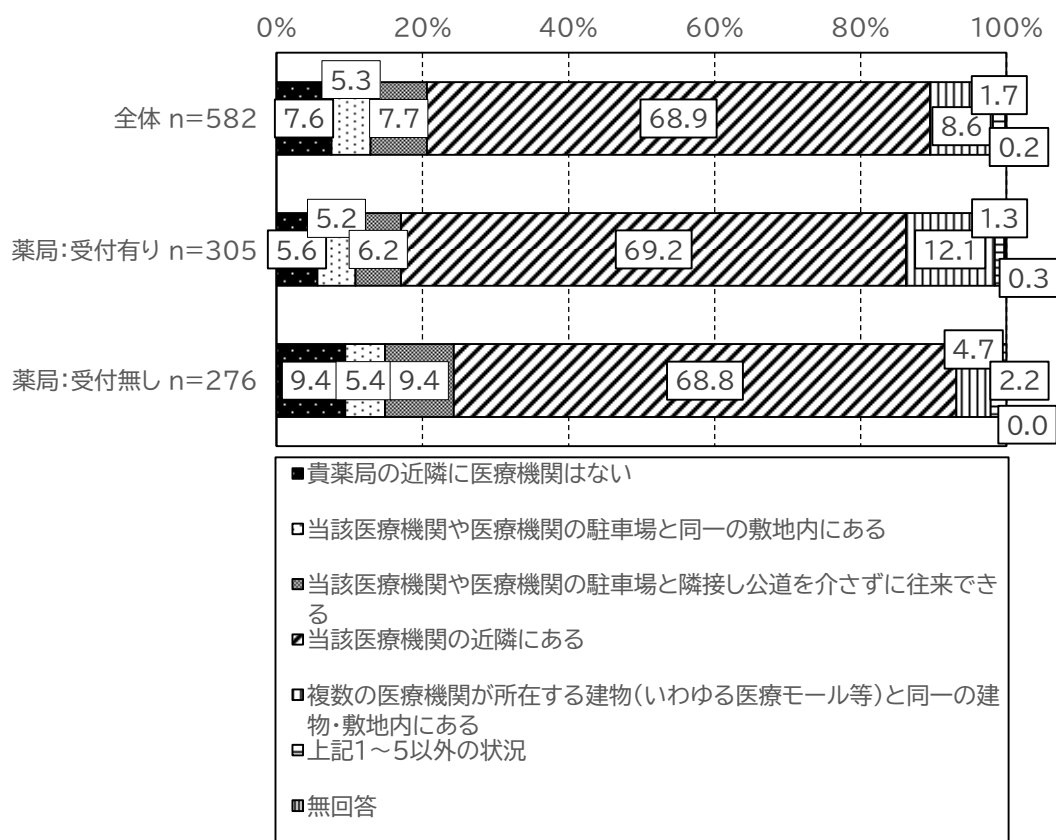
図表 4-10 最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療所・病院の別
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



② 最も多く処方箋を受け付けた医療機関と貴薬局との位置関係

最も多く処方箋を受け付けた医療機関と貴薬局との位置関係については「当該医療機関の近隣にある」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では69.2%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では68.8%であった。

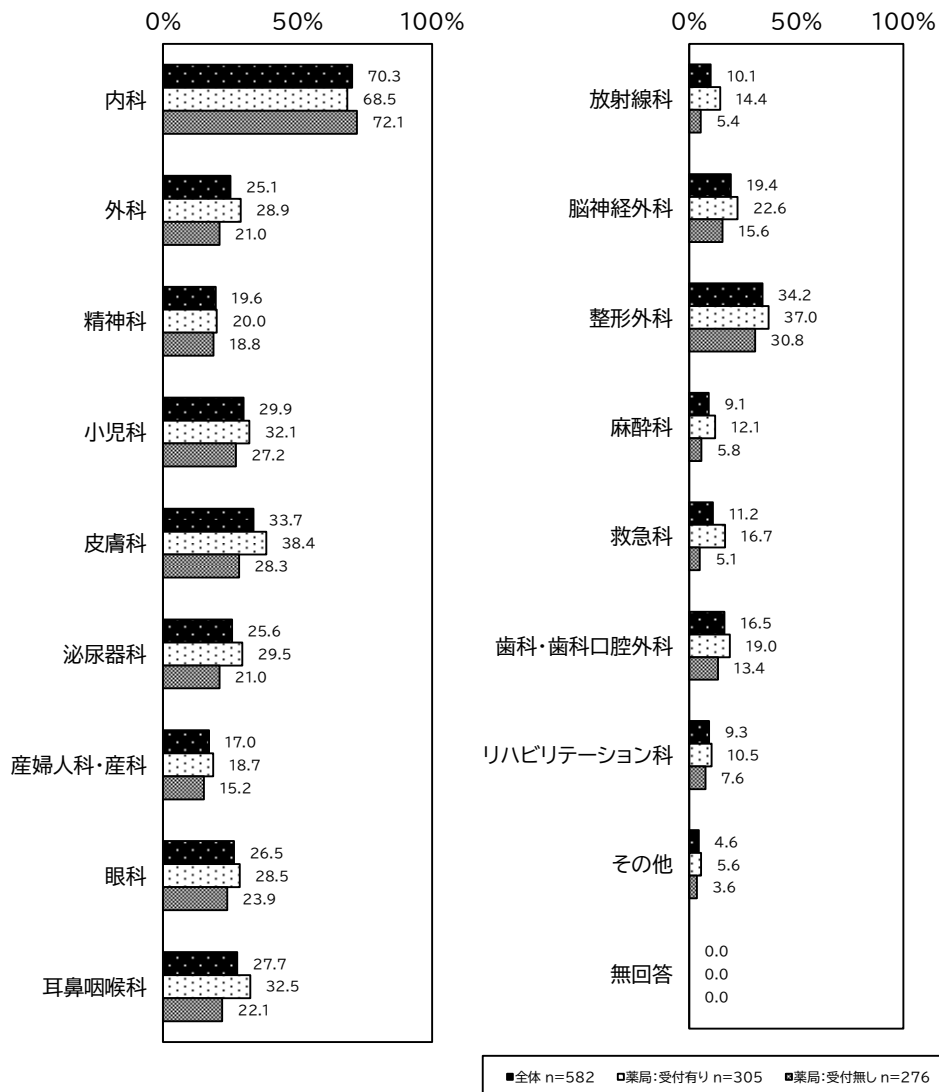
図表 4-11 上記(8)の集中度が最も高い医療機関の情報のうち、最も多く処方箋を受け付けた医療機関と貴薬局との位置関係 (リフィル処方箋の受付実績有無別)



③ 最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療科

最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療科の種類については「内科」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では68.5%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では72.1%であった。

図表 4-12 最も多く処方箋を受け付けた診療科の種類
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・アレルギー科
- ・形成外科
- ・緩和ケア など

(9) 売上高に占める保険調剤売上の割合（令和4年度決算）

売上高に占める保険調剤売上の割合（令和4年度決算）については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局が平均で88.7%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局が平均で91.0%であった。

図表 4-13 貴薬局の売上高に占める保険調剤売上の割合
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

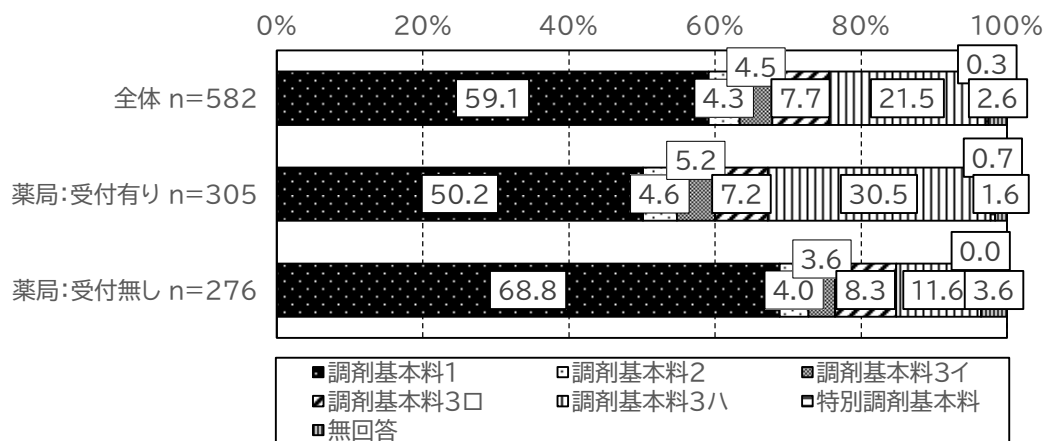
（単位：％）

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	497	89.8	22.3	98.0
受付実績有り	251	88.7	23.2	98.0
受付実績無し	245	91.0	21.3	98.5

(10) 令和5年度の調剤基本料の届出状況

令和5年度の調剤基本料の届出状況は「調剤基本料1」最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では50.2%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では68.8%であった。

図表 4-14 令和5年度の調剤基本料の届出状況
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



① 全処方箋の受付回数（令和5年4月～6月の合計）

全処方箋の受付回数（令和5年4月～6月の合計）については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では平均で4877.4回、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では平均で3121.6回であった。

図表 4-15 全処方箋の受付回数（令和5年4月～6月の合計）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：回）

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	460	4041.5	2570.1	3432.5
受付実績有り	241	4877.4	2620.9	4563.0
受付実績無し	219	3121.6	2173.2	2688.0

(11) 職員数

リフィル処方箋の受付実績が有る薬局の常勤の職員数については、薬剤師が平均3.7人、うち、かかりつけ薬剤師指導料等における「かかりつけ薬剤師」が平均1.5人であった。同様に受付実績が有る薬局の非常勤職員の実人数については、薬剤師が平均2.9人、うち、かかりつけ薬剤師指導料等における「かかりつけ薬剤師」が平均0.2人であった。受付実績が有る薬局の非常勤職員の常勤換算人数については、薬剤師が平均1.2人、うち、かかりつけ薬剤師指導料等における「かかりつけ薬剤師」が平均0.1人であった。

リフィル処方箋の受付実績が無い薬局の常勤の職員数については、薬剤師が平均1.9人、うち、かかりつけ薬剤師指導料等における「かかりつけ薬剤師」が平均0.9人であった。同様に受付実績が無い薬局の非常勤職員の実人数については、薬剤師が平均2.0人、うち、かかりつけ薬剤師指導料等における「かかりつけ薬剤師」が平均0.2人であった。受付実績が無い薬局の非常勤職員の常勤換算人数については、薬剤師が平均0.8人、うち、かかりつけ薬剤師指導料等における「かかりつけ薬剤師」が平均0.1人であった。

図表 4-16 職員数
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

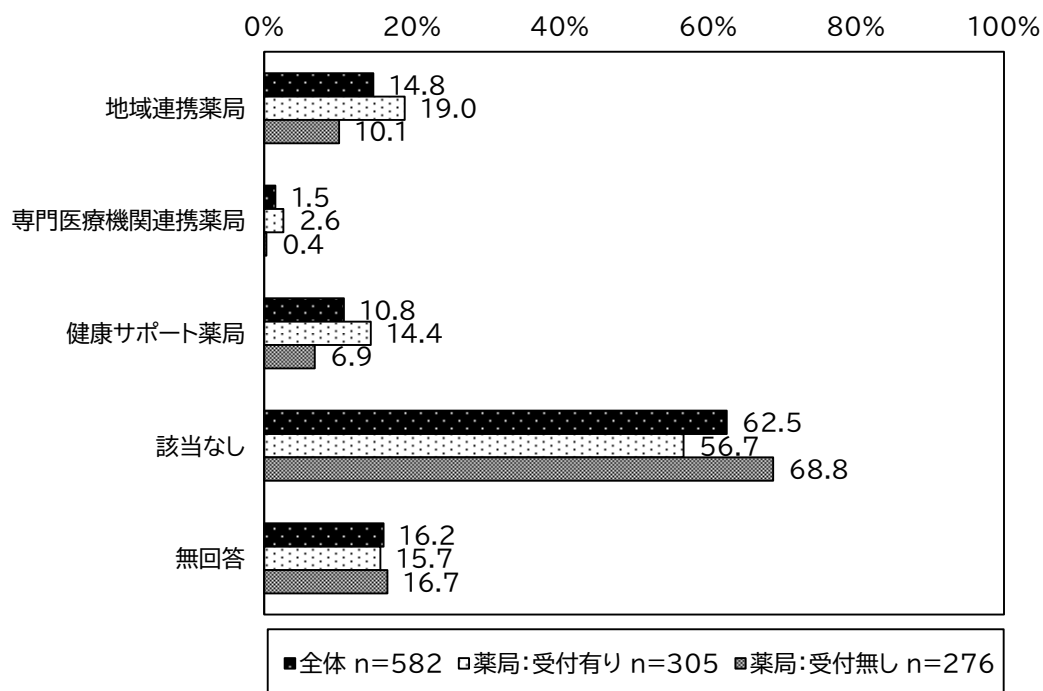
(単位：人)

			回答 施設 数	平均 値	標準 偏差	中央 値
全体	常勤職員	薬剤師	575	2.9	2.2	2.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	503	1.2	1.3	1.0
		その他（事務職員等）	524	2.1	1.6	2.0
	非常勤 職員 実人数	薬剤師	423	2.5	3.3	2.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	299	0.2	0.5	0.0
		その他（事務職員等）	347	1.4	2.2	1.0
	非常勤 職員 常勤換算	薬剤師	375	1.0	1.1	0.8
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	289	0.1	0.3	0.0
		その他（事務職員等）	310	0.7	1.2	0.0
受付 実績 有り	常勤職員	薬剤師	301	3.7	2.5	3.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	267	1.5	1.5	1.0
		その他（事務職員等）	274	2.3	1.9	2.0
	非常勤 職員 実人数	薬剤師	234	2.9	4.0	2.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	162	0.2	0.6	0.0
		その他（事務職員等）	187	1.7	2.8	1.0
	非常勤 職員 常勤換算	薬剤師	209	1.2	1.3	0.9
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	156	0.1	0.3	0.0
		その他（事務職員等）	168	0.9	1.5	0.5
受付 実績 無し	常勤職員	薬剤師	273	1.9	1.2	2.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	235	0.9	0.9	1.0
		その他（事務職員等）	249	1.8	1.1	2.0
	非常勤 職員 実人数	薬剤師	188	2.0	2.0	2.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	136	0.2	0.5	0.0
		その他（事務職員等）	159	1.1	1.3	1.0
	非常勤 職員 常勤換算	薬剤師	165	0.8	0.8	0.5
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^注 ¹ における「かかりつけ薬剤師」	133	0.1	0.3	0.0
		その他（事務職員等）	141	0.5	0.8	0.0

(12) 薬局の認定等の状況

薬局の認定等の状況は「該当なし」が最も多くリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では56.7%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では68.8%であった。次いで多かったのは「地域連携薬局」でリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では19.0%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では10.1%であった

図表 4-17 薬局の認定等の状況（複数回答）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

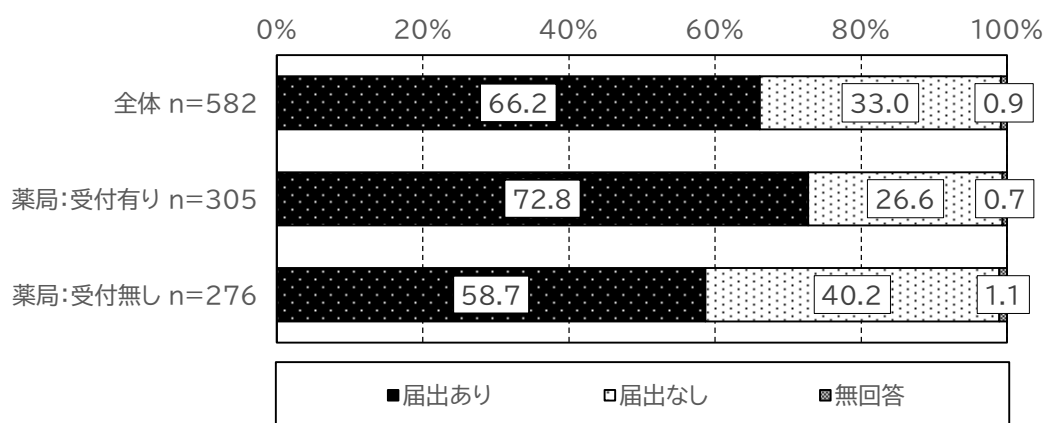


2) 届出の状況

(1) かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出の状況

かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出の状況は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「届出あり」が72.8%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「届出あり」が58.7%であった。

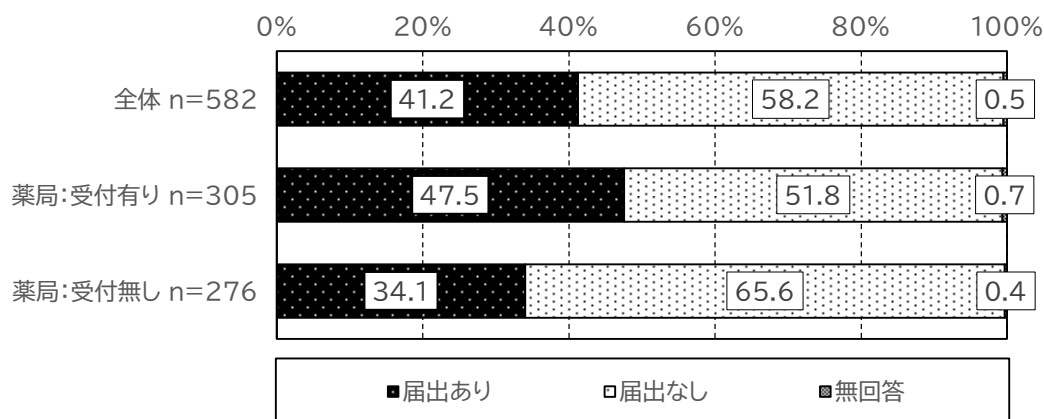
図表 4-18 かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出の状況
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



(2) 地域支援体制加算の届出の状況

地域支援体制加算の届出の状況はリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「届出あり」が47.5%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「届出あり」が34.1%であった。

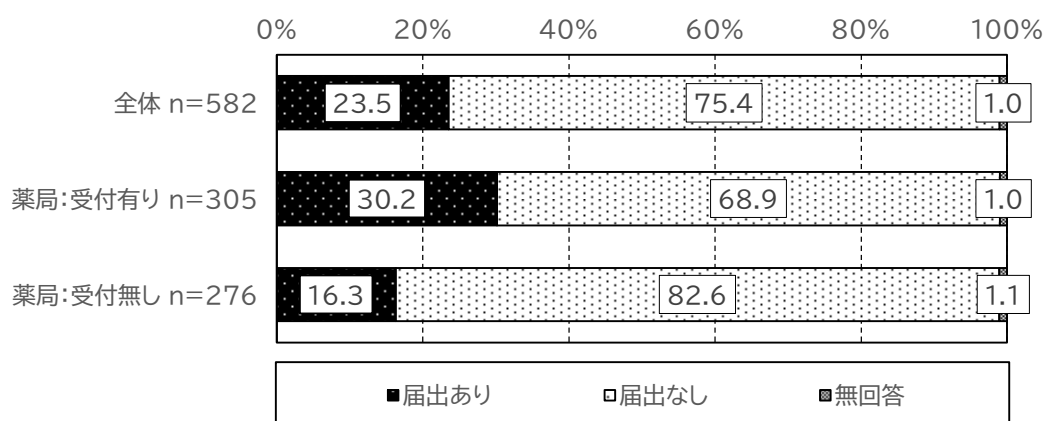
図表 4-19 地域支援体制加算の届出の状況
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



(3) 連携強化加算の届出の状況

連携強化加算の届出の状況はリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「届出あり」が30.2%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「届出あり」が16.3%であった。

図表 4-20 連携強化加算の届出の状況
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

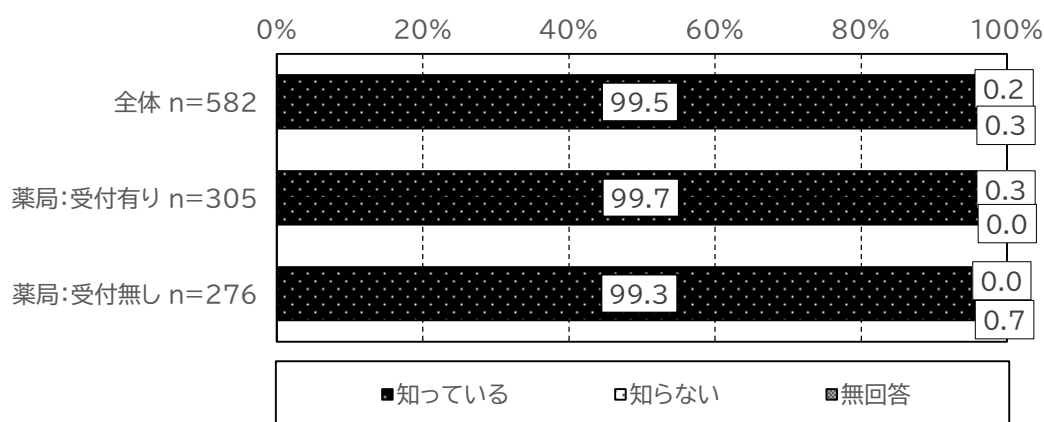


3) リフィル処方箋の対応状況

(1) リフィル処方箋の仕組みについての認知状況

リフィル処方箋の仕組みについての認知状況は、「知っている」がリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では99.7%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では99.3%であった。

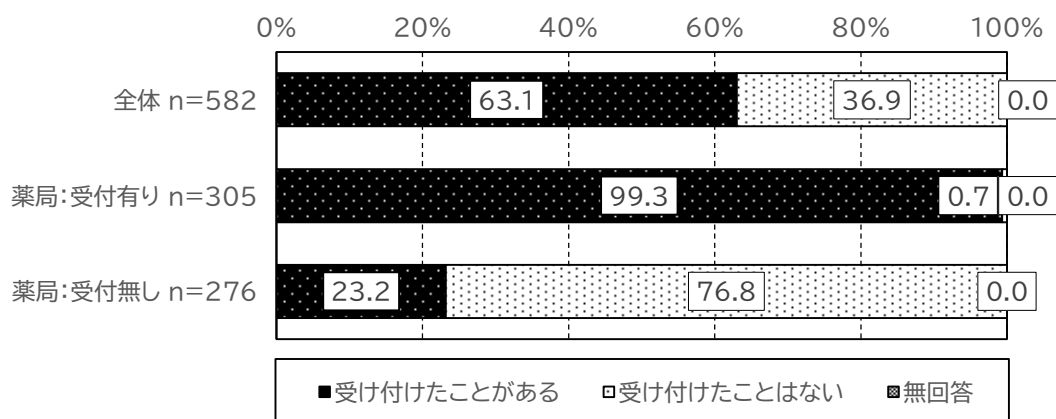
図表 4-21 リフィル処方箋の仕組みについての認知状況
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



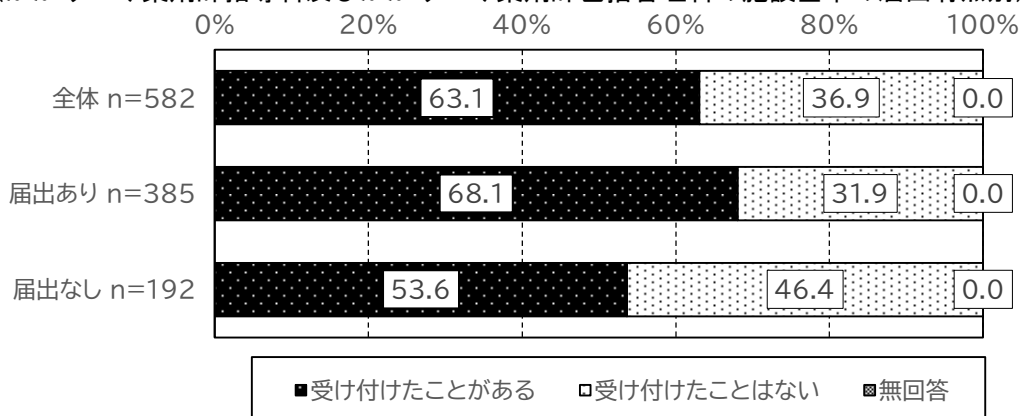
(2) リフィル処方箋の受付経験

リフィル処方箋の受付経験は、かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届出がある薬局では「受け付けたことがある」が68.1%、届出がない薬局では「受け付けたことがある」が53.6%、であった。

図表 4-22 リフィル処方箋の受付経験
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



図表 4-23 リフィル処方箋の受付経験
(かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届出有無別)



※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(3) 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では平均で2.1箇所、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では1.1箇所であった。

図表 4-24 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：箇所）

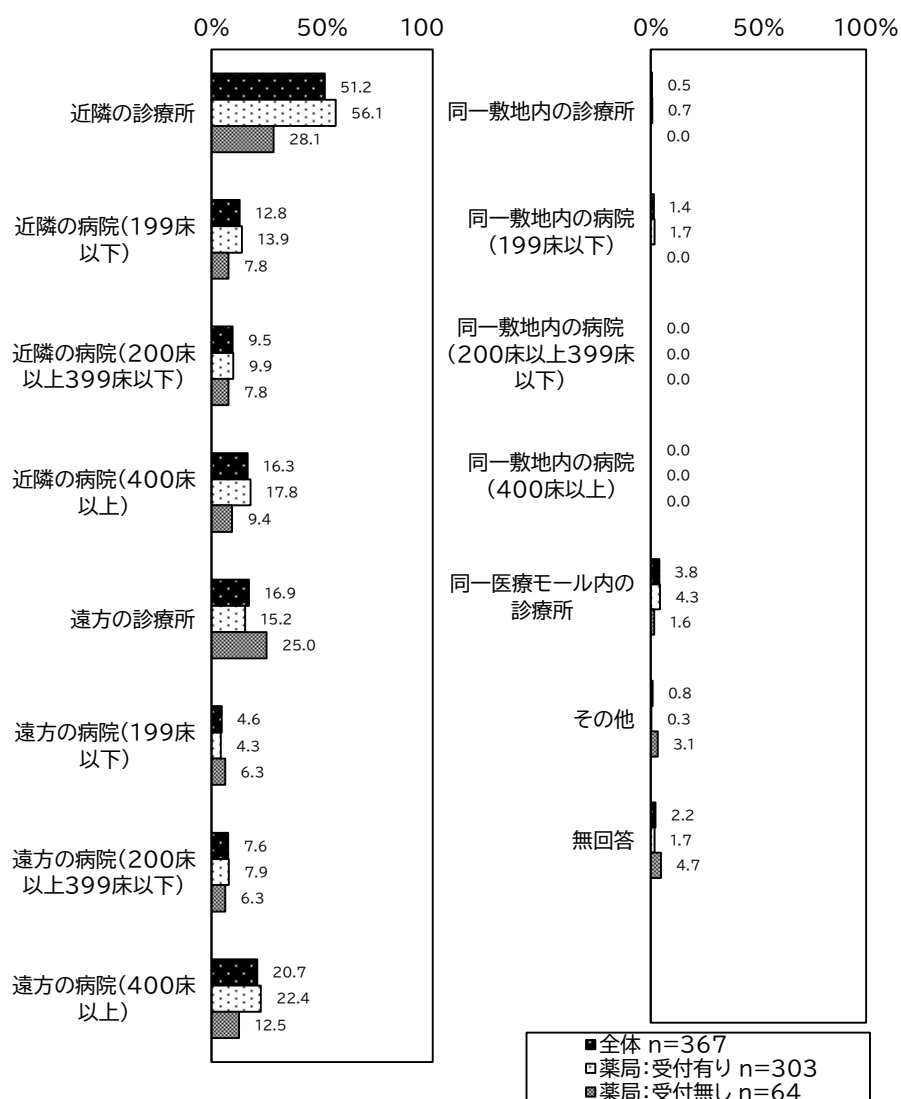
	回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	357	2.0	2.0	1.0
受付実績有り	295	2.1	2.2	2.0
受付実績無し	62	1.1	0.5	1.0

※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(4) どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受けたか（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けたかは、「近隣の診療所」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では56.1%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では28.1%であった。

図表 4-25 どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受けたか（複数回答）
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



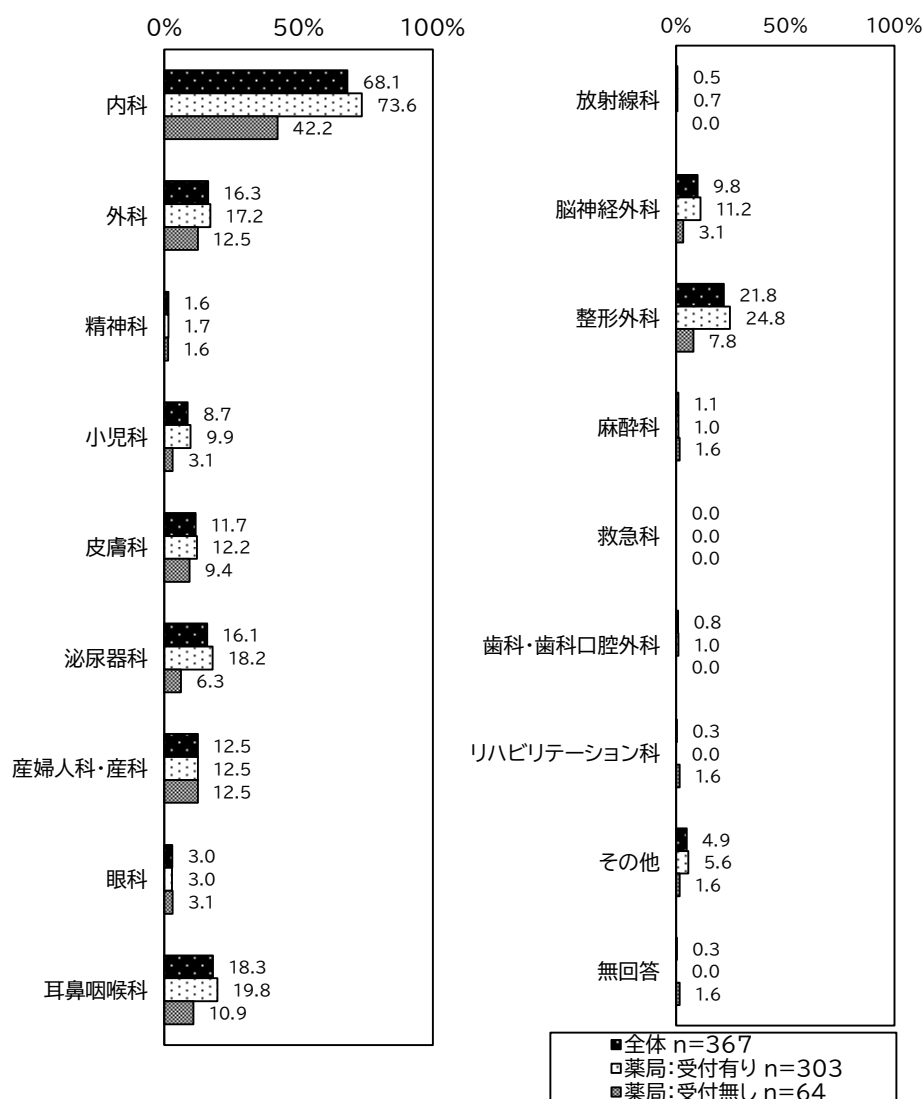
【その他（自由記載）の具体的な内容】
・市内のクリニック など

※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(5) どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたかは「内科」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では73.6%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では42.2%であった。

図表 4-26 どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか（複数回答）
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

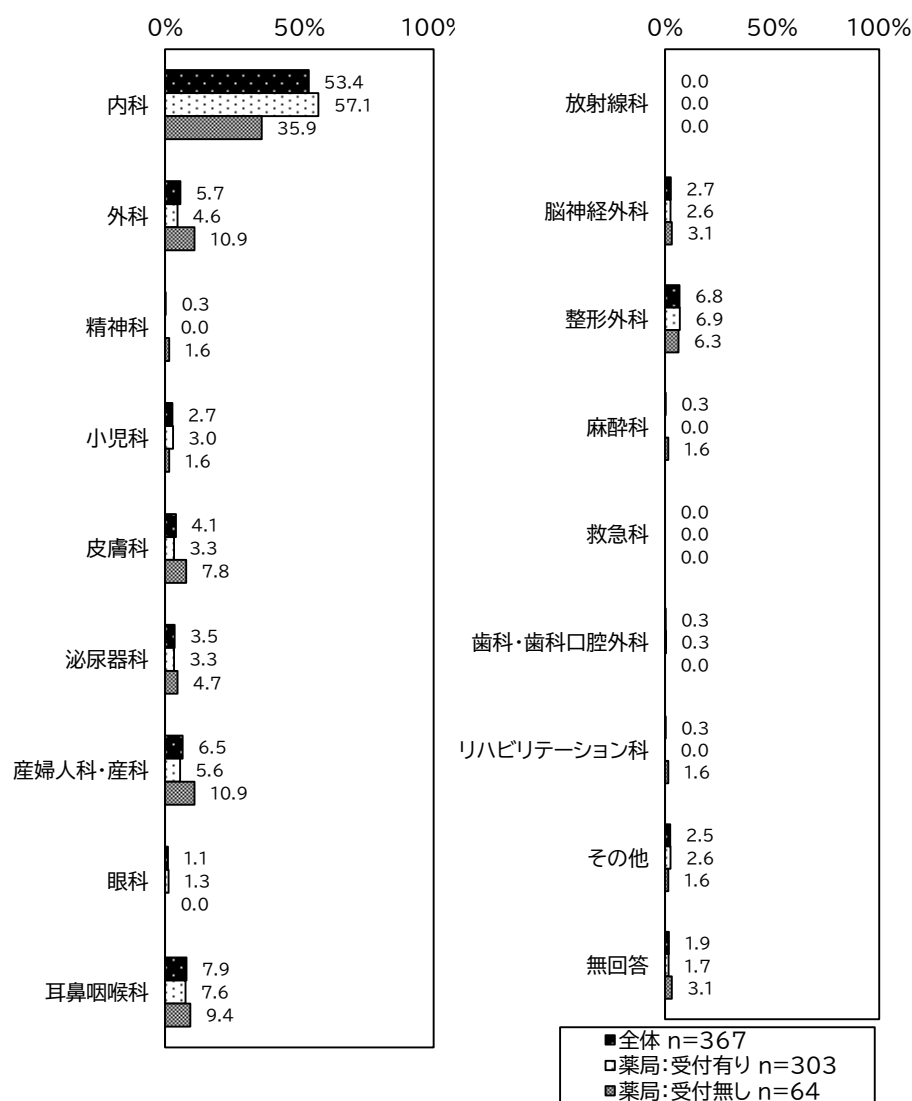
- ・形成外科 ・ペインクリニック ・循環器科 など

※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

① 最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

最もリフィル処方箋を最も多く受け付けた診療科は「内科」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では57.1%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では35.9%あった。

図表 4-27 (5)で選択した中で最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(6) リフィル処方箋の受付件数 (令和5年4月～6月の合計) (リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ)

リフィル処方箋の受付件数 (令和5年4月～6月の合計)については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では平均で41.8回、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では平均で1.8回であった。

図表 4-28 リフィル処方箋の受付件数 (令和5年4月～6月の合計)
(リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

(単位：回)

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	346	34.5	126.8	10.0
受付実績有り	283	41.8	139.2	13.0
受付実績無し	63	1.8	1.9	1.0

※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(7) リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数(令和5年4月～6月の合計)

令和5年4月～6月にリフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数(自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数)は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では平均で25.7枚、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では平均で1.1枚であった。

図表 4-29 リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数(令和5年4月～6月の合計)
(リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

(単位：枚)

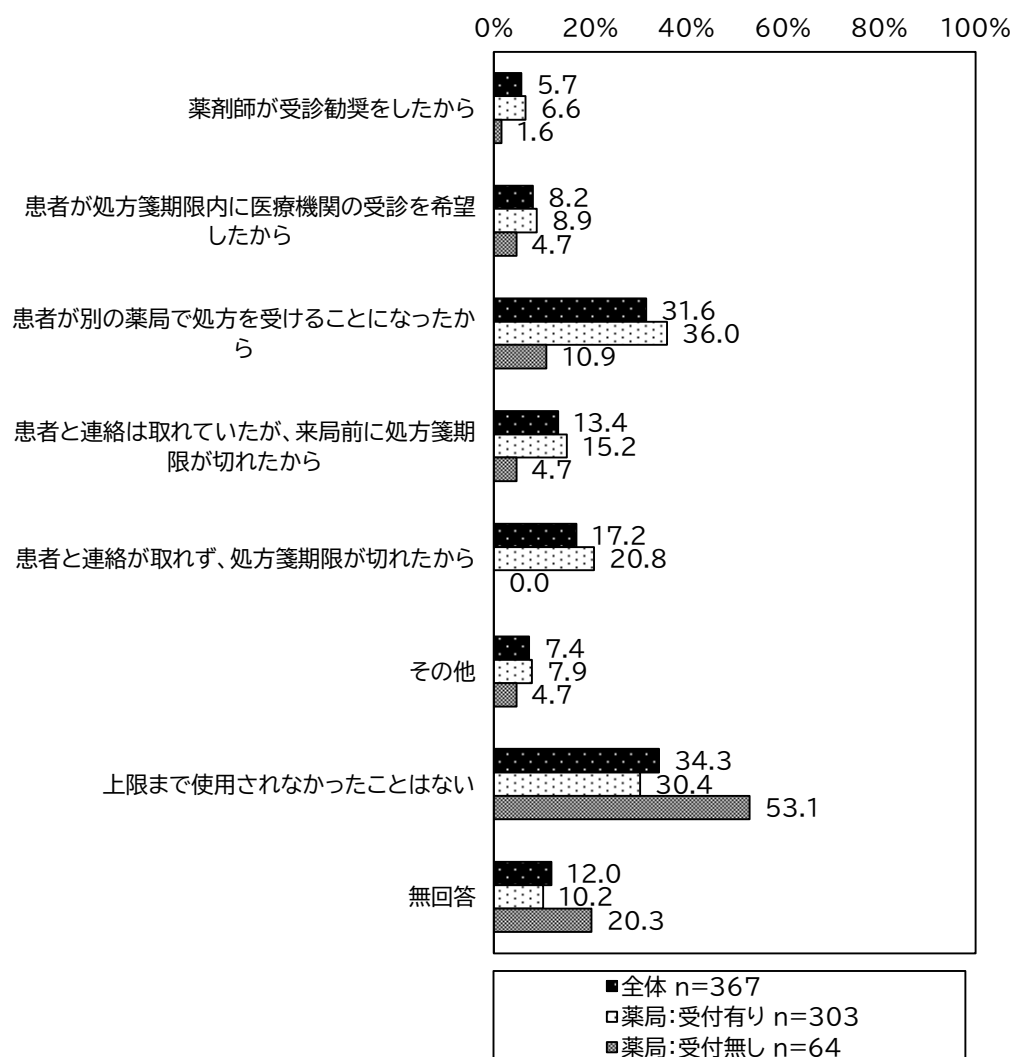
	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	317	21.4	81.9	5.0
受付実績有り	261	25.7	89.7	7.0
受付実績無し	56	1.1	0.9	1.0

※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(8) リフィルの上限まで使用されなかった理由（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

リフィル処方箋がリフィルの上限まで使用されなかった理由は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「患者が別の薬局で処方を受けることになったから」が最も多く36.0%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では上限まで使用されなかったことはない」が最も多く53.1%であった。

図表 4-30 リフィルの上限まで使用されなかった理由（複数回答）
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・入院となったため
- ・ほかの薬が必要になったため
- ・リフィル処方であることを患者が失念し、次回受診したため

※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

① 薬剤師が受診勧奨をした回数（令和5年4月～6月）（リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）

薬剤師が受診勧奨をした回数は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では平均で22.5件であった。

図表 4-31 <全体>薬剤師が受診勧奨をした回数（令和5年4月～6月）
（リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：件）

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	16	21.2	40.4	3.0
受付実績有り	15	22.5	41.5	4.0

図表 4-32 <リフィル調剤時>薬剤師が受診勧奨をした回数（令和5年4月～6月）
（リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：件）

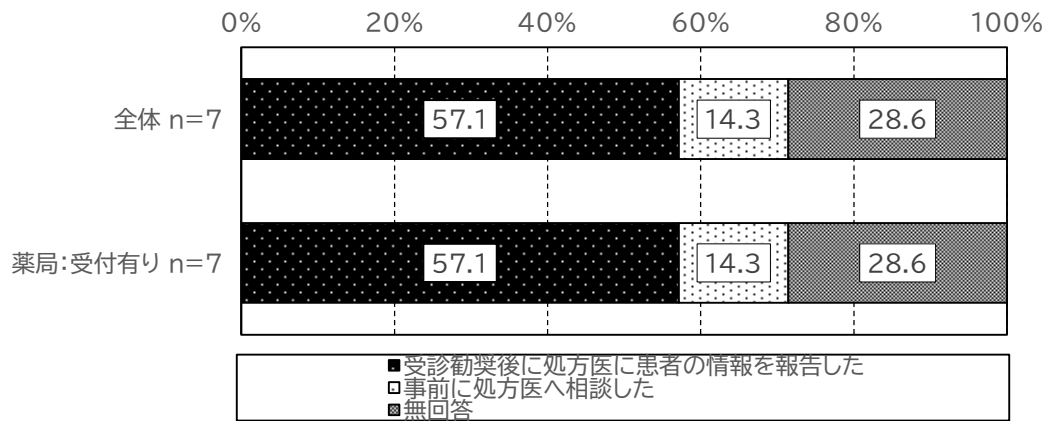
	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	16	1.8	3.9	1.0
受付実績有り	15	1.9	4.0	1.0

図表 4-33 <フォローアップ>薬剤師が受診勧奨をした回数（令和5年4月～6月）
（リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：件）

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	16	1.7	3.8	0.0
受付実績有り	15	1.8	3.9	0.0

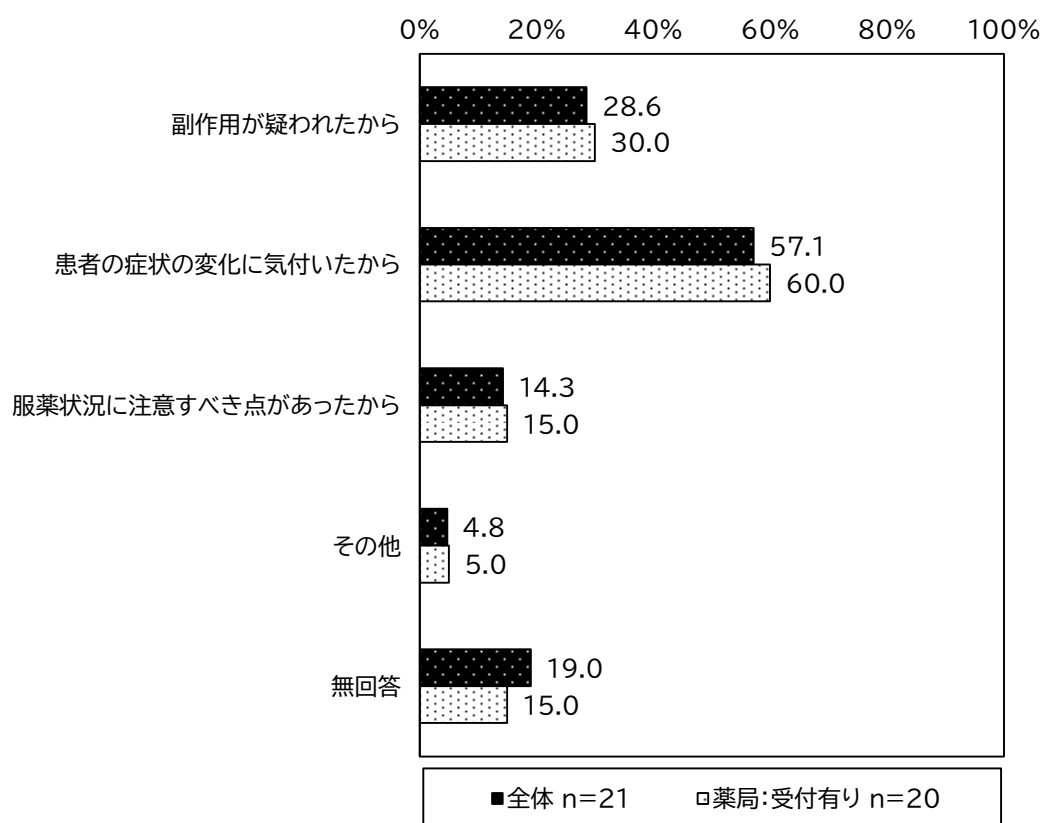
図表 4-34 受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談状況
 (フォローアップ中の受診勧奨回数が1回以上の施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)



② 薬剤師が受診勧奨をした理由（リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）

薬剤師が受診勧奨をした理由は「患者の症状の変化に気付いたから」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局で60.0%であった。

図表 4-35 薬剤師が受診勧奨をした理由（複数回答）
 （リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）
 （リフィル処方箋の受付実績有無別）



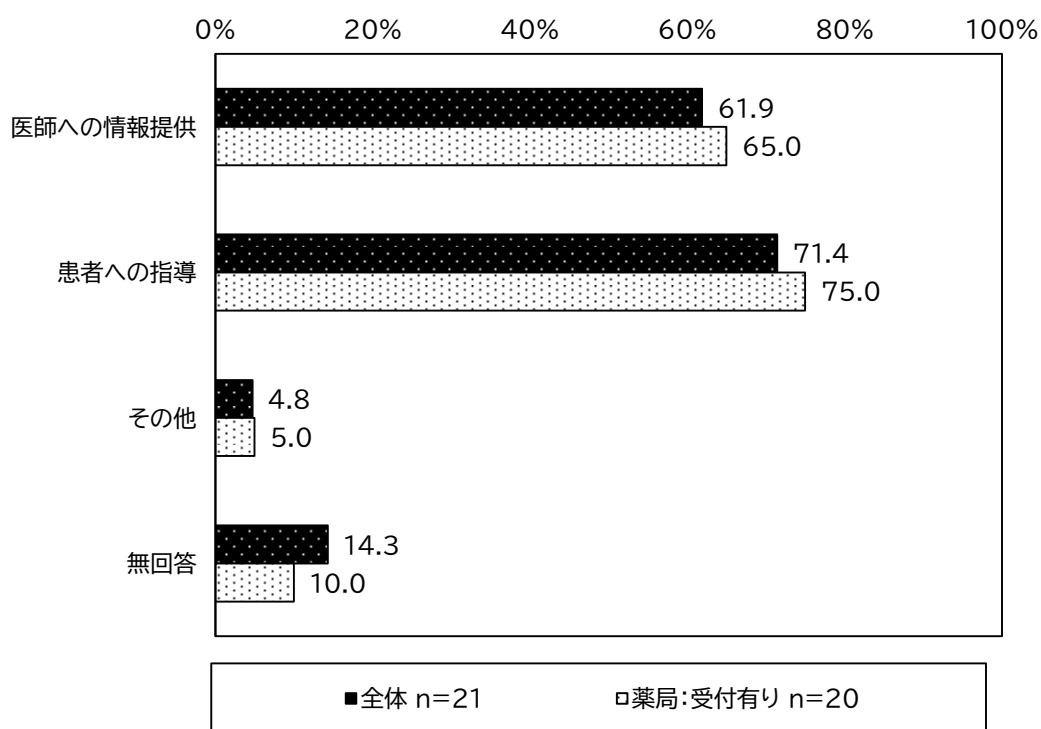
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・他の病院から重複処方があったため

③ 受診勧奨の際に行ったこと（リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）

薬剤師が受診勧奨の際に行ったことは「患者への指導」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では75.0%であった。

図表 4-36 受診勧奨の際に行ったこと（複数回答）
（リフィル上限まで使われなかった理由として、受診勧奨をしたと回答した施設）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

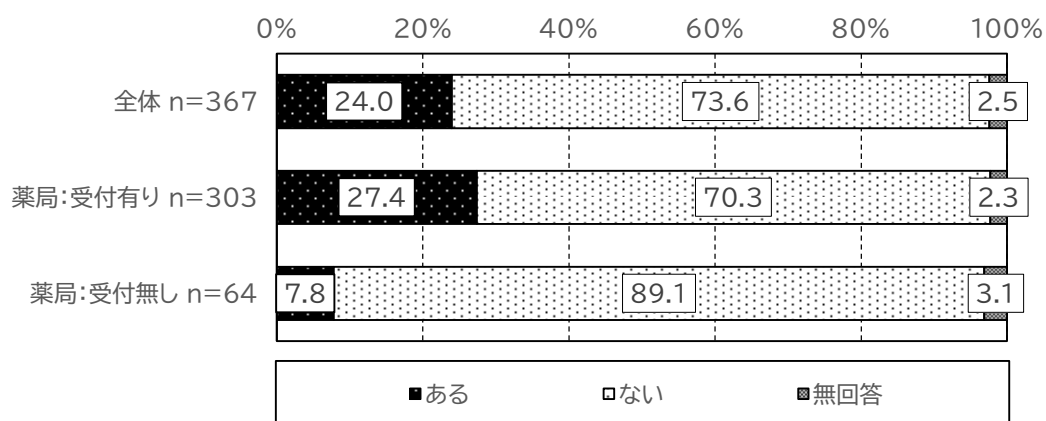


【その他（自由記載）の具体的な内容】
※具体的な記載なし

(9) リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験の有無（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が27.4%、「ない」が70.3%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「ある」が7.8%、「ない」が89.1%であった。

図表 4-37 リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験の有無
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

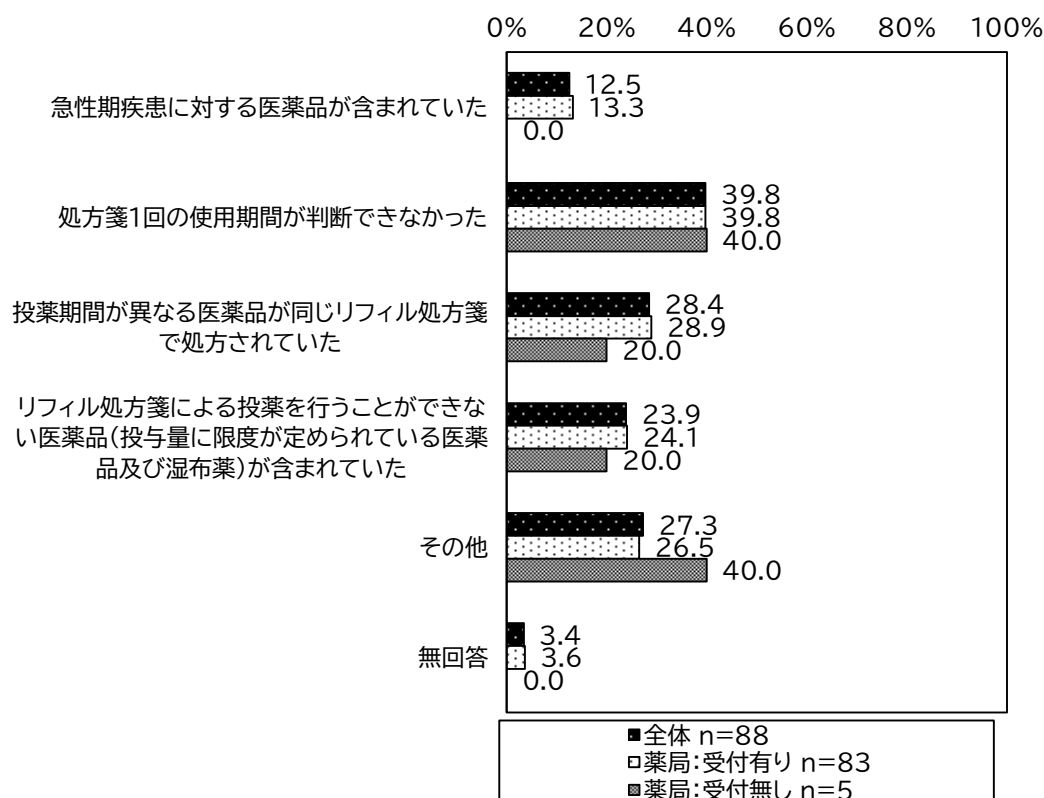


※ 「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(10) リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容（リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った施設のみ）

リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「処方箋1回の使用期間が判断できなかった」が最も多く39.8%、次いで「投薬期間が異なる医薬品が同じリフィル処方箋で処方されていた」が多く28.9%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では、「処方箋1回の使用期間が判断できなかった」と「その他」が最も多く40.0%、次いで「投薬期間が異なる医薬品が同じリフィル処方箋で処方されていた」と「リフィル処方箋による投薬を行うことができない医薬品（投与量に限度が定められている医薬品および湿布薬）が含まれていた」が多く、20.0%であった。

図表 4-38 リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容（複数回答）（リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



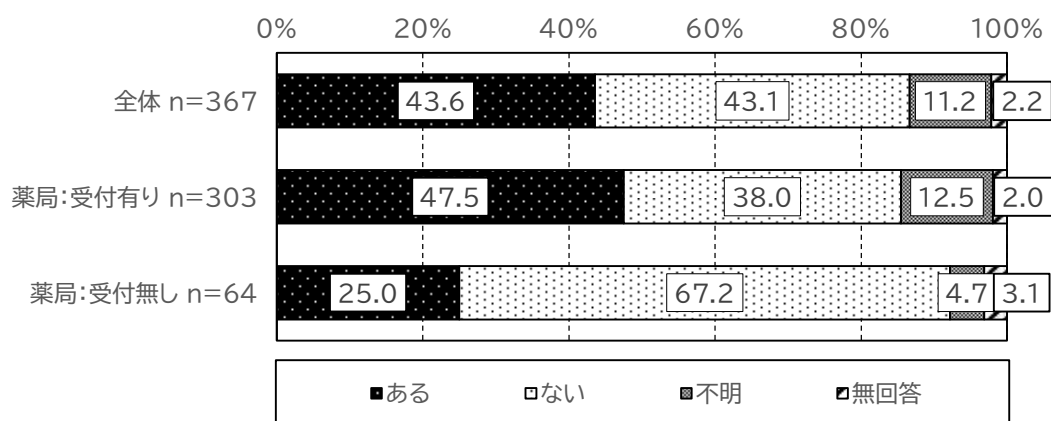
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・ 同一病院で他科から同じ薬の処方があった
- ・ 残薬調整を希望された
- ・ 休薬期間が必要な薬剤が含まれていた
- ・ 重複処方では院から服用中止の要請があった
- ・ 医師の記載ミスでリフィル処方にするつもりがない患者の処方箋にリフィル可のチェックが入っていた
- ・ 1品目だけ処方日数が少ない処方であった

(11) 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が47.5%、「ない」が38.0%、「不明」が12.5%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「ある」が25.0%、「ない」が67.2%、「不明」が4.7%であった。

図表 4-39 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

① リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合の内訳（1枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験がある施設のみ）

【自薬局から他薬局へ】

リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合のうち、自薬局から他薬局へ変えた場合の処方箋枚数については、以下のとおりであった。

図表 4-40 【自薬局から他薬局へ】リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合の内訳（1枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験がある施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

（単位：枚）

			回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	141	0.8	2.2	0.0
		3回目から他薬局	139	0.2	0.7	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	141	2.2	14.6	0.0
リフィル処方箋の受付有り	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	125	0.9	2.3	0.0
		3回目から他薬局	123	0.2	0.7	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	125	2.5	15.5	0.0
リフィル処方箋の受付有り	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	16	0.2	0.4	0.0
		3回目から他薬局	16	0.1	0.3	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	16	0.1	0.5	0.0

【他薬局から自薬局へ】

リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合のうち、他薬局から自薬局へ変えた場合の処方箋枚数については、以下のとおりであった。

図表 4-41 【他薬局から自薬局へ】リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合の内訳
 (1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験がある施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

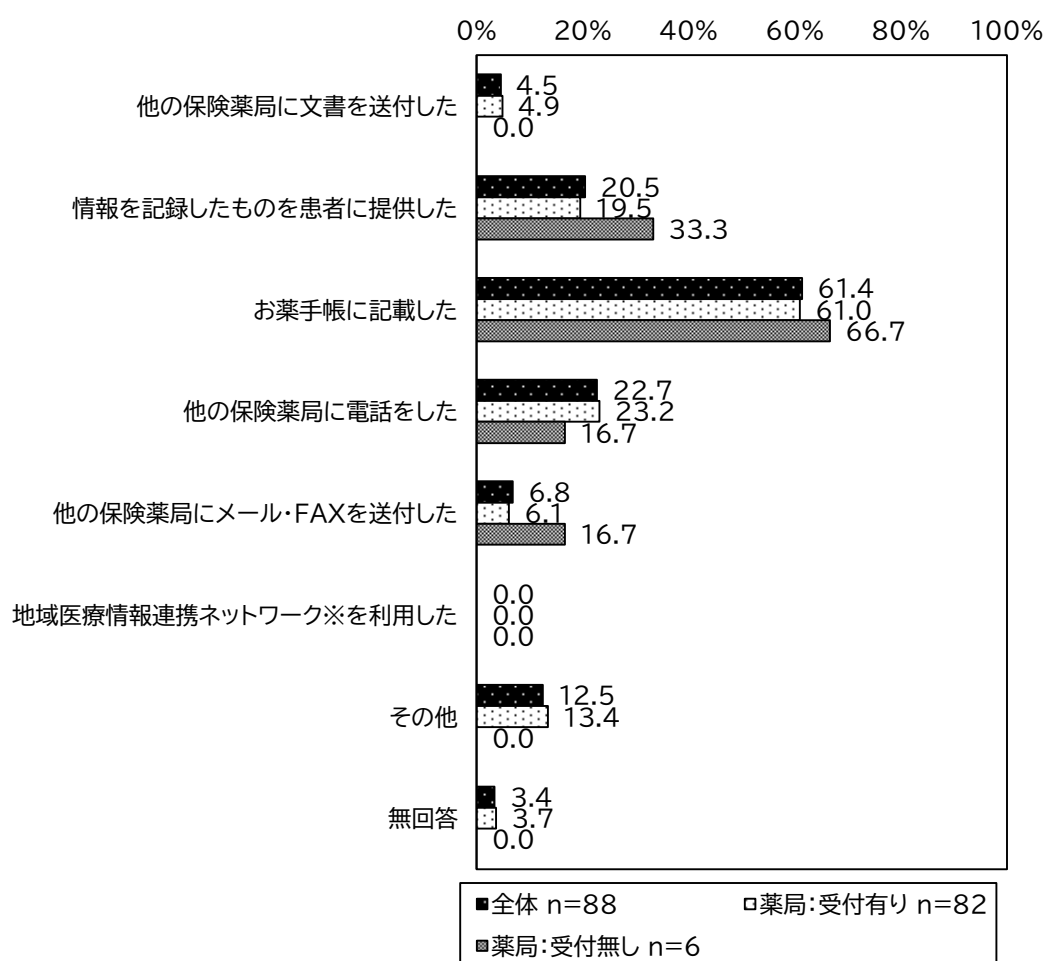
(単位：枚)

			回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	140	0.5	1.1	0.0
		3回目から他薬局	138	0.1	0.4	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	139	0.6	1.7	0.0
リフィル処方箋の受付有り	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	124	0.5	1.2	0.0
		3回目から他薬局	122	0.1	0.4	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	123	0.7	1.8	0.0
リフィル処方箋の受付有り	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	16	0.5	0.5	0.5
		3回目から他薬局	16	0.2	0.4	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	16	0.1	0.3	0.0

② 他薬局へ情報提供を行った方法（「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）

他薬局へ情報提供を行った方法は「お薬手帳に記載した」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では61.0%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では66.7%であった。次いで多いのはリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ほかの保険薬局に電話をした」で23.2%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「情報を記録したものを患者に提供した」で33.3%であった。

図表 4-42 他薬局へ情報提供を行った方法（複数回答）
（「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



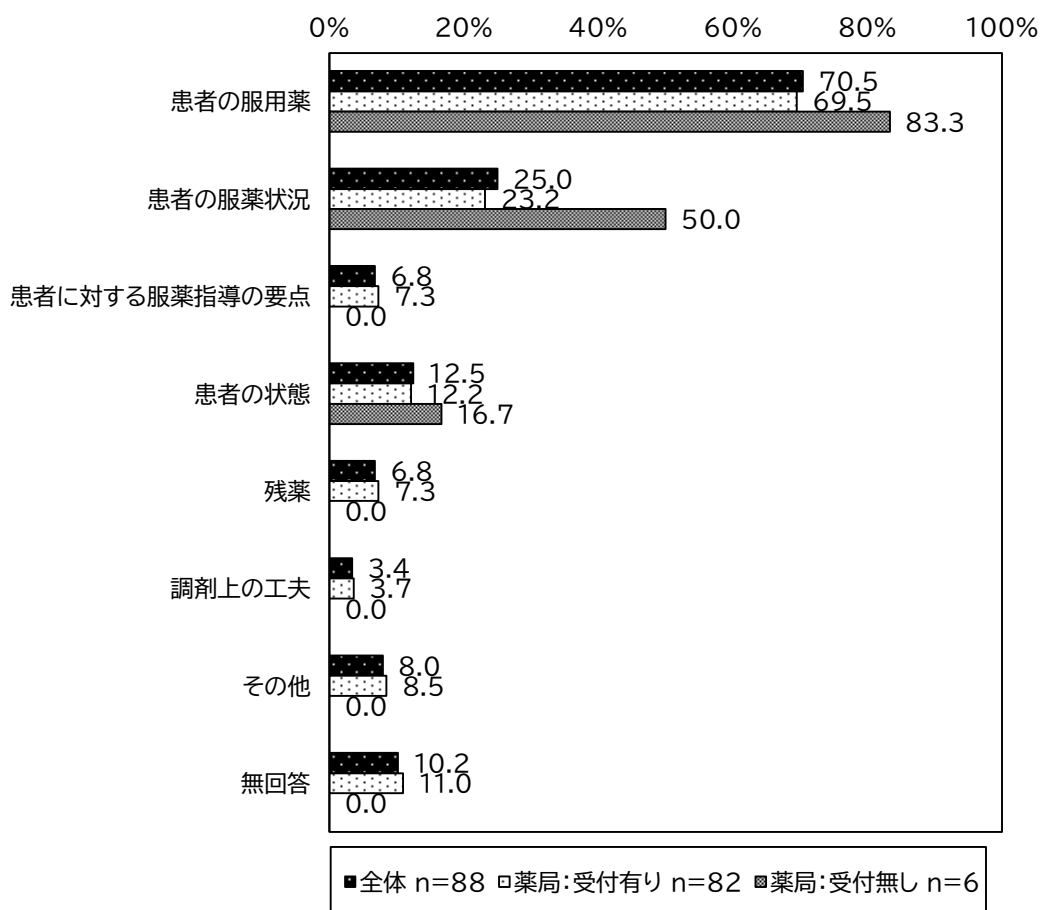
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・処方箋の備考欄に疾患名等を記入
- ・系列店であったため、薬歴を一部共有できた
- ・患者本人に薬局から連絡してもらうように伝えた など

③ 情報提供した内容（「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）

他薬局へ情報提供した内容は「患者の服用薬」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では69.5%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では83.3%であった。

図表 4-43 情報提供した内容（複数回答）
（「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



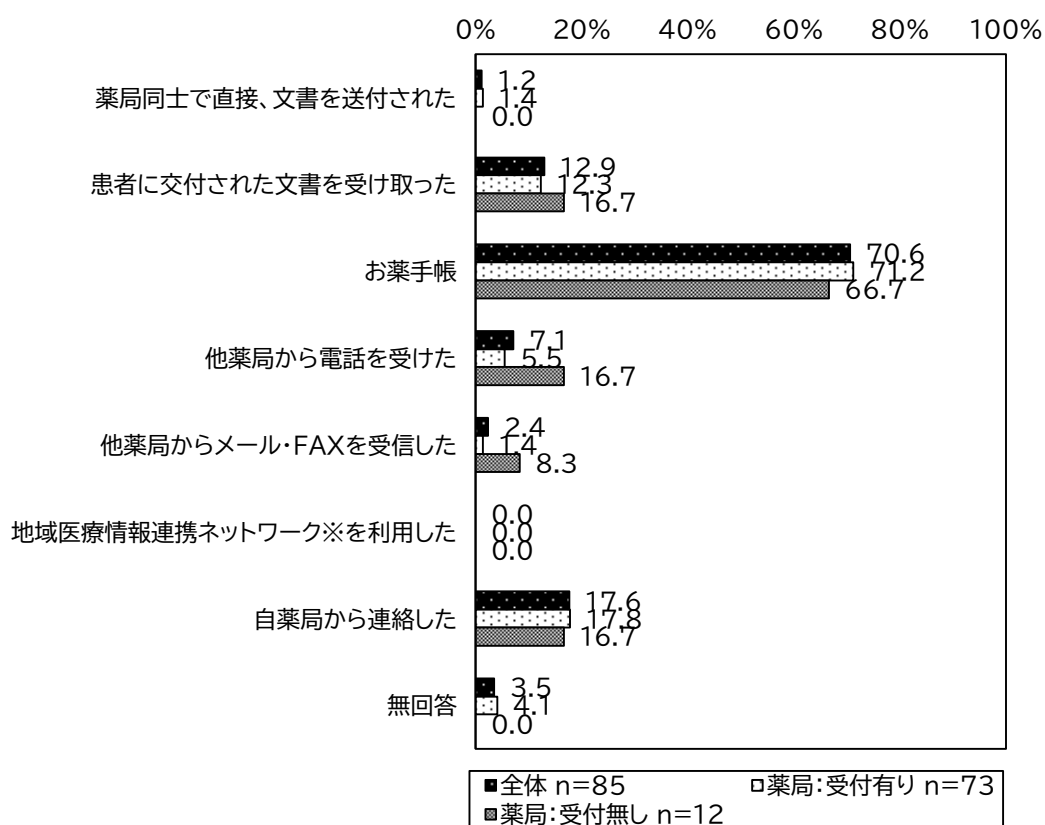
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・他の薬局で処方を受ける理由（出張で期間中に他県へ行くなど）
- ・出荷調整の薬が含まれていたため、在庫確認と対応可否の確認 など

④ 他薬局から情報提供を受けた方法（「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）

他薬局から情報提供を受けた方法は「お薬手帳」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では71.2%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では66.7%であった。

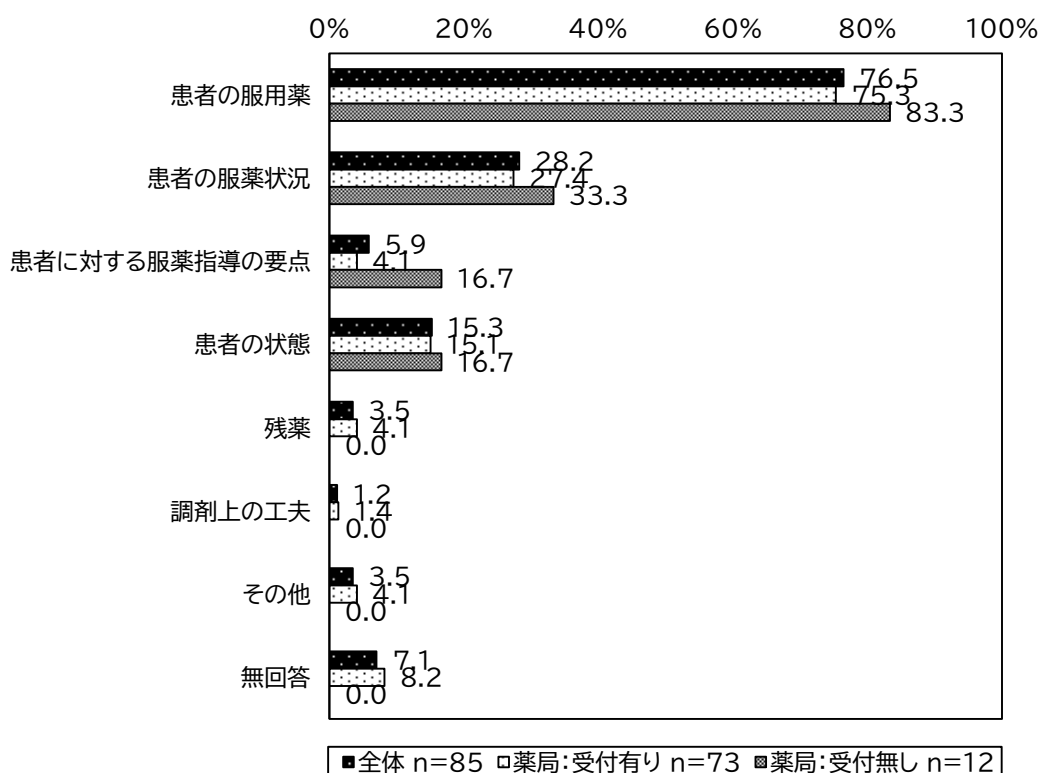
図表 4-44 他薬局から情報提供を受けた方法（複数回答）
（「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



⑤ 情報提供を受けた内容（「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）

他薬局から情報提供を受けた内容は「患者の服用薬」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では75.3%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では83.3%であった。

図表 4-45 情報提供された内容（複数回答）
（「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



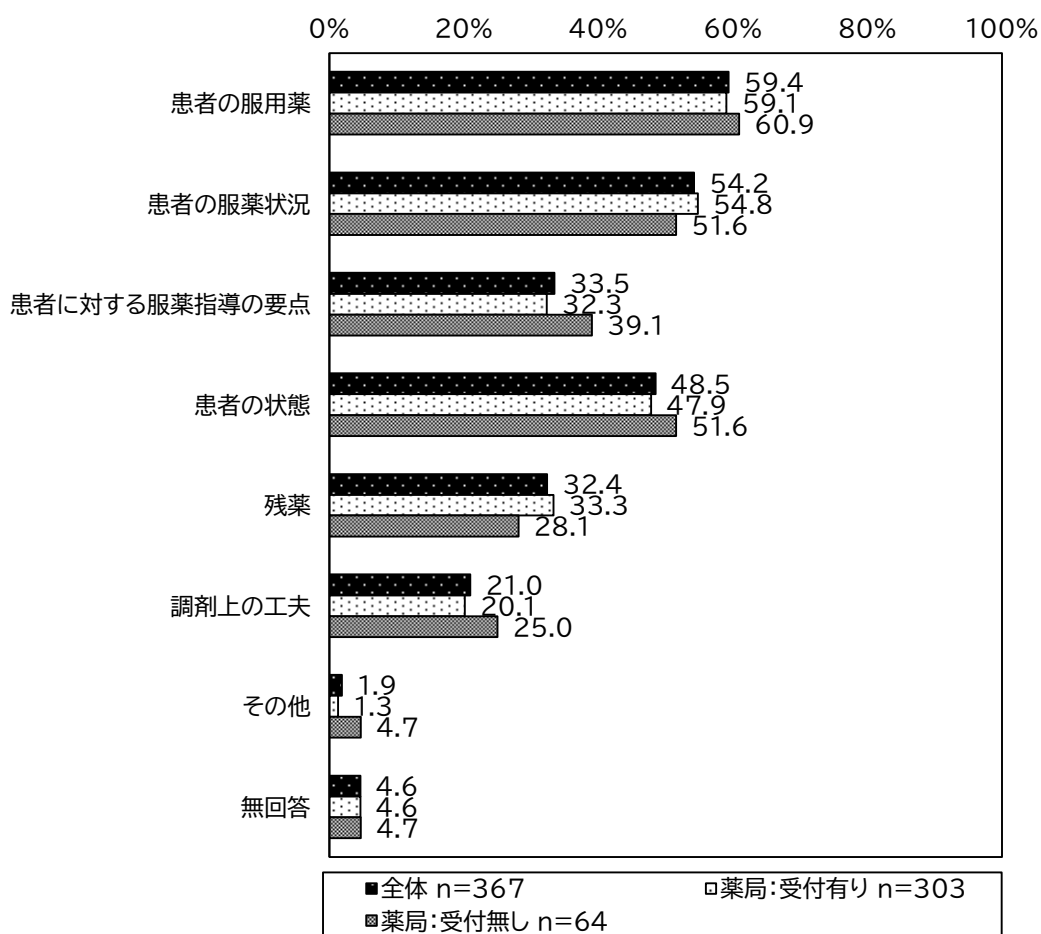
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・情報提供がなかった
- ・来局の事実のみ など

(12) リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際、提供してほしい情報（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際に提供してほしい情報は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「患者の服用薬」が最も多く 59.1%、次いで「患者の服薬状況」が 54.8%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「患者の服薬状況」が最も多く 60.9%、次いで「患者の服薬状況」と「患者の状態」が 51.6%であった。

図表 4-46 リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際、提供してほしい情報（複数回答）
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



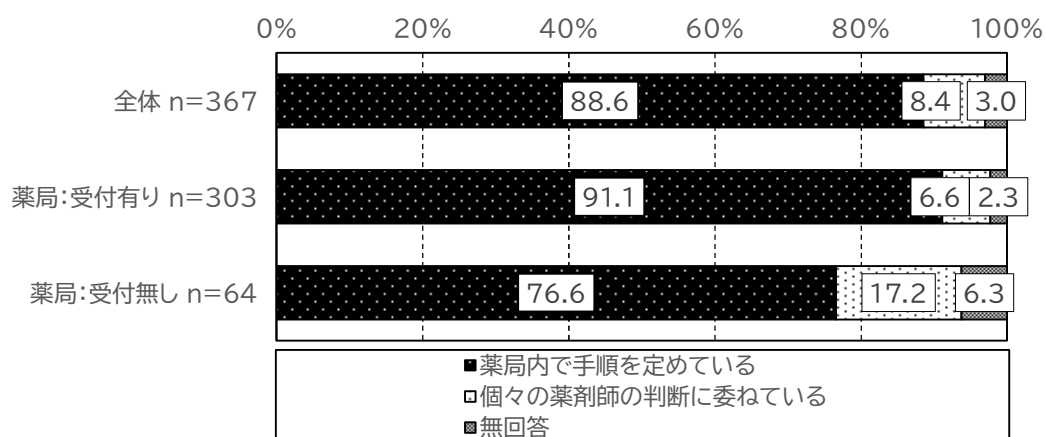
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・病歴の情報
- ・アレルギーの情報 など

(13) リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「薬局内で手順を定めている」が91.1%、「個々の薬剤師の判断に委ねている」が6.6%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「薬局内で手順を定めている」が76.6%、「個々の薬剤師の判断に委ねている」が17.2%であった。

図表 4-47 リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

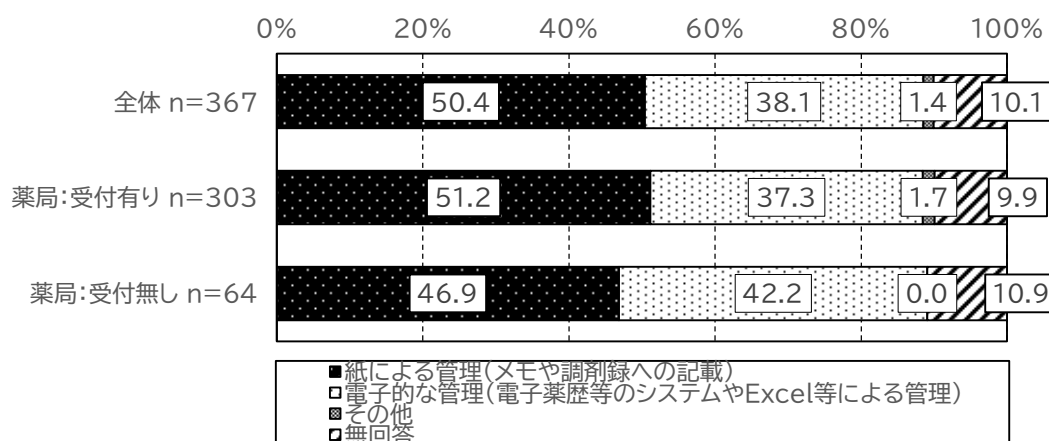


※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(14) リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法は、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「紙による管理（メモや調剤録への記載）」が51.2%、「電子的な管理（電子薬歴等のシステムやExcel等による管理）」が37.3%、「その他」が1.7%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「紙による管理（メモや調剤録への記載）」が46.9%、「電子的な管理（電子薬歴等のシステムやExcel等による管理）」が42.2%、「その他」が0.0%であった。

図表 4-48 リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

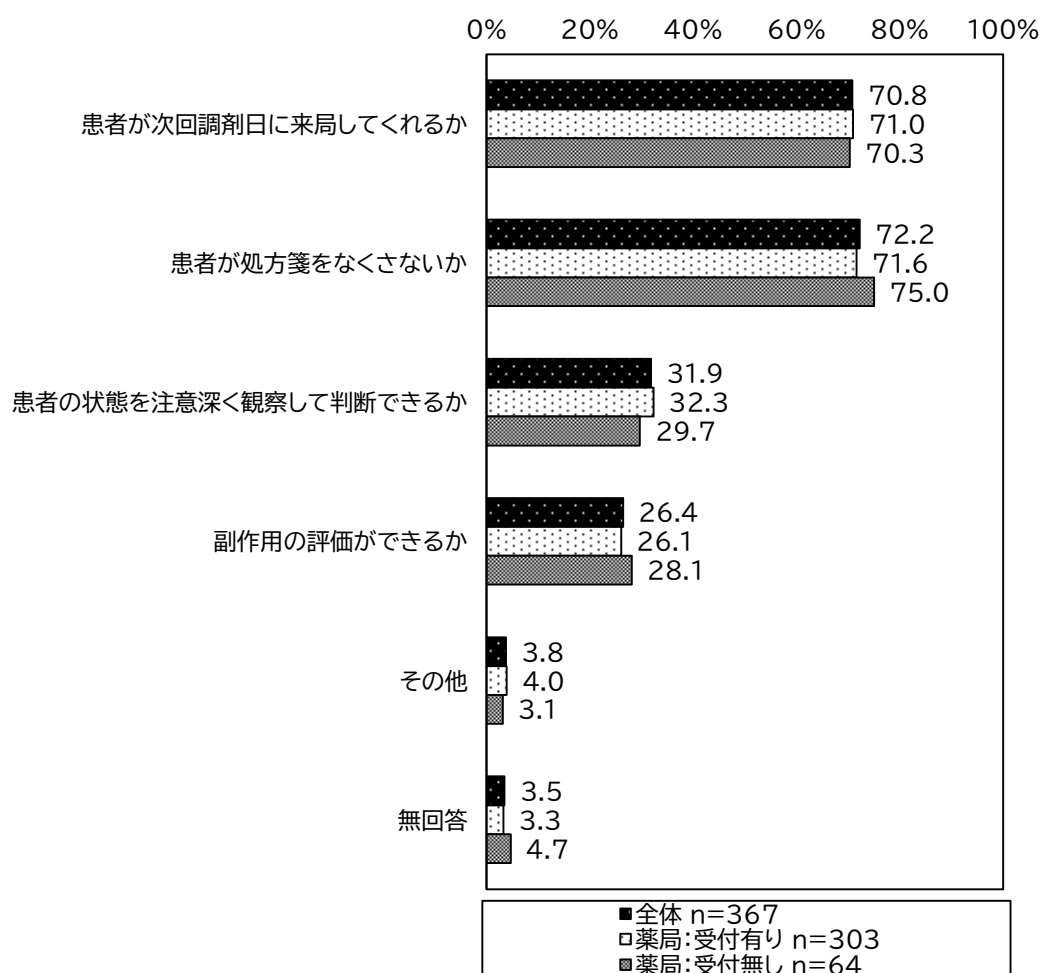
- ・カレンダーに次回調剤予定日を記入
- ・ホワイトボードに記載 など

※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

(15) 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）

リフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずることは、「患者が処方箋をなくさないか」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では71.6%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では70.3%であった。次いで多いのは「患者が次回調剤日に来局してくれるか」がリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では71.0%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では70.3%であった。

図表 4-49 リフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること（複数回答）
（リフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した施設のみ）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・患者本人が平日営業時間内に来局できない
- ・患者がリフィル処方箋制度を理解できていない
- ・リフィル処方であることを忘れ、次回に診察を受け、同じ薬剤を処方される
- ・服薬アドヒアランスは良好か など

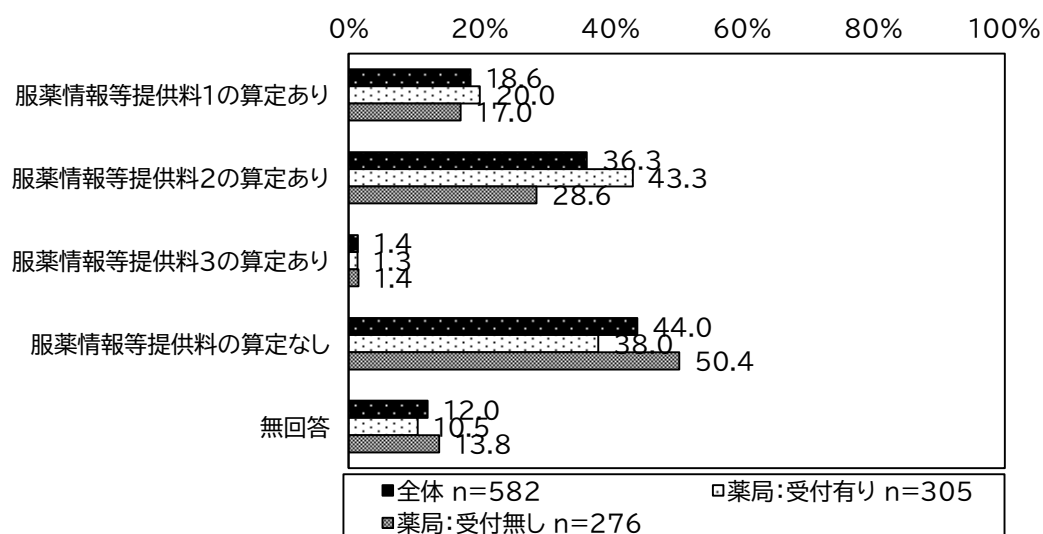
※「リフィル処方箋の受付実績が有る」とは、令和4年10月～12月の期間に5件以上、NDB上でのリフィル処方箋の受付実績が有ることを指します。

4) 医療機関等との連携について

(1) 服薬情報等提供料の算定の有無

服薬情報等提供料の算定有無についてはリフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「服薬情報等提供料2の算定あり」が最も多く43.3%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「服薬情報等提供料の算定なし」が最も多く50.4%であった。

図表 4-50 服薬情報等提供料の算定の有無（複数回答）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



図表 4-51 服薬情報等提供料 1 の算定回数
 (服薬情報等提供料 1 の算定ありの施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

(単位：回)

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	108	100.9	535.9	3.0
受付実績有り	61	23.1	44.8	4.0
受付実績無し	47	201.8	804.4	2.0

図表 4-52 服薬情報等提供料 1 の算定回数のうち、リフィル処方箋の回数
 (服薬情報等提供料 1 の算定ありの施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

(単位：回)

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	103	1.6	8.4	0.0
受付実績有り	59	2.8	10.9	0.0
受付実績無し	44	0.0	0.0	0.0

図表 4-53 服薬情報等提供料 2 の算定回数
 (服薬情報等提供料 2 の算定ありの施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

(単位：回)

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	205	15.1	18.9	9.0
受付実績有り	128	16.4	17.9	9.5
受付実績無し	77	12.9	20.4	6.0

図表 4-54 服薬情報等提供料 2 の算定回数のうち、リフィル処方箋の回数
 (服薬情報等提供料 2 の算定ありの施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

(単位：回)

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	201	1.4	7.0	0.0
受付実績有り	127	2.1	8.7	0.0
受付実績無し	74	0.1	0.4	0.0

図表 4-55 服薬情報等提供料3の算定回数
 (服薬情報等提供料3の算定ありの施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

(単位：回)

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	8	1.4	0.9	1.0
受付実績有り	4	1.0	0.8	1.0
受付実績無し	4	1.8	1.0	1.5

図表 4-56 服薬情報等提供料3の算定回数のうち、リフィル処方箋の回数
 (服薬情報等提供料3の算定ありの施設のみ)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

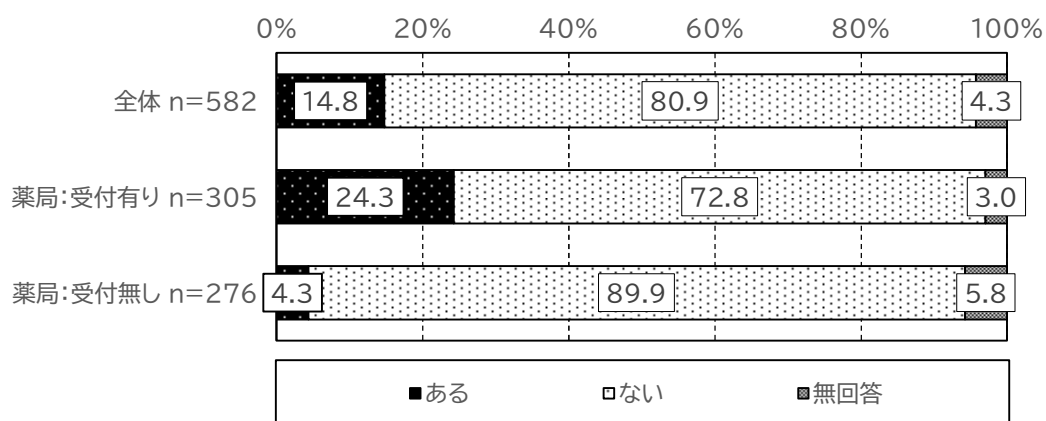
(単位：回)

	回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
全体	8	0.0	0.0	0.0
受付実績有り	4	0.0	0.0	0.0
受付実績無し	4	0.0	0.0	0.0

(2) リフィル処方箋の患者に関して医療機関に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験

リフィル処方箋の患者に関して医療機関に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が24.3%、「ない」が72.8%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「ある」が4.3%、「ない」が89.9%であった。

図表 4-57 リフィル処方箋の患者に関して医療機関に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験（リフィル処方箋の受付実績有無別）

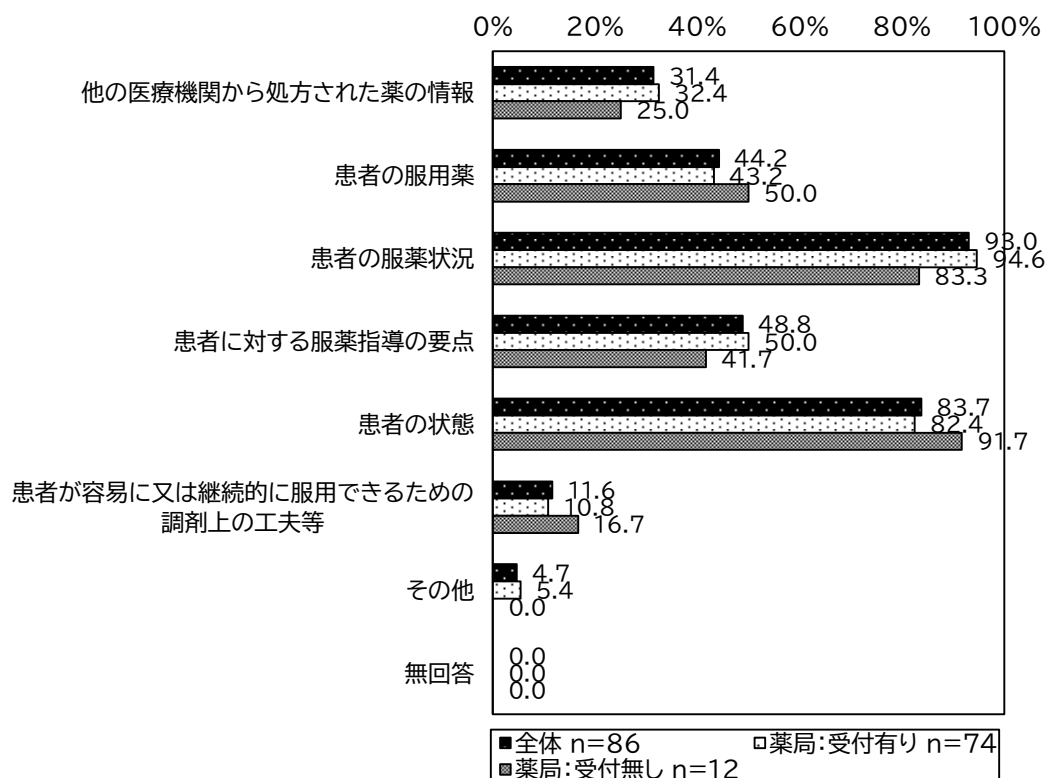


① リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容（トレーシングレポートを提供した経験のある施設のみ対象）

リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容については、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「患者の服薬状況」が最も多く 94.6%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「患者の状態」が最も多く 91.7%であった。

提供した情報として最も多いものについては、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「患者の服薬状況」が最も多く 67.6%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「患者の状態」が最も多く 41.7%であった。

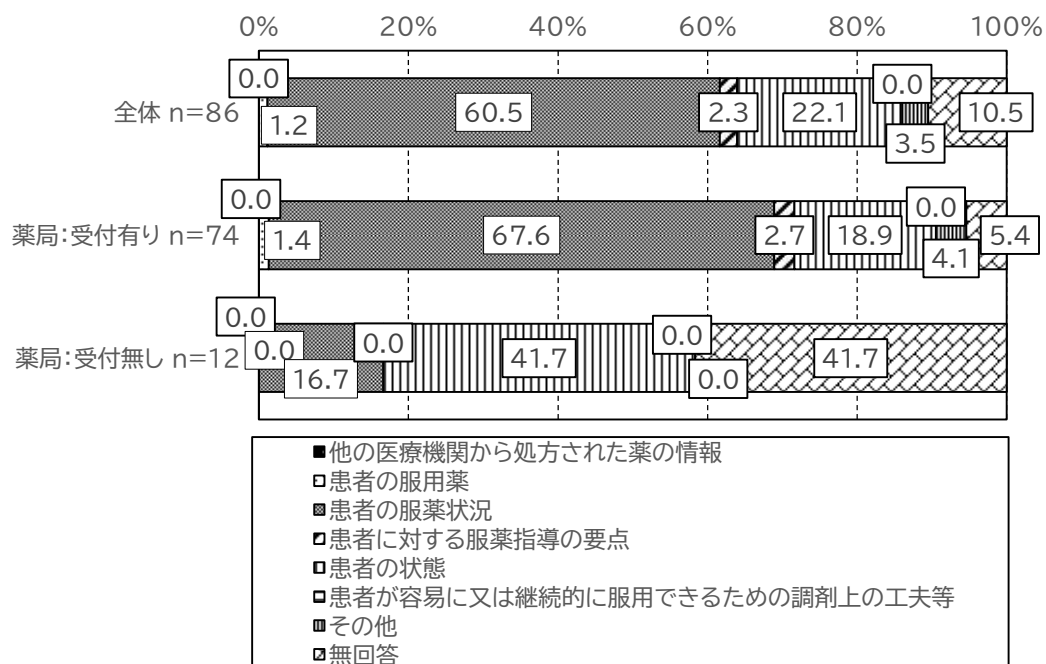
図表 4-58 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容（複数回答）
（トレーシングレポートを提供した経験のある施設のみ対象）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・ 残薬
- ・ 副作用
- ・ 患者が医師に相談できなかったこと
- ・ 重複により中止指示があったこと など

図表 4-59 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書
 (トレーシングレポート) で提供した情報の内容 (最も多いもの一つ)
 (トレーシングレポートを提供した経験のある施設のみ対象)
 (リフィル処方箋の受付実績有無別)

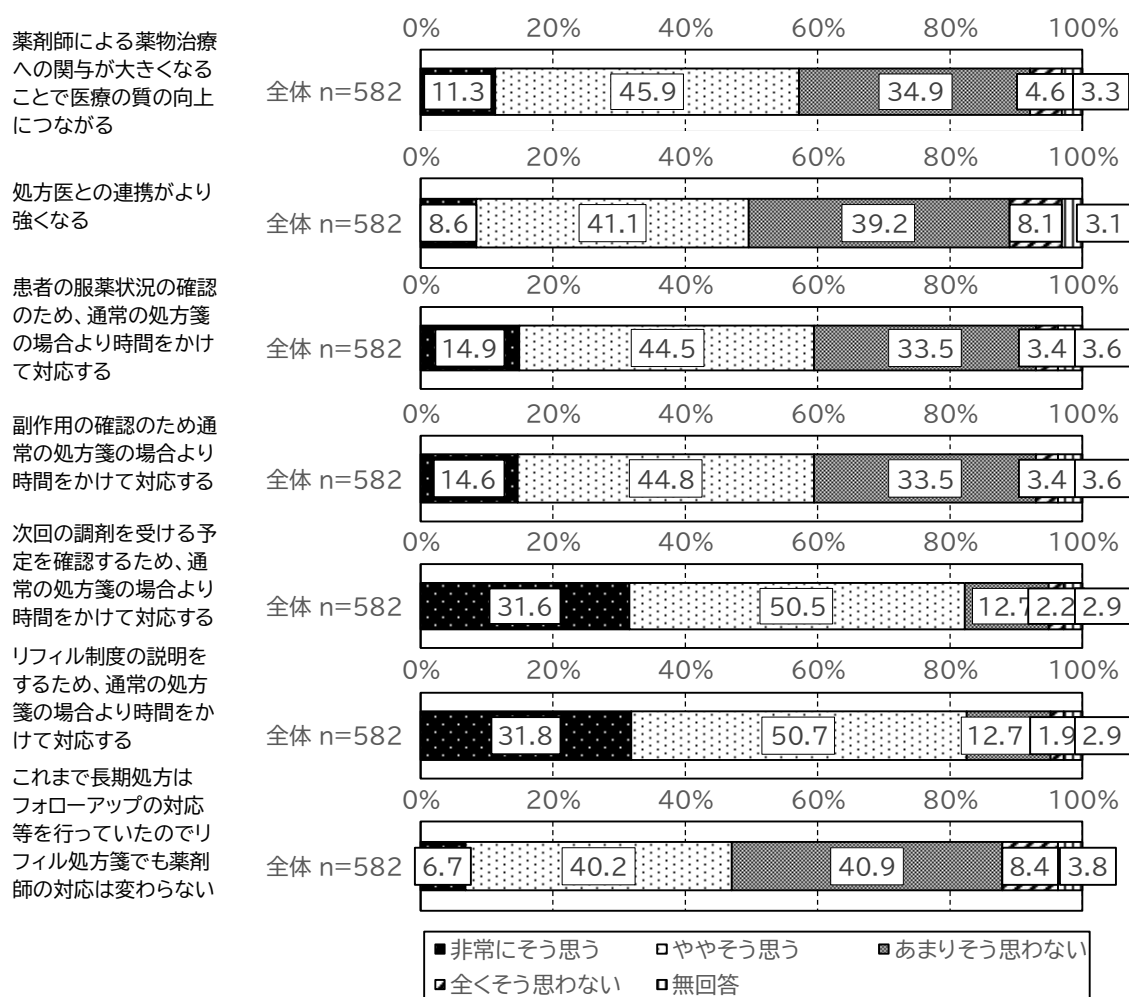


5) リフィル処方箋に関する薬局・薬剤師への影響等

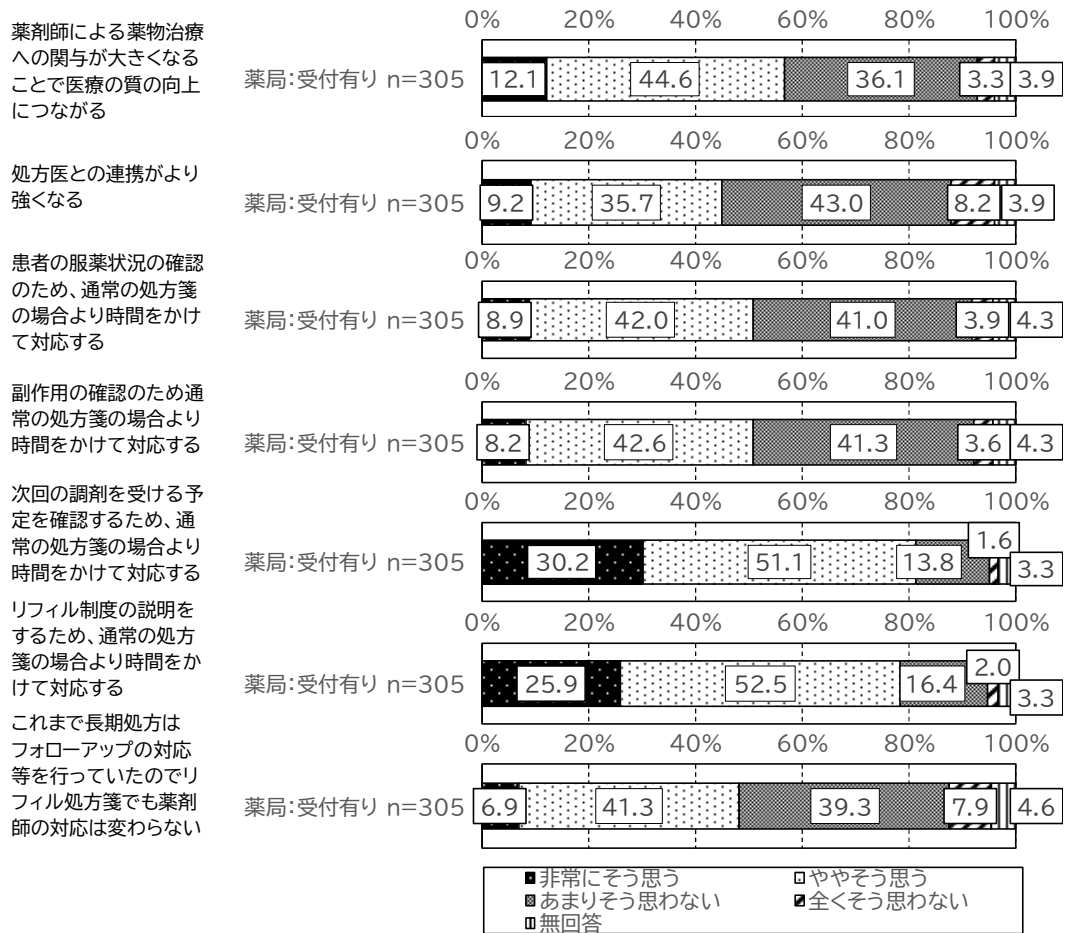
(1) リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響

リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局において「非常にそう思う」が最も多かったのは、「次回の調剤を受ける予定を確認するため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する」で30.2%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局において「非常にそう思う」が最も多かったのは、「リフィル制度の説明をするため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する」で38.0%であった。

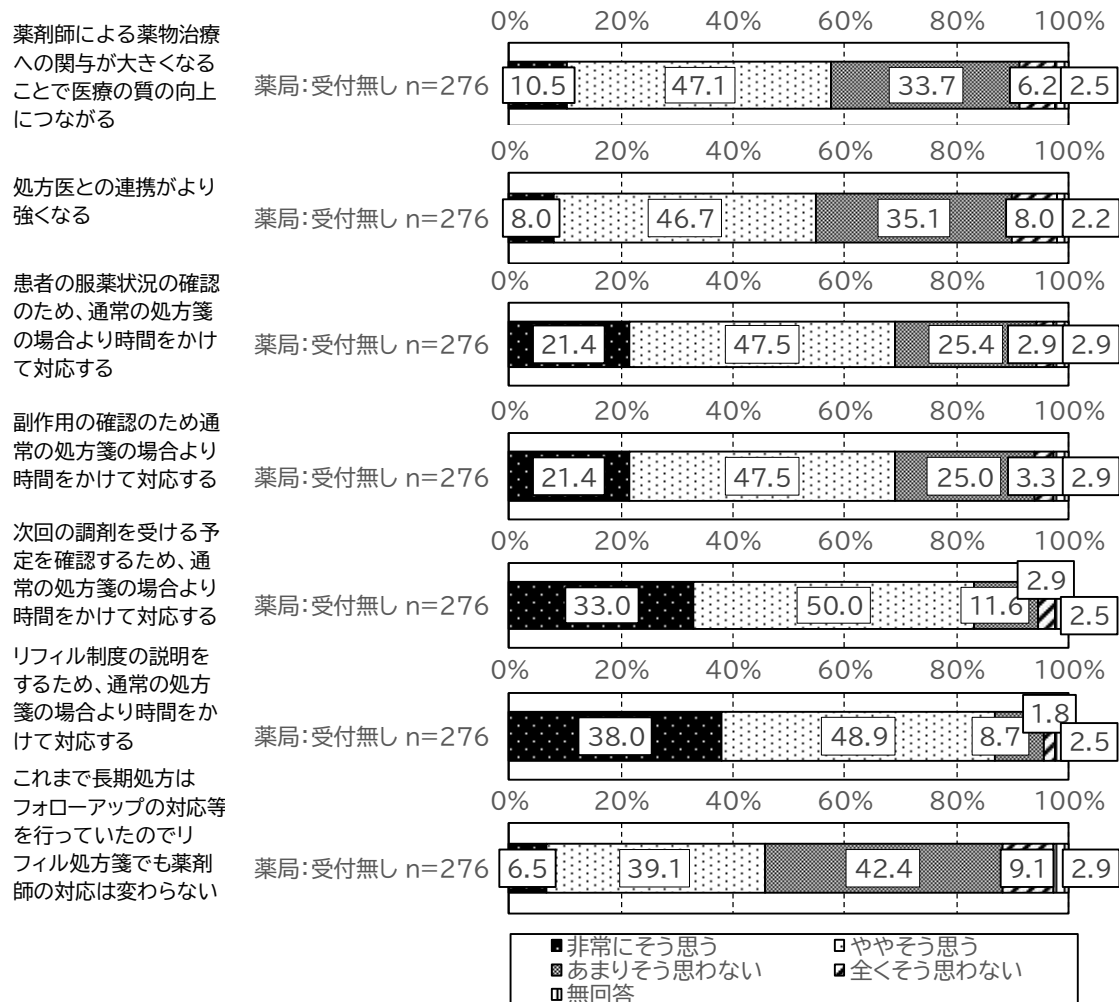
図表 4-60 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(全体)



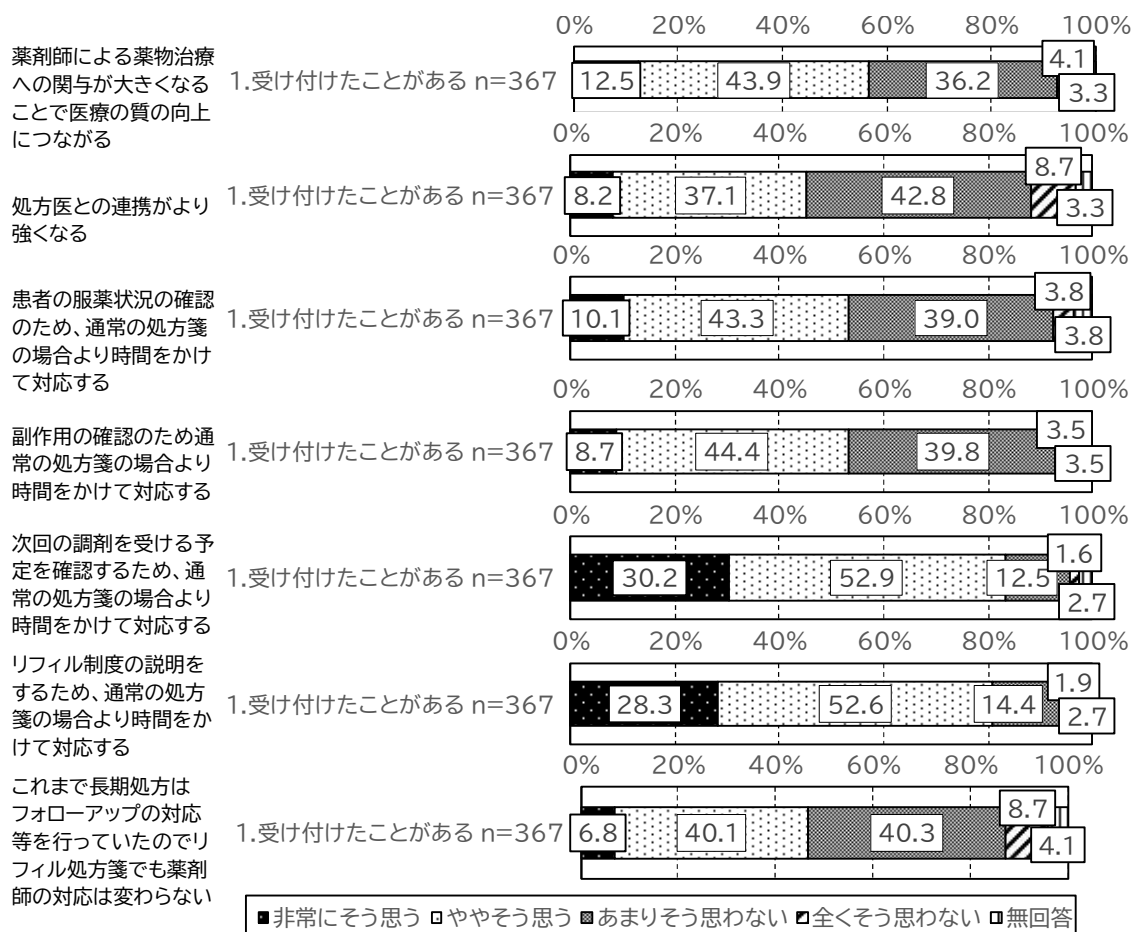
図表 4-61 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(リフィル処方箋の受付実績有り)



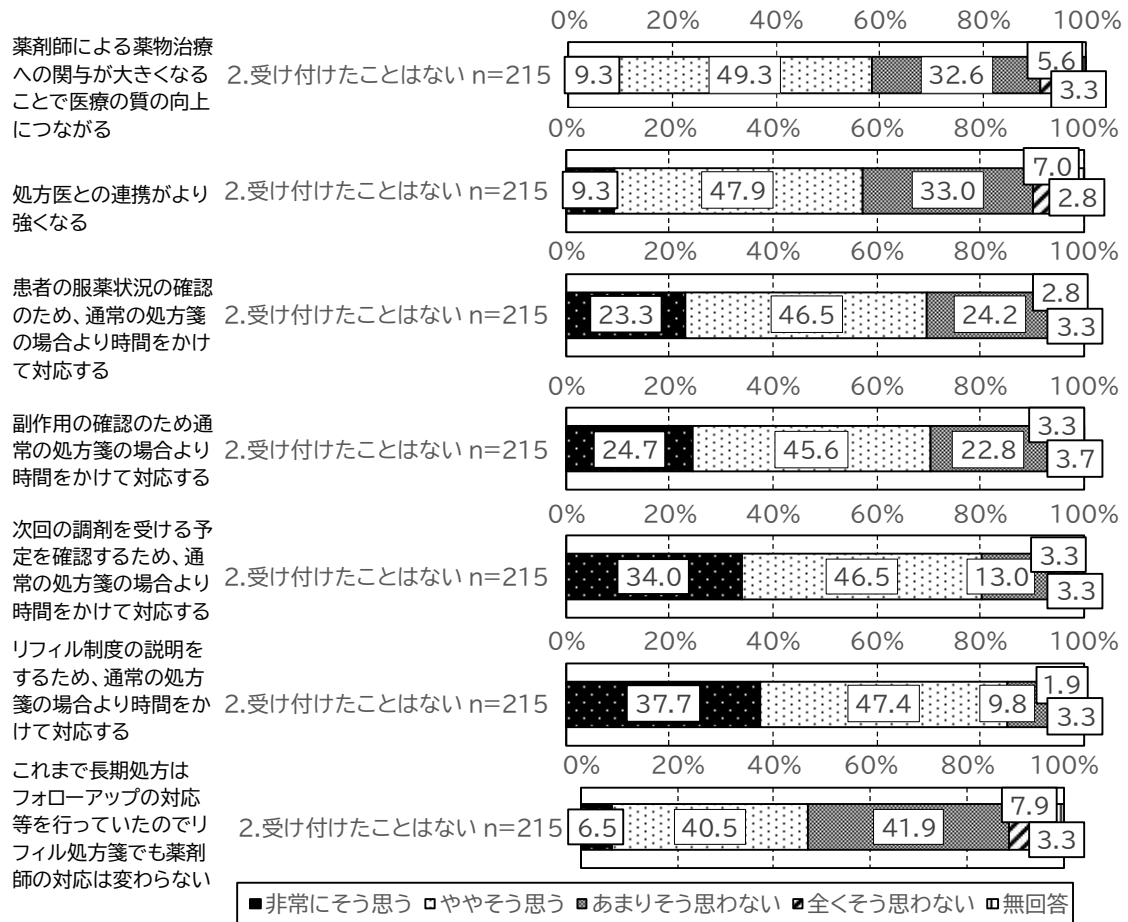
図表 4-62 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(リフィル処方箋の受付実績無し)



図表 4-63 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(調査票上でリフィル処方箋を「受け付けたことがある」と回答した薬局)



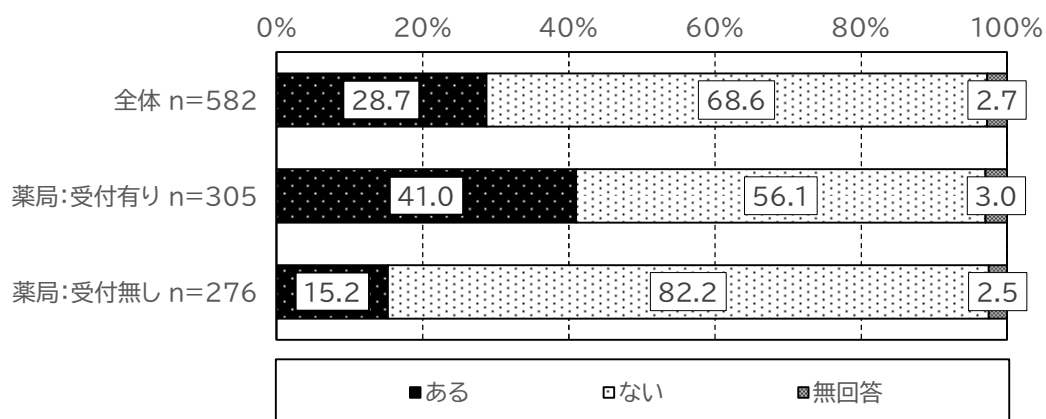
図表 4-64 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
 (調査票上でリフィル処方箋を「受け付けたことはない」と回答した薬局)



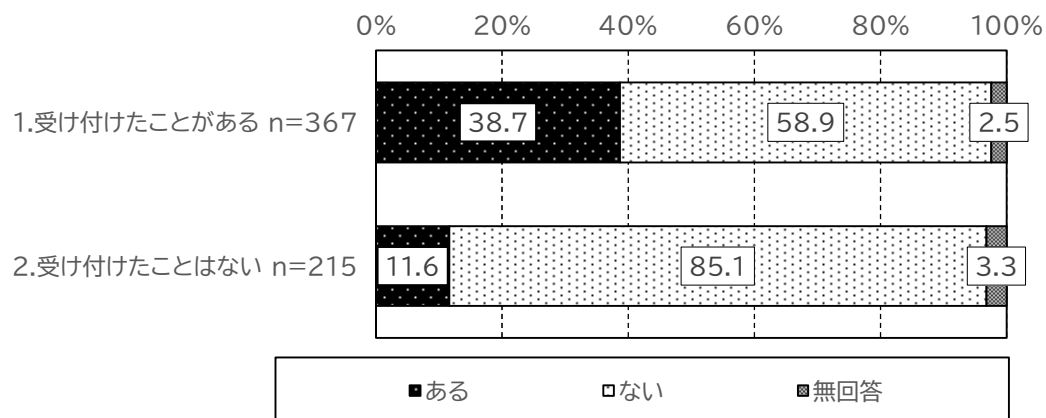
(2) 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験

患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」が41.0%、「ない」が56.1%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「あり」が15.2%、「ない」が82.2%であった。

図表 4-65 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



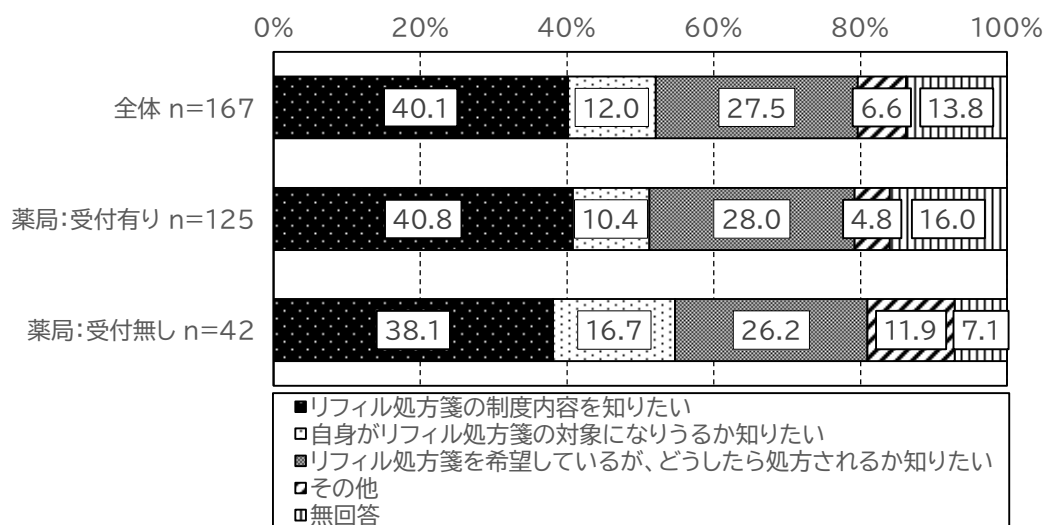
図表 4-66 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
(調査票上のリフィル処方箋を受け付けたことがあるかについての回答別)



① 受けた相談の内容（患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験がある施設のみ対象）

患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた内容について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「リフィル処方箋の制度内容を知りたい」が最も多く40.8%、リフィル処方箋の受付実績が無い薬局でも同項目が最も多く38.1%であった。

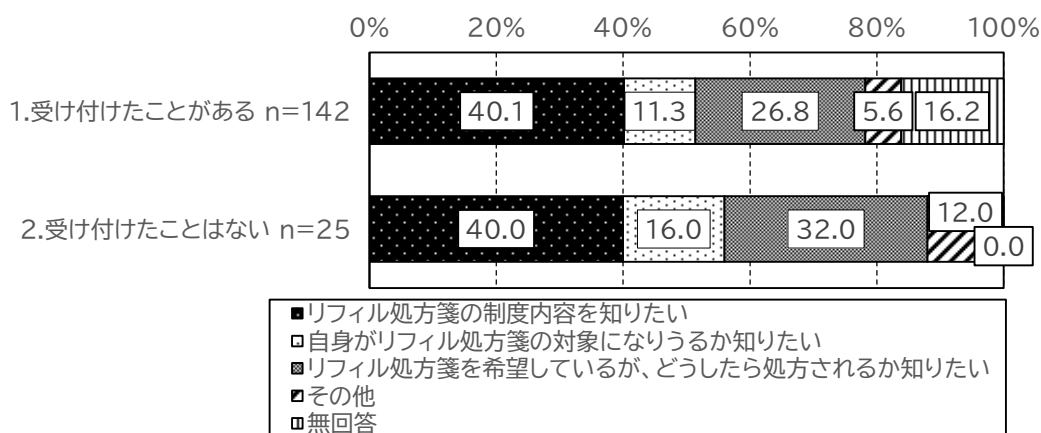
図表 4-67 最も多く受けた相談の内容
（患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験がある施設のみ対象）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・ 1回処方されたことがある薬は処方箋無しで良いのか（誤った認識）
- ・ なぜリフィルにしてくれないのかというクレーム
- ・ 次回期限内の受け取りが難しい場合の対応策 など

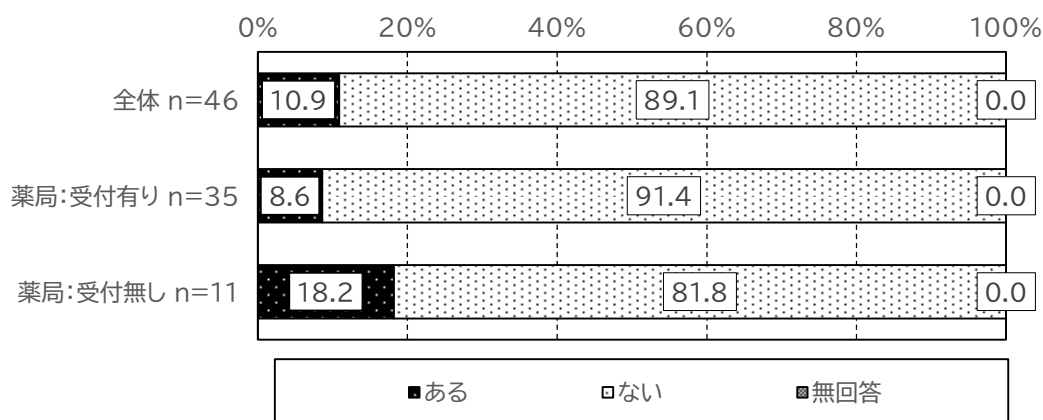
図表 4-68 最も多く受けた相談の内容
（患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験がある施設のみ対象）
（調査票上のリフィル処方箋を受け付けたことがあるかについての回答別）



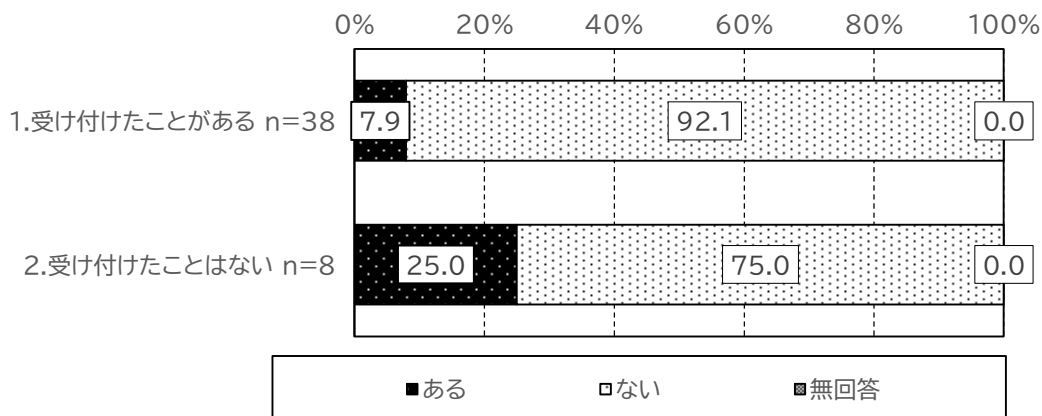
② 患者の希望を処方医に連絡した経験（リフィル処方箋を希望しているが、どうしたら処方されるか知りたいと相談を受けた施設のみ対象）

患者の希望を処方医に連絡した経験について、リフィル処方箋の受付実績が有る薬局では「ある」は8.6%、「ない」は91.4%であった。リフィル処方箋の受付実績が無い薬局では「ある」は18.2%、「ない」は81.8%であった。

図表 4-69 患者の希望を処方医に連絡したことの有無
(リフィル処方箋の受付実績有無別)



図表 4-70 患者の希望を処方医に連絡したことの有無
(調査票上のリフィル処方箋を受け付けたことがあるかについての回答別)



5. 患者調査（郵送調査）

【調査対象等】

○調査票 患者票

調査対象：病院・診療所調査の対象施設の調査日に外来受診した患者、並びに、保険薬局調査の対象施設の調査日に来局した患者を調査対象とした。1施設につき2名を本調査の対象とした。

回答数：1,119人

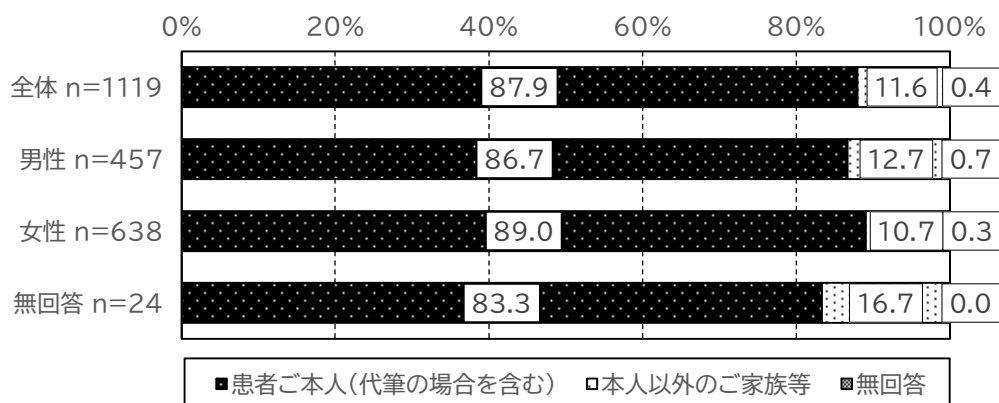
回答者：患者本人もしくは家族

1) この調査票のご記入者

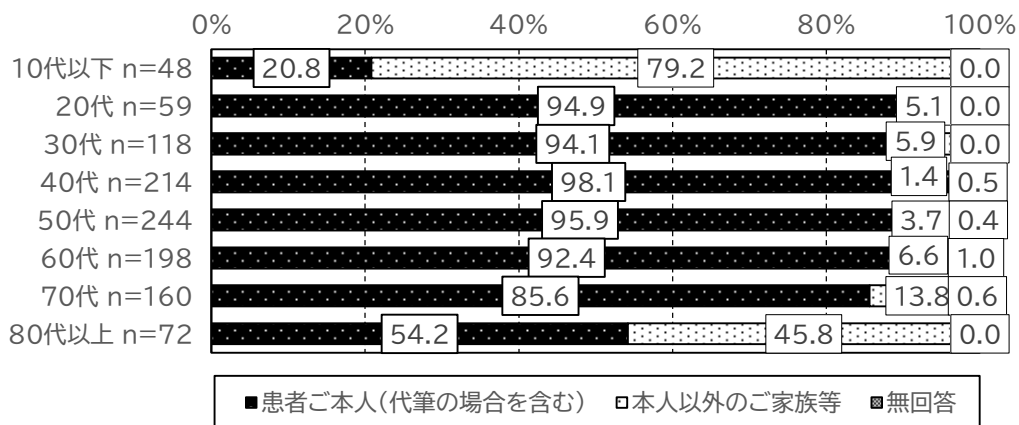
(1) ご記入者は患者さんご本人か

調査票の記入者は患者本人かについては「患者ご本人」が87.9%、「本人以外のご家族等」が11.6%であった。

図表 5-1 調査票の記入者
(性別)



図表 5-2 調査票の記入者
(年代別)

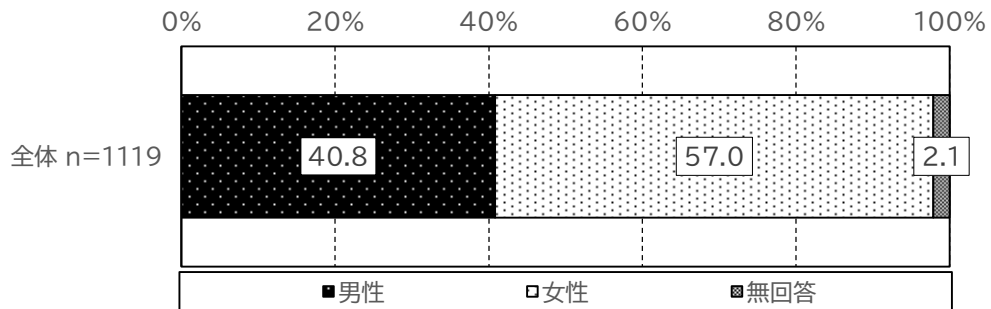


2) 患者さんご自身のことについて

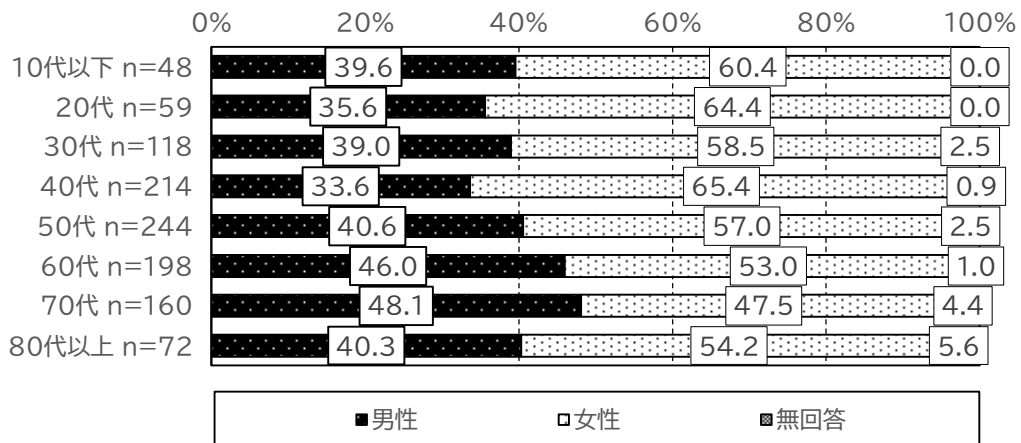
(1) 性別

性別については「男性」が40.8%、「女性」が57.0%であった。

図表 5-3 性別



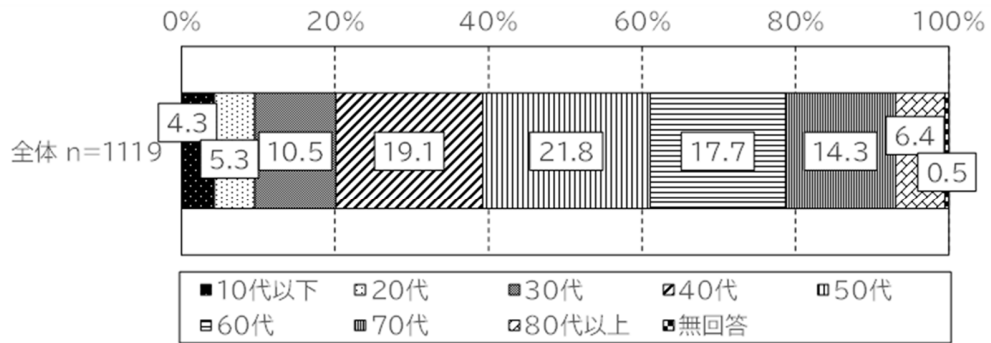
図表 5-4 性別
(年代別)



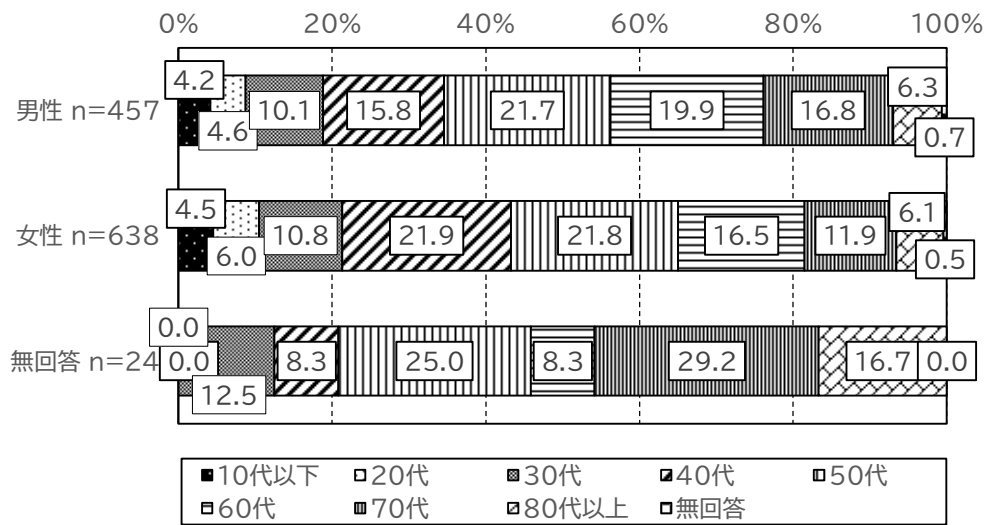
(2) 年齢

年齢については「50代」が最も多く21.8%、次いで「40代」が19.1%であった。

図表 5-5 年齢
(性別)



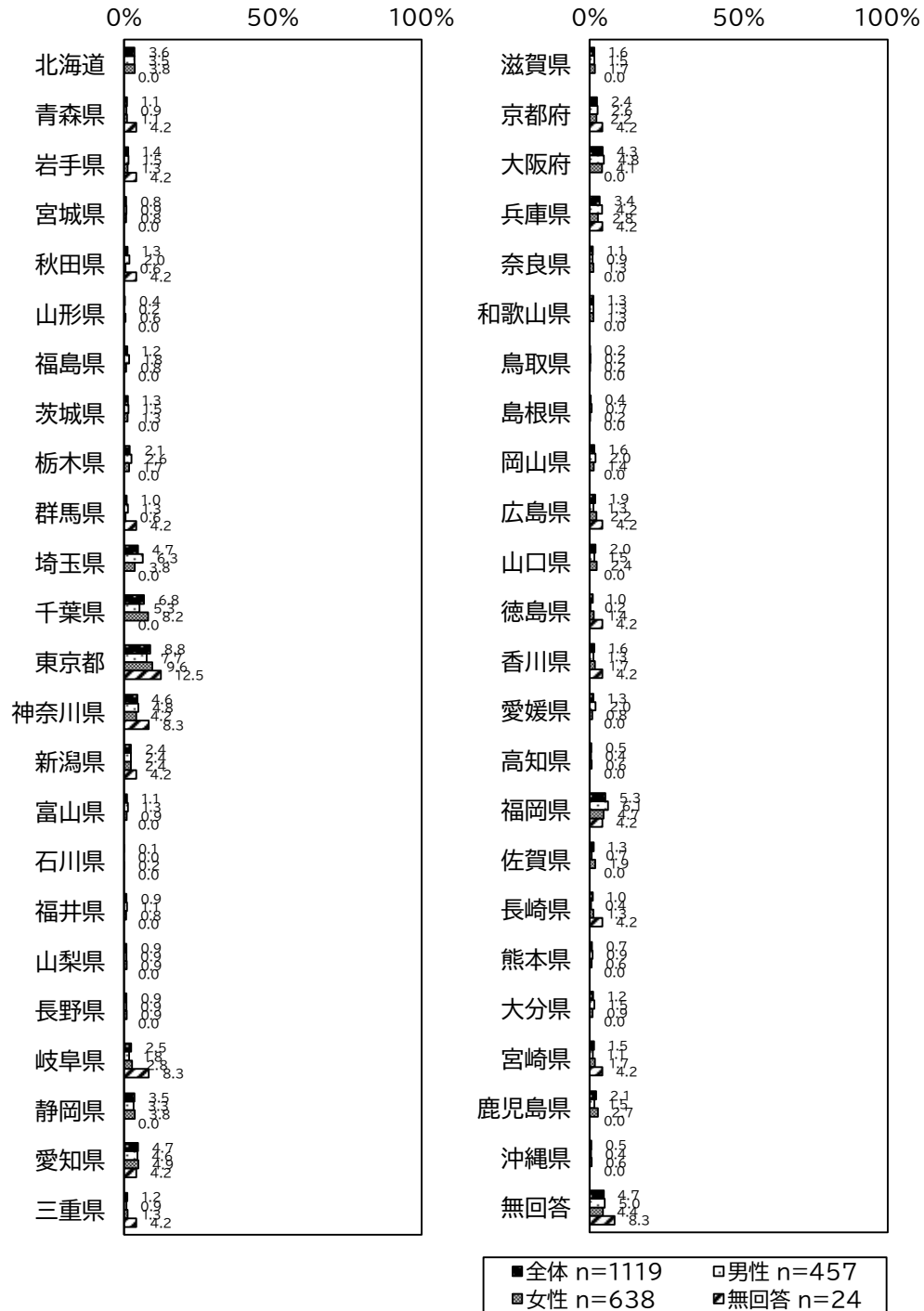
図表 5-6 年齢
(年代別)



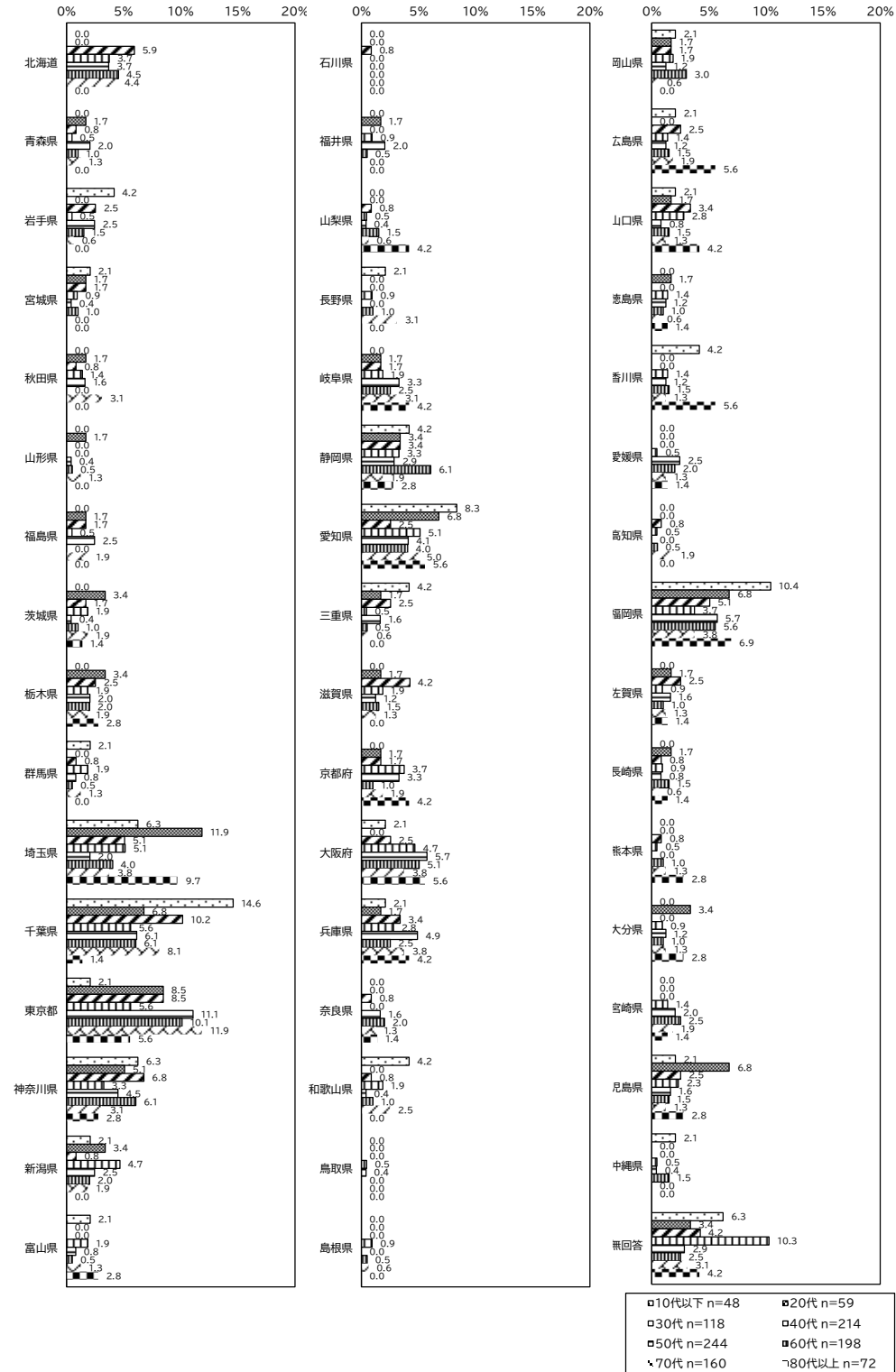
(3) お住まい

お住まいについては「東京都」が最も多く 8.8%であった。

図表 5-7 お住まい
(性別)



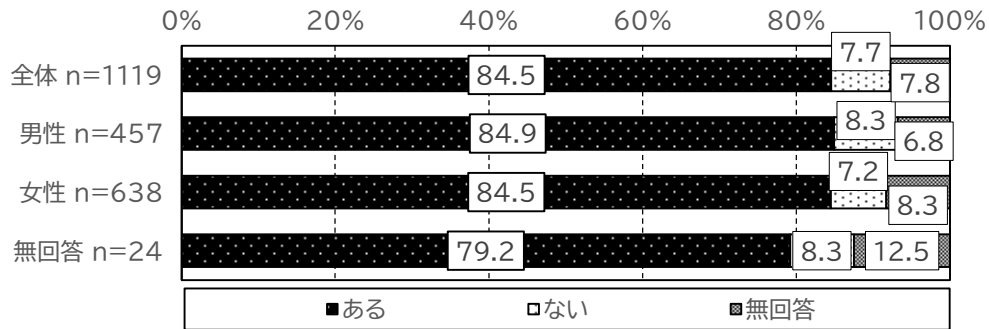
図表 5-8 お住まい
(年代別)



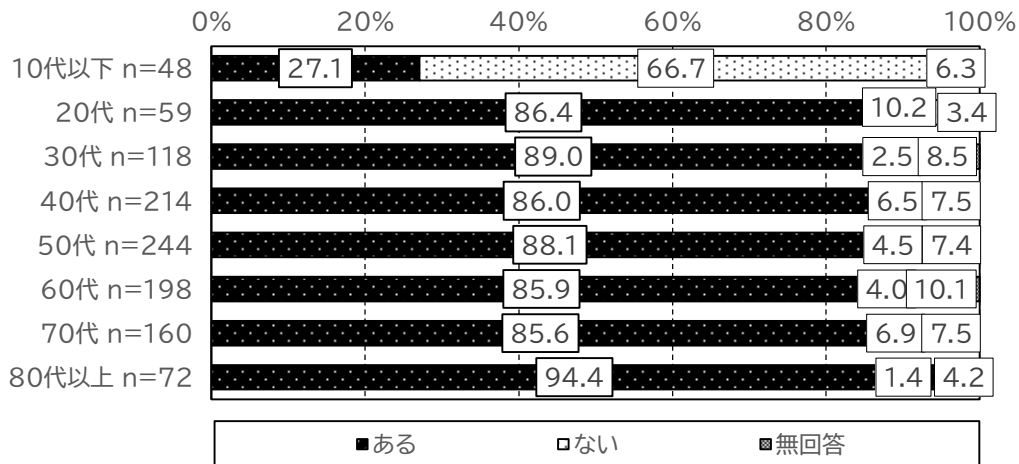
(4) 薬局の窓口で支払うお金の有無

薬局の窓口で支払うお金（お薬の容器代は含まない）については、「ある」が84.5%、「ない」が7.7%であった。

図表 5-9 薬局の窓口で支払うお金の有無
(性別)



図表 5-10 薬局の窓口で支払うお金の有無
(年代別)



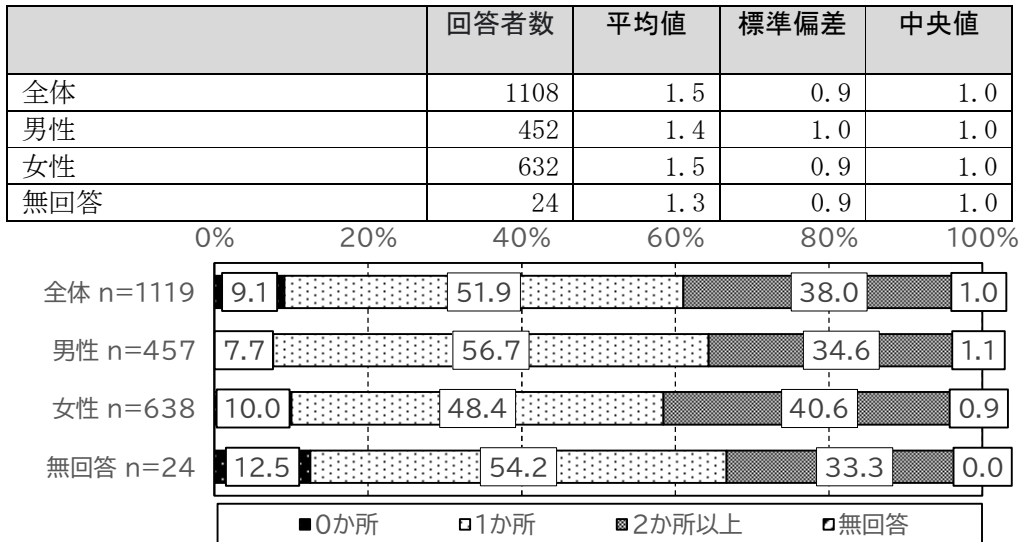
3) 医療機関や保険薬局の利用状況等について

(1) 定期的を受診している医療機関（病院・診療所）、診療科の数

定期的（180日間で複数回）に受診している医療機関（病院・診療所）の数については平均で1.5件であった。

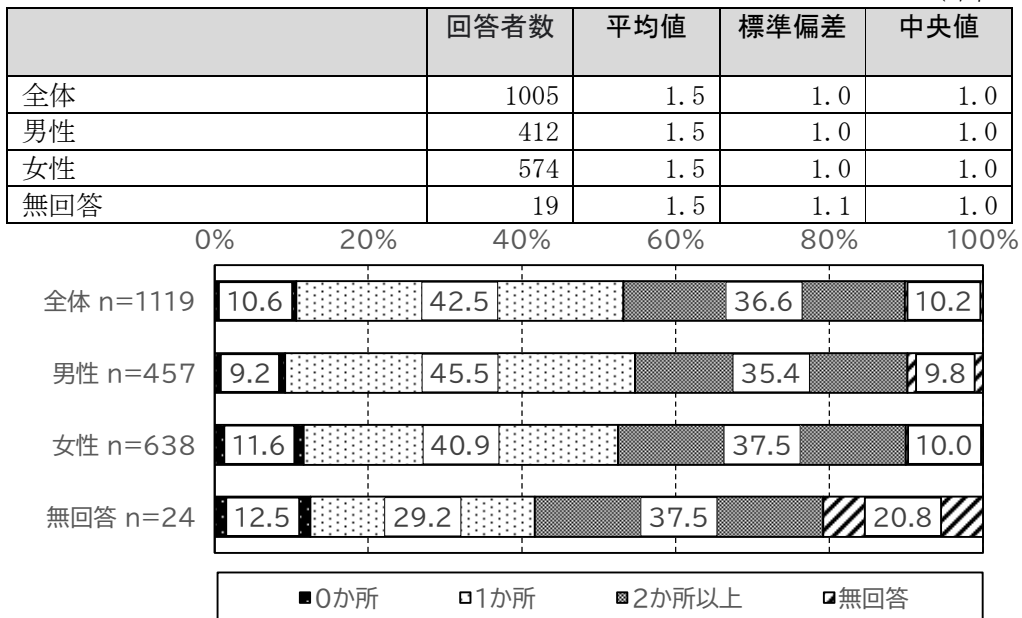
図表 5-11 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）の数
（性別）

（単位：件）



図表 5-12 定期的に受診している診療科の数
（性別）

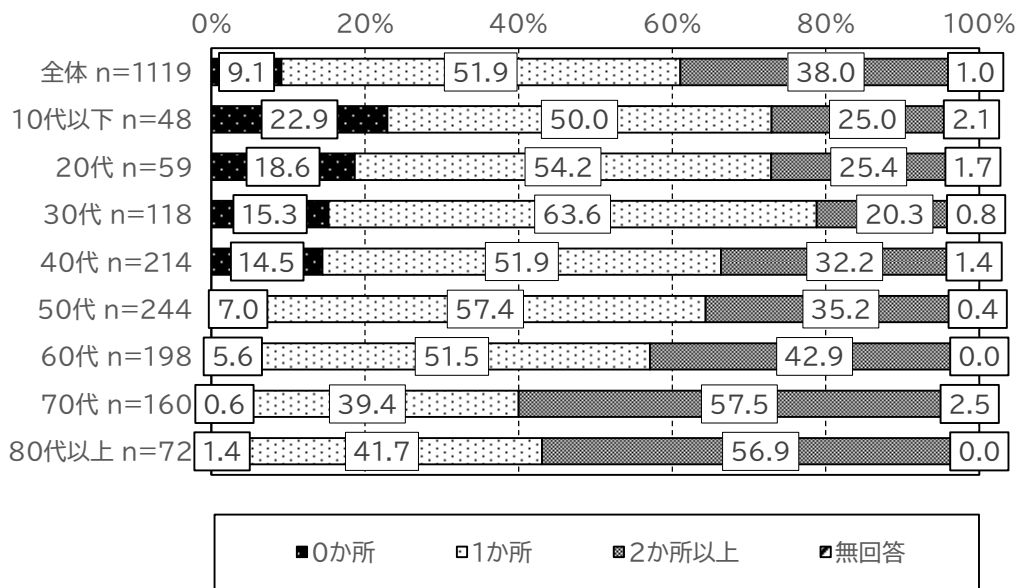
（単位：件）



図表 5-13 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）の数
（年代別）

（単位：件）

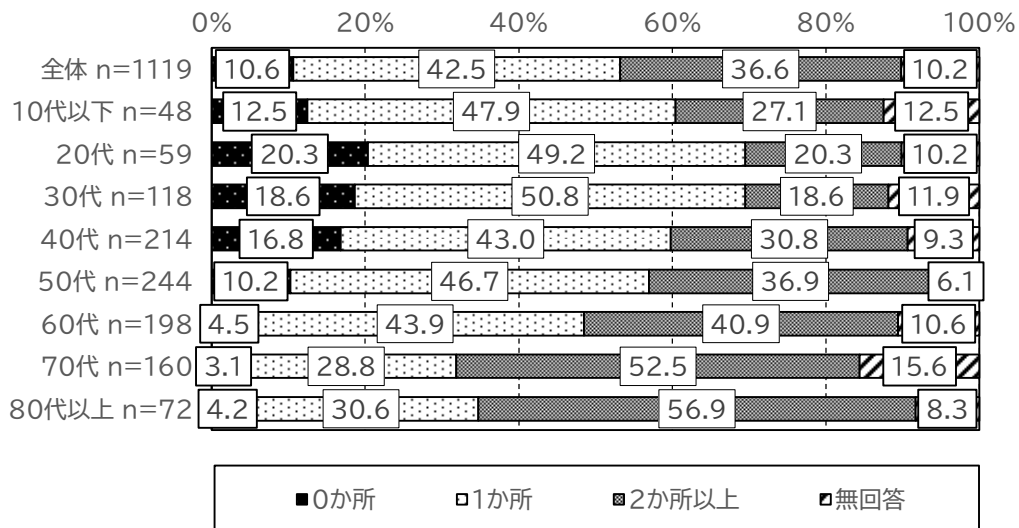
	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
全体	1108	1.5	0.9	1.0
10代以下	47	1.1	0.9	1.0
20代	58	1.1	0.8	1.0
30代	117	1.1	0.8	1.0
40代	211	1.3	0.9	1.0
50代	243	1.4	1.0	1.0
60代	198	1.6	0.9	1.0
70代	156	1.9	1.0	2.0
80代以上	72	1.8	0.9	2.0



図表 5-14 定期的に受診している診療科の数
（年代別）

（単位：件）

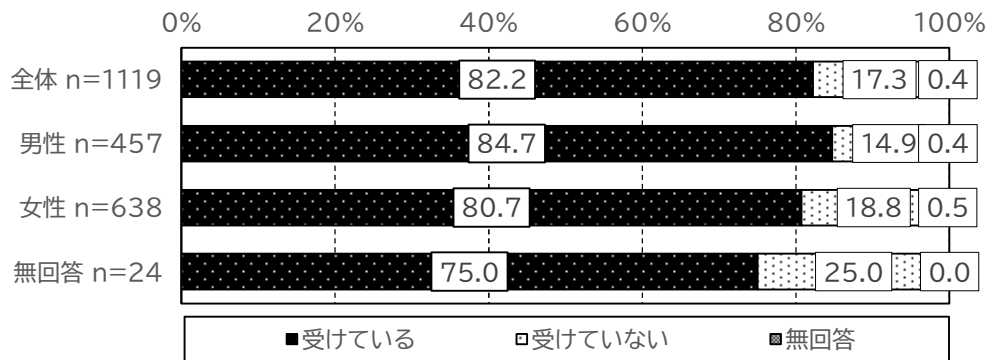
	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
全体	1005	1.5	1.0	1.0
10代以下	42	1.3	0.9	1.0
20代	53	1.1	0.8	1.0
30代	104	1.1	0.8	1.0
40代	194	1.3	1.1	1.0
50代	229	1.4	0.9	1.0
60代	177	1.7	1.0	1.0
70代	135	2.0	1.2	2.0
80代以上	66	1.8	0.9	2.0



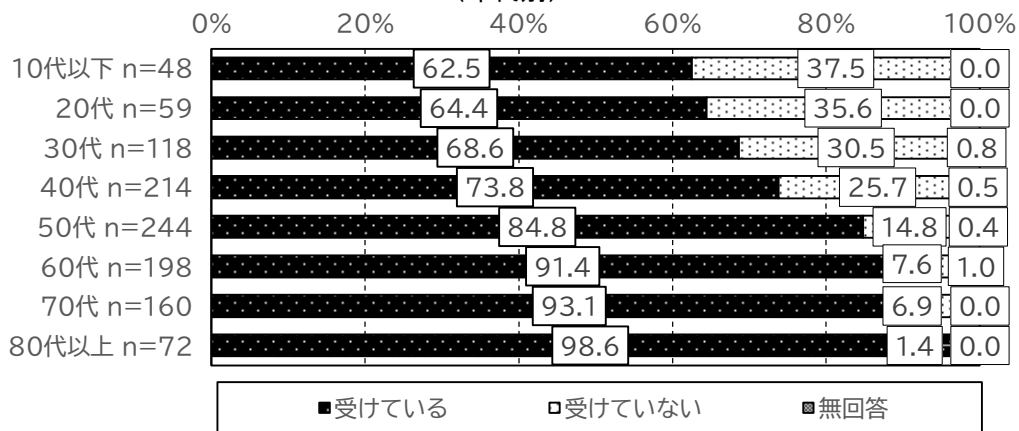
(2) 定期的に決まった薬の処方を受けているか

定期的に決まった薬の処方を受けているかについては、「受けている」が82.2%、「受けていない」が17.3%であった。

図表 5-15 定期的に決まった薬の処方を受けているか
(性別)



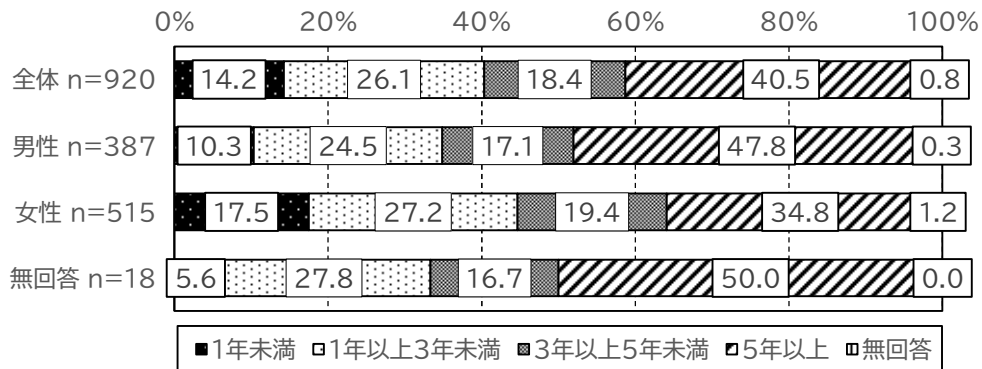
図表 5-16 定期的に決まった薬の処方を受けているか
(年代別)



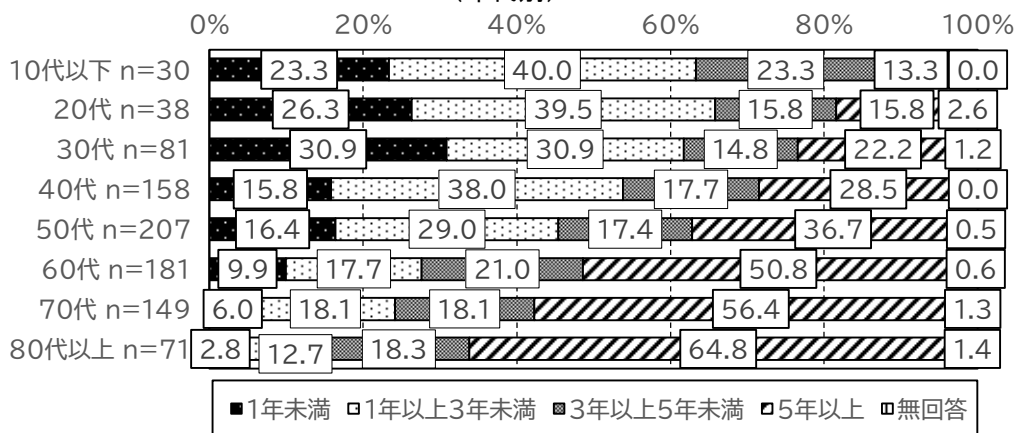
① 定期的な処方を受けている期間

定期的な処方を受けている期間については、「5年以上」が最も多く 40.5%、次いで「1年以上3年未満」が多く 26.1%であった。

図表 5-17 定期的な処方を受けている期間
(性別)



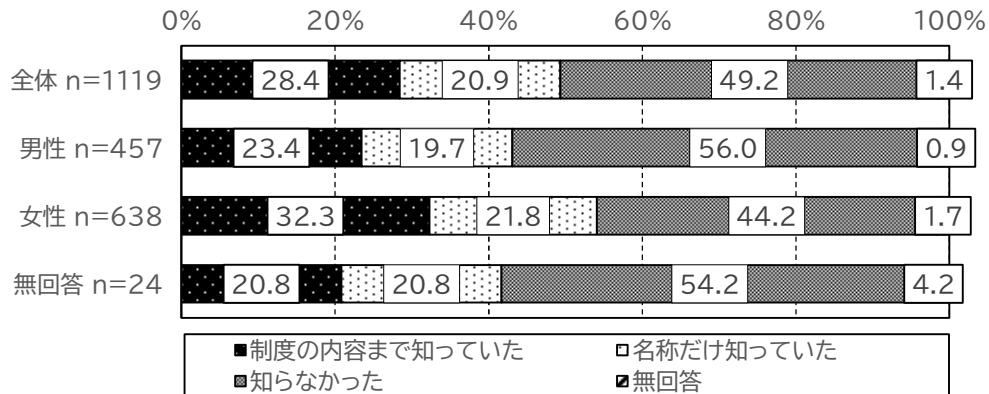
図表 5-18 定期的な処方を受けている期間
(年代別)



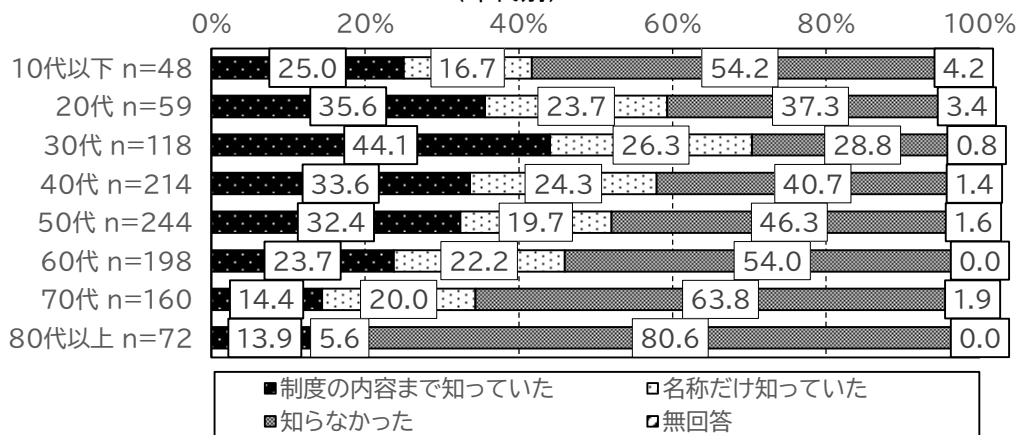
(3) リフィル処方箋の認知度

リフィル処方箋を知っているかについては、「制度の内容まで知っていた」が28.4%、「名称だけ知っていた」が20.9%、「知らなかった」が49.2%であった。

図表 5-19 リフィル処方箋の認知度
(性別)



図表 5-20 リフィル処方箋の認知度
(年代別)

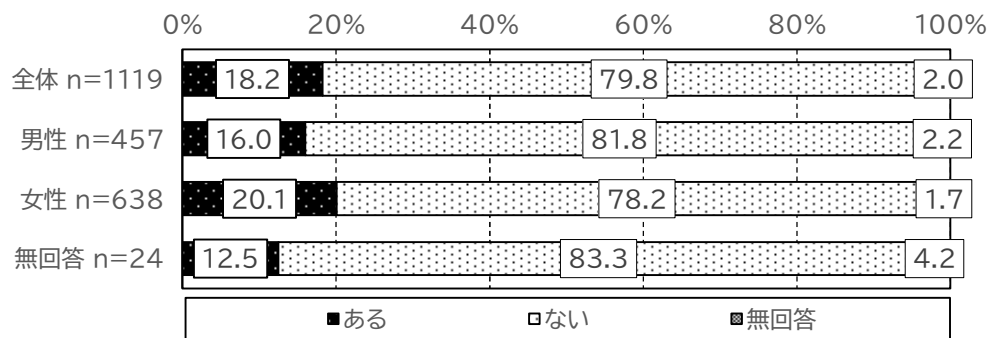


4) これまでにリフィル処方箋を交付された経験

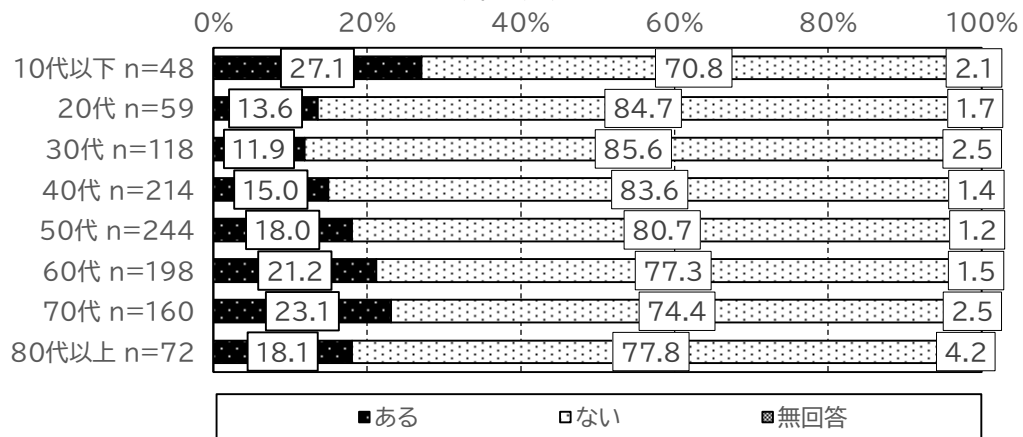
(1) リフィル処方箋について医師から説明

リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるかについては、「ある」が18.2%、「ない」が79.8%であった。

図表 5-21 リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験
(性別)



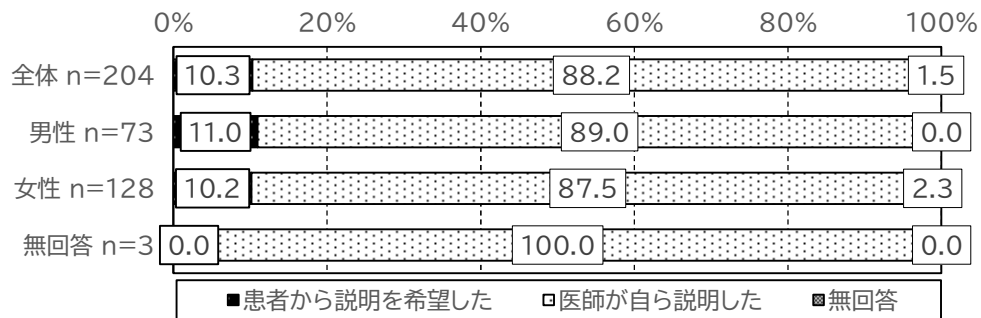
図表 5-22 リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験
(年代別)



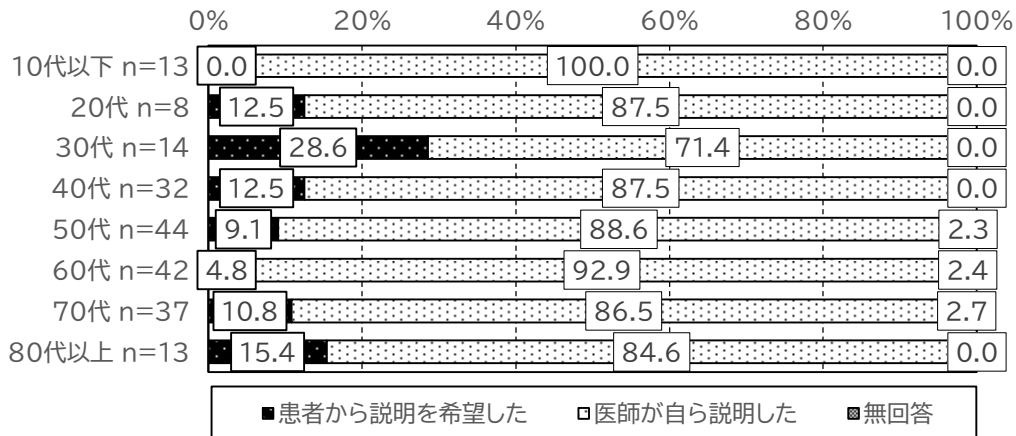
① リフィル処方箋についての説明はどのように行われたか（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）

リフィル処方箋について医師から説明はどのように行われたかについては、「患者から説明を希望した」が10.3%、「医師が自ら説明した」が88.2%であった。

図表 5-23 リフィル処方箋についての説明はどのように行われたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（性別）



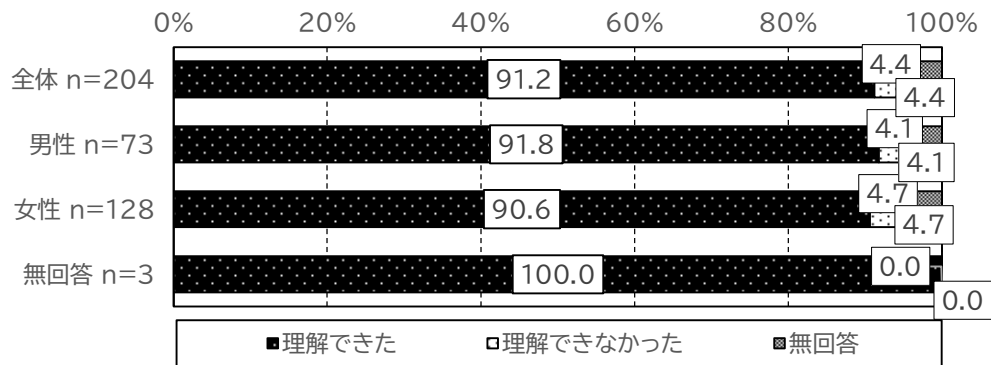
図表 5-24 リフィル処方箋についての説明はどのように行われたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（年代別）



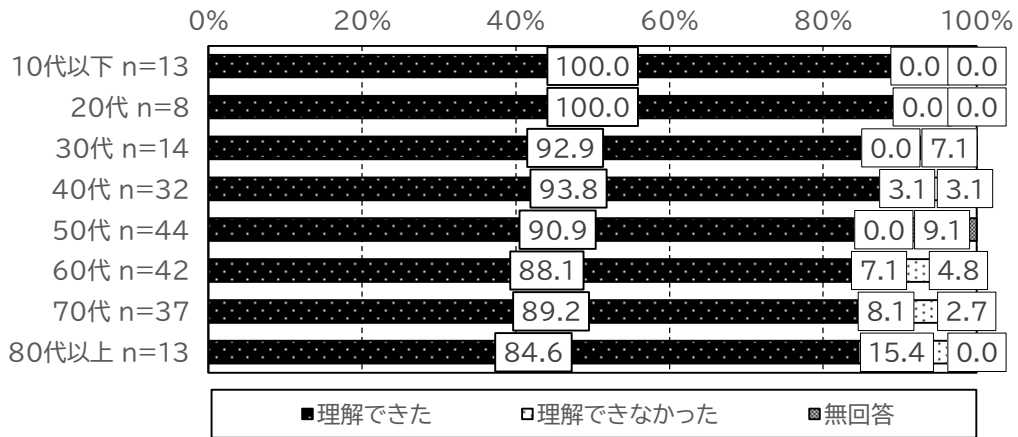
② リフィル処方箋についての説明は理解できたか（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）

リフィル処方箋についての説明は理解できたかについては、「理解できた」が91.2%、「理解できなかった」が4.4%であった。

図表 5-25 リフィル処方箋についての説明は理解できたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（性別）



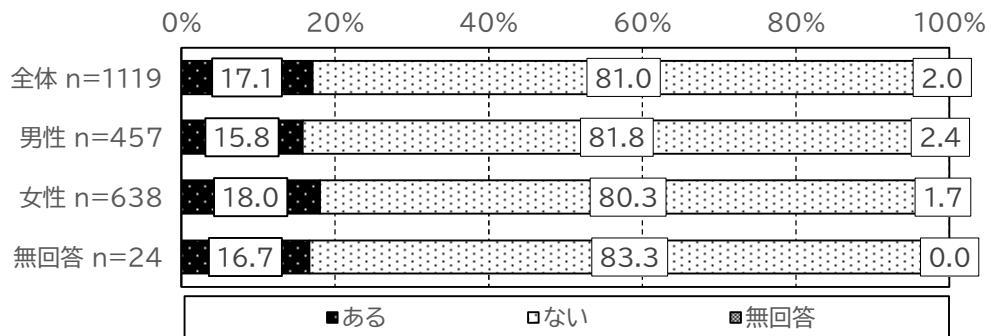
図表 5-26 リフィル処方箋についての説明は理解できたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（年代別）



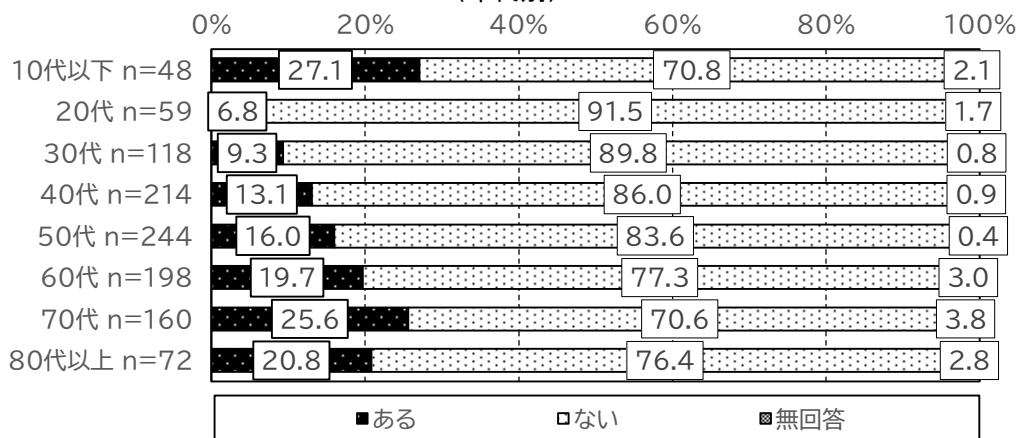
(2) リフィル処方箋を交付された経験

リフィル処方箋を交付された経験については、「ある」が17.1%、「ない」が81.0%であった。

図表 5-27 リフィル処方箋を交付された経験
(性別)



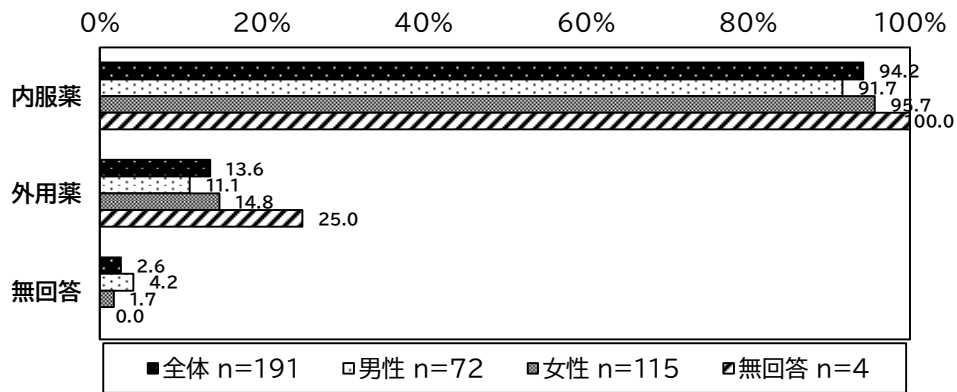
図表 5-28 リフィル処方箋を交付された経験
(年代別)



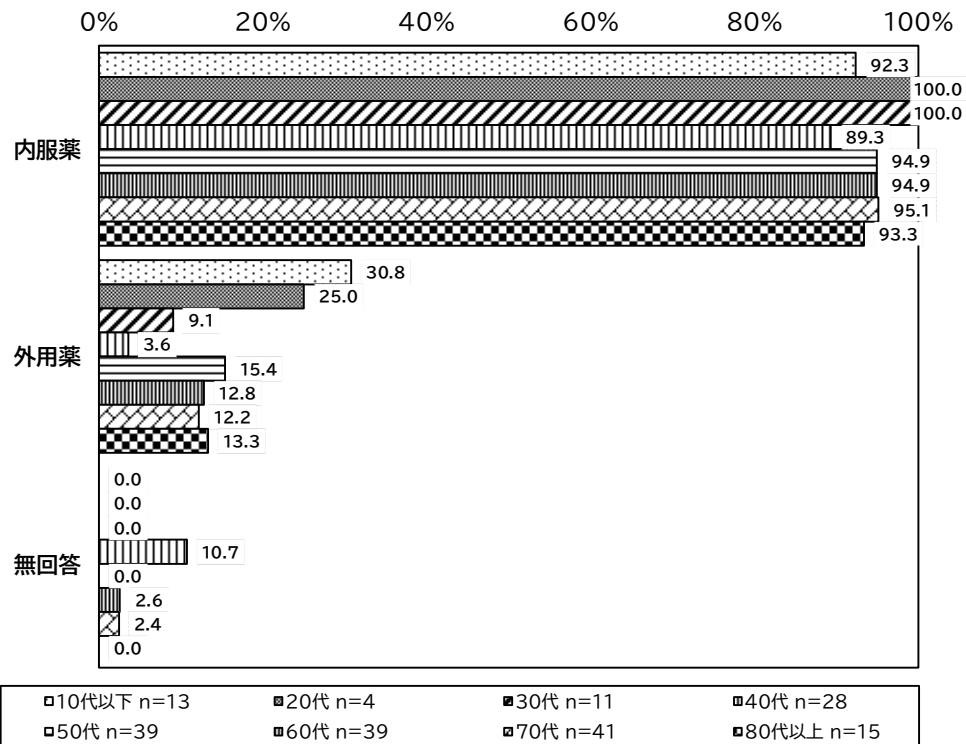
(3) リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬かについては、「内服薬」が最も多く94.2%、次いで「外用薬」が13.6%であった。

図表 5-29 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（複数回答）
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）



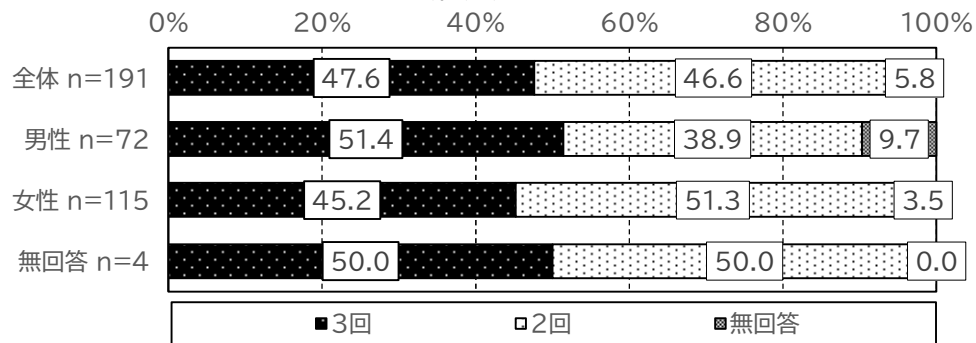
図表 5-30 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（複数回答）
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）



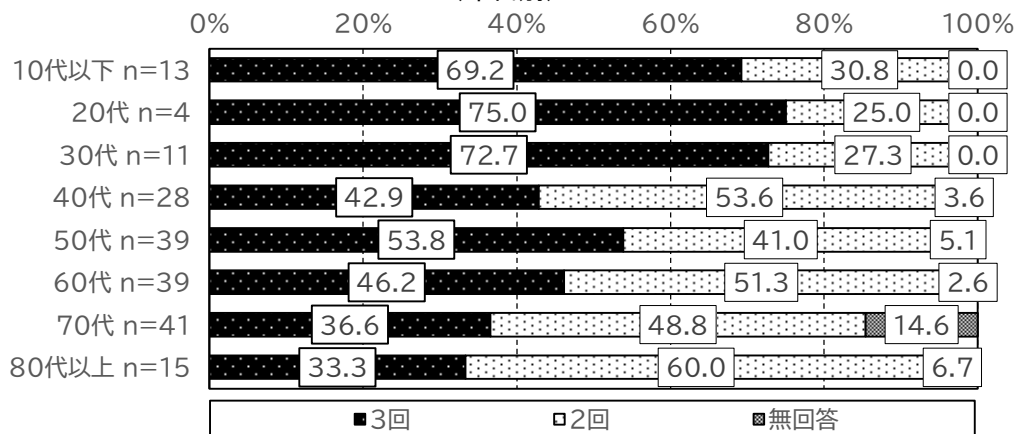
(4) 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋かについては、「3回」が47.6%、「2回」が46.6%であった。

図表 5-31 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）



図表 5-32 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）



(5) 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分のお薬の処方だったか（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

1回目の処方は何日分かについては、1回目は平均で37.6日分、2回目は平均で37.0日分、3回目は平均で33.3日分であった。

図表 5-33 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 1回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）

（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	186	37.6	20.1	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
男性	68	37.9	18.8	30.0	28.0	29.5	30.0	90.0
女性	114	37.7	21.2	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
無回答	4	29.5	1.0	30.0	28.0	29.5	30.0	30.0

図表 5-34 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 1回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）

（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	186	37.6	20.1	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
10代以下	13	41.5	27.3	30.0	7.0	30.0	31.0	90.0
20代	4	29.3	1.0	29.5	28.0	28.8	30.0	30.0
30代	11	28.2	4.8	30.0	14.0	29.0	30.0	30.0
40代	27	41.8	25.0	30.0	14.0	28.0	43.5	90.0
50代	38	38.9	20.7	30.0	12.0	28.0	30.0	90.0
60代	39	35.4	17.1	30.0	21.0	28.0	30.0	90.0
70代	39	38.8	20.8	30.0	14.0	29.0	30.0	90.0
80代以上	14	35.1	16.3	30.0	28.0	28.0	30.0	84.0

図表 5-35 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 2回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）

（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	157	37.0	20.3	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
男性	59	37.1	19.2	30.0	28.0	28.0	30.0	90.0
女性	95	37.1	21.4	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
無回答	3	29.3	1.0	30.0	28.0	29.0	30.0	30.0

図表 5-36 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 2回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）

（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	157	37.0	20.3	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
10代以下	11	38.1	25.2	30.0	7.0	30.0	30.0	90.0
20代	4	29.3	1.0	29.5	28.0	28.8	30.0	30.0
30代	10	28.0	5.0	30.0	14.0	28.5	30.0	30.0
40代	23	42.7	26.6	30.0	14.0	28.0	45.5	90.0
50代	32	38.9	21.8	30.0	12.0	28.0	30.0	90.0
60代	34	33.6	14.9	30.0	21.0	28.0	30.0	90.0
70代	31	38.2	22.1	30.0	14.0	28.0	30.0	90.0
80代以上	11	36.9	18.2	30.0	28.0	28.0	30.0	84.0

図表 5-37 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 3回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者・3回処方の場合のみ）
（性別）

（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	82	33.3	15.5	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
男性	35	33.6	15.0	30.0	28.0	28.0	30.0	90.0
女性	46	33.0	16.1	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
無回答	1	30.0	—	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

図表 5-38 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 3回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者・3回処方の場合のみ）
（年代別）

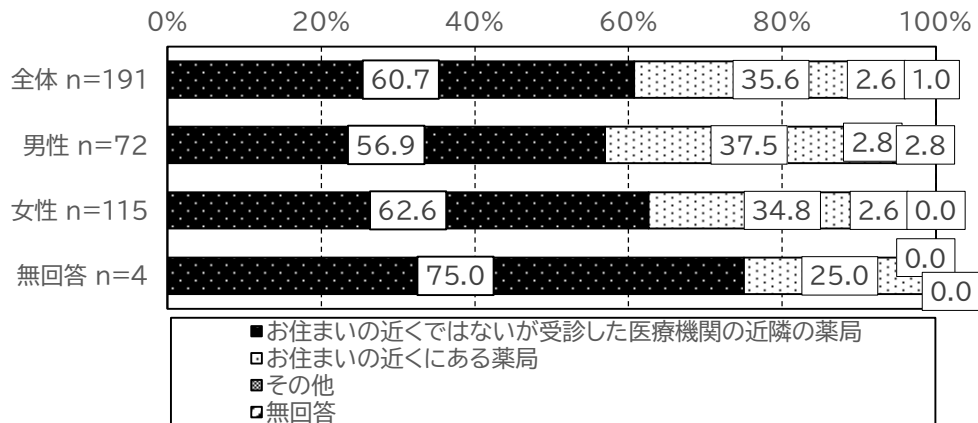
（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	82	33.3	15.5	30.0	7.0	28.0	30.0	90.0
10代以下	9	33.4	20.4	30.0	7.0	30.0	30.0	84.0
20代	3	29.0	1.0	29.0	28.0	28.5	29.5	30.0
30代	8	27.5	5.5	30.0	14.0	28.0	30.0	30.0
40代	11	35.9	21.0	28.0	14.0	28.0	30.5	90.0
50代	19	33.8	15.0	30.0	28.0	28.0	30.0	90.0
60代	16	29.3	1.0	30.0	28.0	28.0	30.0	30.0
70代	12	36.8	19.0	30.0	28.0	28.0	30.0	90.0
80代以上	4	43.0	27.3	30.0	28.0	29.5	43.5	84.0

(6) リフィル処方箋の1回目の調剤で、どこの薬局に行ったか（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

リフィル処方箋の1回目の処方箋でどこの薬局に行ったかについては、「お住まいの近くではないが受診した医療機関の近隣の薬局」が60.7%、「お住まいの近くにある薬局」が35.6%、「その他」が2.6%であった。

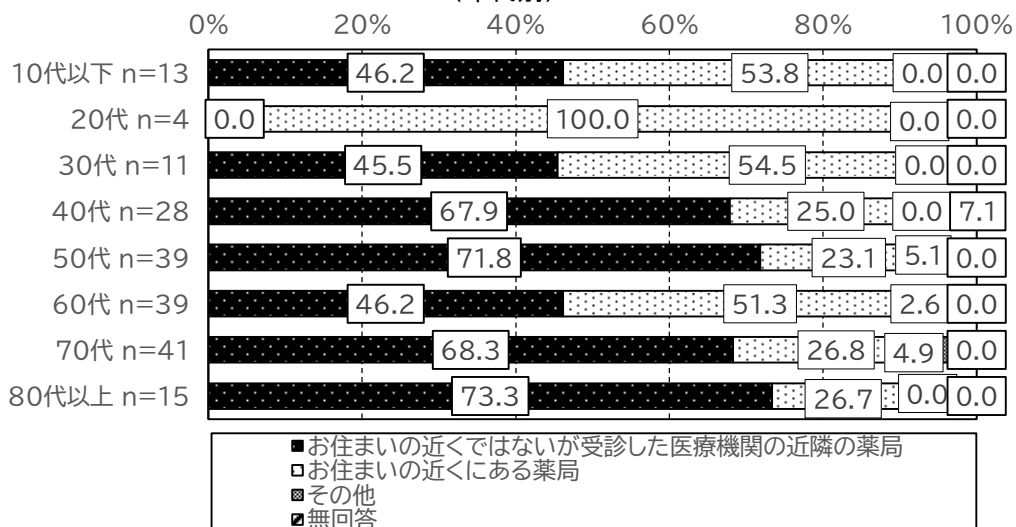
図表 5-39 リフィル処方箋の1回目の調剤で、どこの薬局に行ったか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・ 住まいと医療機関の双方に近い薬局
- ・ 職場の近くの薬局
- ・ かかりつけ薬局 など

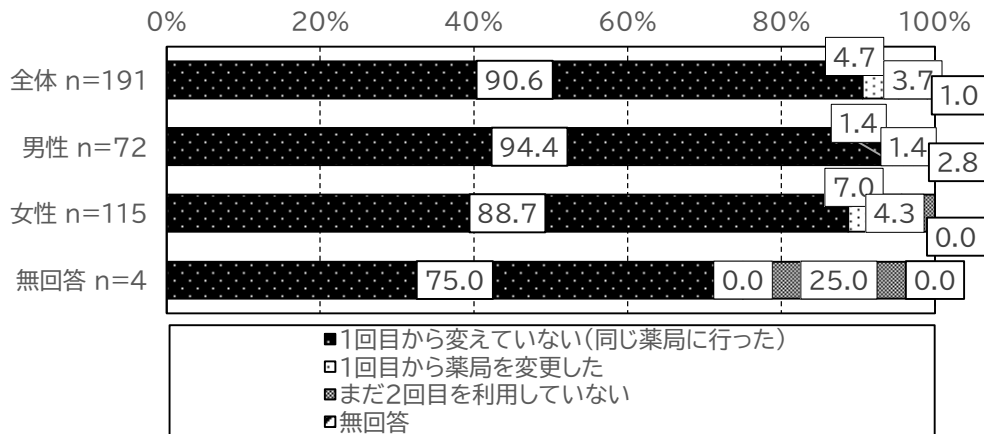
図表 5-40 リフィル処方箋の1回目の調剤で、どこの薬局に行ったか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）



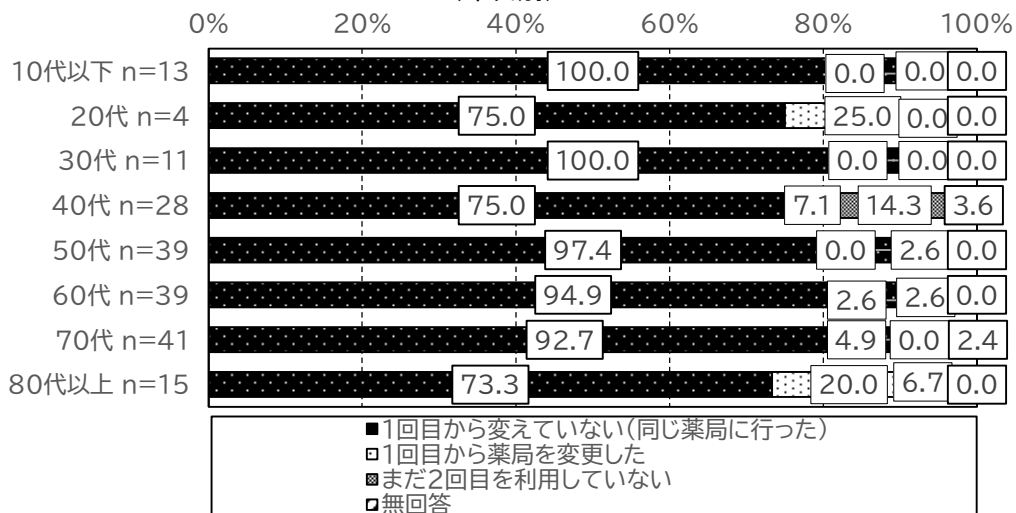
(7) リフィル処方箋の2回目以降の調剤で薬局を変えたか（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたかについては、「1回目から変えていない（同じ薬局に行った）」が90.6%、「1回目から薬局を変更した」が4.7%、「まだ2回目を利用していない」が3.7%であった。

図表 5-41 リフィル処方箋の2回目以降の調剤で、薬局を変えたか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）



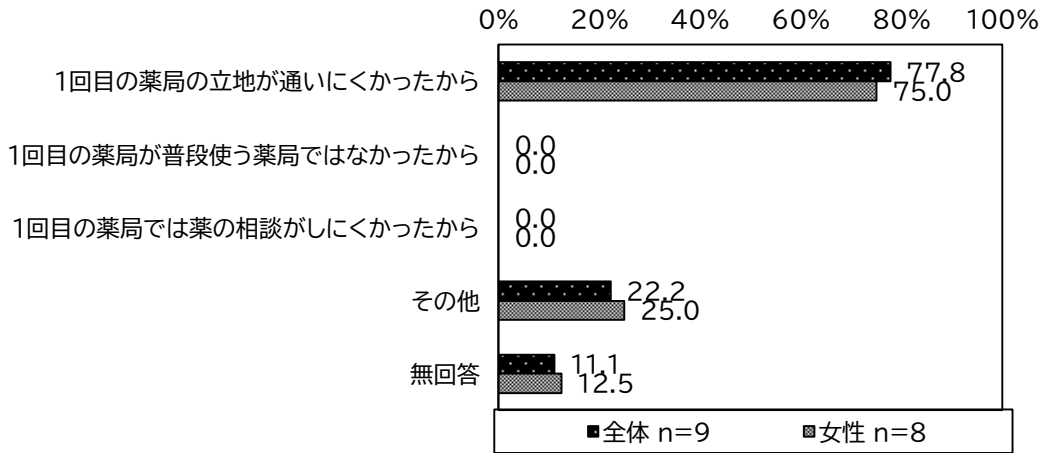
図表 5-42 リフィル処方箋の2回目以降の調剤で、薬局を変えたか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）



① 薬局を変更した理由（1回目から薬局を変更した患者のみ）

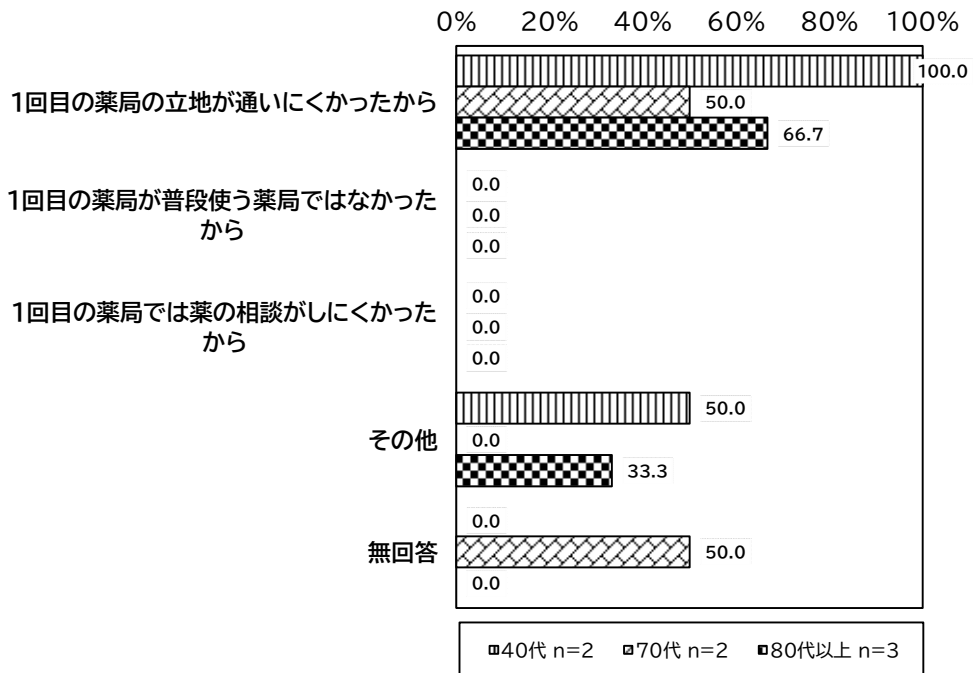
薬局を変更した理由については、「1回目の薬局の立地が通いにくかったから」が最も多く77.8%、次いで「その他」が多く22.2%であった。

図表 5-43 薬局を変更した理由（複数回答）
（1回目から薬局を変更した患者のみ）（性別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】
・ネット予約ができる薬局であったから など

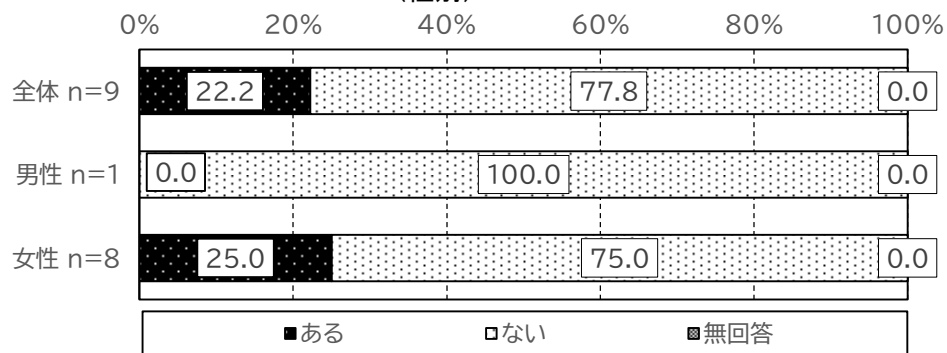
図表 5-44 薬局を変更した理由（複数回答）
（1回目から薬局を変更した患者のみ）
（年代別）



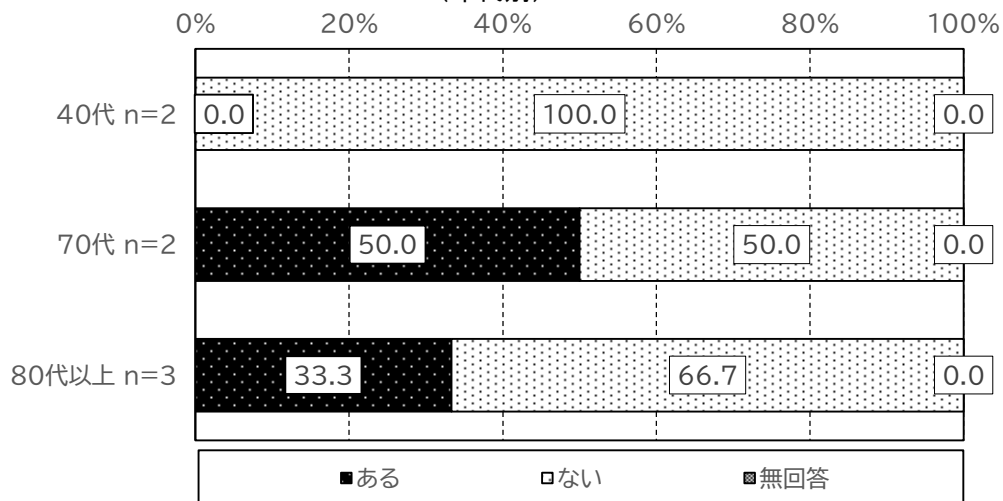
② 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更した患者のみ）

2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験については、「ある」が22.2%、「ない」が77.8%であった。

図表 5-45 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更した患者のみ）
（性別）



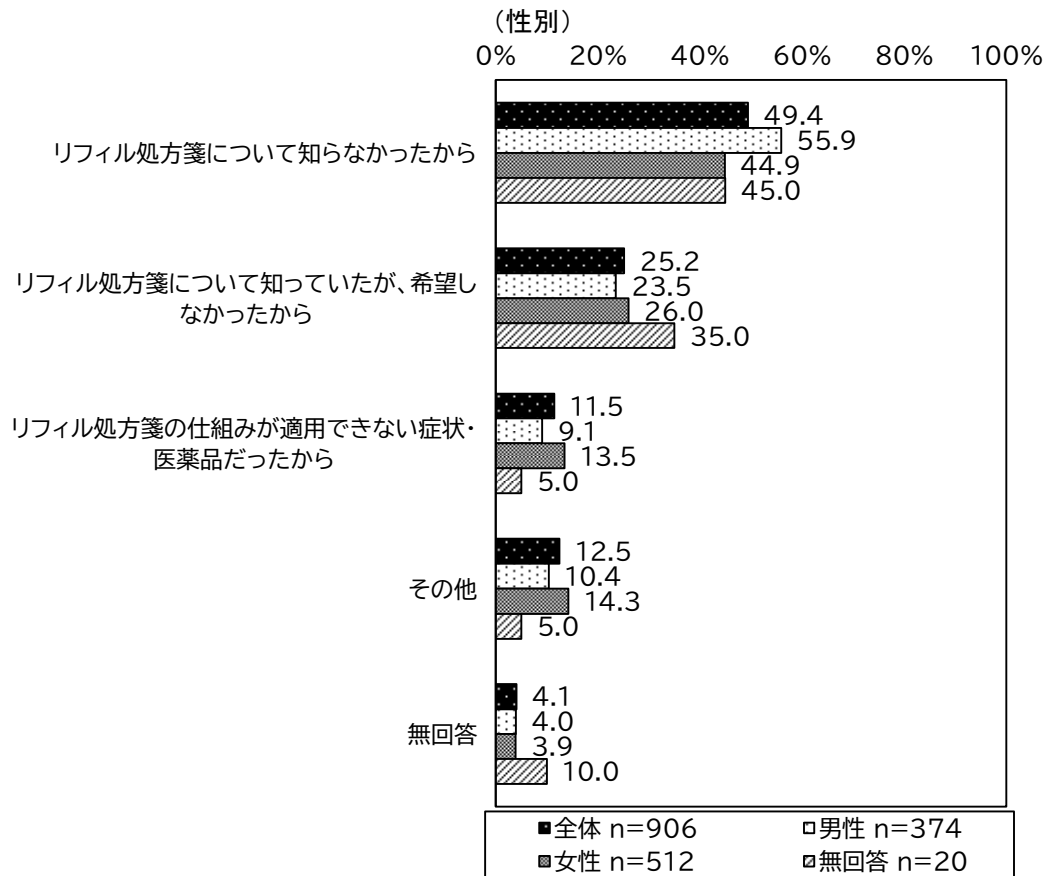
図表 5-46 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更した患者のみ）
（年代別）



(8) リフィル処方箋が交付されていない理由（リフィル処方箋を交付されたことがない患者のみ）

リフィル処方箋が交付されていない理由については、「リフィル処方箋について知らなかったから」が最も多く49.4%、次いで「リフィル処方箋について知っていたが、希望しなかったから」が多く25.2%であった。

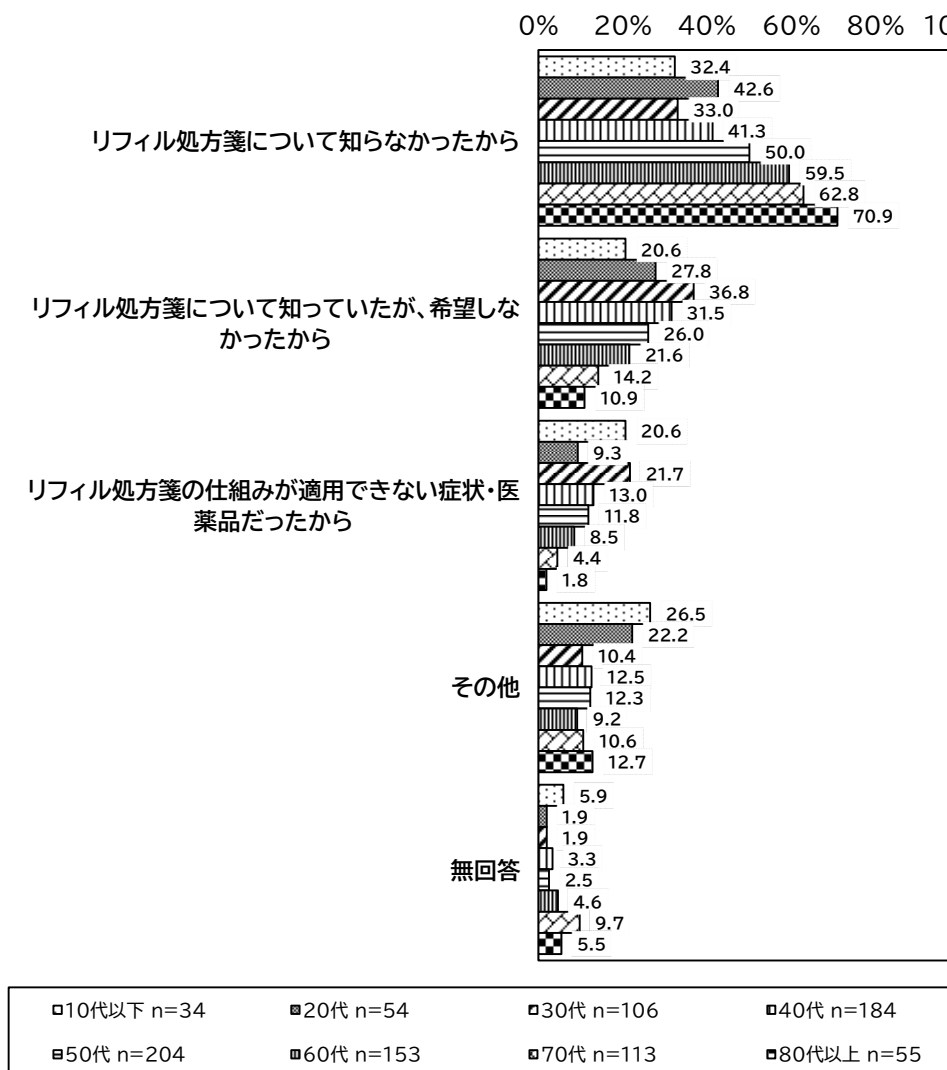
図表 5-47 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
（リフィル処方箋を交付されたことがない患者のみ）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・医師がリフィル処方箋はしないという意向だから
- ・医療機関のシステムが対応していないらしいから
- ・定期的に医師と話しがしたいから
- ・院内処方箋の医療機関だから
- ・自分が処方箋を紛失しそうだから
- ・定期的に処方箋を受けておらず、リフィル処方箋の必要が無い
- ・わからない など

図表 5-48 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
 （リフィル処方箋を交付されたことがない患者のみ）
 （年代別）



5) これからのリフィル処方箋の利用意向

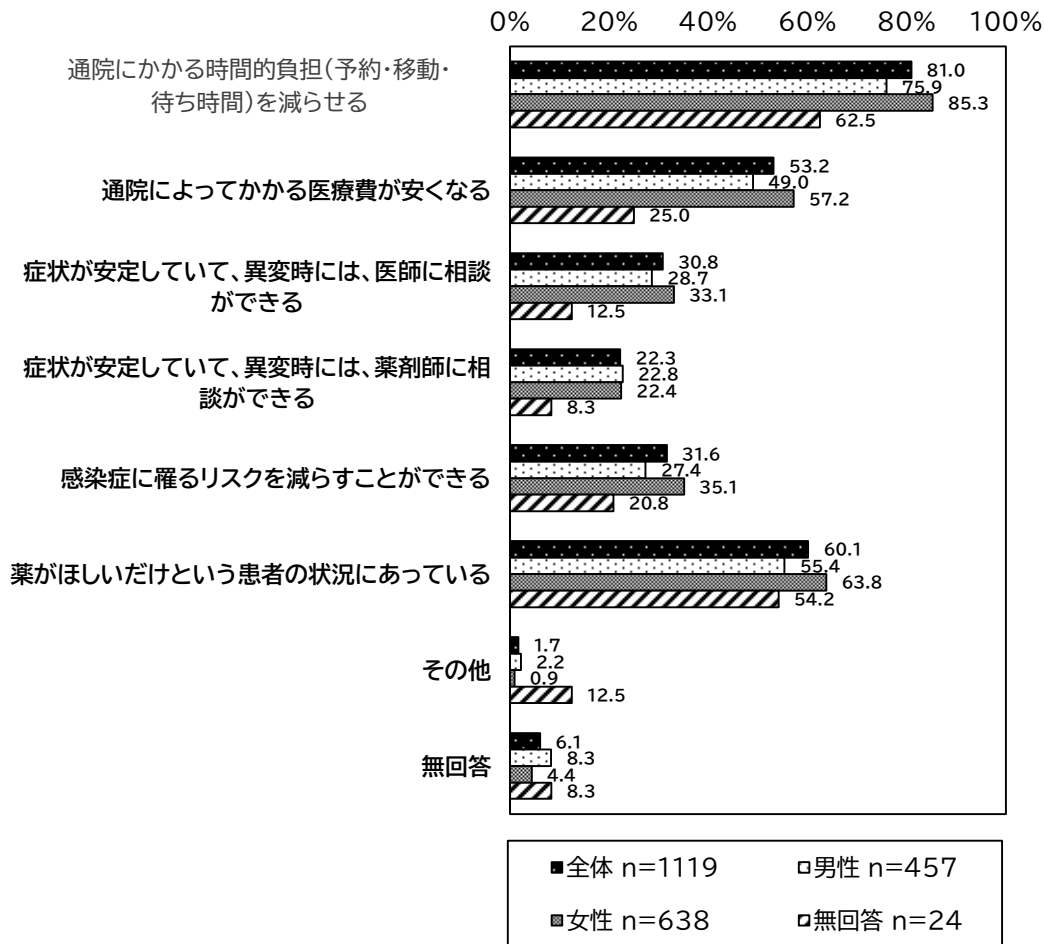
(1) リフィル処方箋のメリット・デメリットと、それらを踏まえた今後の利用意向

① リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの

リフィル処方箋を使用するメリットについては、複数回答では「通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる」が最も多く81.0%、次いで「薬がほしいだけという患者の状況にあっている」が多く60.1%であった。

最もメリットを感じるものを一つ回答では、「通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる」が最も多く51.0%、次いで「薬がほしいだけという患者の状況にあっている」が多く15.9%であった。

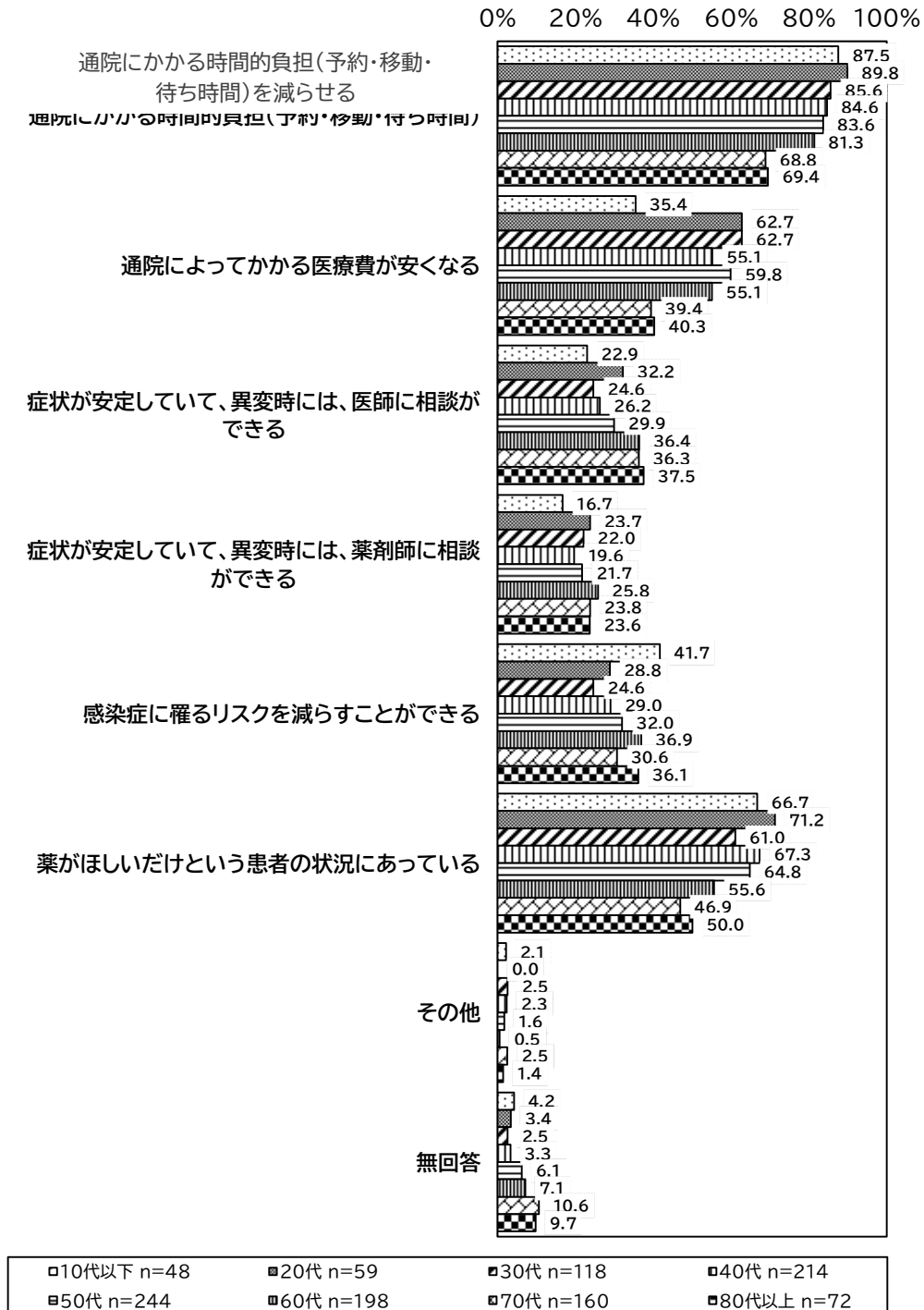
図表 5-49 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの（複数回答）（性別）



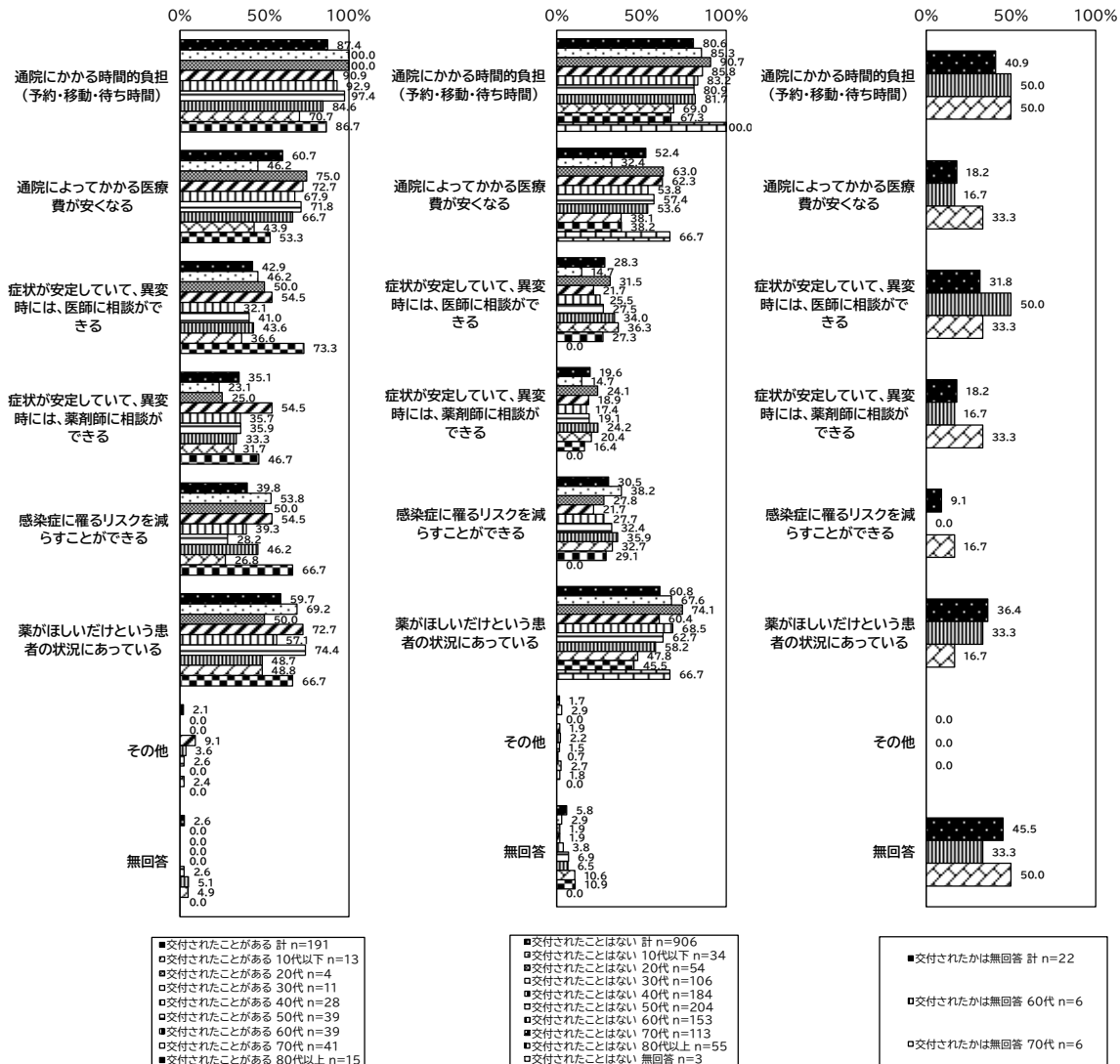
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・メリットがよくわからない
- ・とくにメリットを感じない
- ・医師や薬剤師の負担が減る
- など

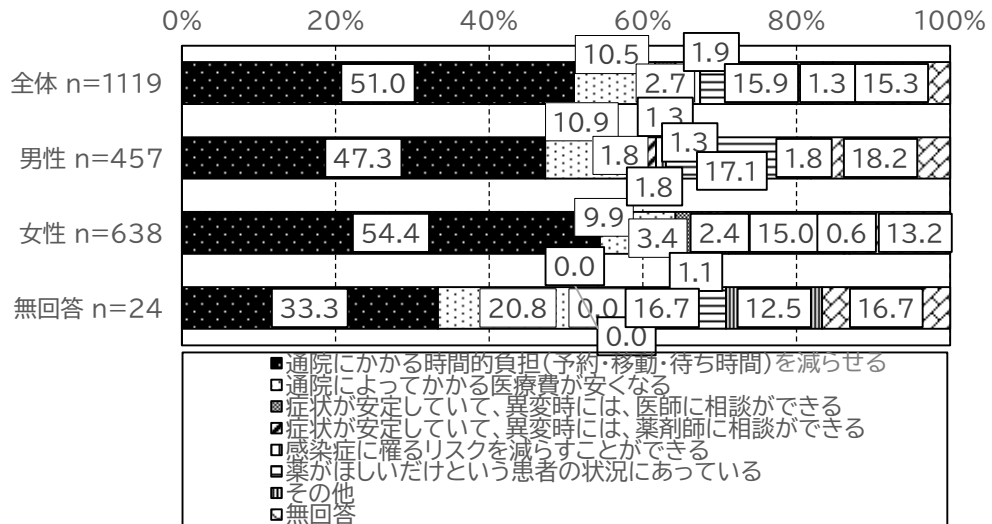
図表 5-50 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの（複数回答）（年代別）



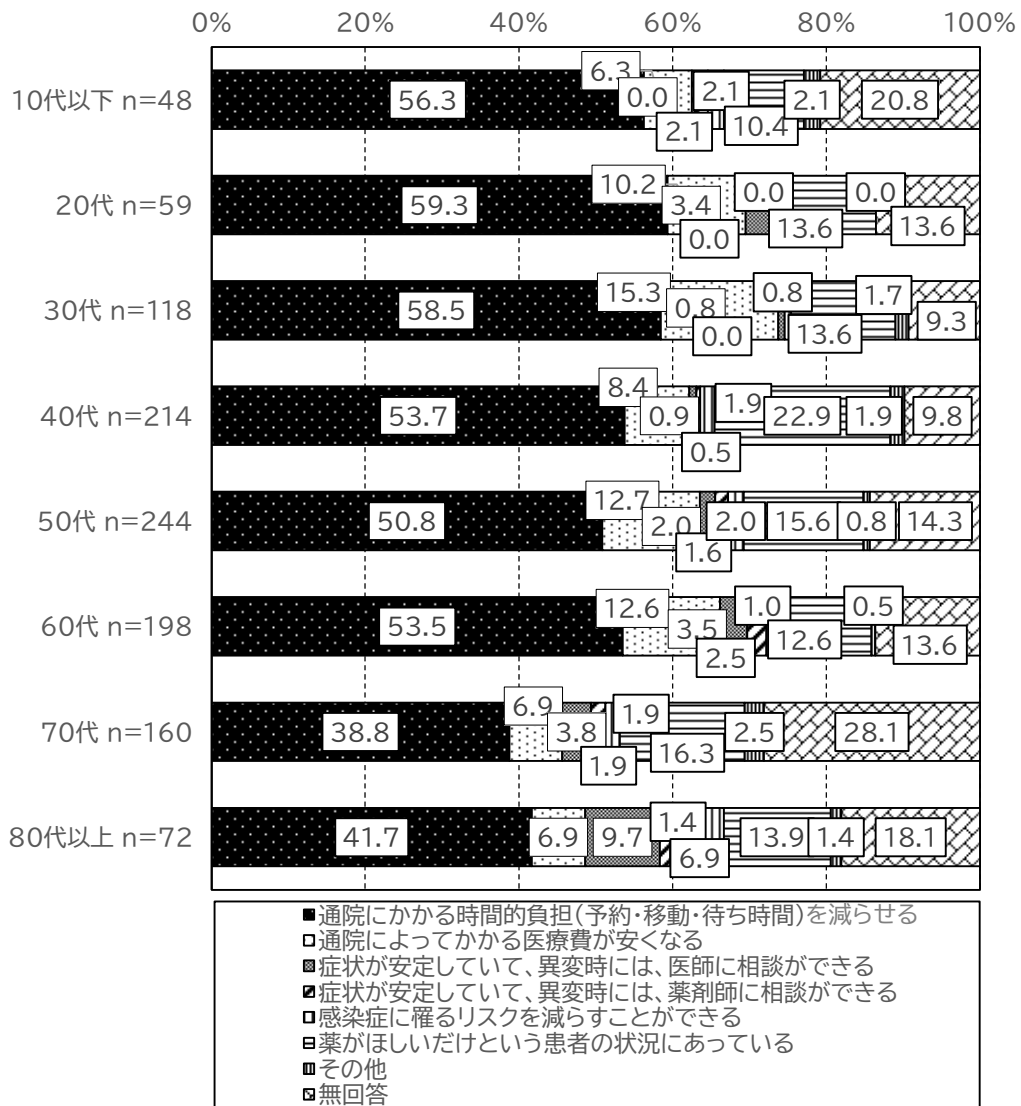
図表 5-51 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの（複数回答）（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）



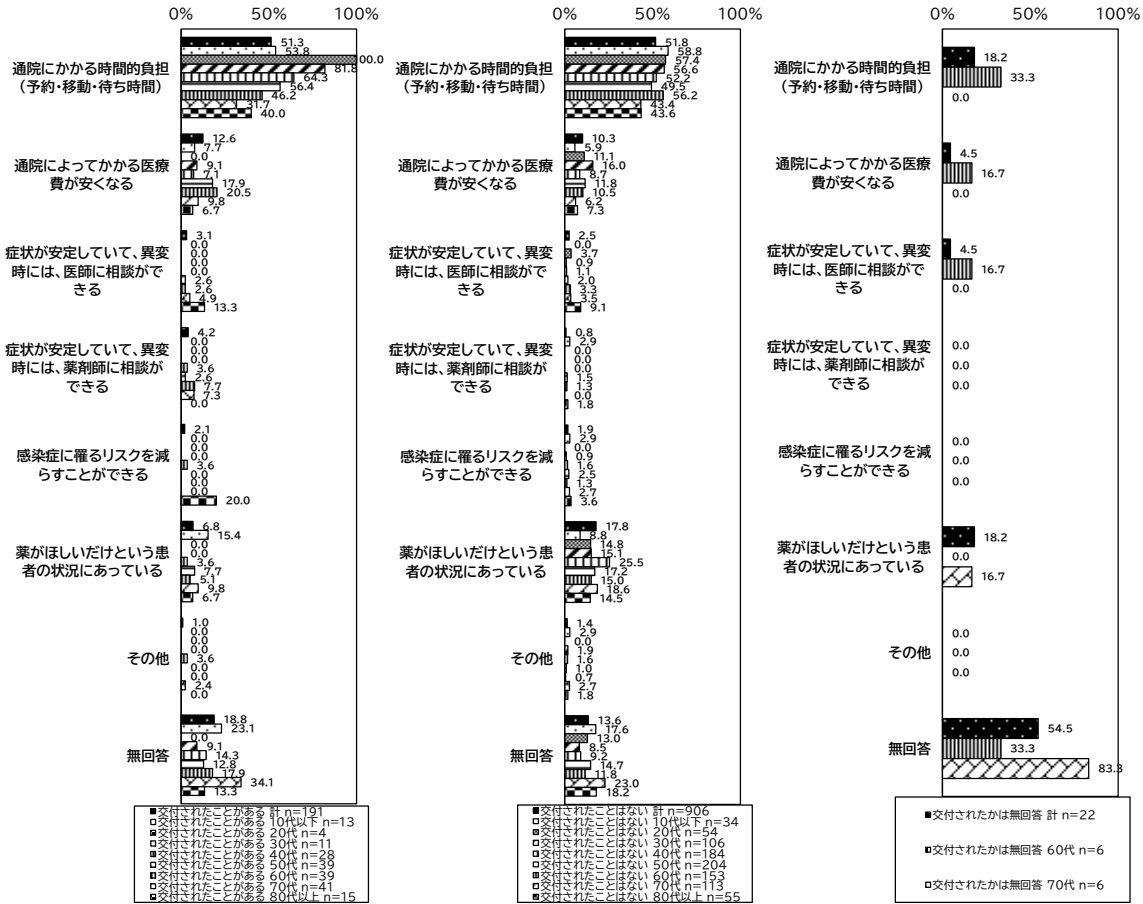
図表 5-52 リフィル処方箋を使用することについて、最もメリットになると感じるもの（性別）



図表 5-53 リフィル処方箋を使用することについて、最もメリットになると感じるもの（年代別）



図表 5-54 リフィル処方箋を使用することについて、最もメリットになると感じるもの（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）

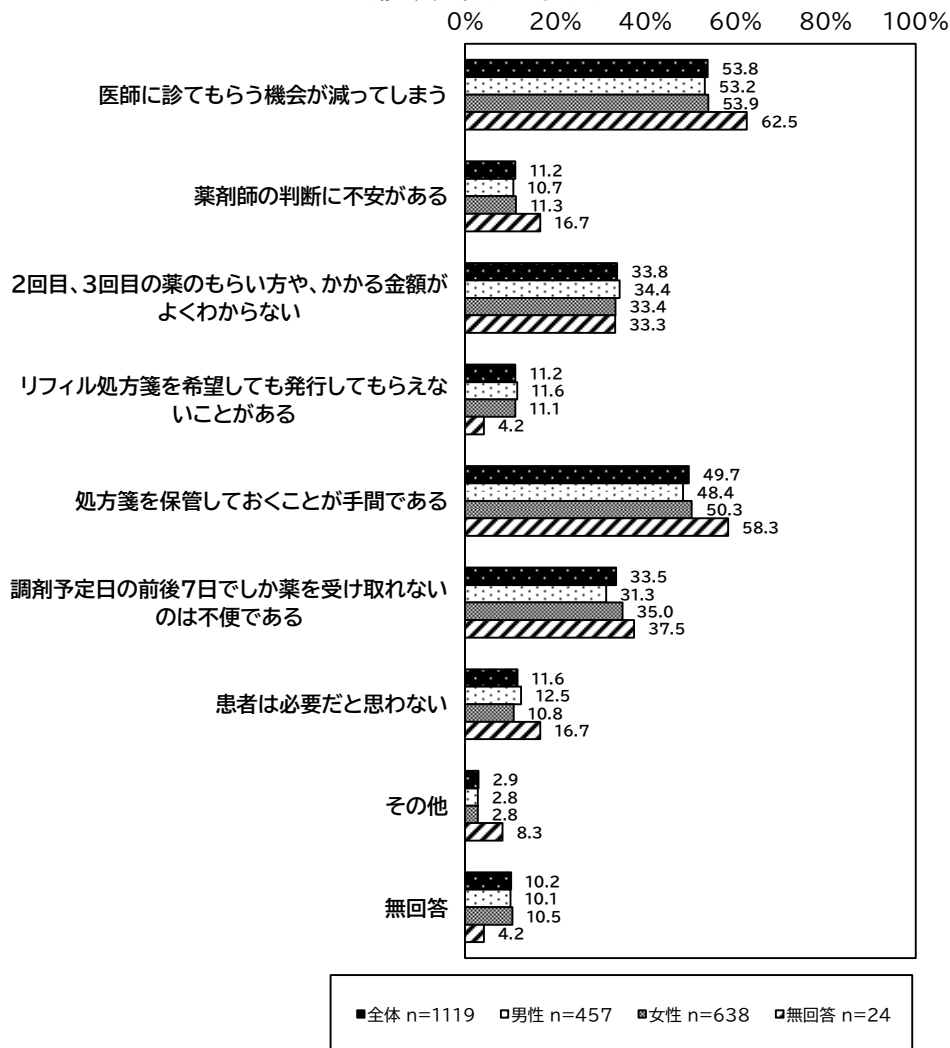


② リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの

リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるものについては、複数回答では「医師に診てもらえる機会が減ってしまう」が最も多く 53.8%、次いで「処方箋を保管しておくことが手間である」が多く 49.7%であった。

最もデメリットと感じるものを一つ選択では、「医師に診てもらえる機会が減ってしまう」が最も多く 34.1%、次いで「処方箋を保管しておくことが手間である」が多く 19.5%であった。

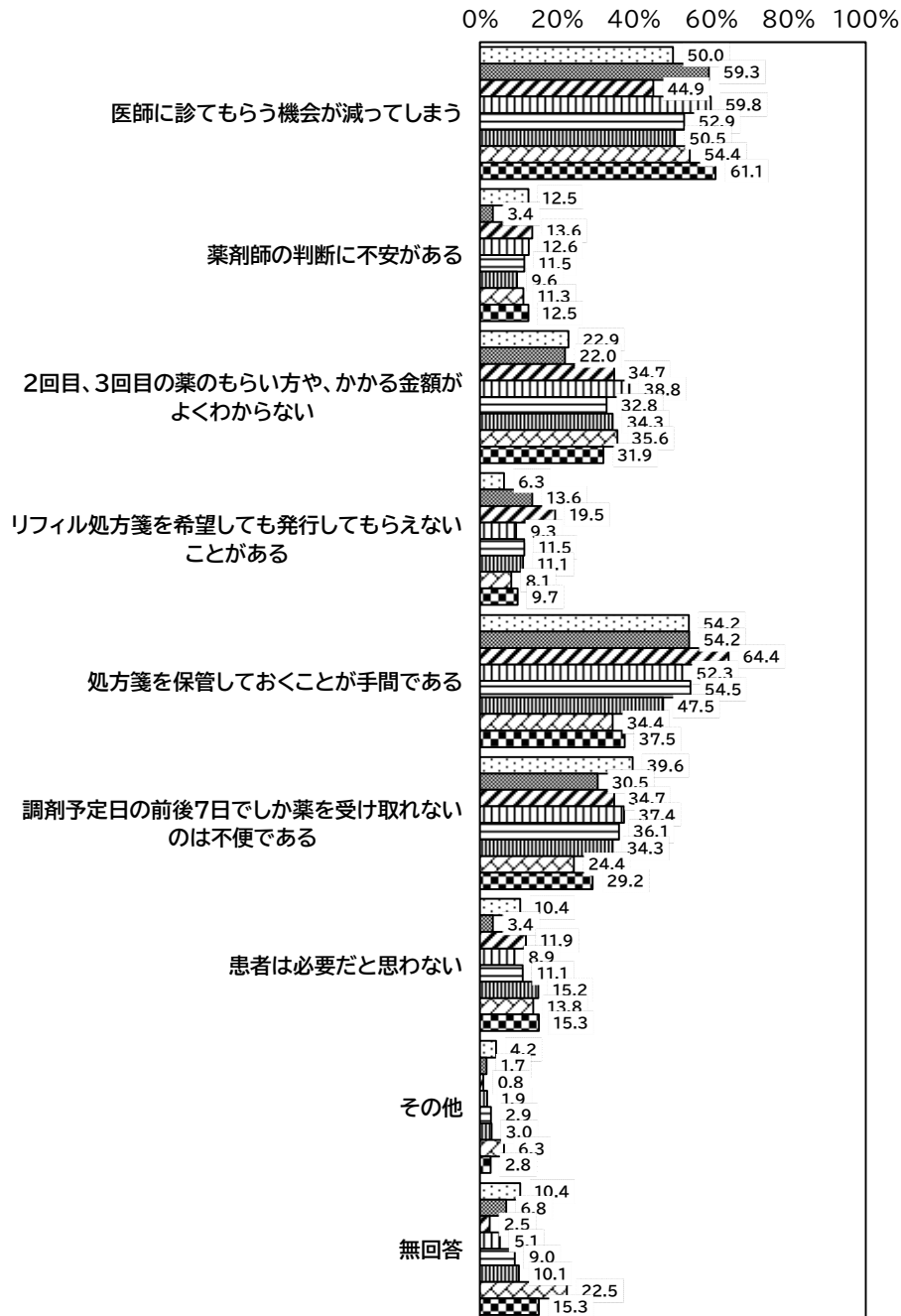
図表 5-55 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの
（複数回答）（性別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

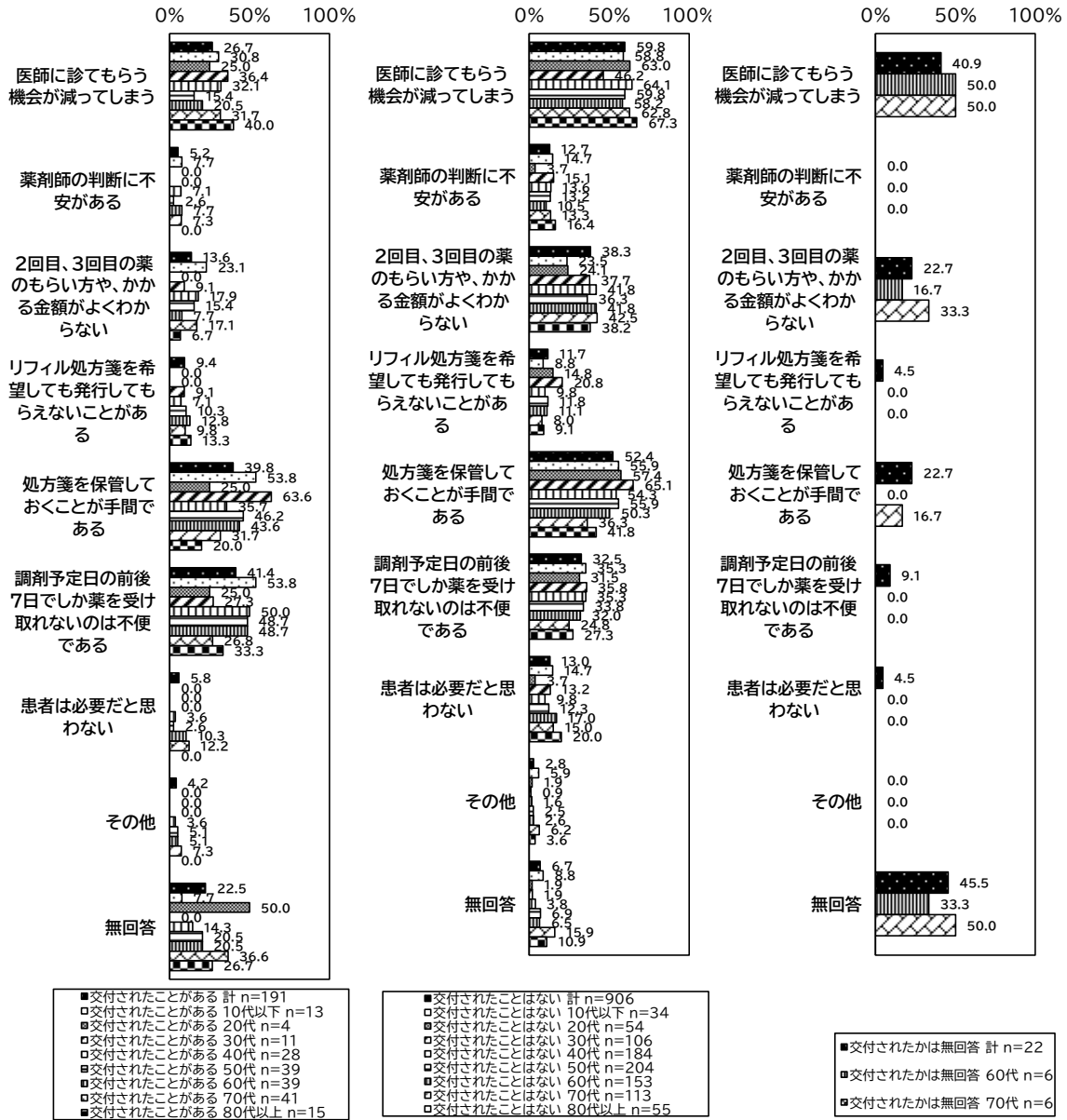
- ・医師に診てもらおう際に再度予約するのが面倒
- ・薬をもらいに行くのを忘れる
- ・これまで90日で1回でよかったのに、来局が増えて面倒
- ・デメリットがよくわからない
- ・とくにデメリットはない
- ・認知症が進んでしまったときが不安 など

図表 5-56 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの（複数回答）（年代別）

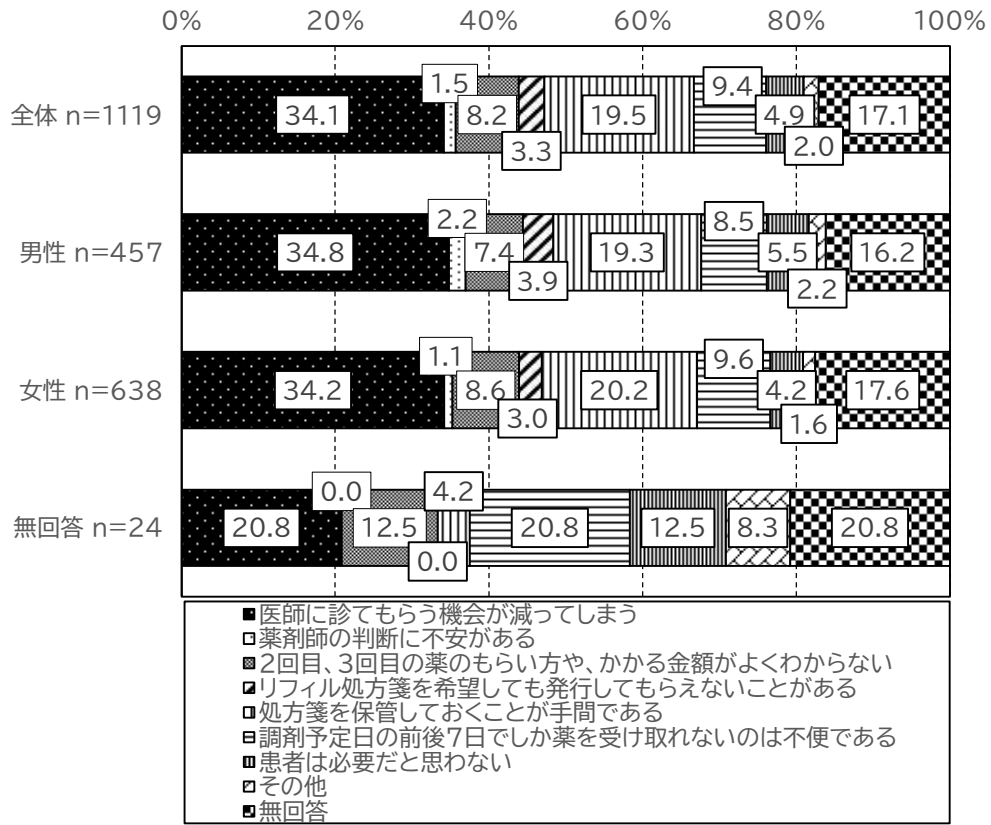


□10代以下 n=48	■20代 n=59	□30代 n=118	□40代 n=214
□50代 n=244	■60代 n=198	□70代 n=160	□80代以上 n=72

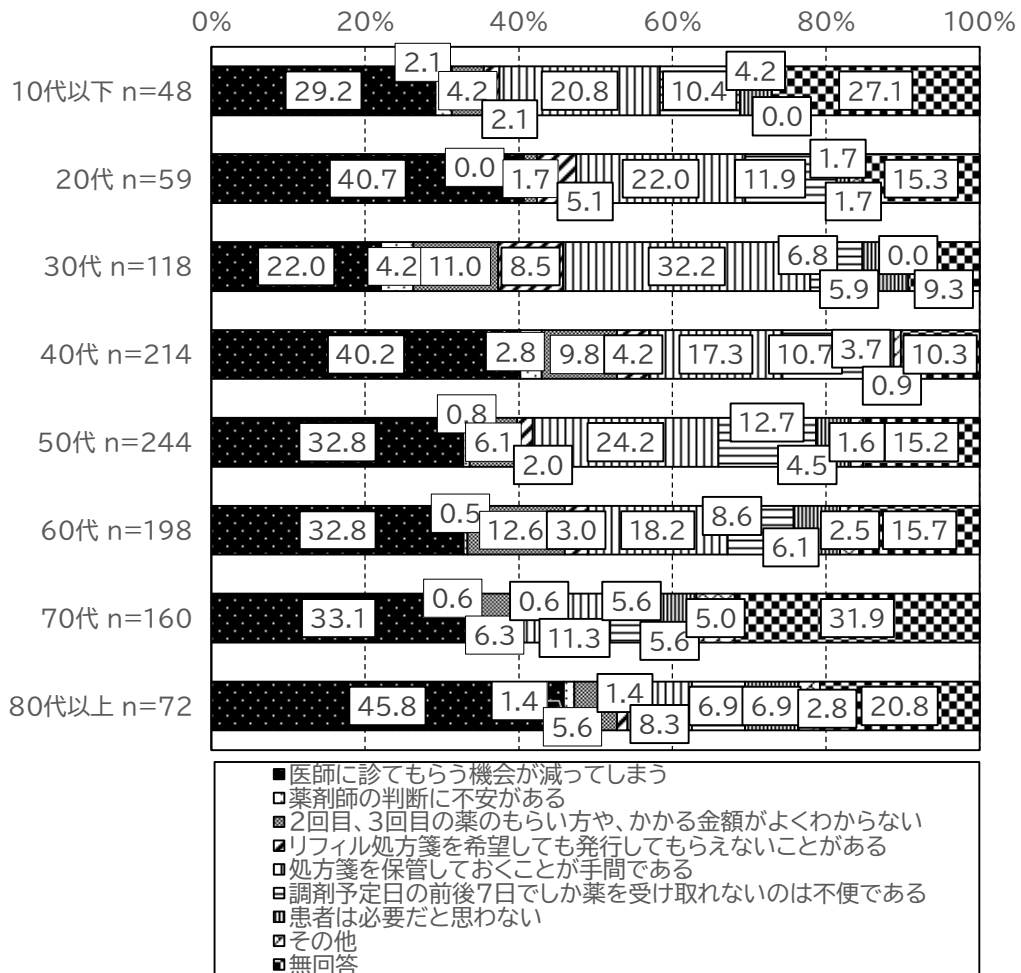
図表 5-57 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの（複数回答）（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）



図表 5-58 リフィル処方箋を使用することについて、最もデメリットになると感じるもの（性別）



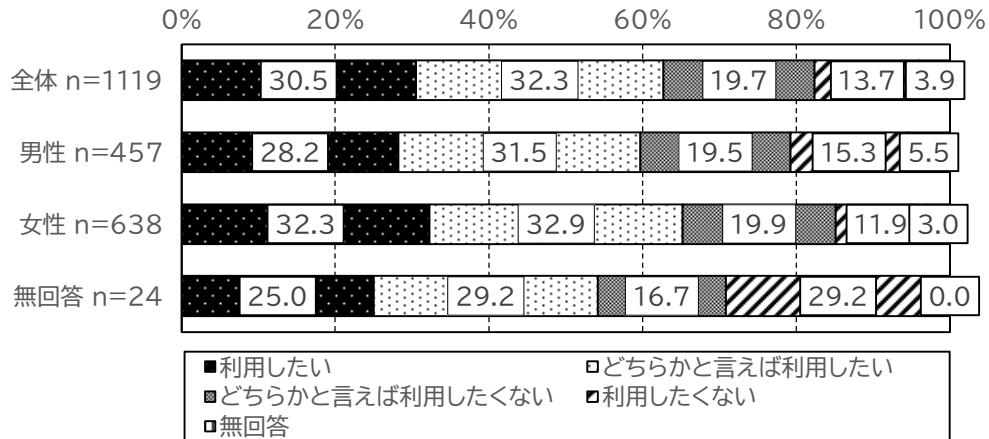
図表 5-59 リフィル処方箋を使用することについて、最もデメリットになると感じるもの（年代別）



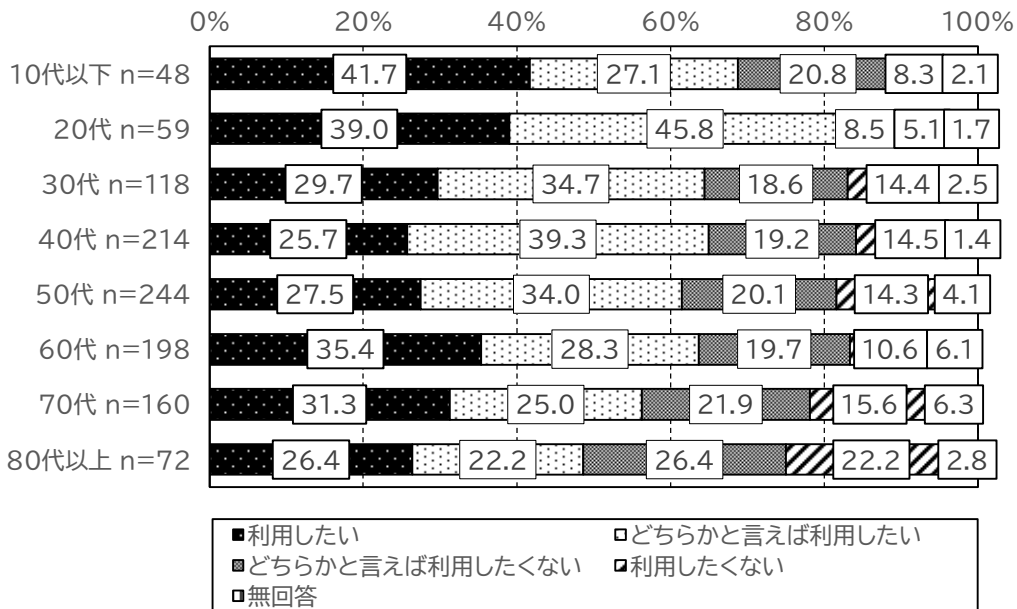
③ 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか

今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいかについては、「利用したい」が30.5%、「どちらかと言えば利用したい」が32.3%、「どちらかと言えば利用したくない」が19.7%、「利用したくない」が13.7%であった。

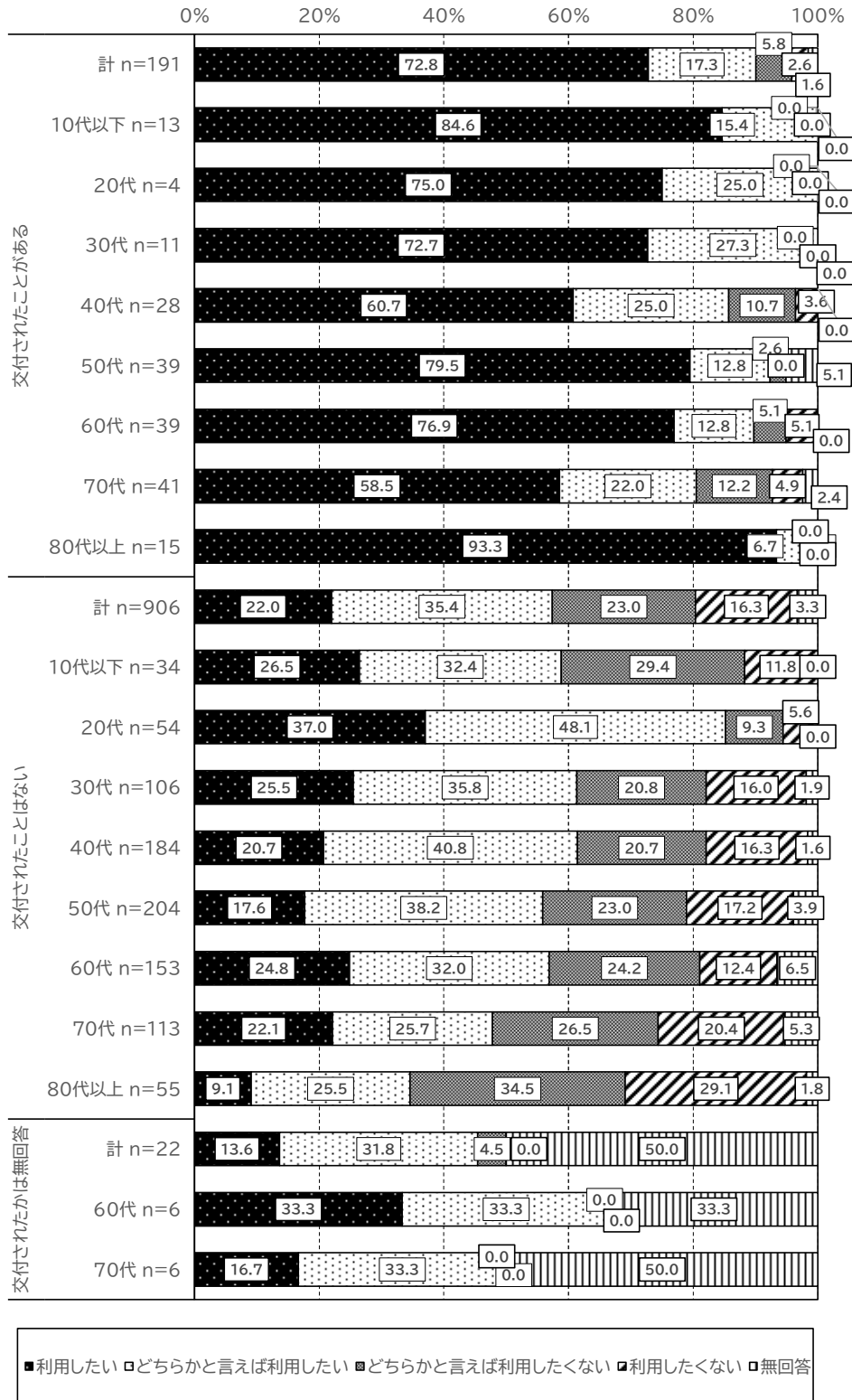
図表 5-61 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか
(性別)



図表 5-62 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか
(年代別)



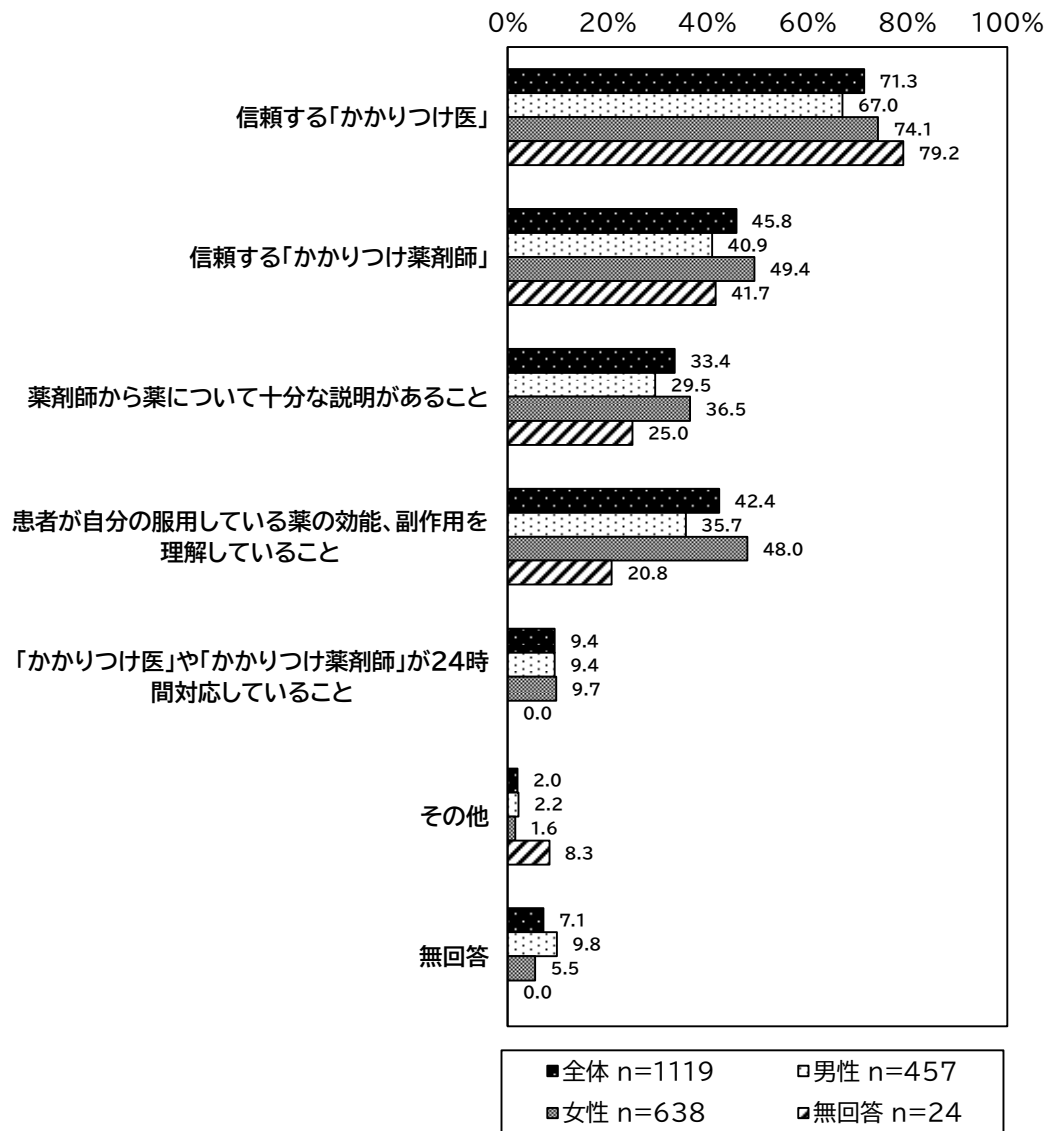
図表 5-63 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか
（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）



(2) リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じること

リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることについては、「信頼する「かかりつけ医」がいること」が最も多く71.3%、次いで「信頼する「かかりつけ薬剤師」がいること」が多く45.8%であった。

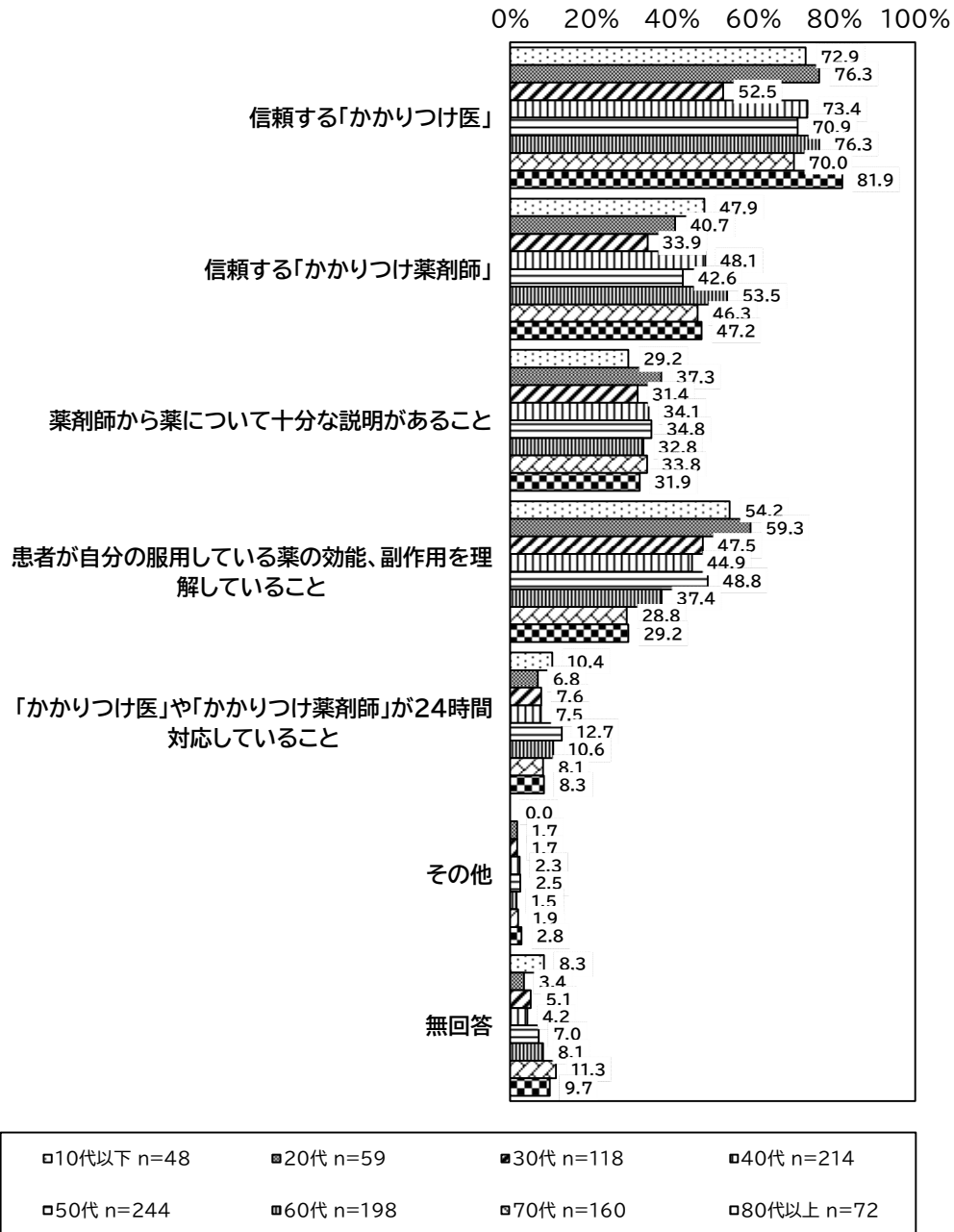
図表 5-64 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（性別）



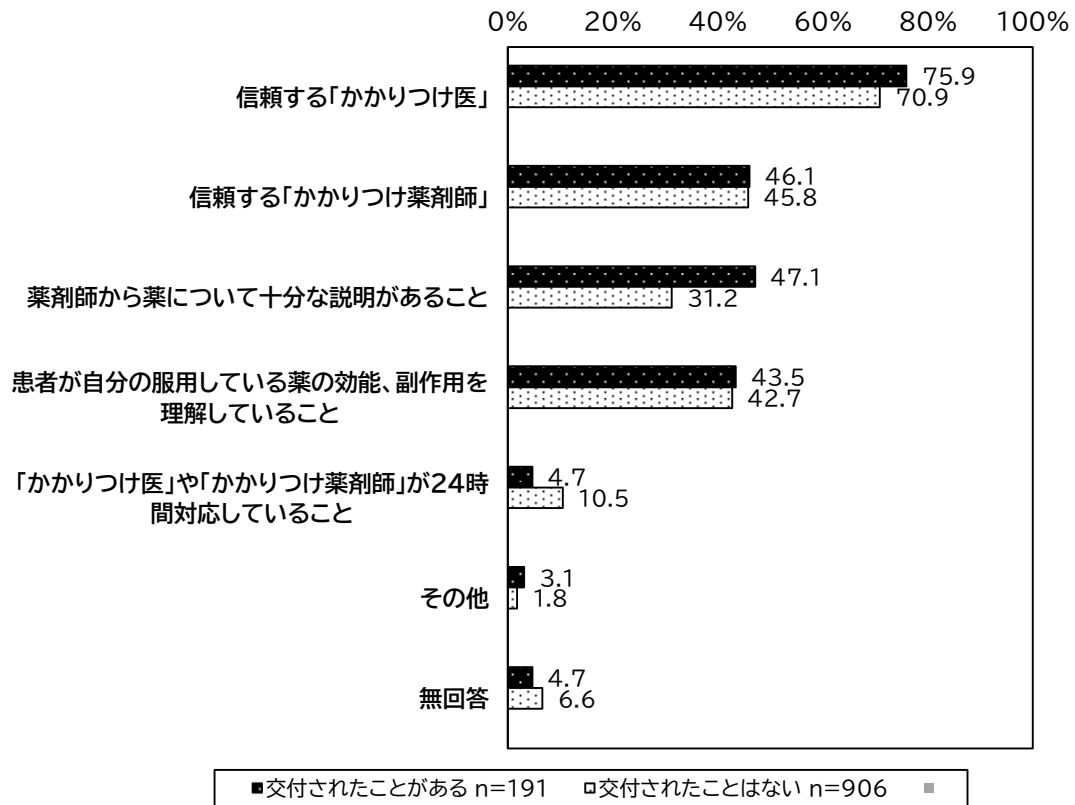
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・残っている薬に合わせて処方を変えてもらうこと
- ・もっと説明をわかりやすくしてほしい
- ・お薬手帳、アプリがもっとしっかりしていること
- ・不安なときにすぐ対応してもらえること
- ・24時間対応のチャット窓口などがあること など

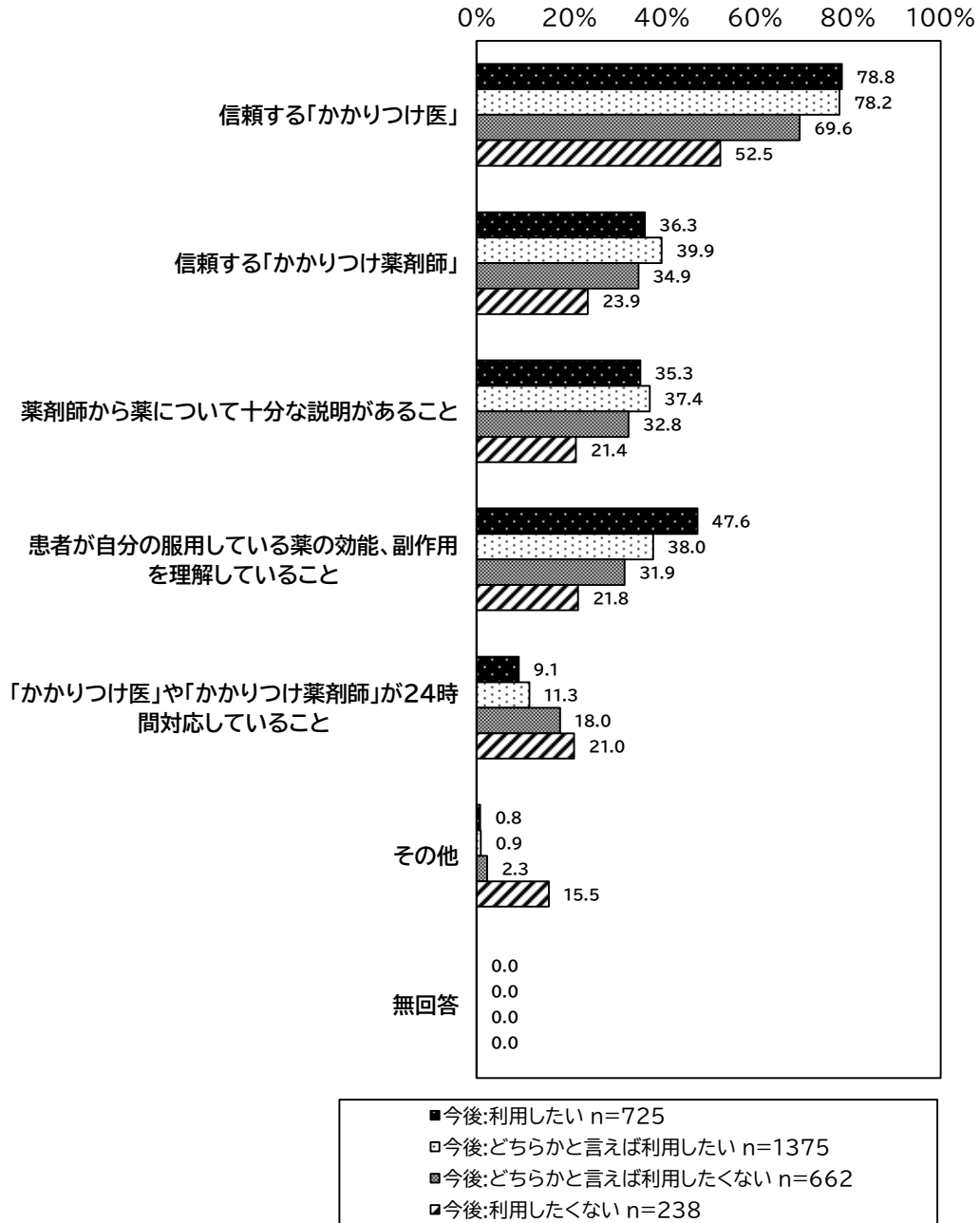
図表 5-65 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（年代別）



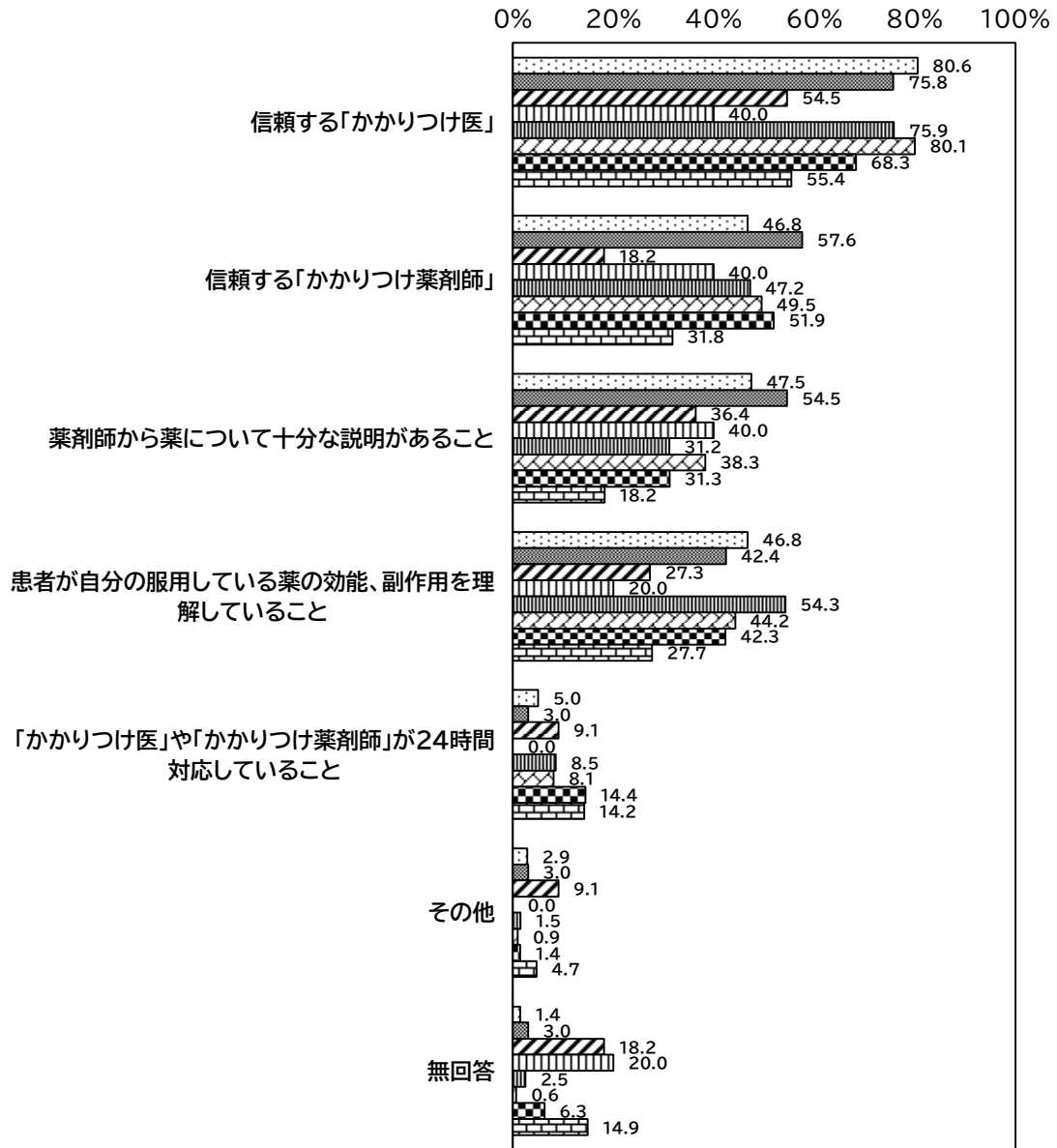
図表 5-66 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（リフィル処方箋を交付された経験別）



図表 5-67 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか別）



図表 5-68 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
 （リフィル処方箋を交付された経験・今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか別）



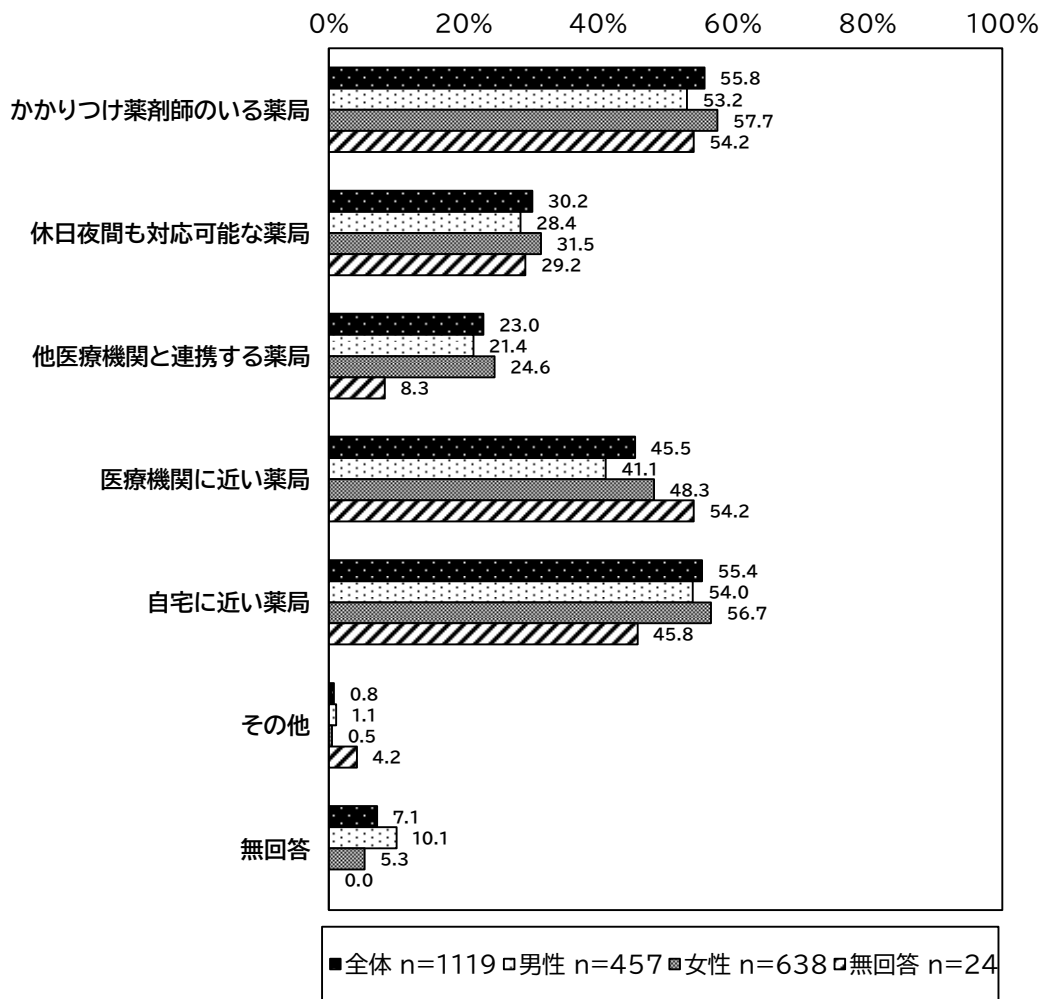
交付されたことがある 今後:利用したい n=139
 交付されたことがある 今後:どちらかと言えば利用したい n=33
 交付されたことがある 今後:どちらかと言えば利用したくない n=11
 交付されたことがある 今後:利用したくない n=5
 交付されたことはない 今後:利用したい n=199
 交付されたことはない 今後:どちらかと言えば利用したい n=321
 交付されたことはない 今後:どちらかと言えば利用したくない n=208
 交付されたことはない 今後:利用したくない n=148

(3) リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか

リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいかについては、1回目処方（複数回答）では、「かかりつけ薬剤師がいる薬局」が最も多く55.8%、1回目処方（最重要視するもの1つ選択）でも、「かかりつけ薬剤師がいる薬局」が最も多く30.8%であった。

一方で2回目以降処方（複数回答）では、「自宅に近い薬局」が最も多く56.9%、2回目以降処方（最重要視するもの1つ選択）でも、「自宅に近い薬局」が最も多く32.7%であった。

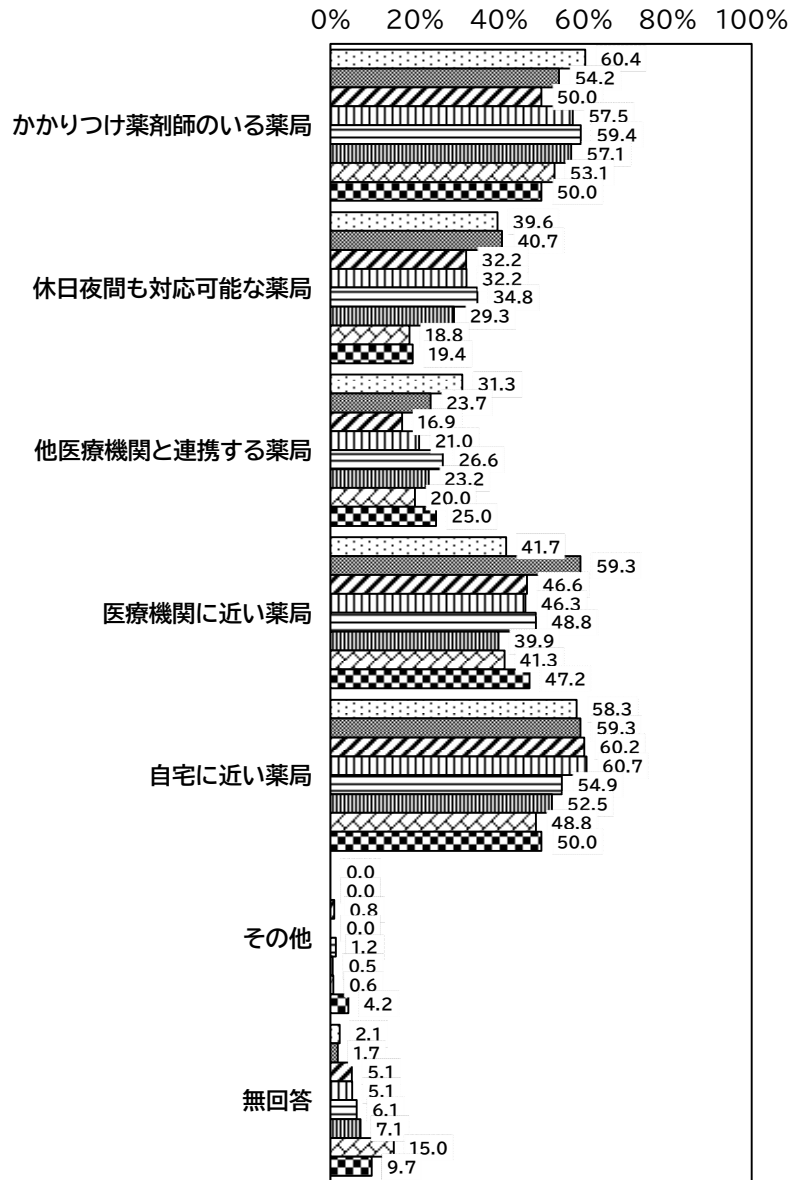
図表 5-69 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（性別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

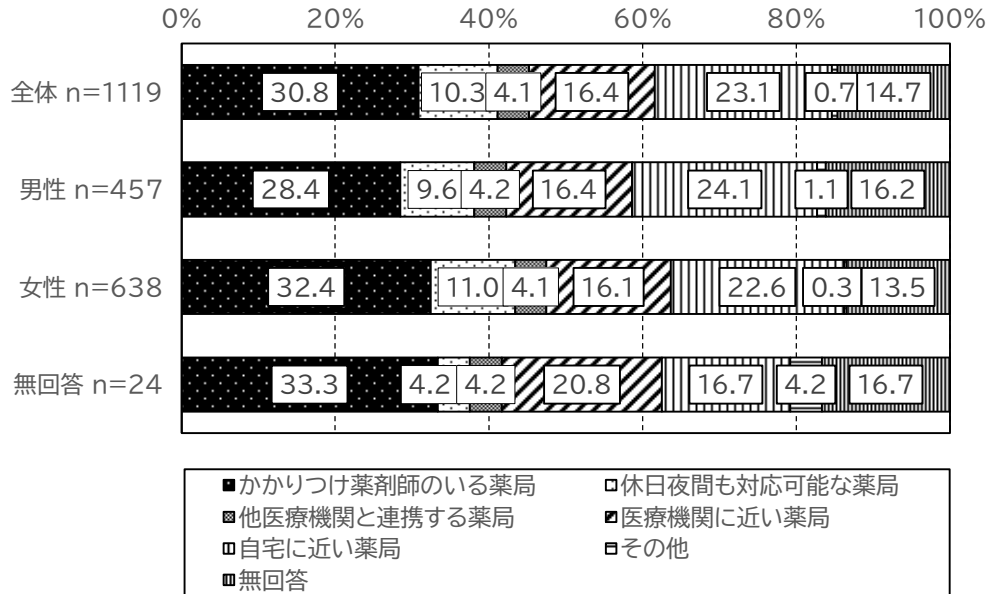
- ・自宅まで届けてくれる薬局
- ・職場に近い薬局
- ・どこでもよい など

図表 5-70 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（年代別）

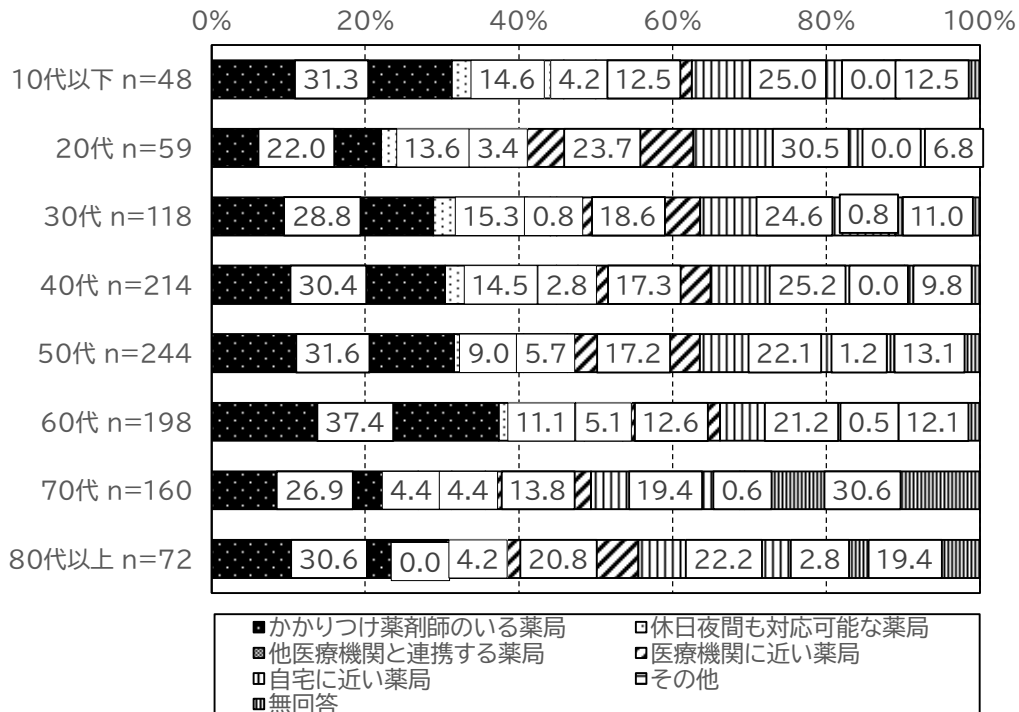


□10代以下 n=48	■20代 n=59	□30代 n=118	■40代 n=214
■50代 n=244	■60代 n=198	■70代 n=160	■80代以上 n=72

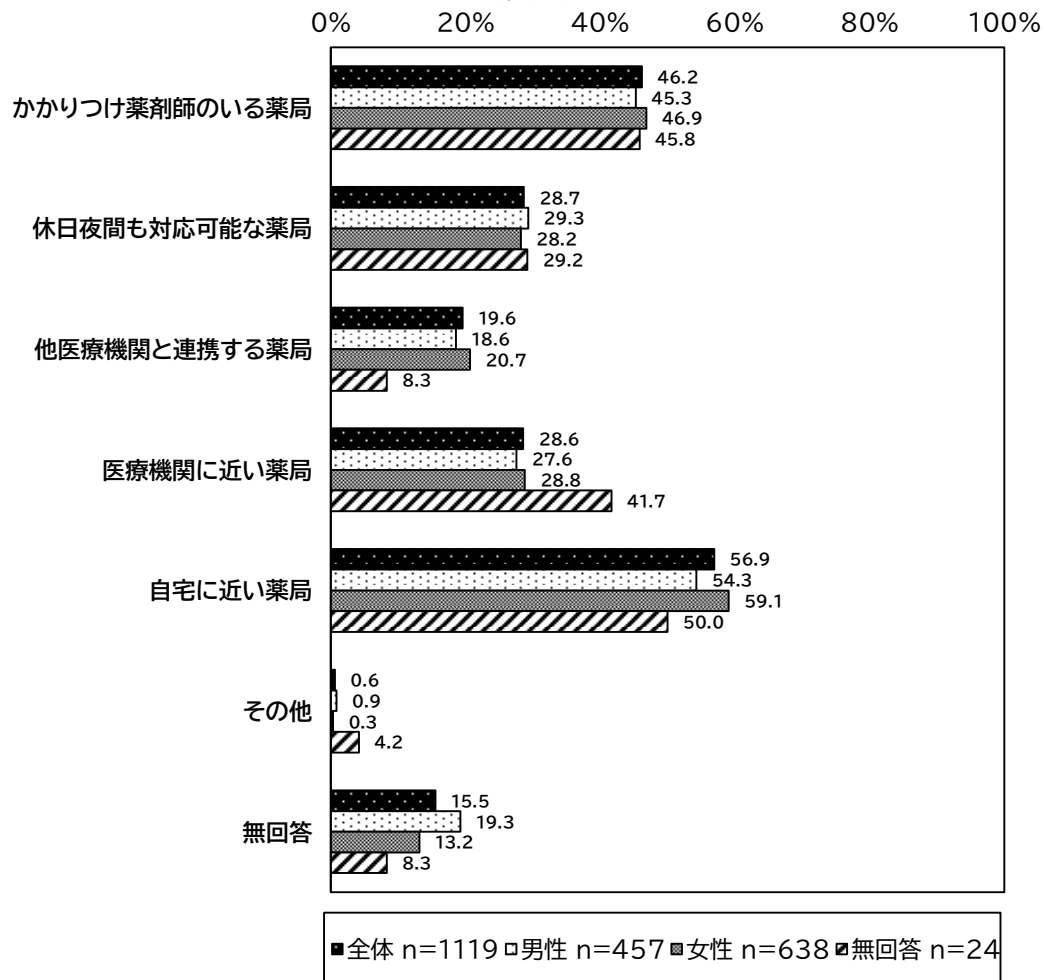
図表 5-71 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（最重視するもの）（性別）



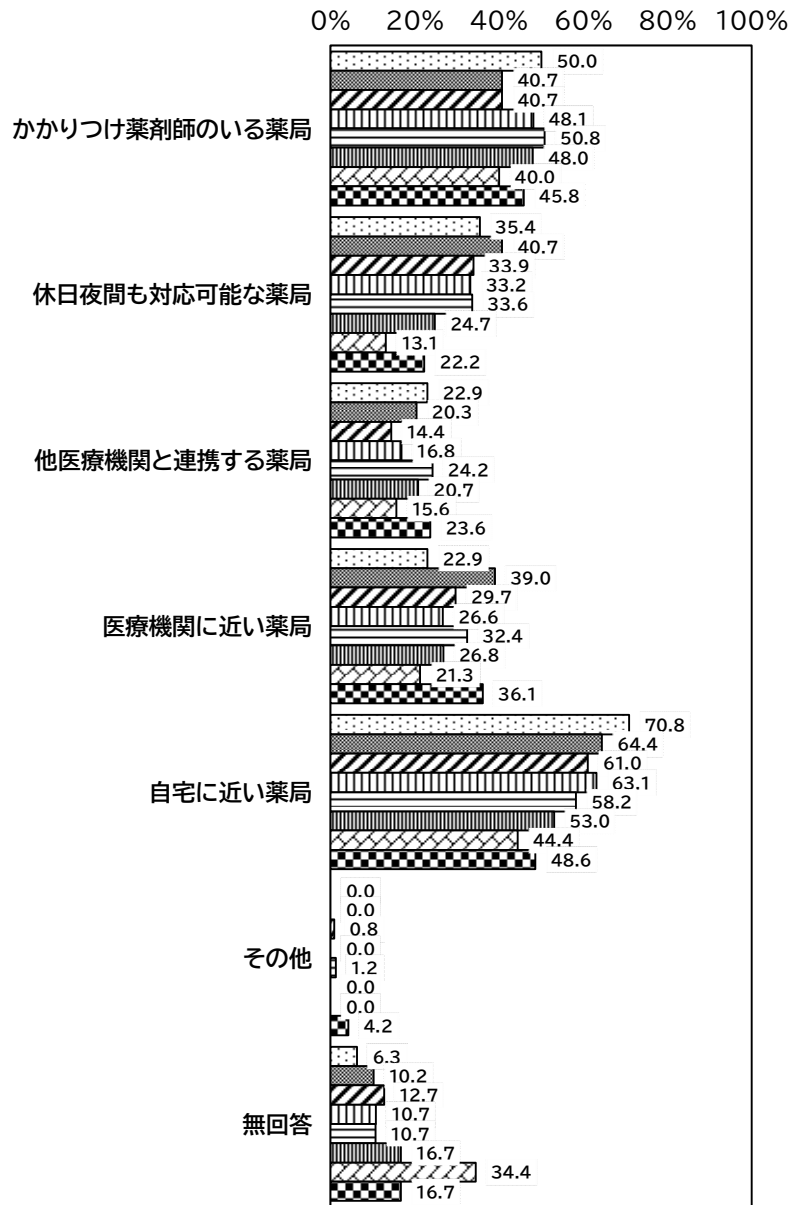
図表 5-72 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（最重視するもの）（年代別）



図表 5-73 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（性別）

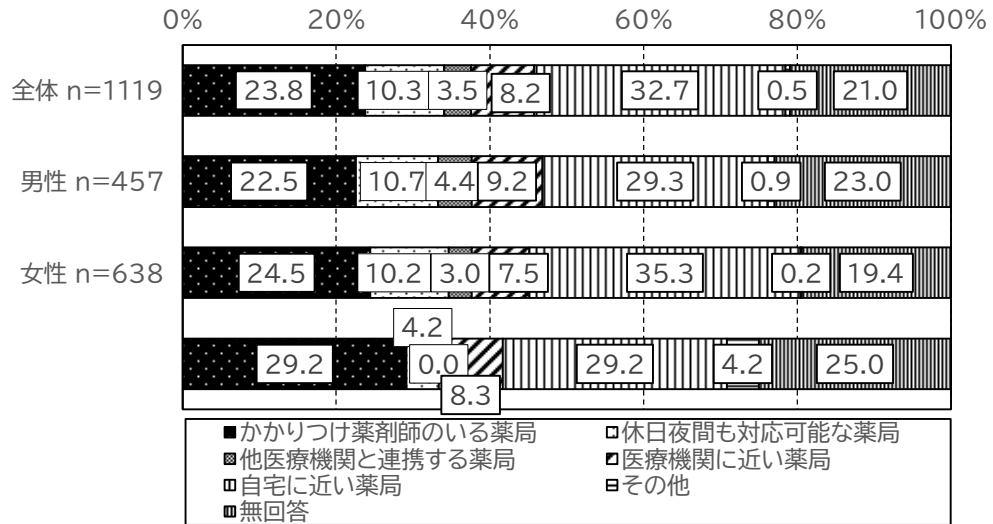


図表 5-74 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（年代別）

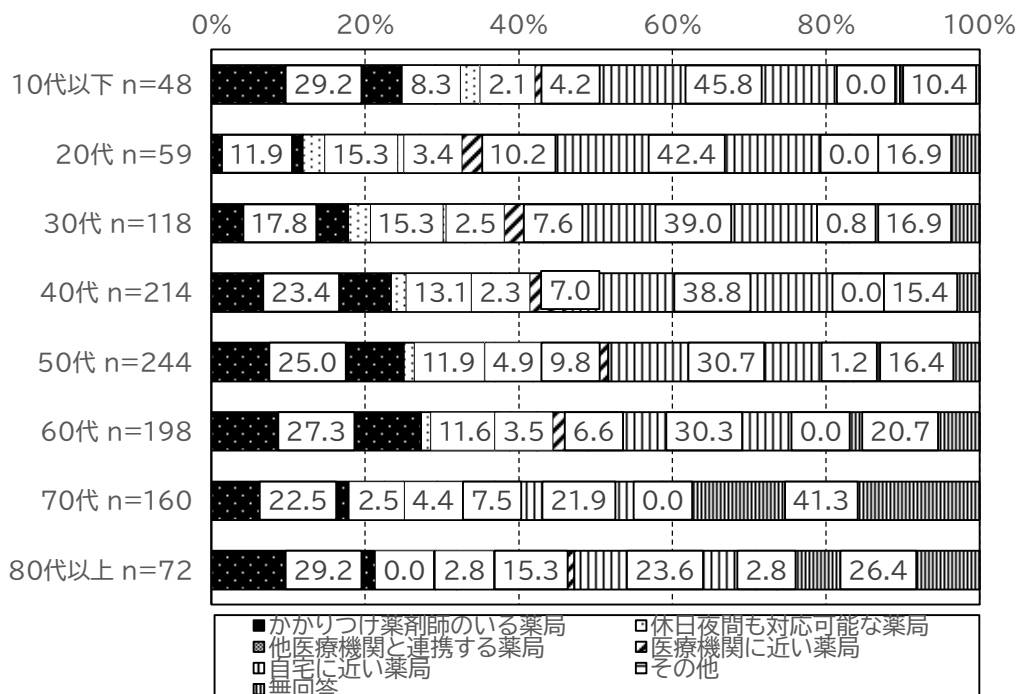


□10代以下 n=48	■20代 n=59	□30代 n=118	■40代 n=214
□50代 n=244	■60代 n=198	□70代 n=160	■80代以上 n=72

図表 5-75 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（最重視するもの）（性別）



図表 5-76 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（最重視するもの）（年代別）



6) リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等

【ご意見・ご要望（自由記載）の具体的な内容】

- ・忙しい患者にとって非常によい制度で助かっている
- ・症状が安定している場合は3回超のリフィルを認めてほしい
- ・子供が医療機関の受診を嫌がる場合があるので、制度はありがたい
- ・処方を受けることが可能な期間を延ばしてほしい
- ・一般の人に知られていないので、もっと広報するべき
- ・意義やメリットを感じない
- ・医師に診てもら回数が減るのは不安
- ・処方箋を自身で保管することが手間に感じる
- ・リフィルを希望しても医療機関によっては断られることに納得がいかない
- ・90日処方と何が違うのかわからない
- ・自分から医師へおねがいはハードルが高い
- ・医療費が安くなるのであれば使いたい
- ・薬のもらい忘れがおきそうで不安である など

6. 患者調査（インターネット調査）

【調査対象等】

○調査票 患者票

調査対象：直近3か月間で、保険薬局に処方箋を持って来局した患者を調査対象とした

回答数：3,000人

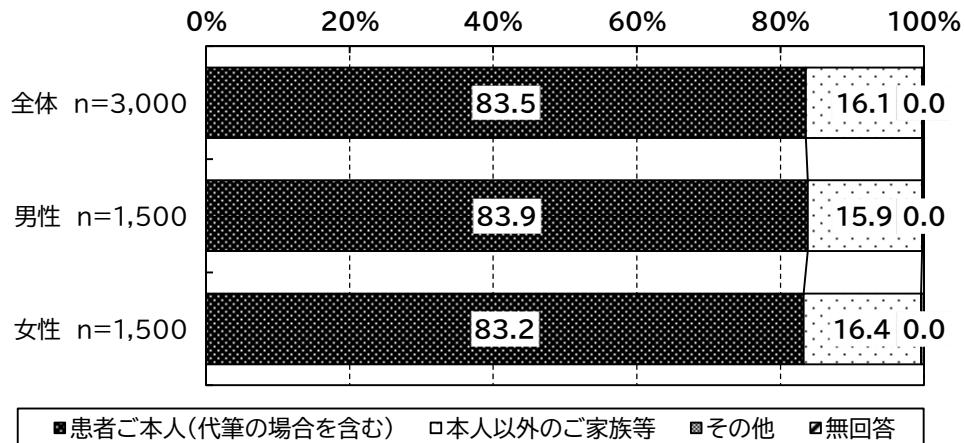
回答者：患者本人もしくは家族

1) この調査票のご記入者

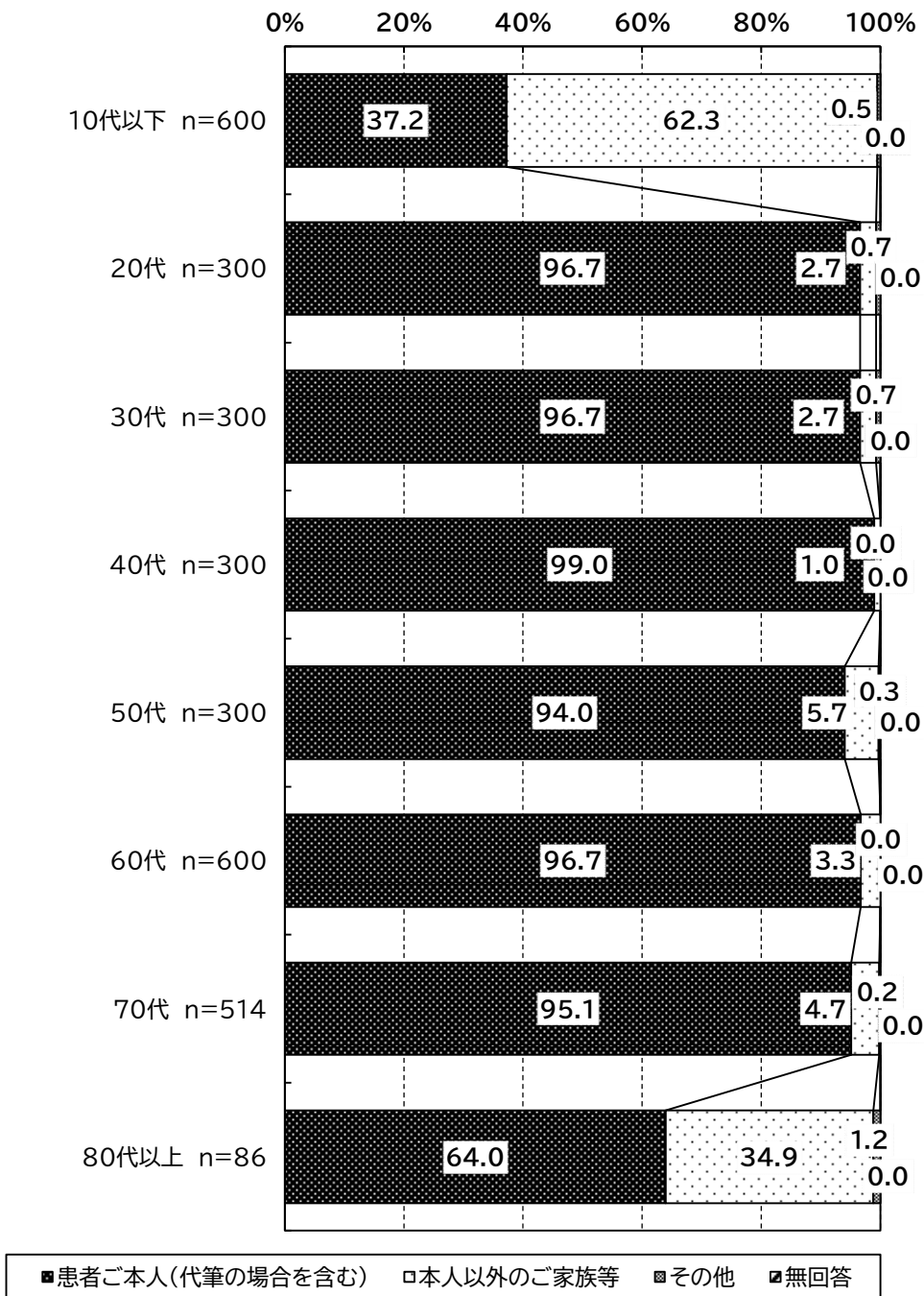
(1) ご記入者は患者さんご本人か

調査票の記入者は患者本人かについては「患者ご本人」が83.5%、「本人以外のご家族等」が16.1%であった。

図表 6-1 調査票の記入者
(性別)



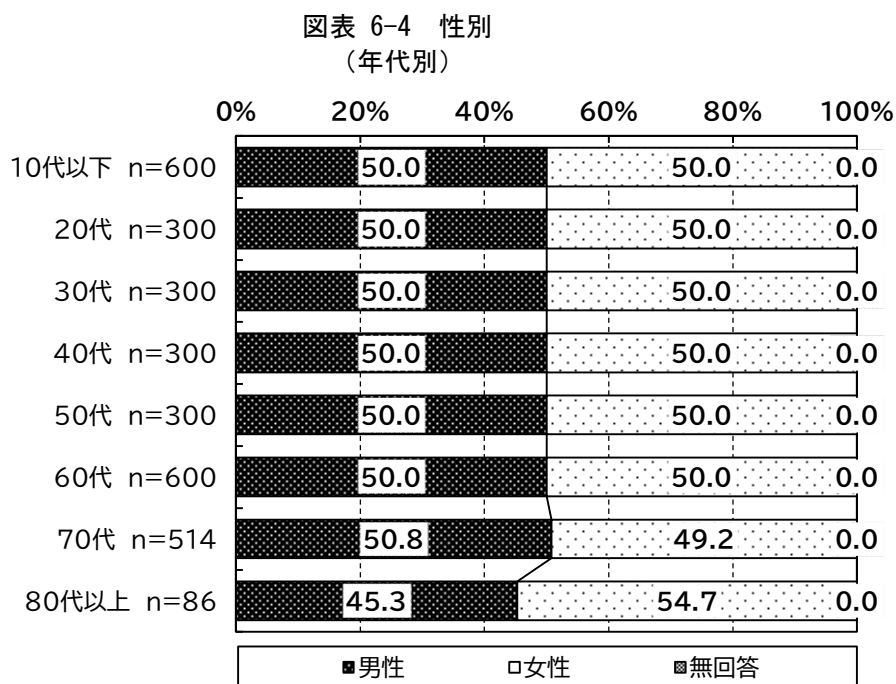
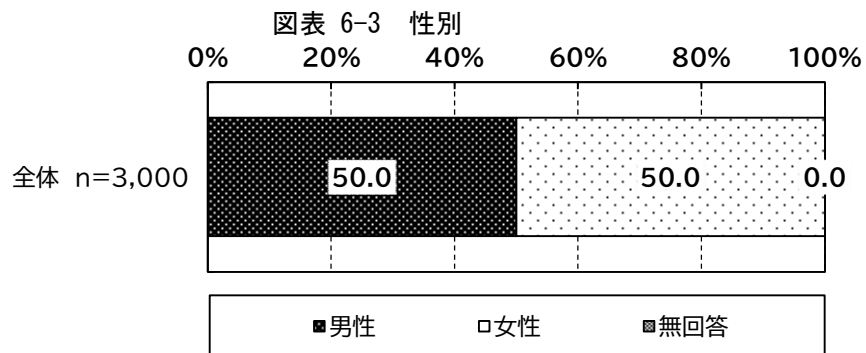
図表 6-2 調査票の記入者
（年代別）



2) 患者さんご自身のことについて

(1) 性別

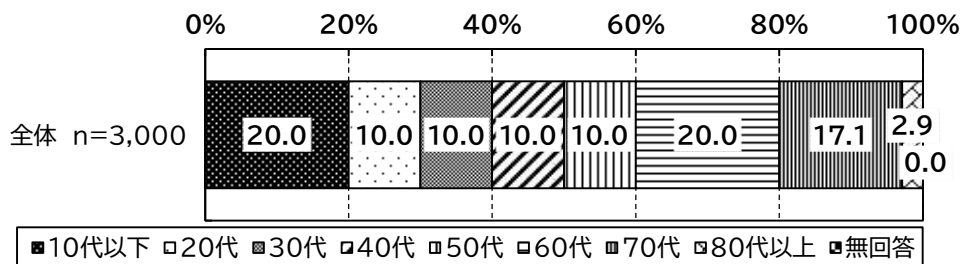
性別については「男性」・「女性」が50.0%ずつとなるよう割付を行った。



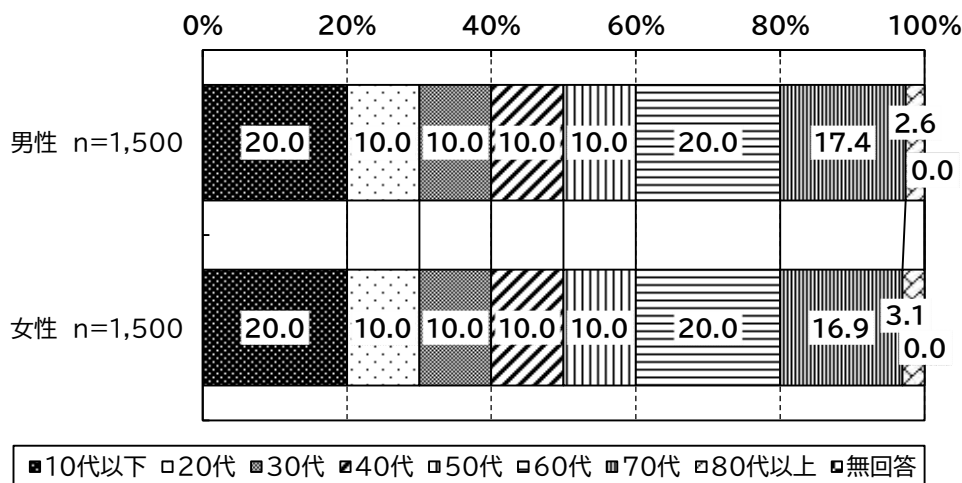
(2) 年齢

年齢については、9歳以下・10代・20代・30代・40代・50代・60～64歳・65～69歳・70～74歳・75歳以上の各年代の回答者数が300名ずつとなるよう割付を行った。なお、本報告書の年代別集計は郵送調査の患者調査と平仄をあわせ、「10代以下」「20代」「30代」「40代」「50代」「60代」「70代」「80代以上」のラベル付けとする。

図表 6-5 年齢



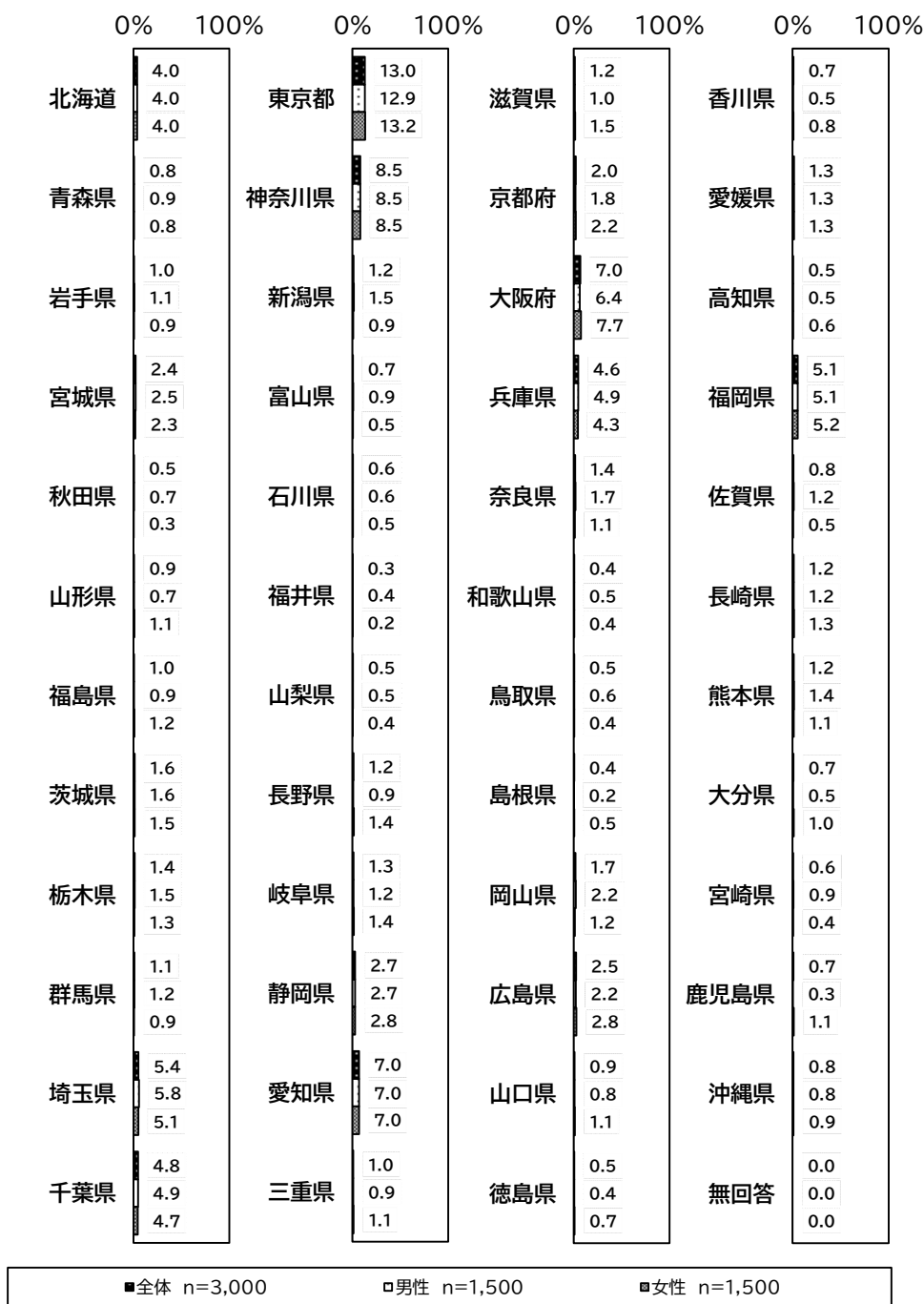
図表 6-6 年齢
(性別)



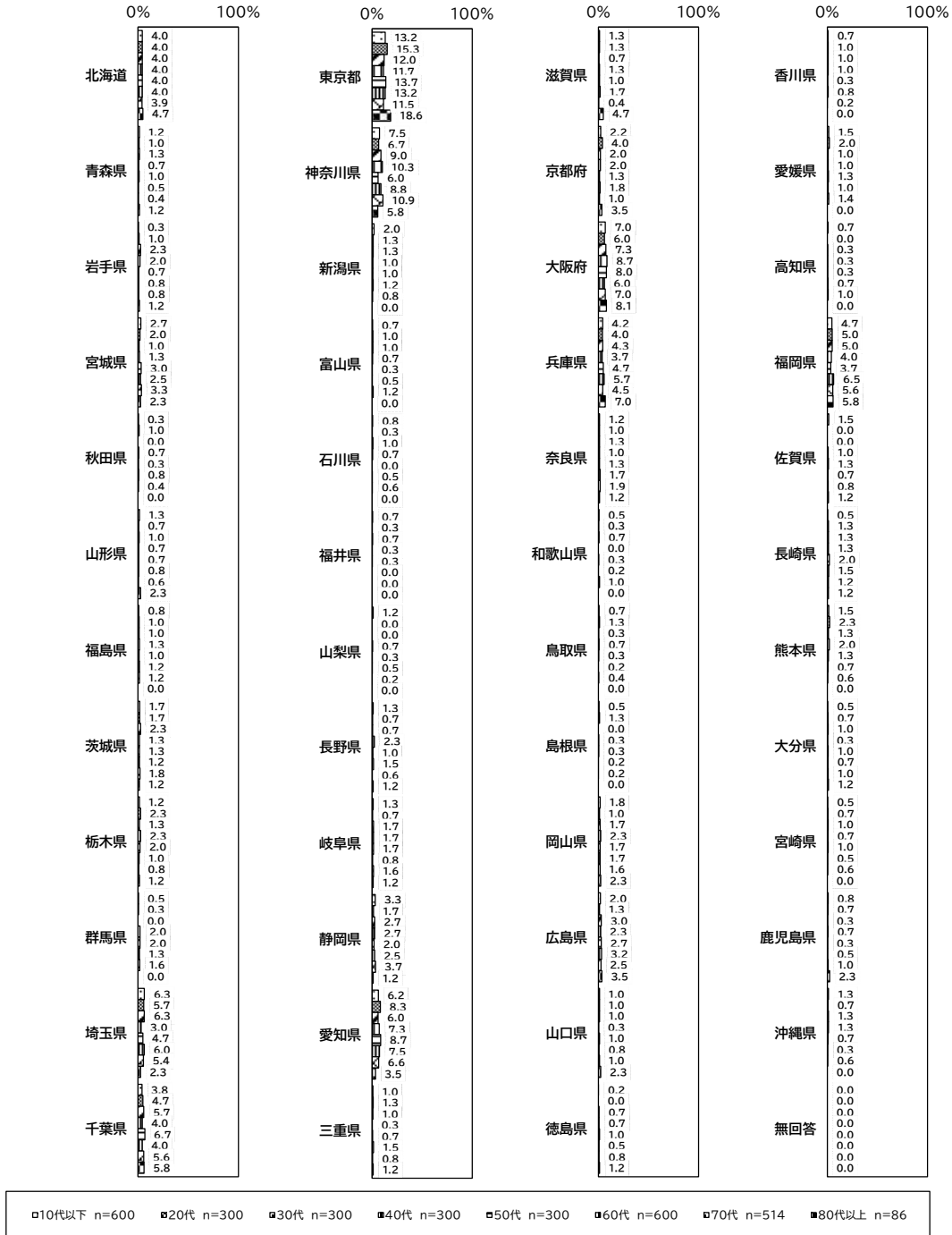
(3) お住まい

お住まいについては「東京都」が最も多く13.0%であった。

図表 6-7 お住まい
(性別)

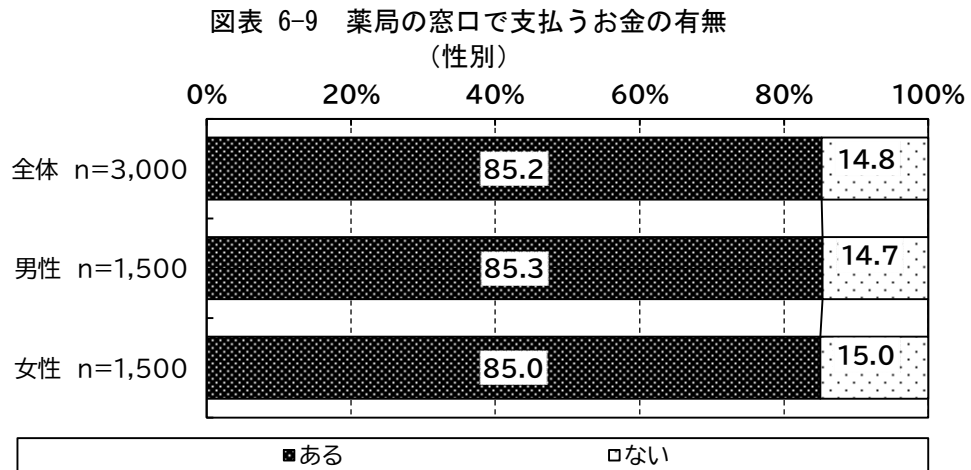


図表 6-8 お住まい
（年代別）

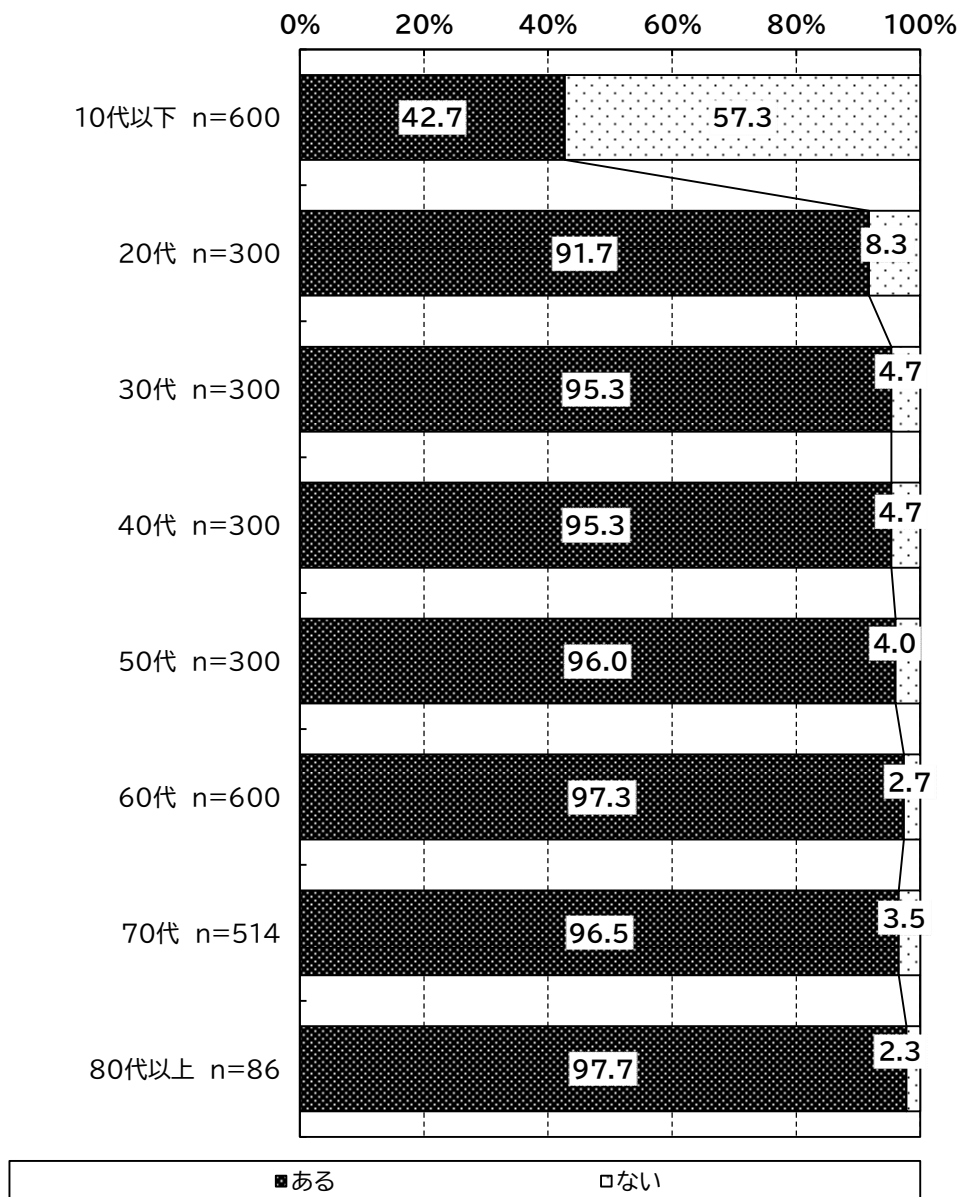


(4) 薬局の窓口で支払うお金の有無

薬局の窓口で支払うお金（お薬の容器代は含まない）については、「ある」が85.2%、「ない」が14.8%であった。



図表 6-10 薬局の窓口で支払うお金の有無
（年代別）



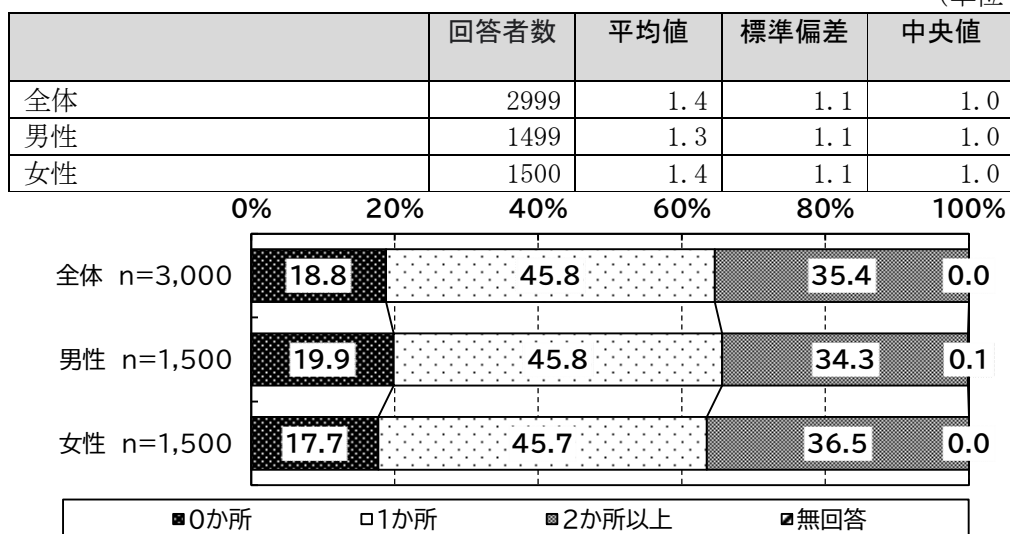
3) 医療機関や保険薬局の利用状況等について

(1) 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）、診療科の数

定期的（180日間で複数回）に受診している医療機関（病院・診療所）の数については平均で1.4件であった。

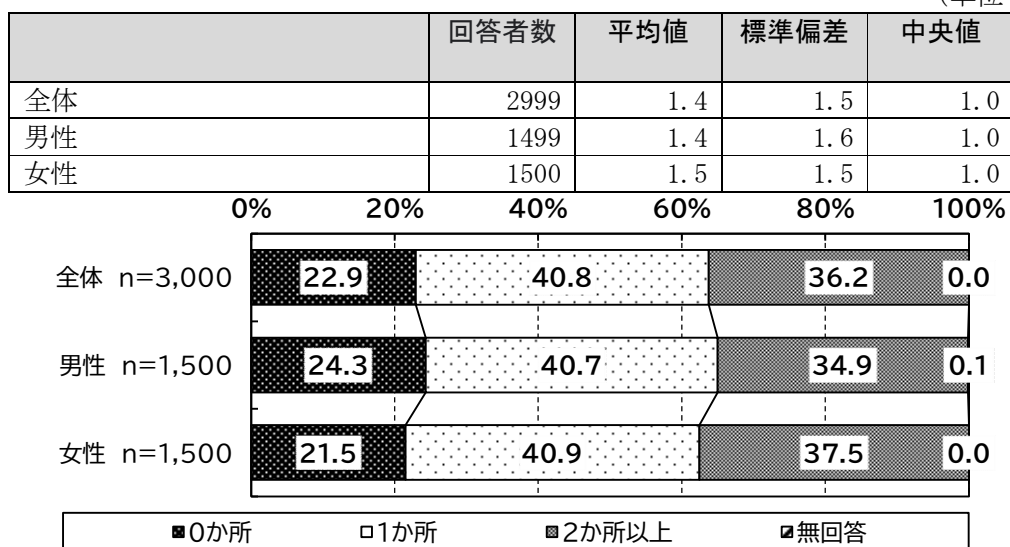
図表 6-11 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）の数
（性別）

（単位：件）



図表 6-12 定期的に受診している診療科の数
（性別）

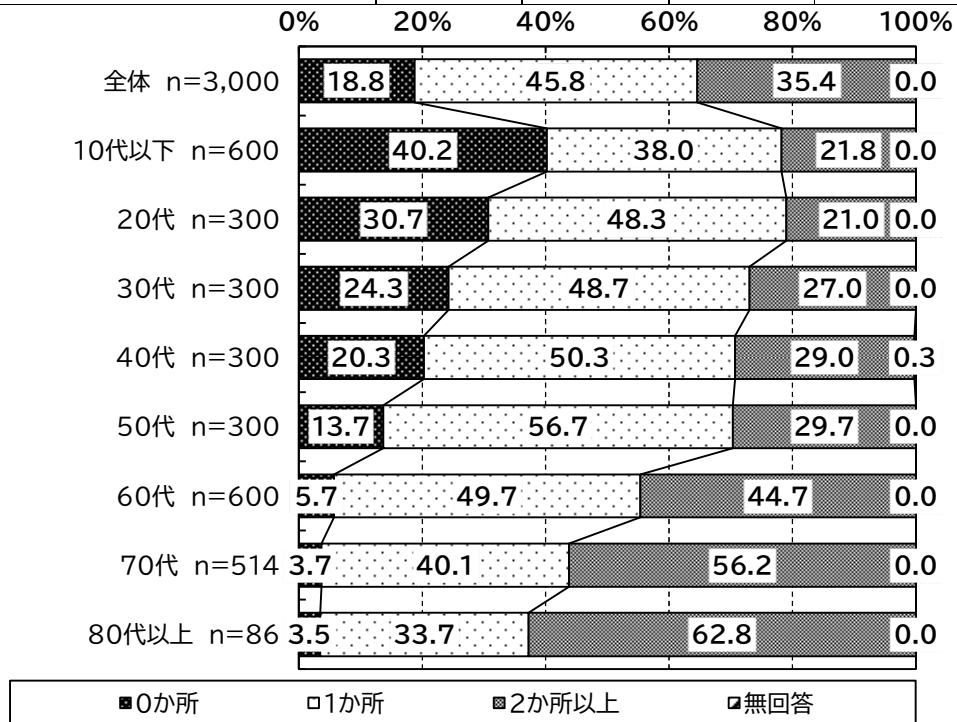
（単位：件）



図表 6-13 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）の数
（年代別）

（単位：件）

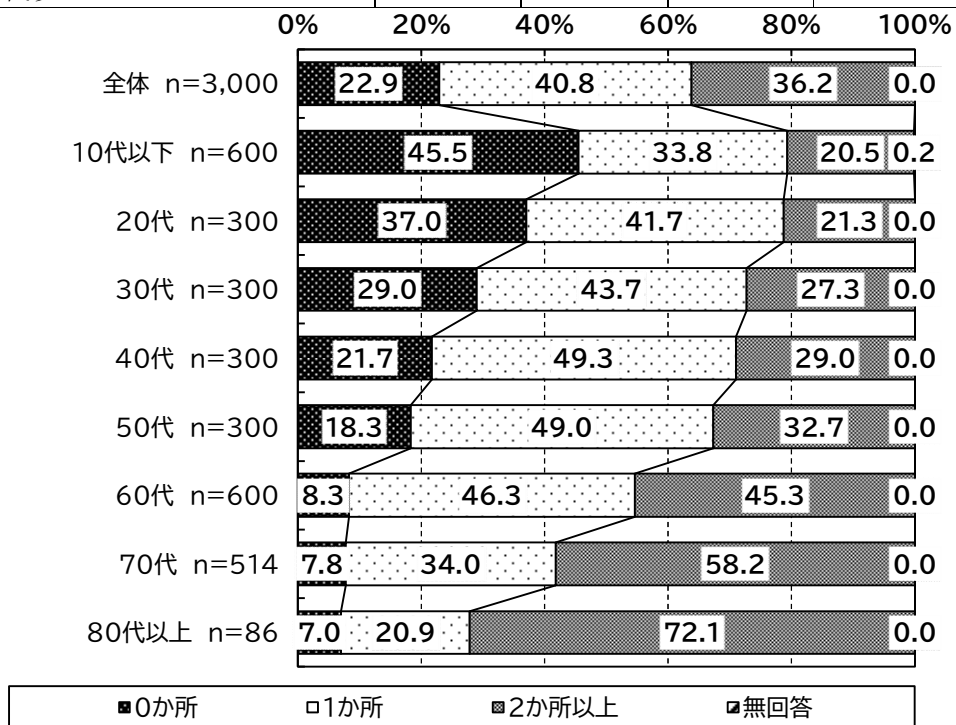
	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
全体	2999	1.4	1.1	1.0
10代以下	600	0.9	1.0	1.0
20代	300	1.0	1.0	1.0
30代	300	1.2	1.0	1.0
40代	299	1.3	1.3	1.0
50代	300	1.3	0.9	1.0
60代	600	1.6	0.9	1.0
70代	514	1.9	1.2	2.0
80代以上	86	2.0	1.1	2.0



図表 6-14 定期的に受診している診療科の数
（年代別）

（単位：件）

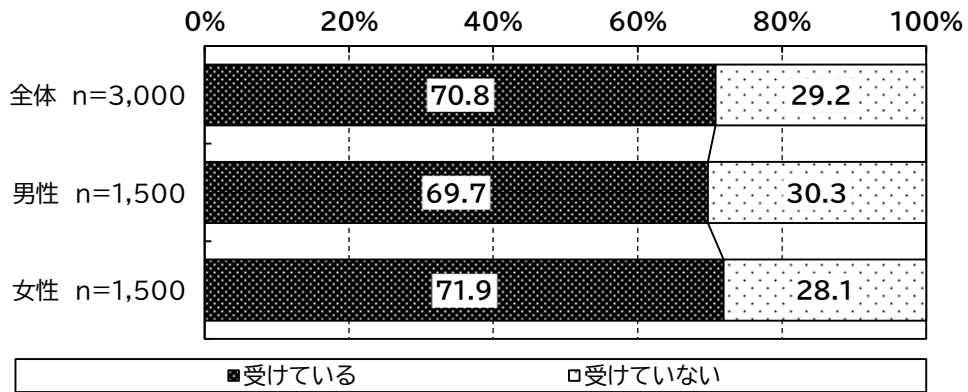
	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
全体	2999	1.4	1.5	1.0
10代以下	599	0.9	1.3	1.0
20代	300	1.1	1.7	1.0
30代	300	1.3	1.6	1.0
40代	300	1.4	1.4	1.0
50代	300	1.4	1.6	1.0
60代	600	1.7	1.2	1.0
70代	514	2.0	1.5	2.0
80代以上	86	2.5	2.6	2.0



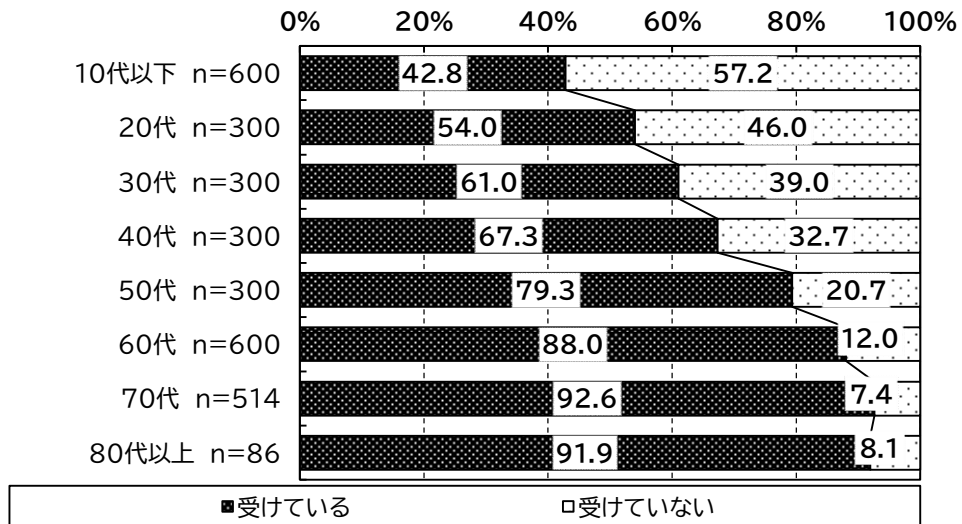
(2) 定期的に決まった薬の処方を受けているか

定期的に決まった薬の処方を受けているかについては、「受けている」が70.8%、「受けていない」が29.2%であった。

図表 6-15 定期的に決まった薬の処方を受けているか
(性別)



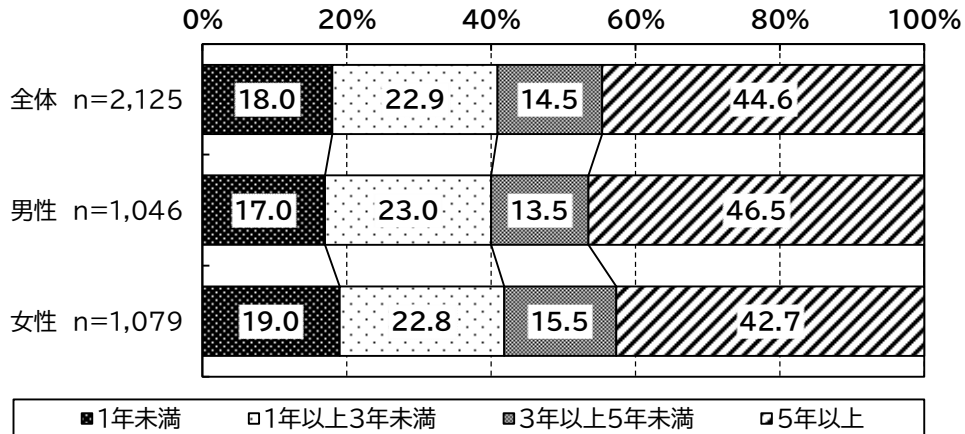
図表 6-16 定期的に決まった薬の処方を受けているか
(年代別)



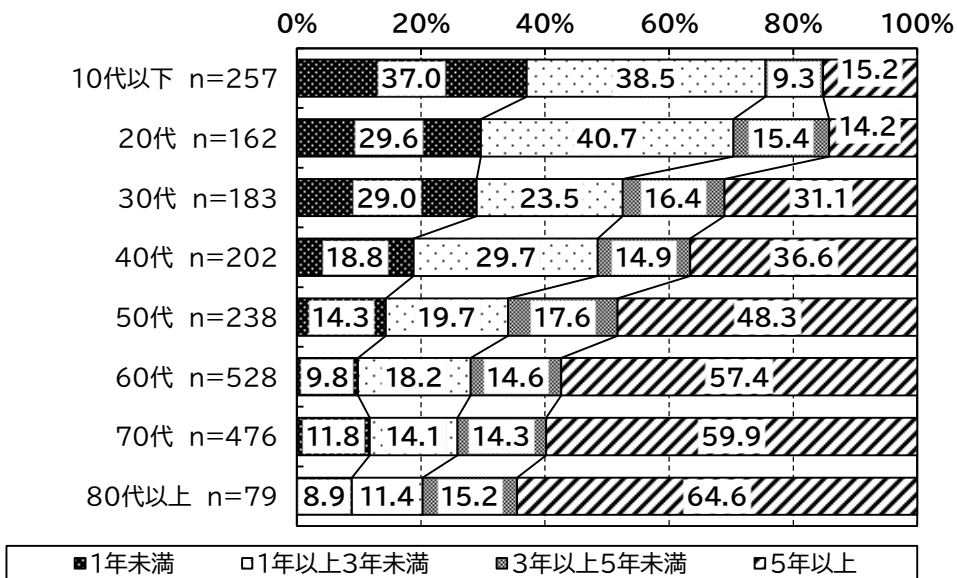
① 定期的な処方を受けている期間

定期的な処方を受けている期間については、「5年以上」が最も多く 44.6%、次いで「1年以上3年未満」が多く 22.9%であった。

図表 6-17 定期的な処方を受けている期間
(性別)



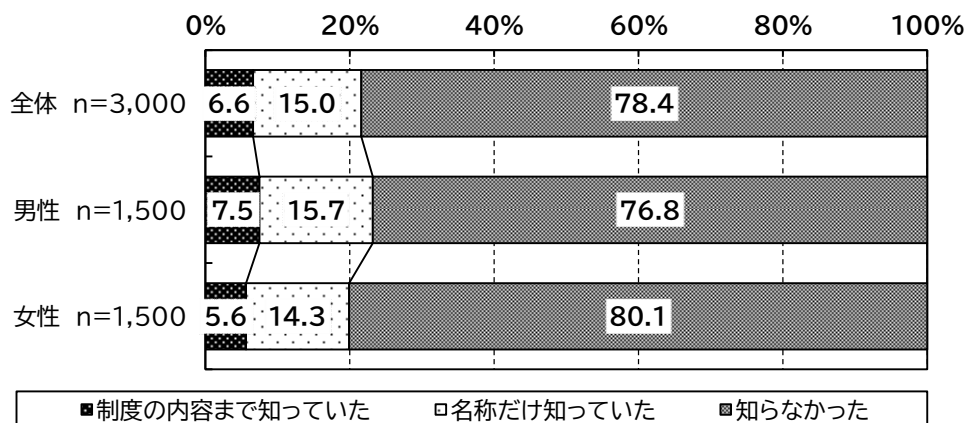
図表 6-18 定期的な処方を受けている期間
(年代別)



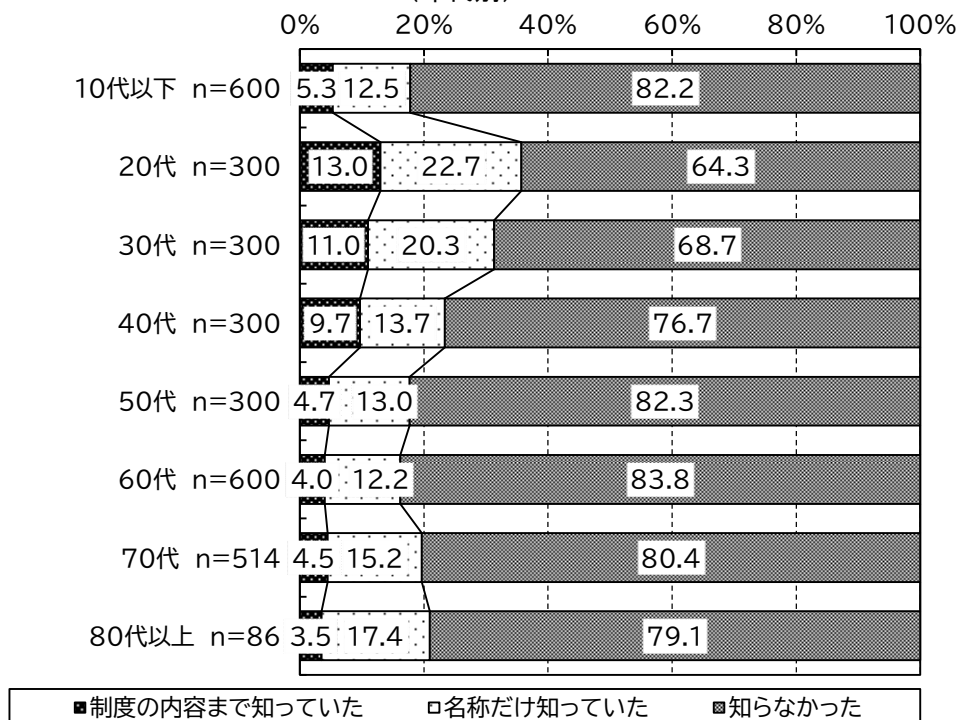
(3) リフィル処方箋の認知度

リフィル処方箋を知っているかについては、「制度の内容まで知っていた」が6.6%、「名称だけ知っていた」が15.0%、「知らなかった」が78.4%であった。

図表 6-19 リフィル処方箋の認知度
(性別)



図表 6-20 リフィル処方箋の認知度
(年代別)

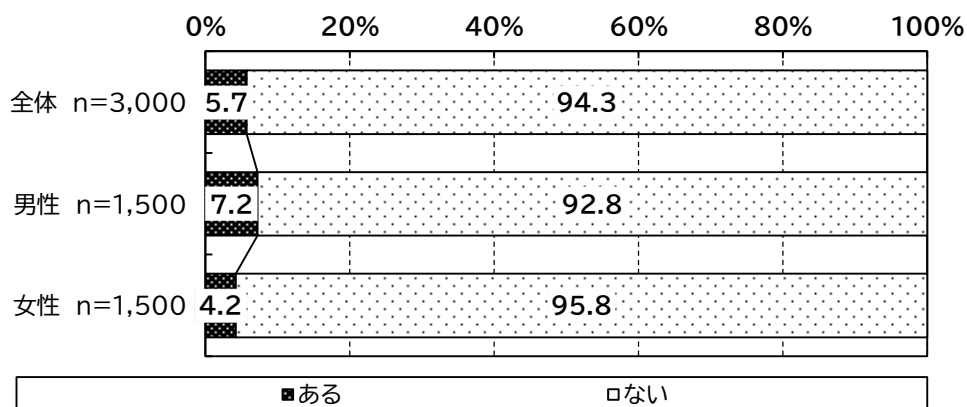


4) これまでリフィル処方箋を交付された経験

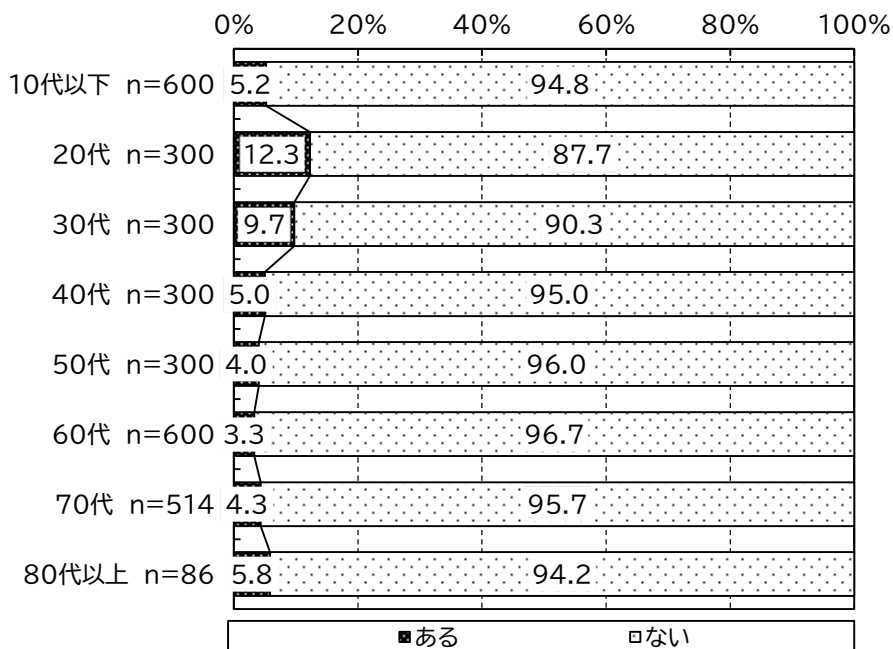
(1) リフィル処方箋について医師から説明

リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるかについては、「ある」が5.7%、「ない」が94.3%であった。

図表 6-21 リフィル処方箋について医師から説明
(性別)



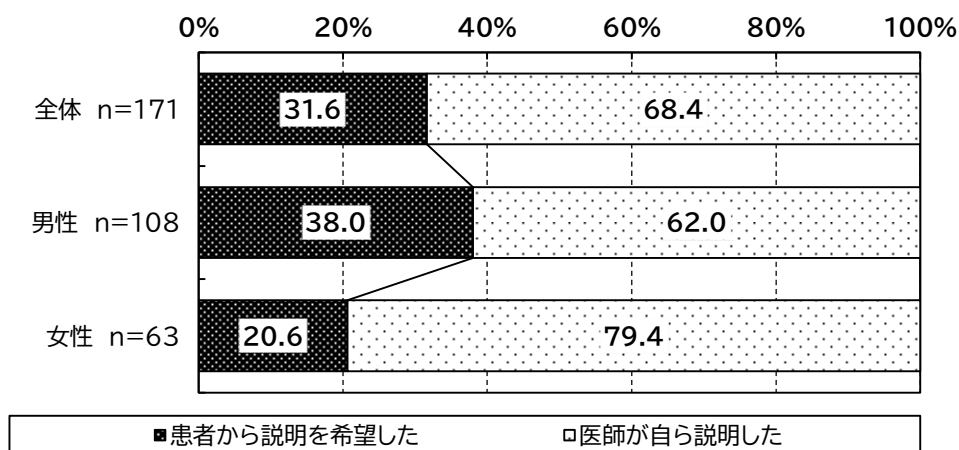
図表 6-22 リフィル処方箋について医師から説明
(年代別)



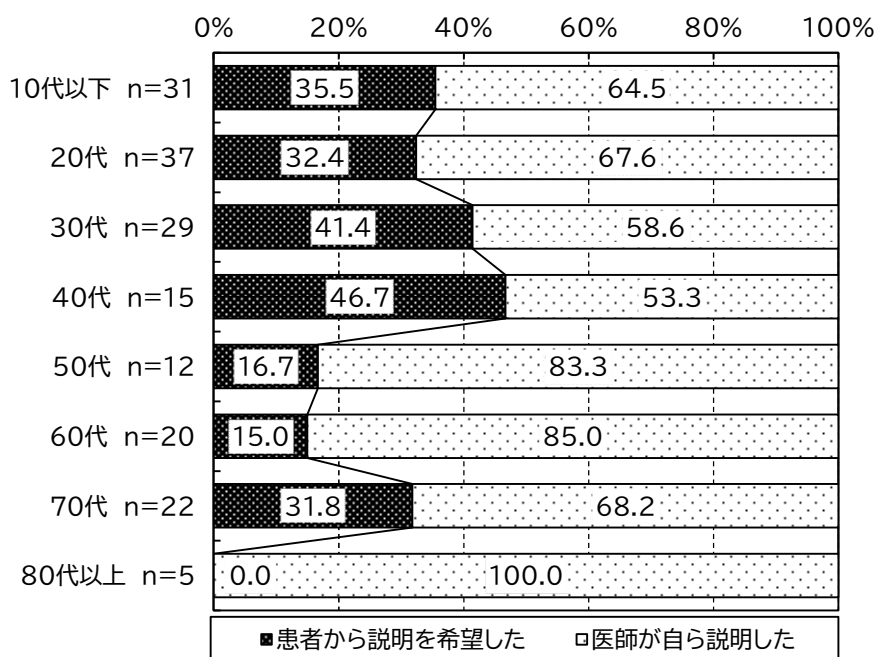
① リフィル処方箋についての説明はどのように行われたか（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）

リフィル処方箋について医師から説明はどのように行われたかについては、「患者から説明を希望した」が31.6%、「医師が自ら説明した」が68.4%であった。

図表 6-23 リフィル処方箋についての説明はどのように行われたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（性別）



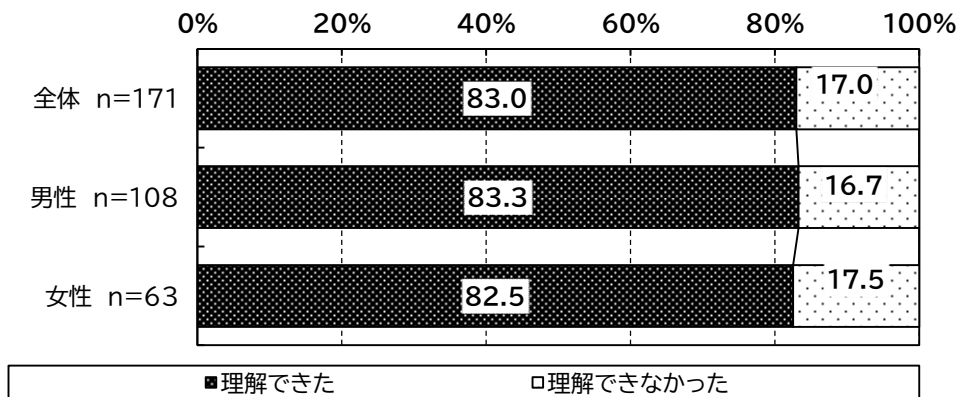
図表 6-24 リフィル処方箋についての説明はどのように行われたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（年代別）



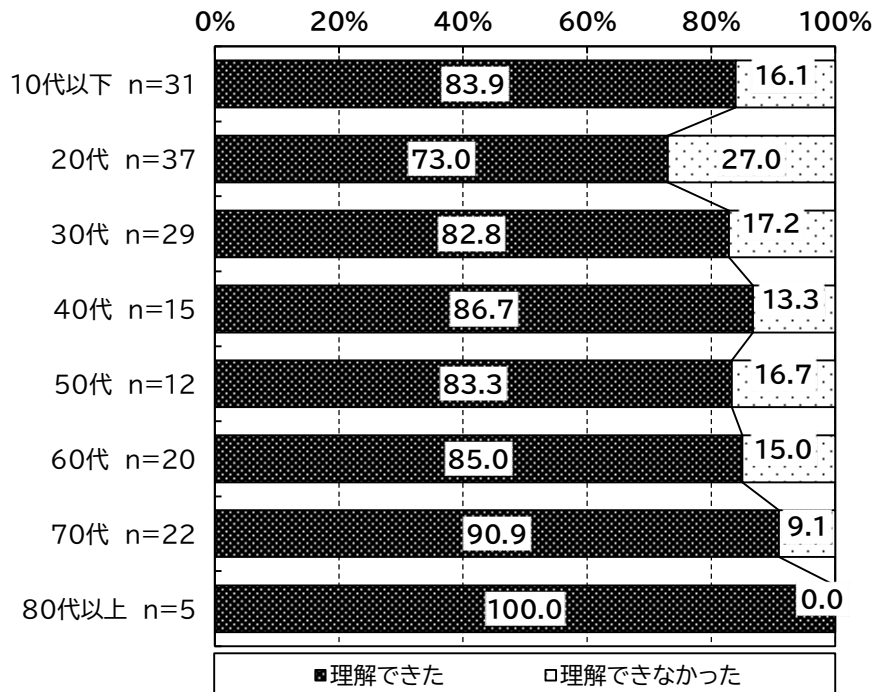
② リフィル処方箋についての説明は理解できたか（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）

リフィル処方箋についての説明は理解できたかについては、「理解できた」が83.0%、「理解できなかった」が17.0%であった。

図表 6-25 リフィル処方箋についての説明は理解できたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（性別）



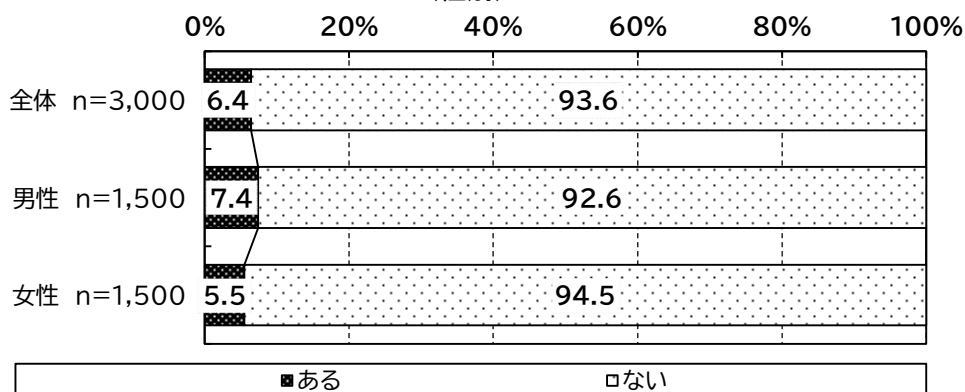
図表 6-26 リフィル処方箋についての説明は理解できたか
（リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験がある患者のみ）
（年代別）



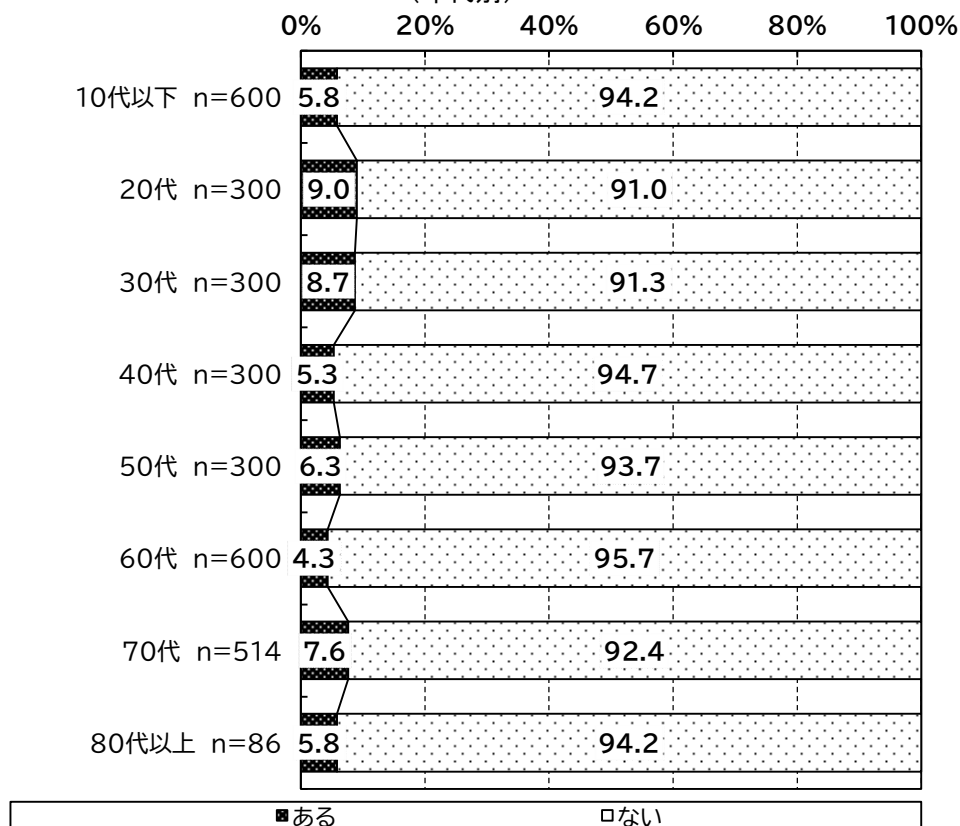
(2) リフィル処方箋を交付された経験

リフィル処方箋を交付された経験については、「ある」が6.4%、「ない」が93.6%であった。

図表 6-27 リフィル処方箋を交付された経験
(性別)



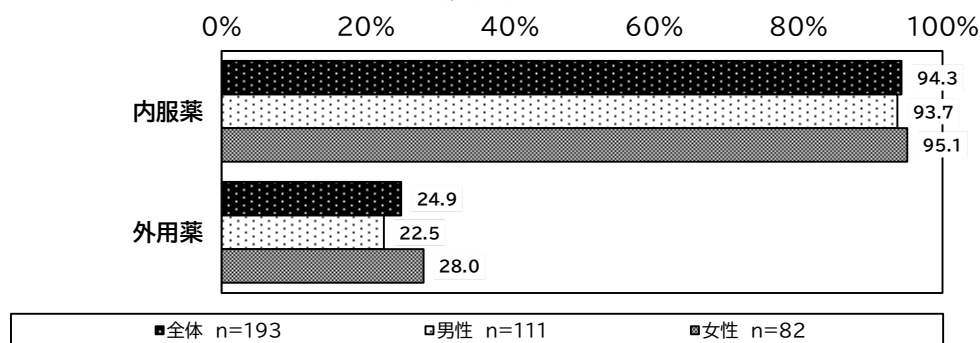
図表 6-28 リフィル処方箋を交付された経験
(年代別)



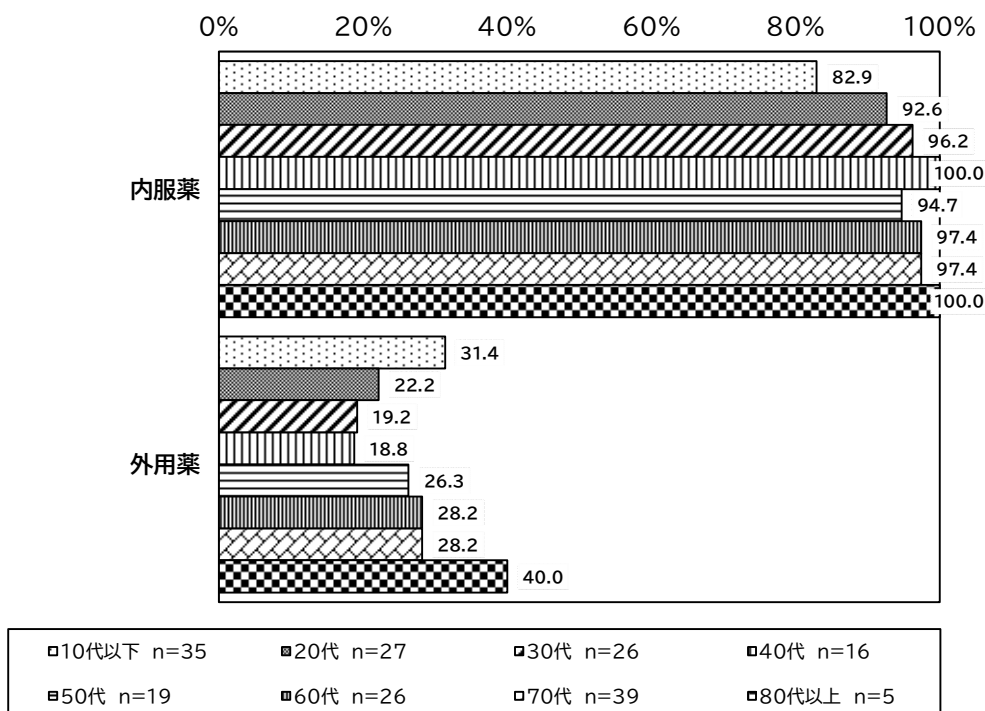
(3) リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬かについては、「内服薬」が最も多く94.3%、次いで「外用薬」が24.9%であった。

図表 6-29 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（複数回答）
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）



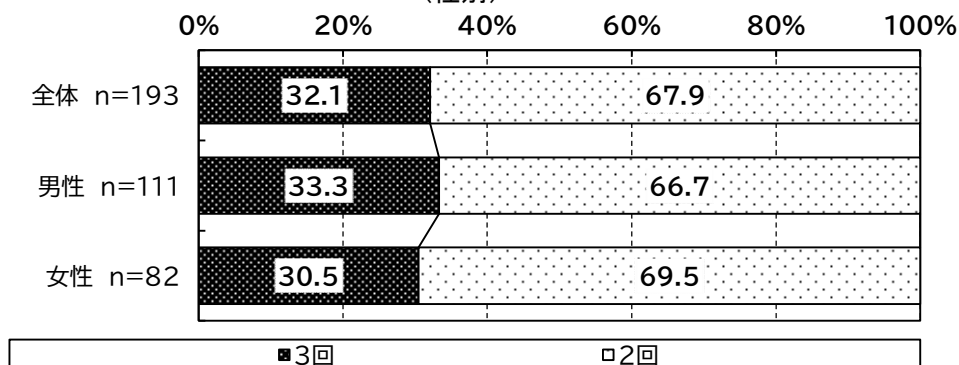
図表 6-30 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（複数回答）
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）



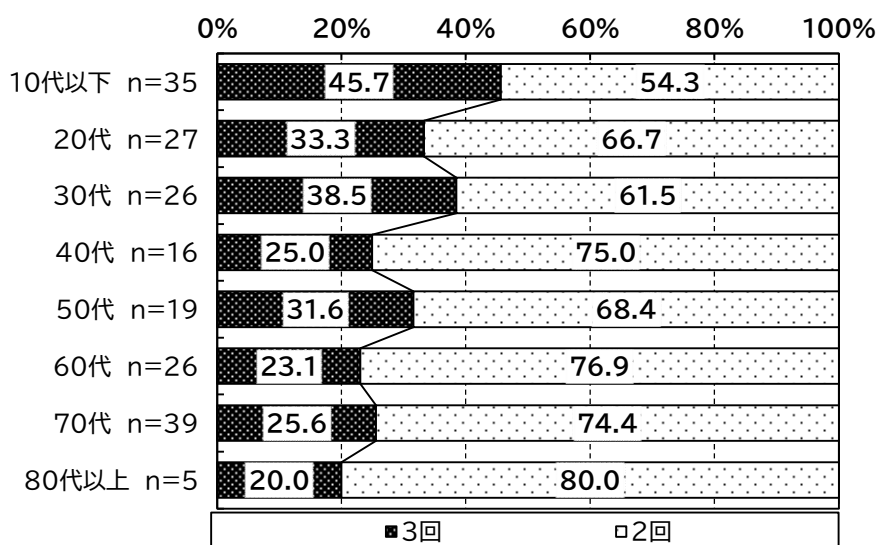
(4) 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋かについては、「3回」が32.1%、「2回」が67.9%であった。

図表 6-31 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か（性別）



図表 6-32 直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋か（年代別）



(5) 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分のお薬の処方だったか（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

1回目の処方は何日分かについては、1回目は平均で21.0日分、2回目は平均で20.1日分、3回目は平均で22.4日分であった。

図表 6-33 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 1回目
(性別)

(単位：日)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	166	21.0	21.1	14.0	1.0	7.0	30.0	99.0
男性	99	18.9	22.4	7.0	1.0	5.0	28.0	99.0
女性	67	24.0	18.6	28.0	1.0	7.0	30.0	84.0

図表 6-34 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 1回目
(年代別)

(単位：日)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	166	21.0	21.1	14.0	1.0	7.0	30.0	99.0
10代以下	27	11.7	12.8	7.0	1.0	5.5	14.0	60.0
20代	26	10.4	11.2	5.0	1.0	1.0	19.3	30.0
30代	23	10.2	8.4	7.0	3.0	5.0	14.0	30.0
40代	15	13.3	13.8	7.0	1.0	7.0	14.0	56.0
50代	19	23.9	16.5	28.0	1.0	7.0	30.0	60.0
60代	20	32.8	21.6	30.0	3.0	19.3	36.5	90.0
70代	33	37.7	27.0	30.0	1.0	28.0	56.0	99.0
80代以上	3	35.0	22.7	40.0	5.0	22.5	50.0	60.0

図表 6-35 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 2回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）

(単位：日)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	150	20.1	19.4	14.0	1.0	5.0	30.0	90.0
男性	91	18.3	20.1	7.0	1.0	4.5	30.0	90.0
女性	59	23.0	17.9	28.0	1.0	7.0	30.0	84.0

図表 6-36 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 2回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）

(単位：日)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	150	20.1	19.4	14.0	1.0	5.0	30.0	90.0
10代以下	25	12.3	12.8	7.0	1.0	7.0	14.0	60.0
20代	26	11.7	14.4	5.0	1.0	2.0	19.3	60.0
30代	23	12.0	10.1	7.0	2.0	4.5	14.0	31.0
40代	13	17.5	21.5	7.0	1.0	7.0	28.0	84.0
50代	16	24.9	17.1	29.0	1.0	7.0	30.0	60.0
60代	17	28.8	19.0	30.0	3.0	14.0	30.0	60.0
70代	27	33.9	22.8	30.0	1.0	28.0	32.5	90.0
80代以上	3	34.3	23.6	40.0	3.0	21.5	50.0	60.0

図表 6-37 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 3回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者・3回処方の場合のみ）
（性別）

（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	48	22.4	22.0	24.5	1.0	3.8	30.0	90.0
男性	31	22.9	25.9	7.0	1.0	3.5	30.0	90.0
女性	17	21.4	11.8	28.0	1.0	14.0	30.0	35.0

図表 6-38 直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分の処方だったか 3回目
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者・3回処方の場合のみ）
（年代別）

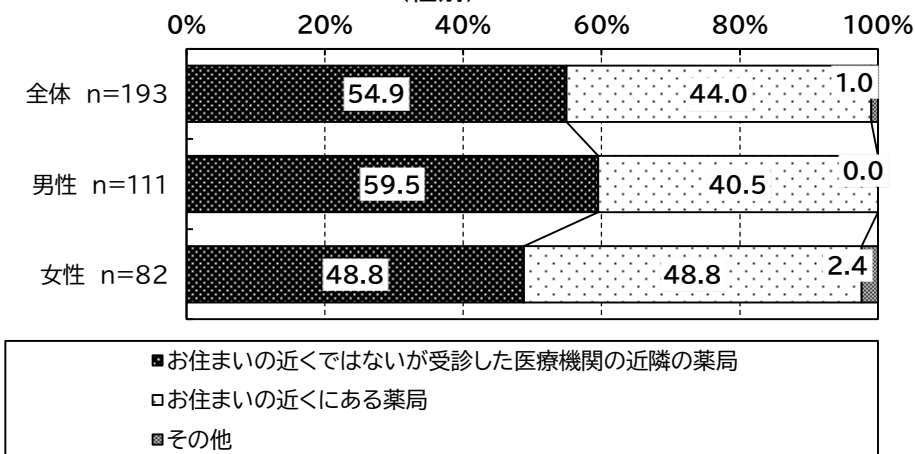
（単位：日）

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値	最小値	第1四分位数	第3四分位数	最大値
全体	48	22.4	22.0	24.5	1.0	3.8	30.0	90.0
10代以下	11	11.6	17.1	7.0	1.0	2.5	7.0	60.0
20代	9	13.0	13.0	3.0	1.0	1.0	28.0	30.0
30代	8	15.1	12.2	9.5	2.0	4.8	30.0	31.0
40代	3	12.0	11.6	7.0	1.0	4.0	17.5	28.0
50代	5	41.6	15.0	30.0	28.0	30.0	60.0	60.0
60代	6	31.0	14.3	30.0	7.0	28.5	33.8	56.0
70代	6	46.3	31.3	28.0	14.0	28.0	74.5	90.0
80代以上	0	-	-	-	-	-	-	-

(6) リフィル処方箋の1回目の調剤で、どこの薬局に行ったか（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

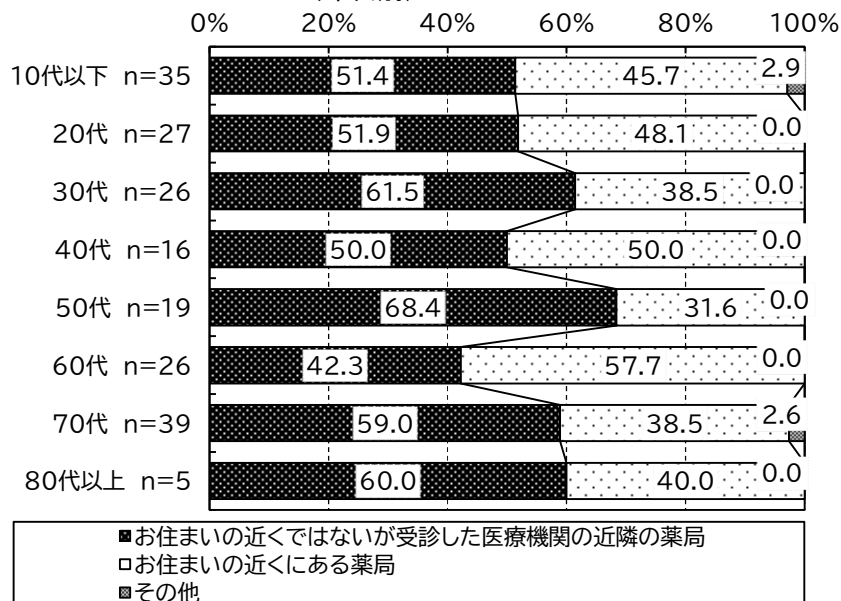
リフィル処方箋の1回目の処方箋でどこの薬局に行ったかについては、「お住まいの近くではないが受診した医療機関の近隣の薬局」が54.9%、「お住まいの近くにある薬局」が44.0%、「その他」が1.0%であった。

図表 6-39 リフィル処方箋の1回目の調剤で、どこの薬局に行ったか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）



【その他（自由記載）の具体的な内容】
・院内処方 など

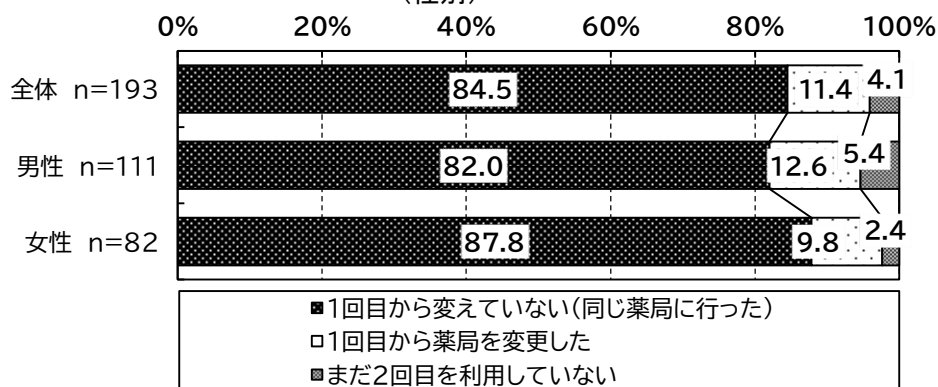
図表 6-40 リフィル処方箋の1回目の調剤で、どこの薬局に行ったか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）



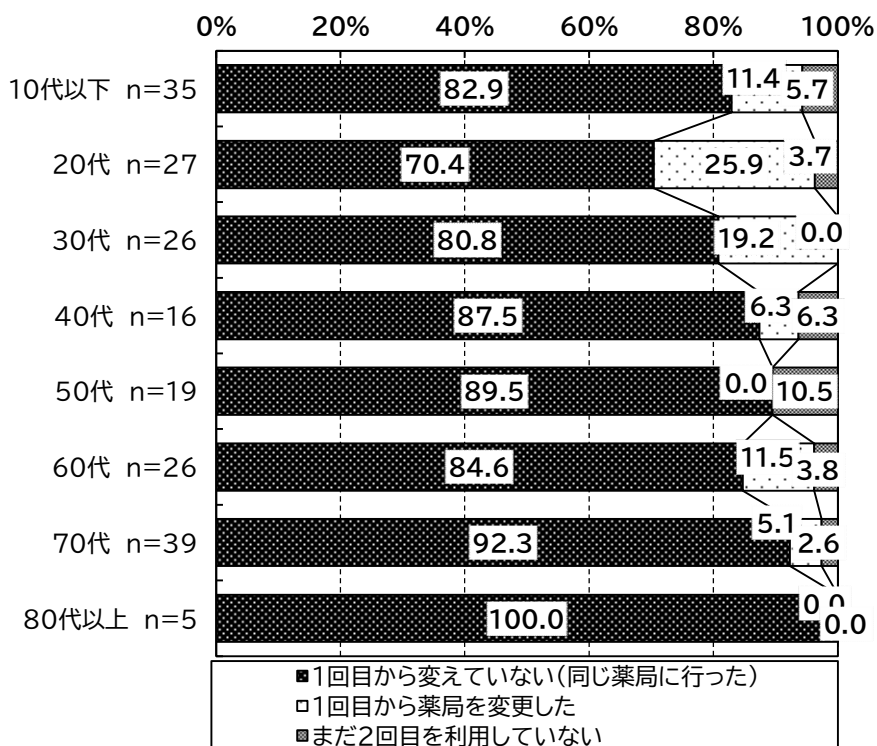
(7) リフィル処方箋の2回目以降の調剤で、薬局を変えたか（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）

リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたかについては、「1回目から変えていない（同じ薬局に行った）」が84.5%、「1回目から薬局を変更した」が11.4%、「まだ2回目を利用していない」が4.1%であった。

図表 6-41 リフィル処方箋の2回目以降の調剤で、薬局を変えたか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（性別）



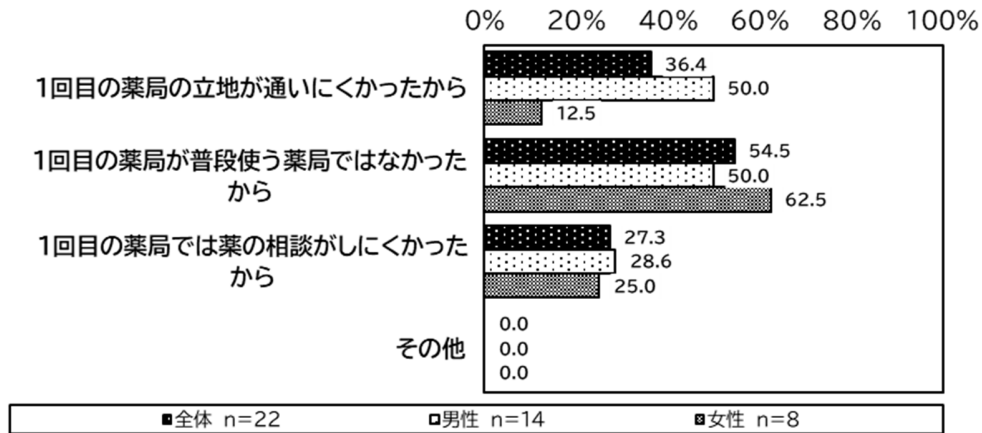
図表 6-42 リフィル処方箋の2回目以降の調剤で、薬局を変えたか
（リフィル処方箋を交付されたことがある患者のみ）
（年代別）



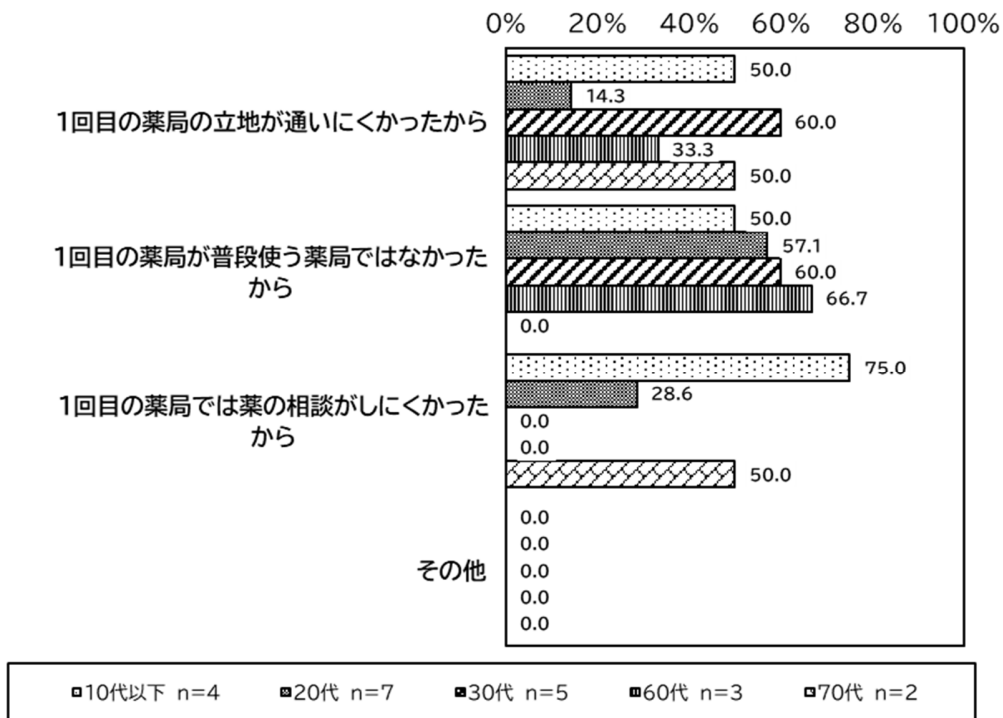
① 薬局を変更した理由（1回目から薬局を変更した患者のみ）

薬局を変更した理由については、「1回目の薬局が普段使う薬局ではなかったから」が最も多く54.5%、次いで「1回目の薬局の立地が通いにくかったから」が多く36.4%であった。

図表 6-43 薬局を変更した理由（複数回答）
（1回目から薬局を変更した患者のみ）
（性別）



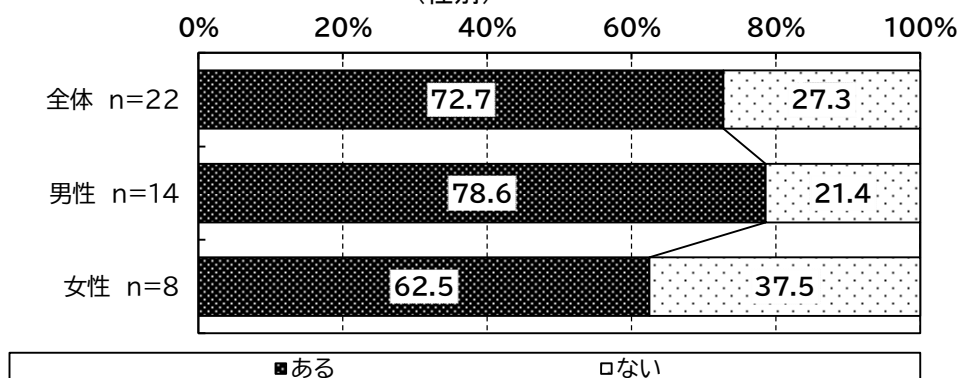
図表 6-44 薬局を変更した理由（複数回答）
（1回目から薬局を変更した患者のみ）
（年代別）



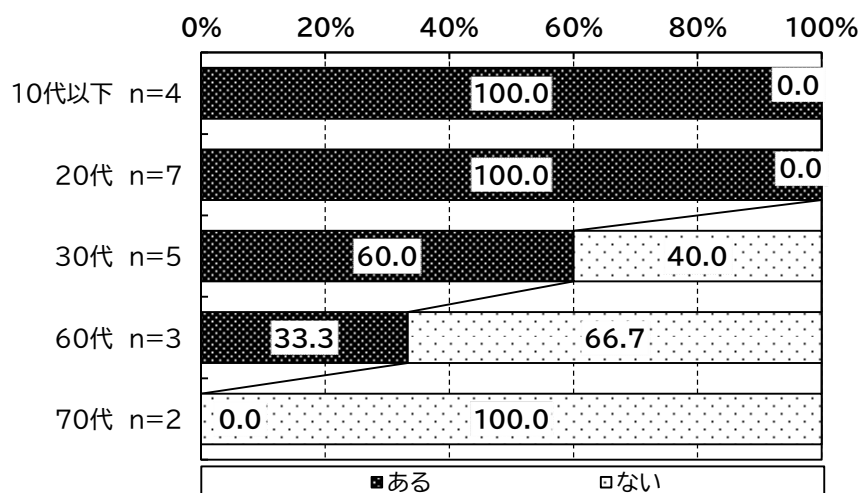
② 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更した患者のみ）

2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験については、「ある」が72.7%、「ない」が27.3%であった。

図表 6-45 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更した患者のみ）
（性別）



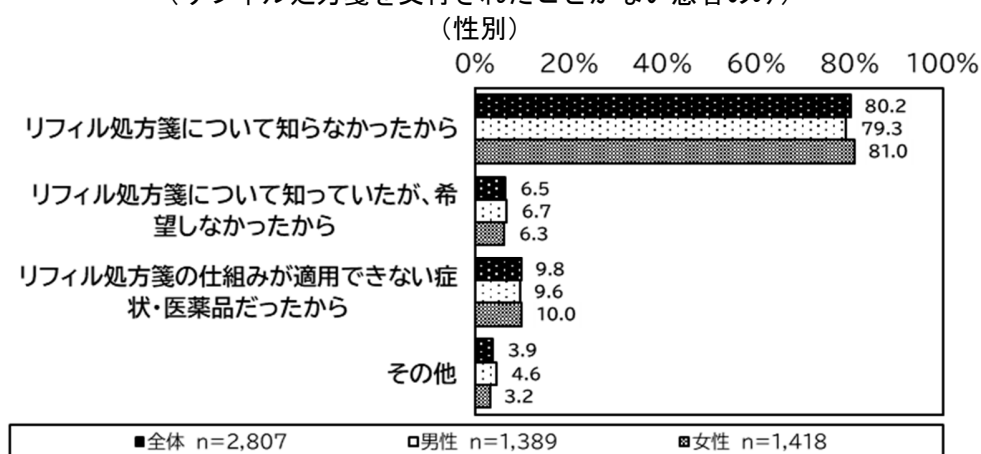
図表 6-46 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更した患者のみ）
（年代別）



(8) リフィル処方箋が交付されていない理由（リフィル処方箋を交付されたことがない患者のみ）

リフィル処方箋が交付されていない理由については、「リフィル処方箋について知らなかったから」が最も多く80.2%、次いで「リフィル処方箋の仕組みが適用できない症状・医薬品だったから」が多く9.8%であった。

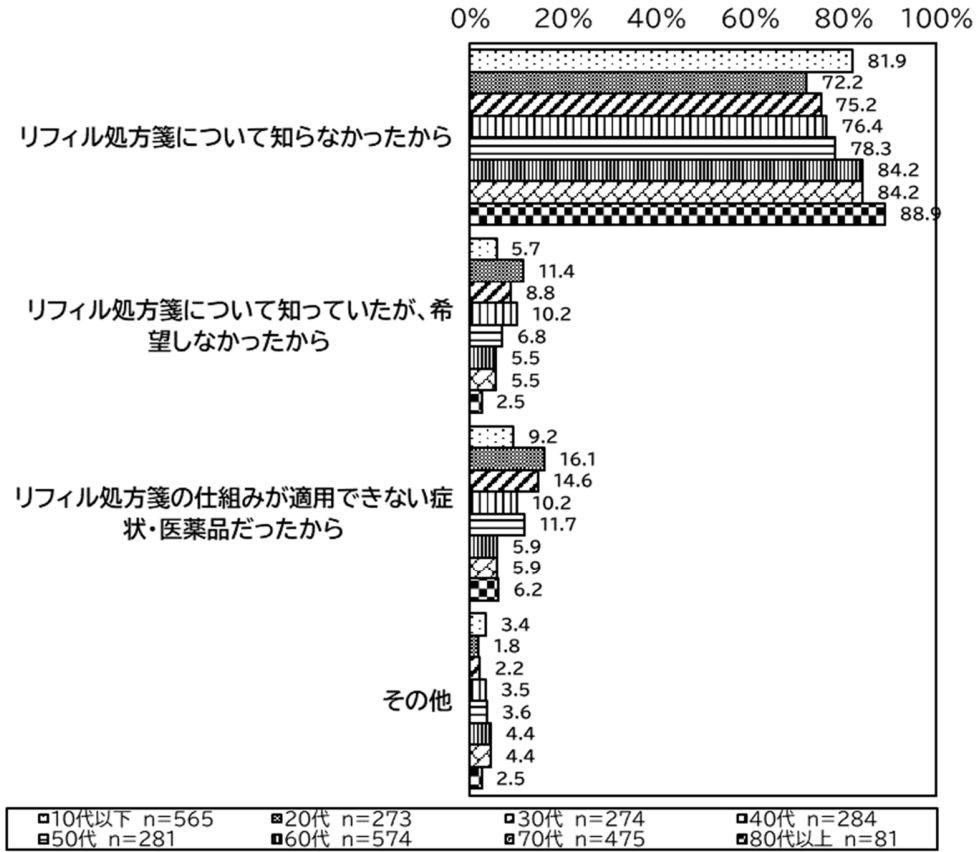
図表 6-47 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
（リフィル処方箋を交付されたことがない患者のみ）



【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・定期的な受診、服薬ではないから
- ・当医院ではやっていない、対応していないと断られた
- ・交付されているかどうかわからない
- ・理由はわからない など

図表 6-48 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
（年代別）



5) これからのリフィル処方箋の利用意向

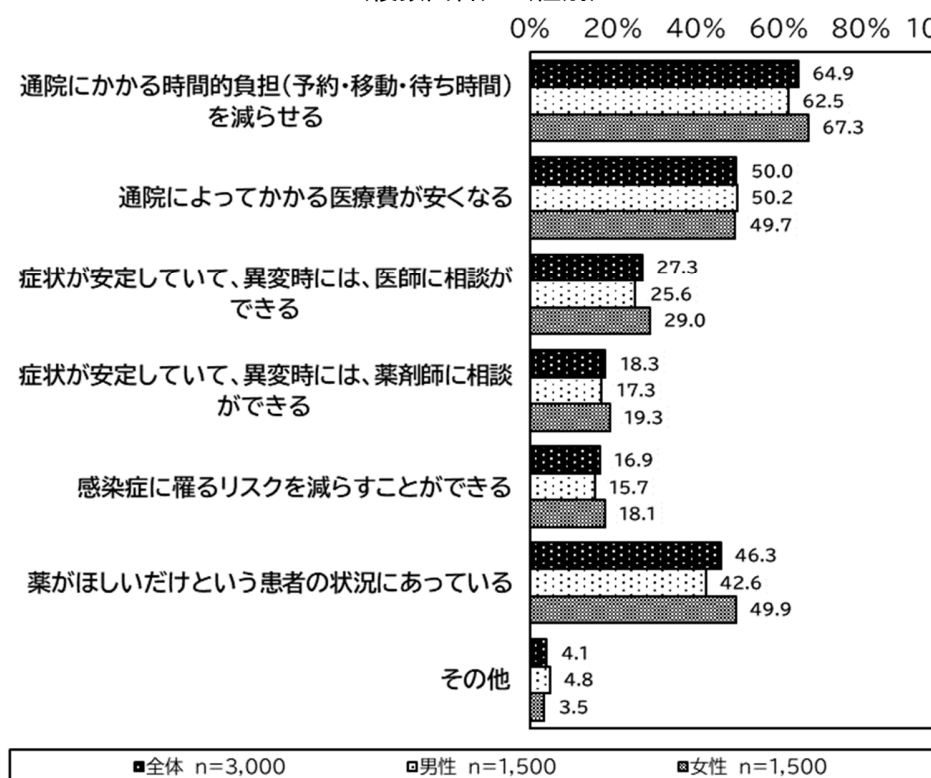
(1) リフィル処方箋のメリット・デメリットと、それらを踏まえた今後の利用意向

① リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの

リフィル処方箋を使用するメリットについては、複数回答では「通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる」が最も多く64.9%、次いで「通院によってかかる医療費が安くなる」が多く50.0%であった。

最もメリットに感じるものを一つ回答では、「通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる」が最も多く40.9%、次いで「薬がほしだけという患者の状況にあっている」が多く23.1%であった。

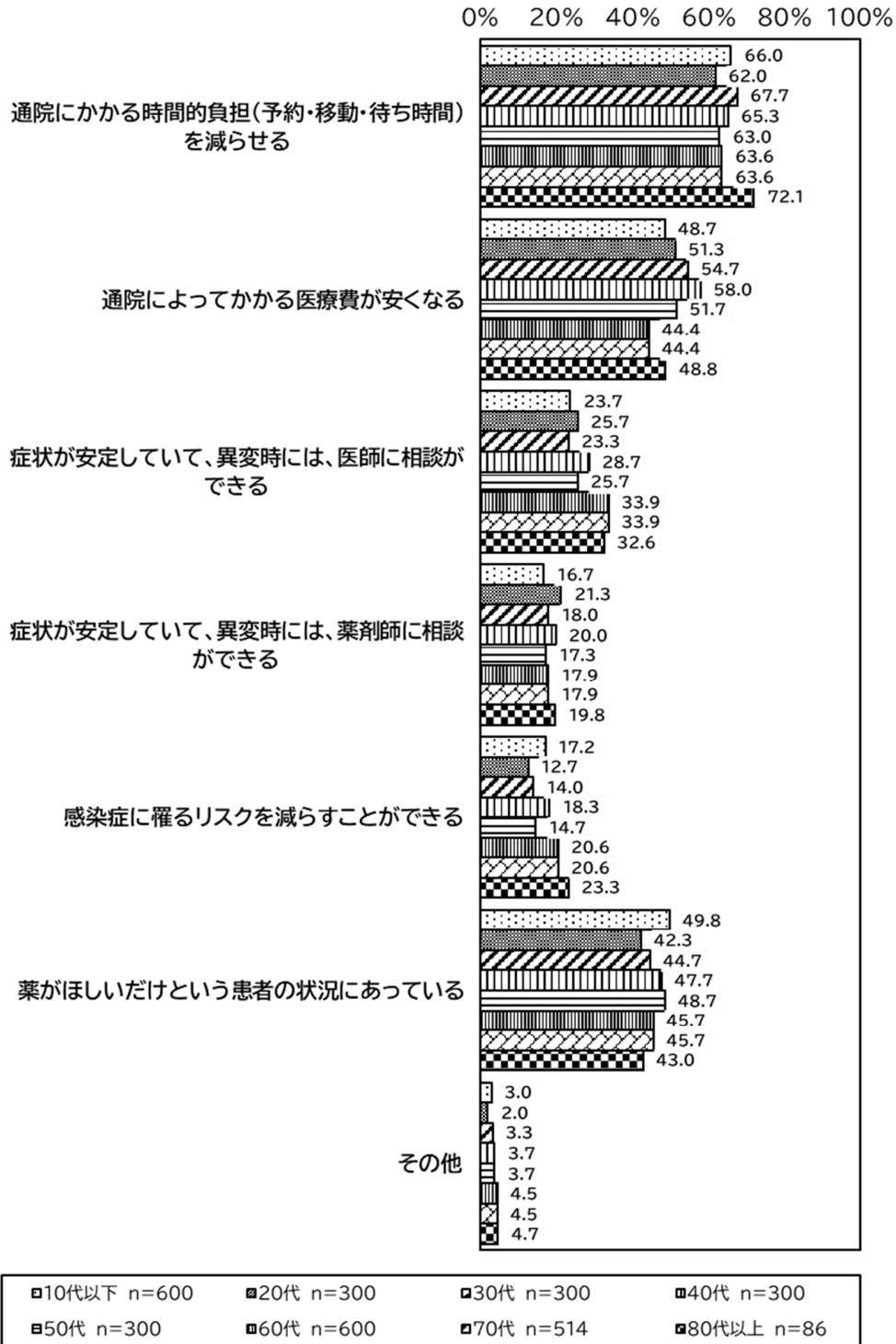
図表 6-49 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの（複数回答）（性別）



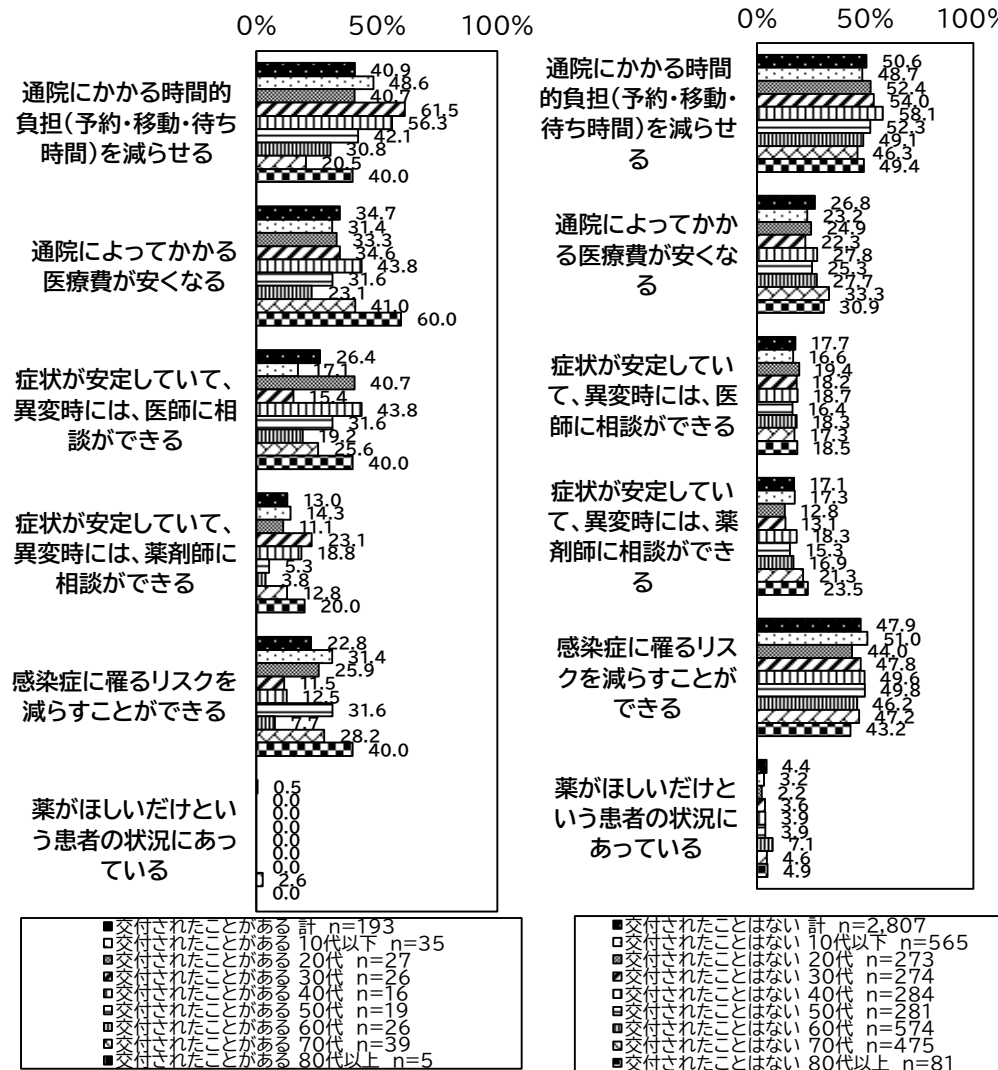
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・メリットはわからない
- ・リフィル処方箋の制度について知らない
- ・特にメリットとを感じるものはない など

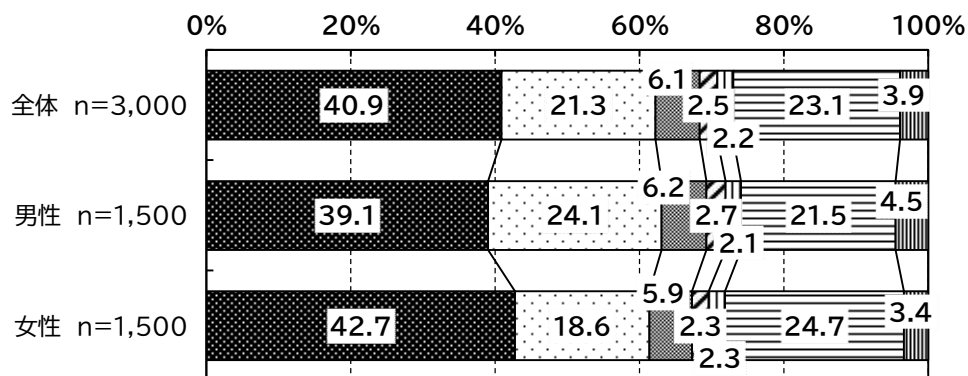
図表 6-50 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの（複数回答）（年代別）



図表 6-51 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの（複数回答）（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）

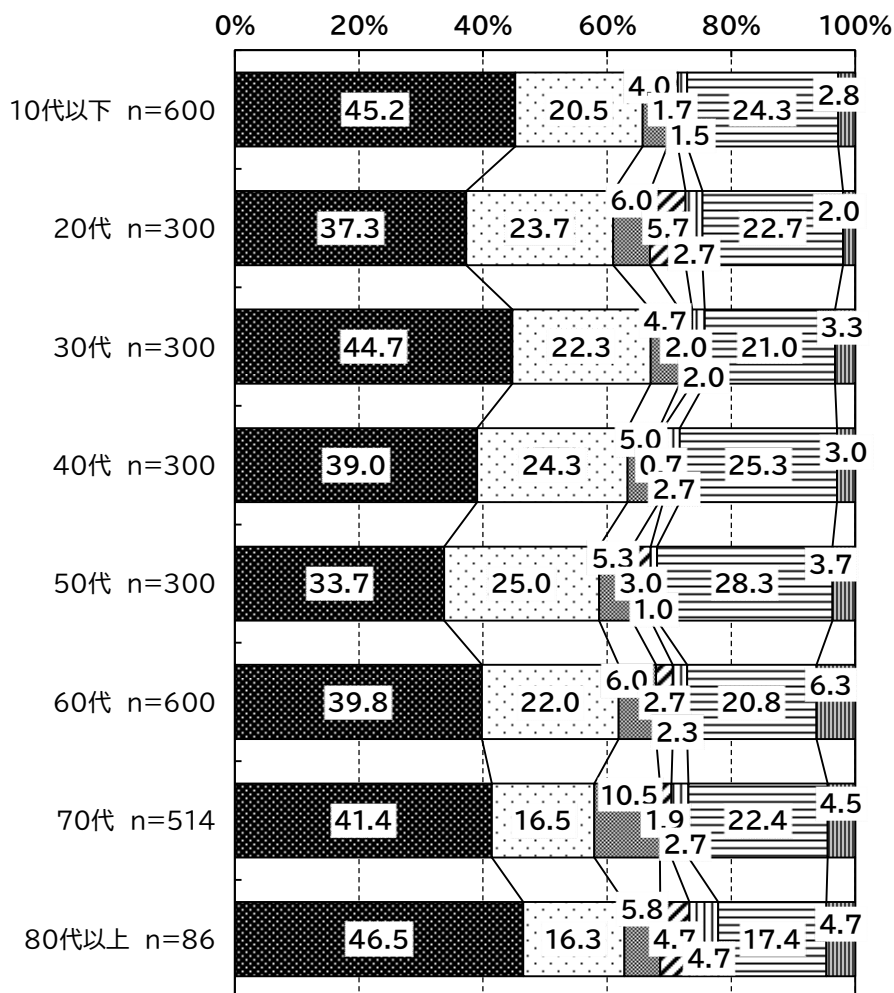


図表 6-52 リフィル処方箋を使用することについて、最もメリットになると感じるもの
（性別）



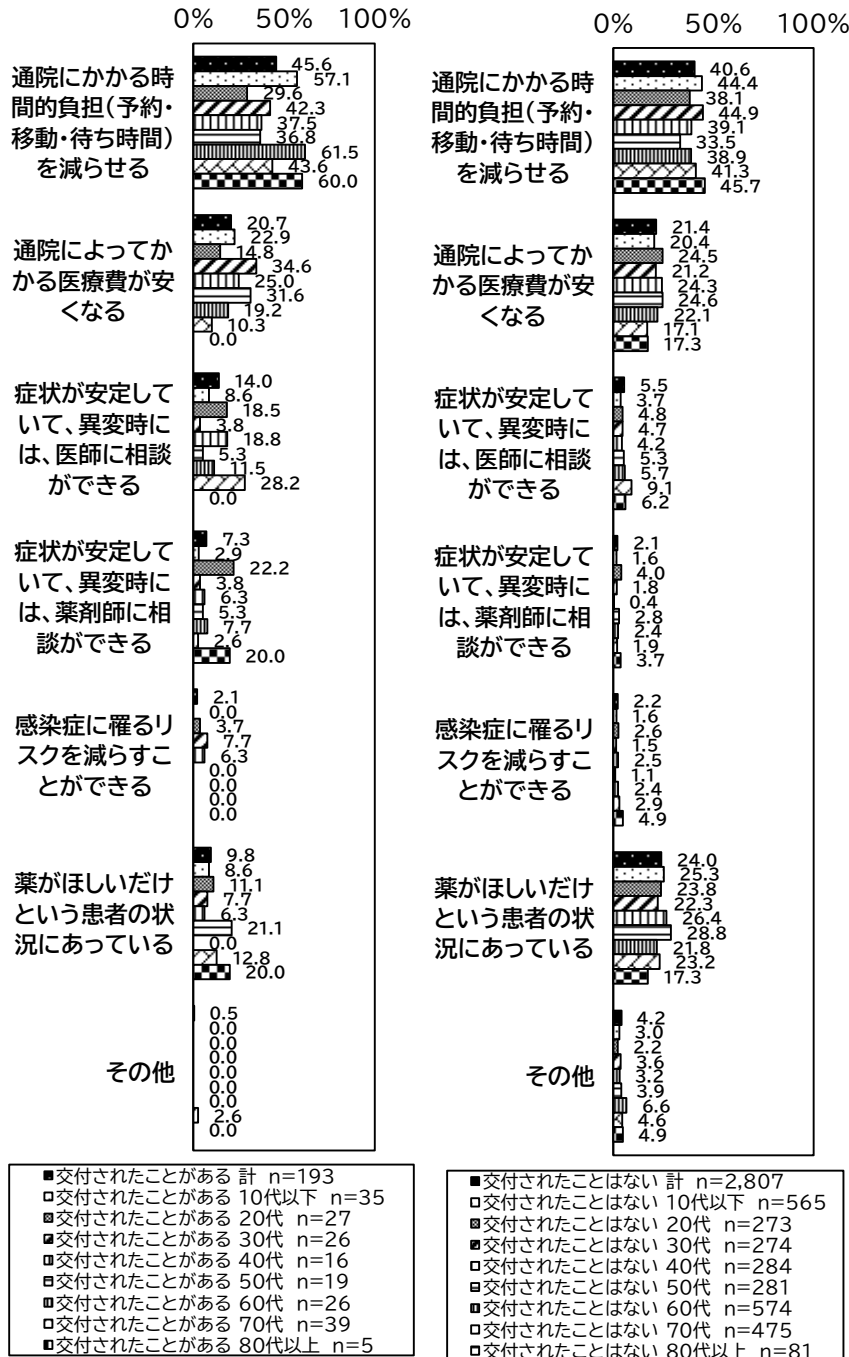
- 通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる
- 通院によってかかる医療費が安くなる
- 症状が安定していて、異変時には、医師に相談ができる
- 症状が安定していて、異変時には、薬剤師に相談ができる
- 感染症に罹るリスクを減らすことができる
- 薬がほしいだけという患者の状況にあっている
- その他

図表 6-53 リフィル処方箋を使用することについて、最もメリットになると感じるもの（年代別）



- 通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる
- 通院によってかかる医療費が安くなる
- 症状が安定していて、異変時には、医師に相談ができる
- 症状が安定していて、異変時には、薬剤師に相談ができる
- 感染症に罹るリスクを減らすことができる
- 薬がほしいだけという患者の状況にしている
- その他

図表 6-54 リフィル処方箋を使用することについて、最もメリットになると感じるもの（年代別）（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）

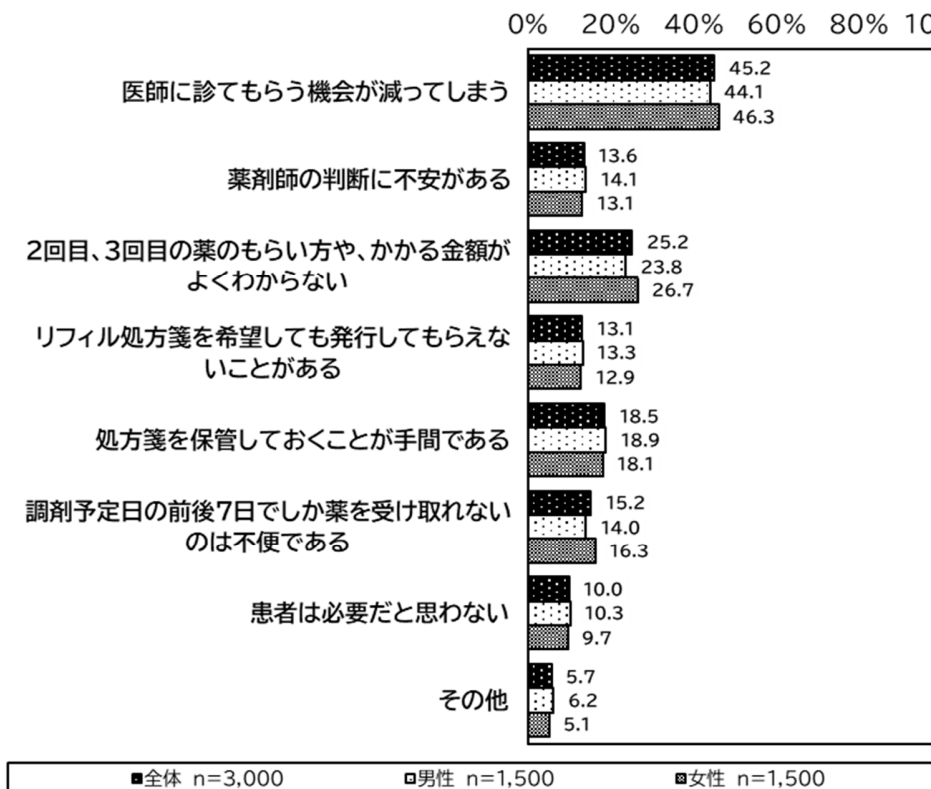


② リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの

リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるものについては、複数回答では「医師に診てもらえる機会が減ってしまう」が最も多く45.2%、次いで「2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない」が多く25.2%であった。

最もデメリットと感じるものを一つ選択では、「医師に診てもらえる機会が減ってしまう」が最も多く39.1%、次いで「2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない」が多く14.9%であった。

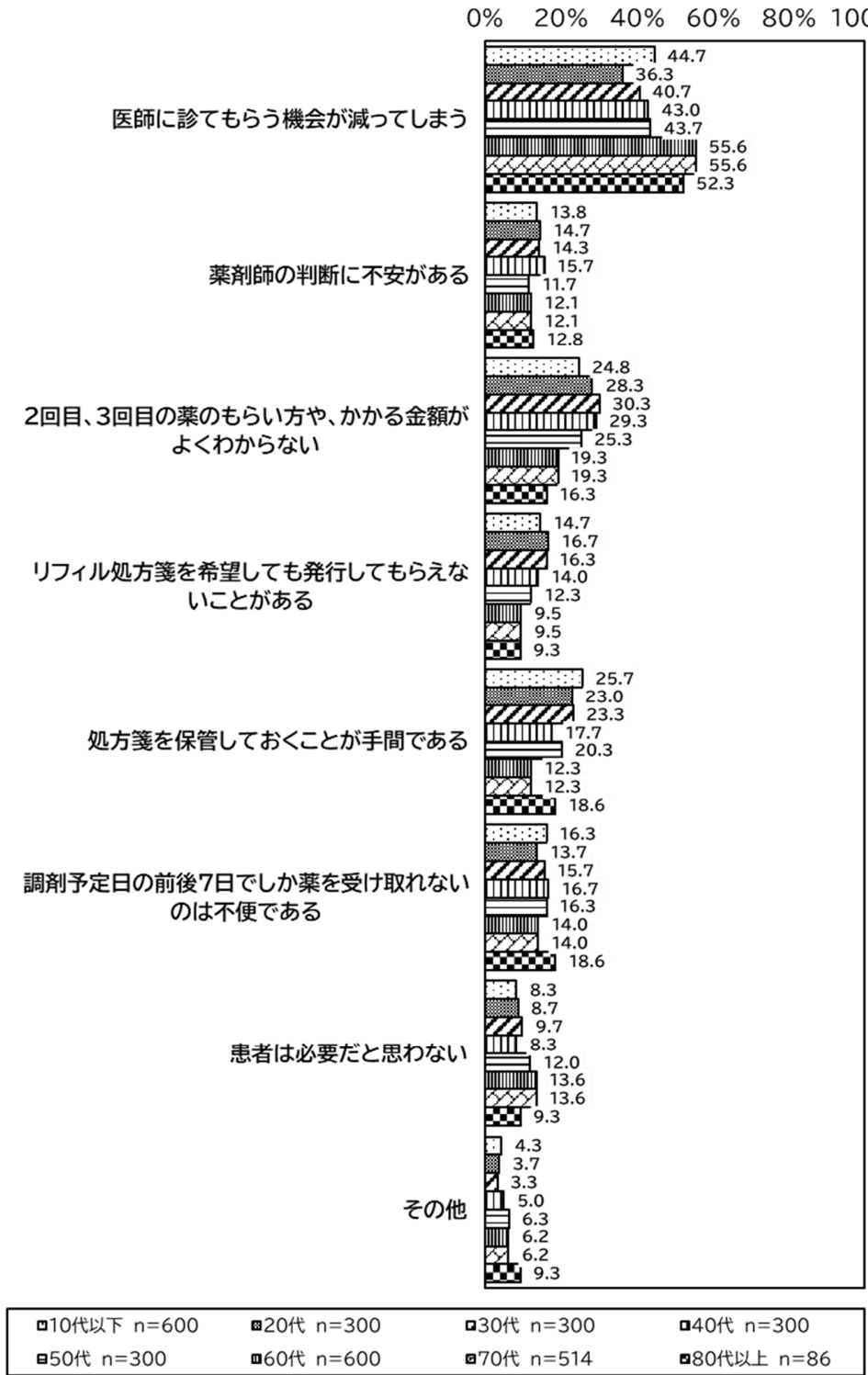
図表 6-55 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの（複数回答）（性別）



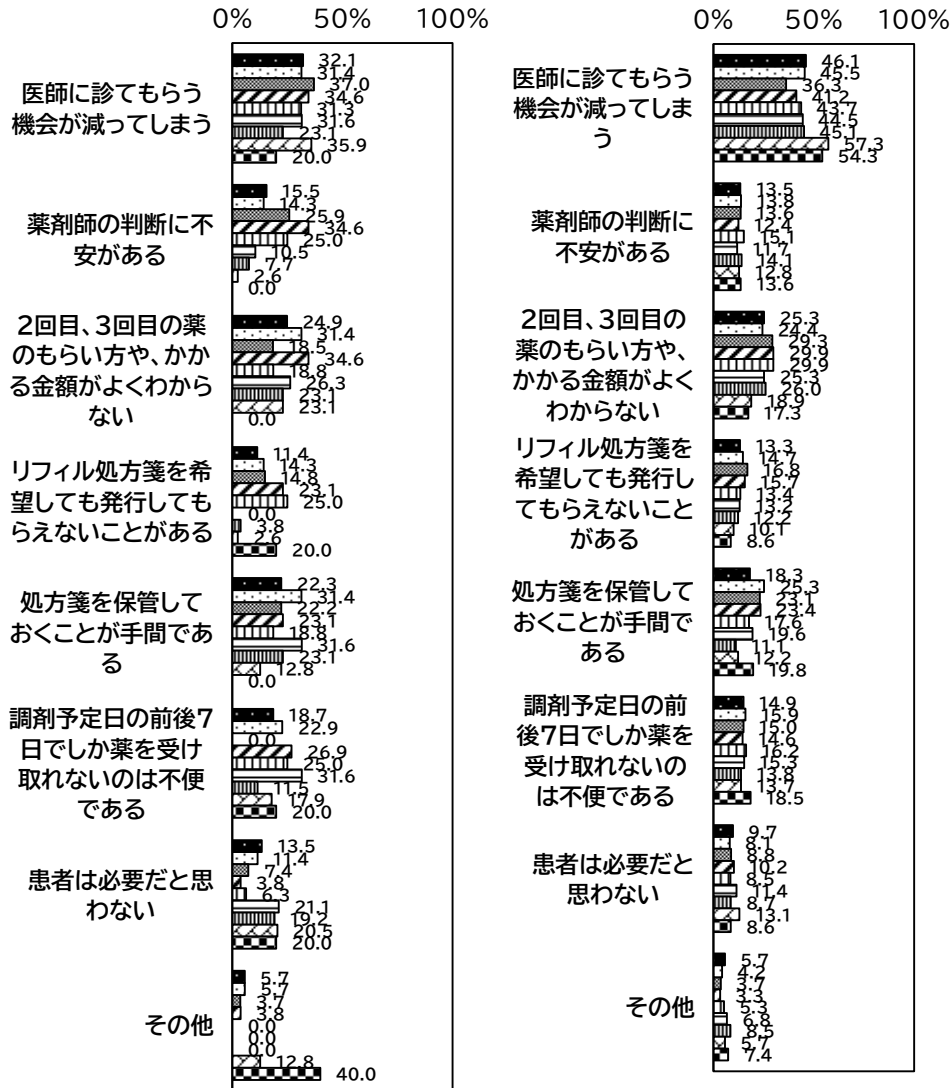
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・デメリットはとくに感じない
- ・デメリットはわからない
- ・医師にリフィル処方箋を依頼しにくい
- ・リフィル処方箋の制度がよくわからない など

図表 6-56 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの（複数回答）（年代別）



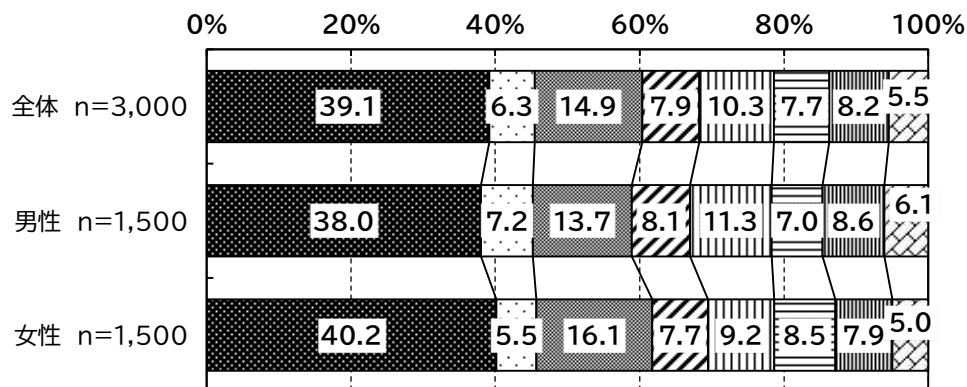
図表 6-57 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの（複数回答）（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）



交付されたことがある 計 n=193
 交付されたことがある 10代以下 n=35
 交付されたことがある 20代 n=27
 交付されたことがある 30代 n=26
 交付されたことがある 40代 n=16
 交付されたことがある 50代 n=19
 交付されたことがある 60代 n=26
 交付されたことがある 70代 n=39
 交付されたことがある 80代以上 n=5

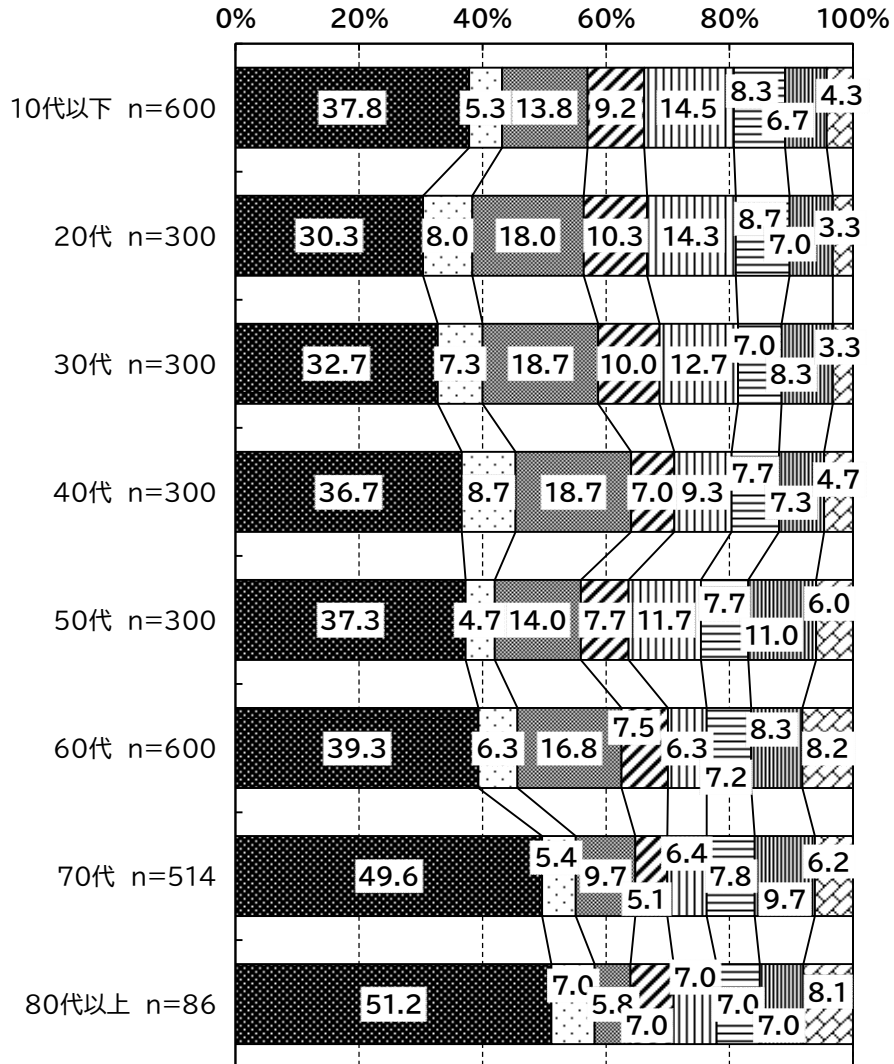
交付されたことはない 計 n=2,807
 交付されたことはない 10代以下 n=565
 交付されたことはない 20代 n=273
 交付されたことはない 30代 n=274
 交付されたことはない 40代 n=284
 交付されたことはない 50代 n=281
 交付されたことはない 60代 n=574
 交付されたことはない 70代 n=475
 交付されたことはない 80代以上 n=81

図表 6-58 リフィル処方箋を使用することについて、最もデメリットになると感じるもの（性別）



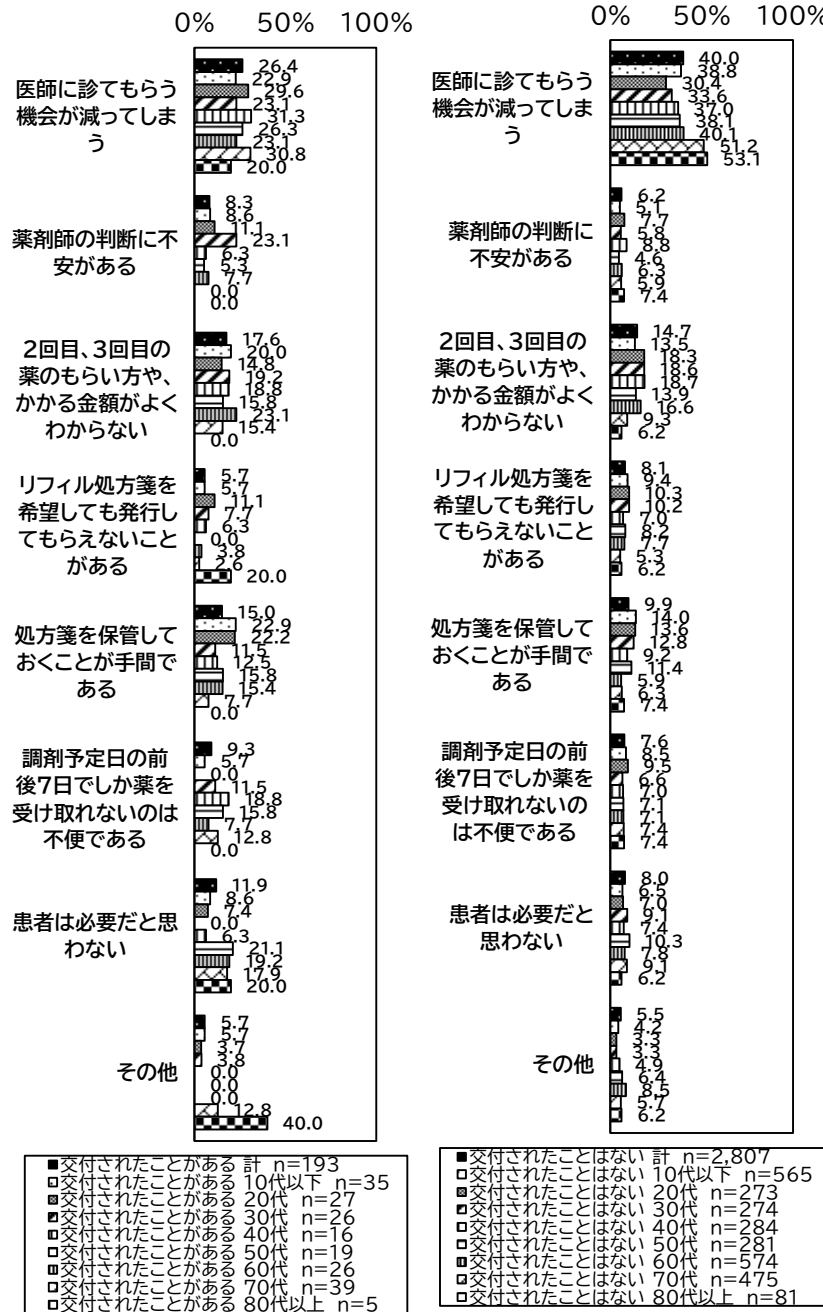
- 医師に診てもらえる機会が減ってしまう
- 薬剤師の判断に不安がある
- 2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない
- リフィル処方箋を希望しても発行してもらえないことがある
- 処方箋を保管しておくことが手間である
- 調剤予定日の前後7日でしか薬を受け取れないのは不便である
- 患者は必要だと思わない
- その他

図表 6-59 リフィル処方箋を使用することについて、最もデメリットになると感じるもの（年代別）



- 医師に診てもらえる機会が減ってしまう
- 薬剤師の判断に不安がある
- 2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない
- リフィル処方箋を希望しても発行してもらえないことがある
- 処方箋を保管しておくことが手間である
- 調剤予定日の前後7日でしか薬を受け取れないのは不便である
- 患者は必要だと思わない
- その他

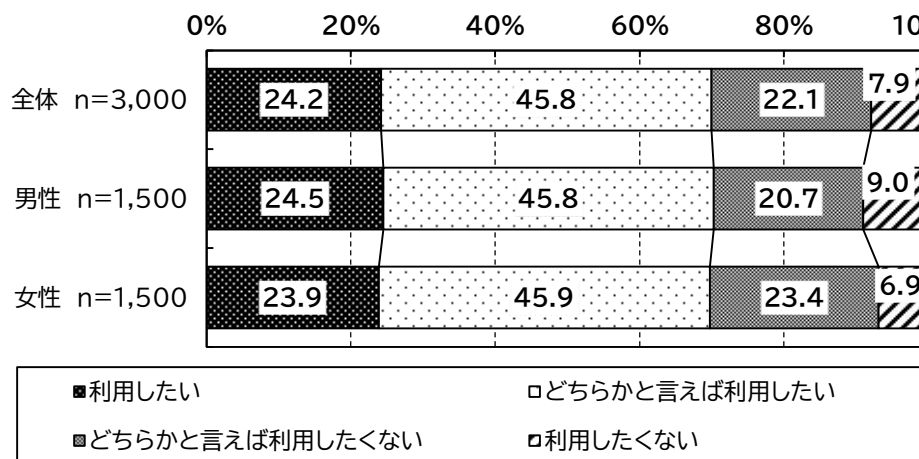
図表 6-60 リフィル処方箋を使用することについて、最もデメリットになると感じるもの（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）



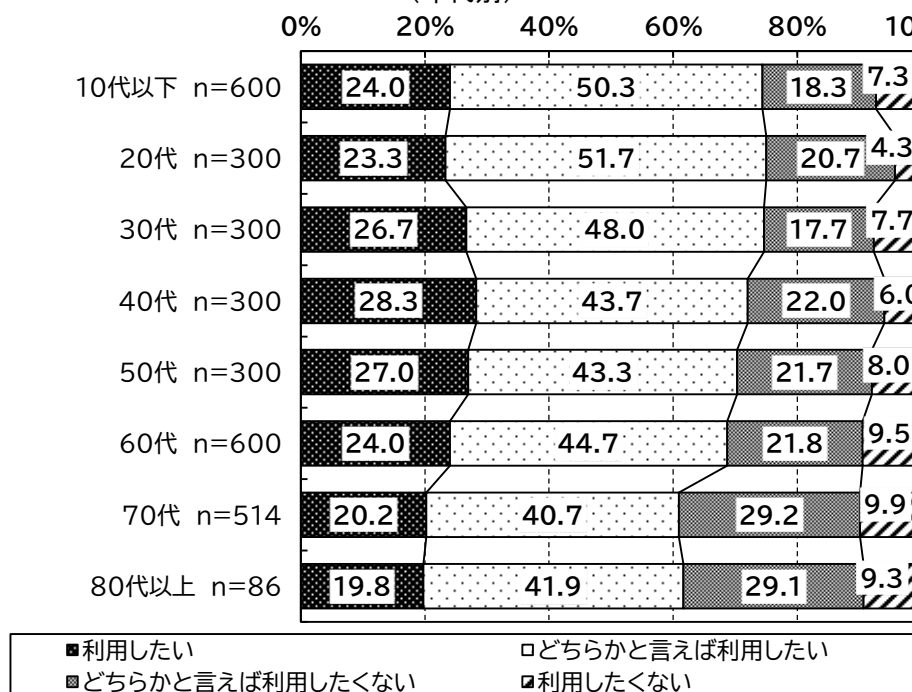
③ 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか

今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいかについては、「利用したい」が24.2%、「どちらかと言えば利用したい」が45.8%、「どちらかと言えば利用したくない」が22.1%、「利用したくない」が7.9%であった。

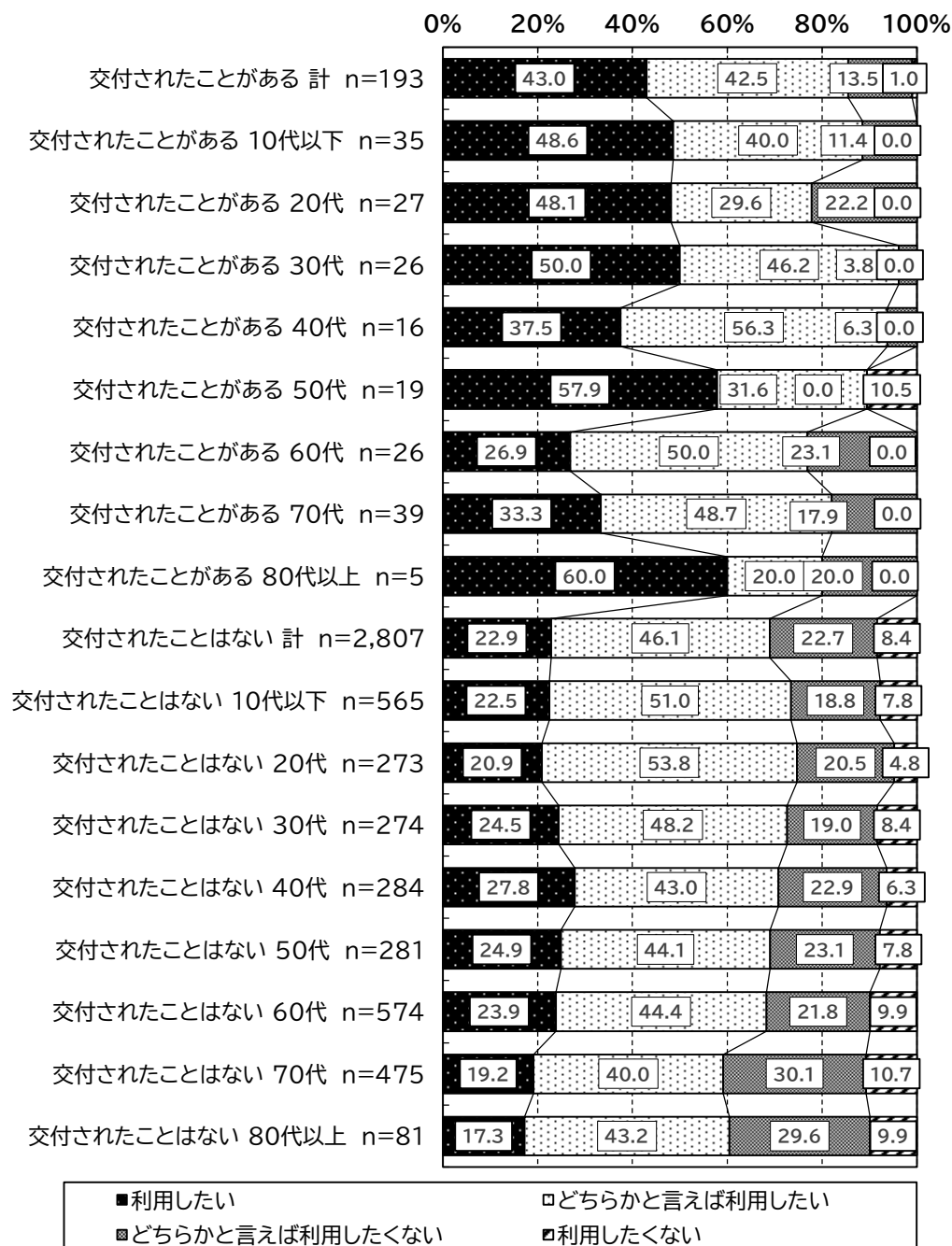
図表 6-61 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか
(性別)



図表 6-62 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか
(年代別)



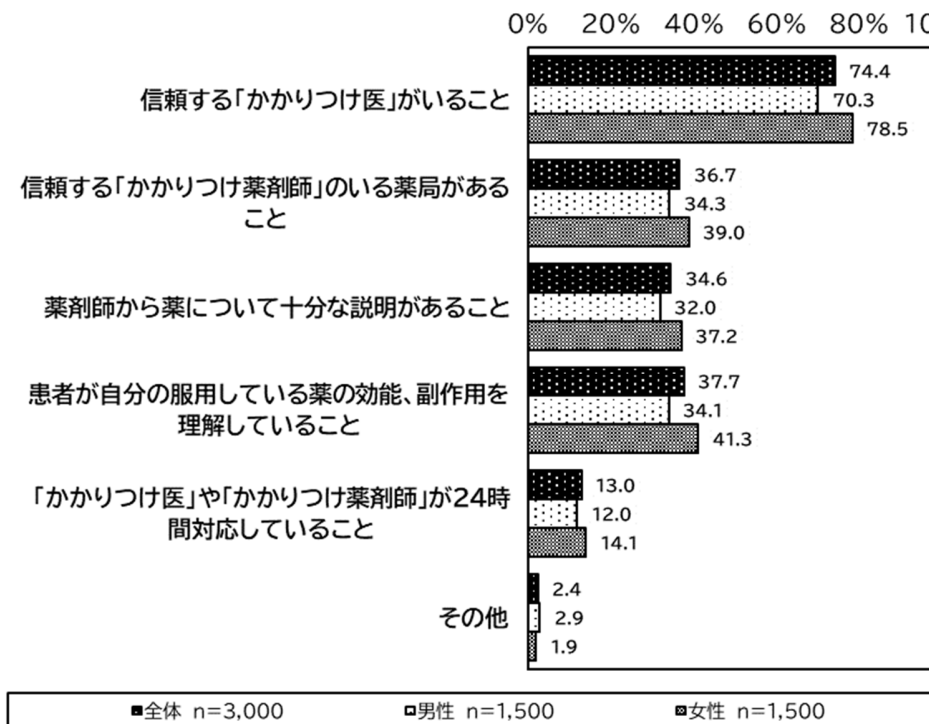
図表 6-63 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか
（リフィル処方箋を交付された経験別・年代別）



(2) リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じること

リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることについては、「信頼する「かかりつけ医」がいること」が最も多く74.4%、次いで「患者が自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること」が多く37.7%であった。

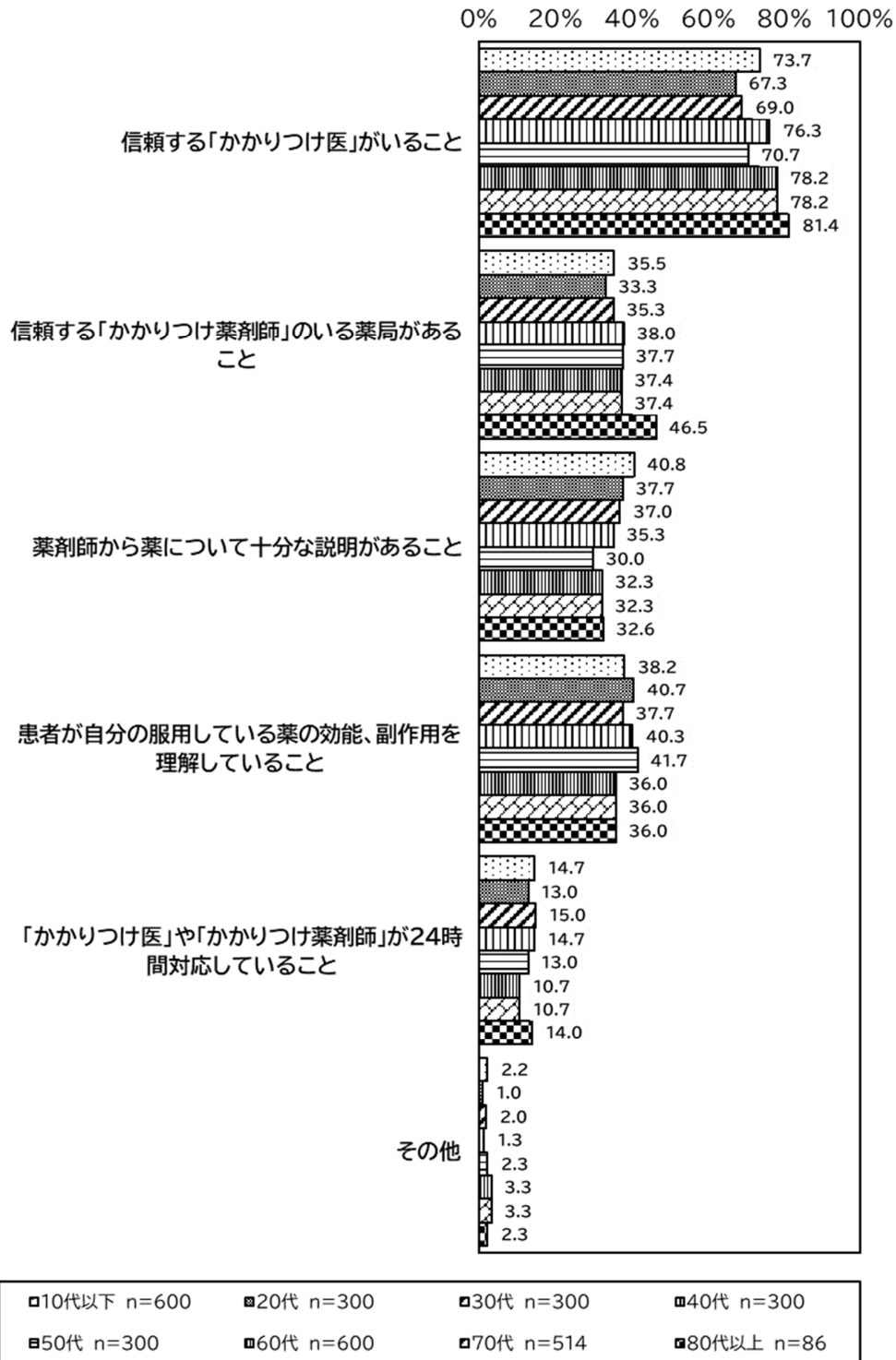
図表 6-64 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（性別）



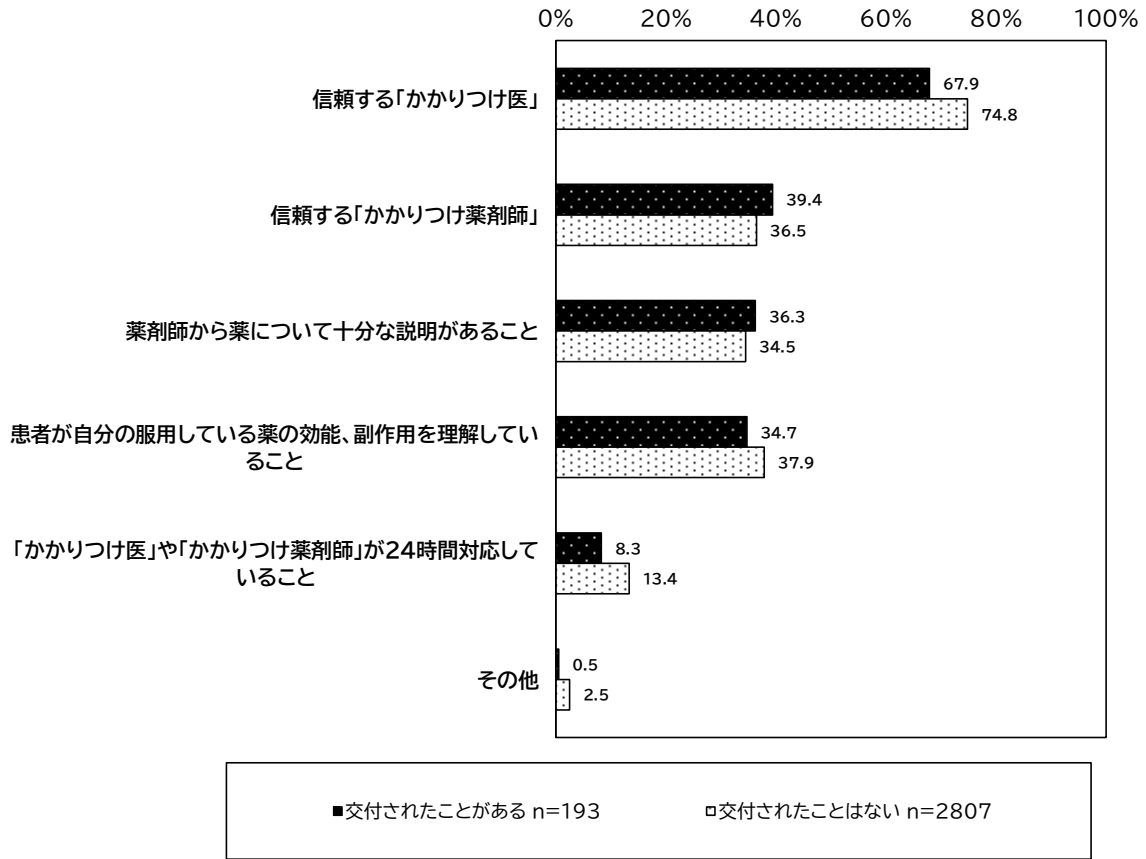
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・必要なことはわからない
- ・医師がリフィル処方箋に積極的になること
- ・患者本人が制度について理解する
- ・患者本人が処方箋を紛失しない
- ・制度について周知される
- ・そもそも必要性を感じない
- ・利用しない など

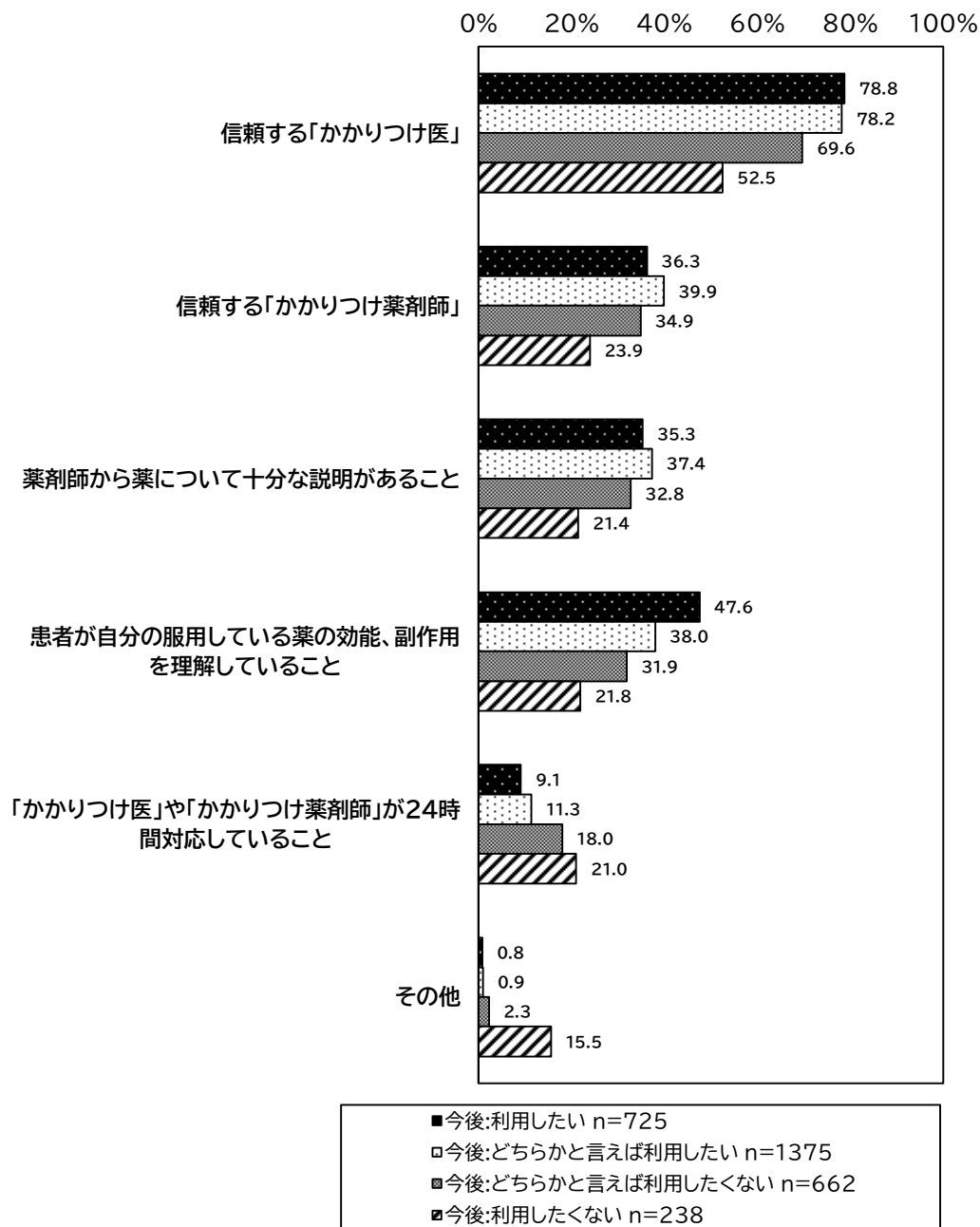
図表 6-65 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（年代別）



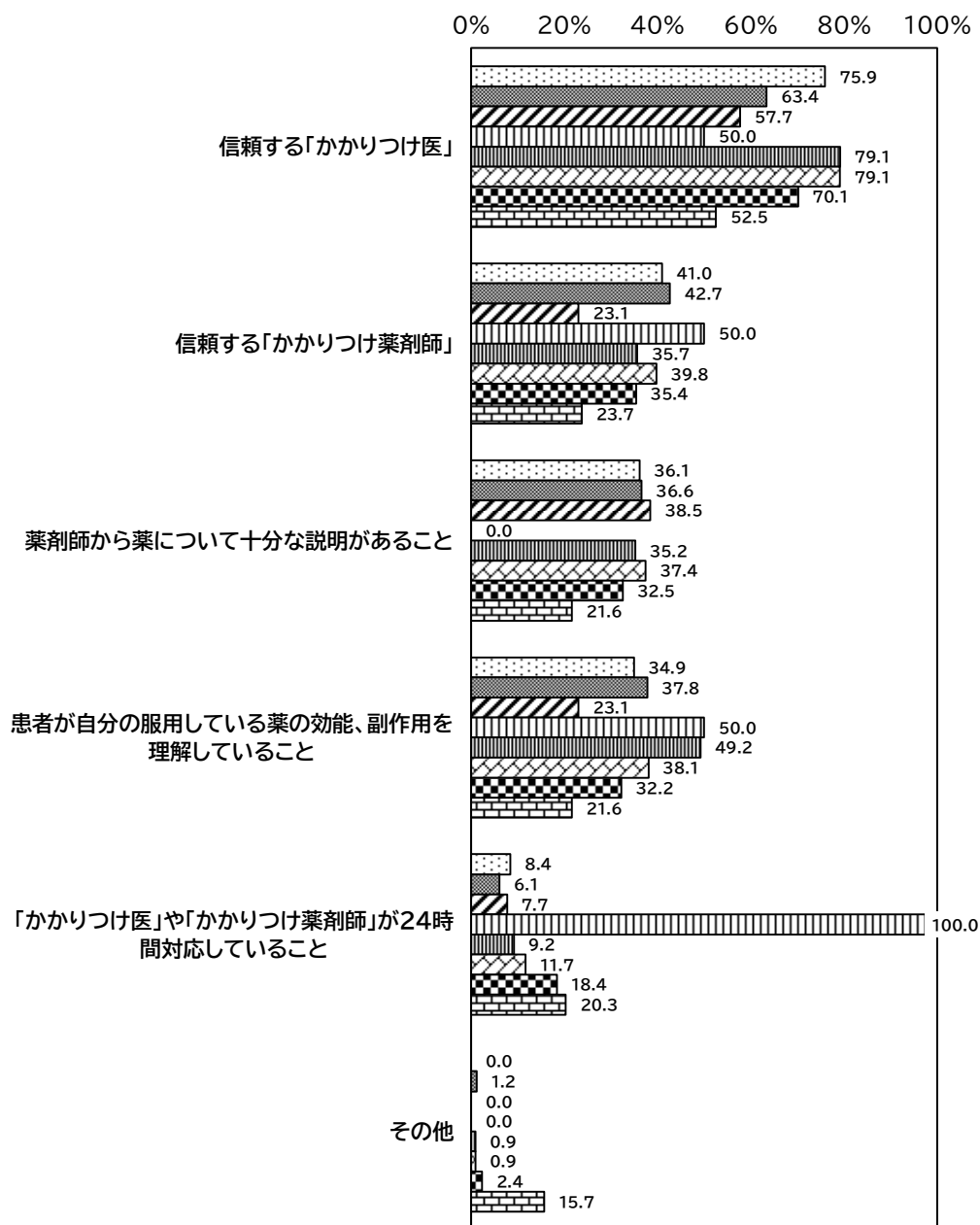
図表 6-66 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（リフィル処方箋を交付された経験別）



図表 6-67 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
（今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか別）



図表 6-68 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か（複数回答）
 （リフィル処方箋を交付された経験・今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか別）



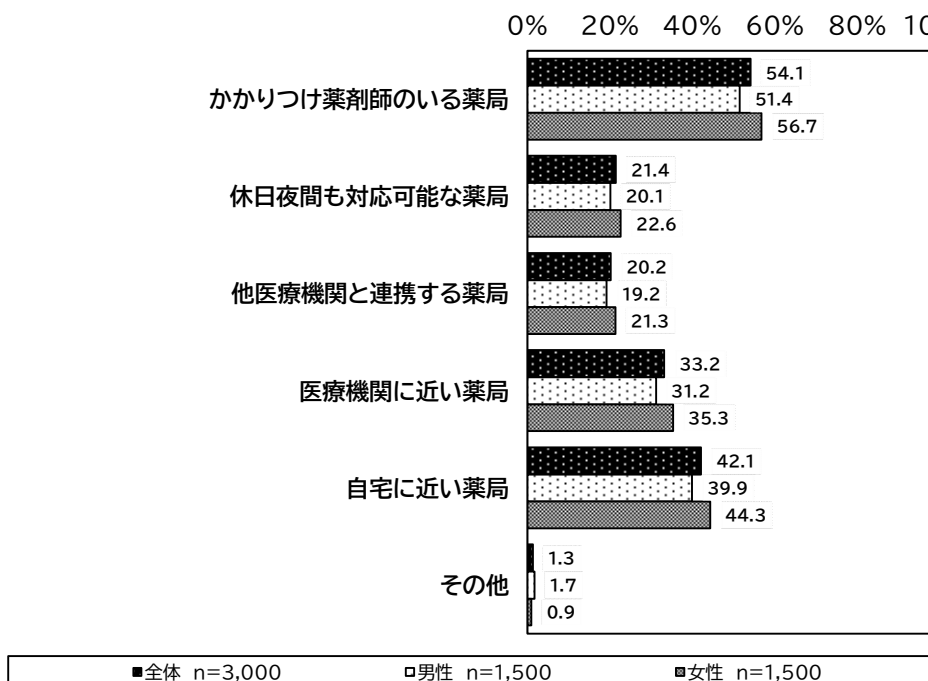
交付されたことがある 今後:利用したい n=83
 交付されたことがある 今後:どちらかと言えば利用したい n=82
 交付されたことがある 今後:どちらかと言えば利用したくない n=26
 交付されたことがある 今後:利用したくない n=2
 交付されたことはない 今後:利用したい n=642
 交付されたことはない 今後:どちらかと言えば利用したい n=1293
 交付されたことはない 今後:どちらかと言えば利用したくない n=636
 交付されたことはない 今後:利用したくない n=236

(3) リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか

リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいかについては、1回目処方（複数回答）では、「かかりつけ薬剤師がいる薬局」が最も多く54.1%、1回目処方（最重要視するもの1つ選択）でも、「かかりつけ薬剤師がいる薬局」が最も多く40.2%であった。

一方で2回目以降処方（複数回答）では、「自宅に近い薬局」が最も多く46.1%、2回目以降処方（最重要視するもの1つ選択）でも、「自宅に近い薬局」が最も多く35.7%であった。

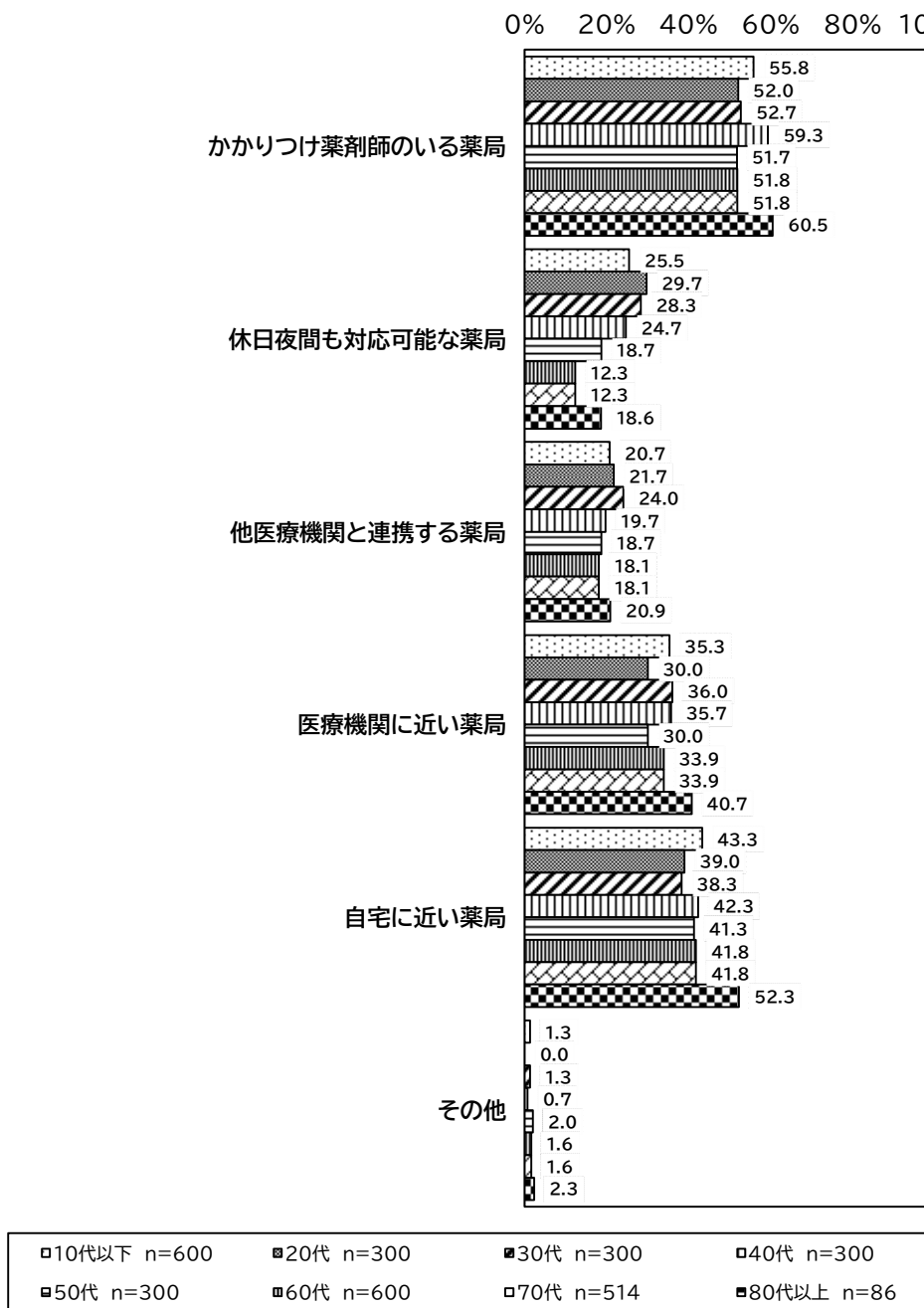
図表 6-69 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（性別）



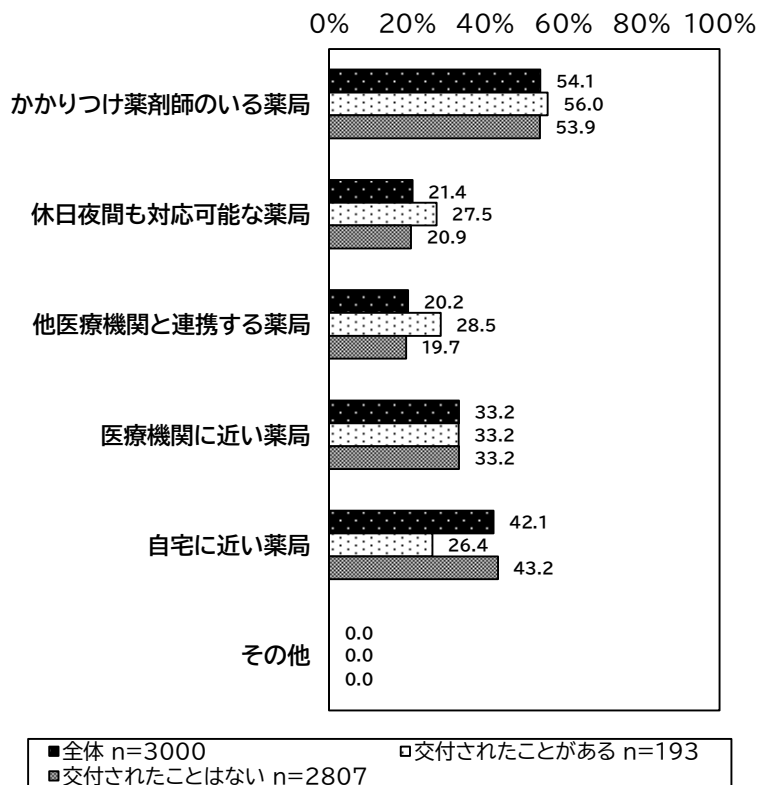
【その他（自由記載）の具体的な内容】

- ・どこでも受け付けてもらえるようにしてほしい
- ・ネットで調剤の予約ができ、待ち時間が短い薬局
- ・職場に近い薬局 など

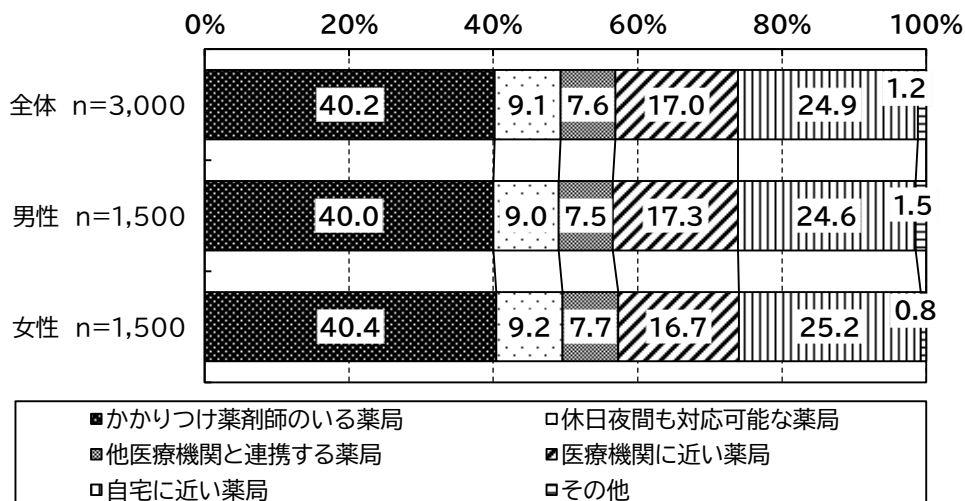
図表 6-70 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（年代別）



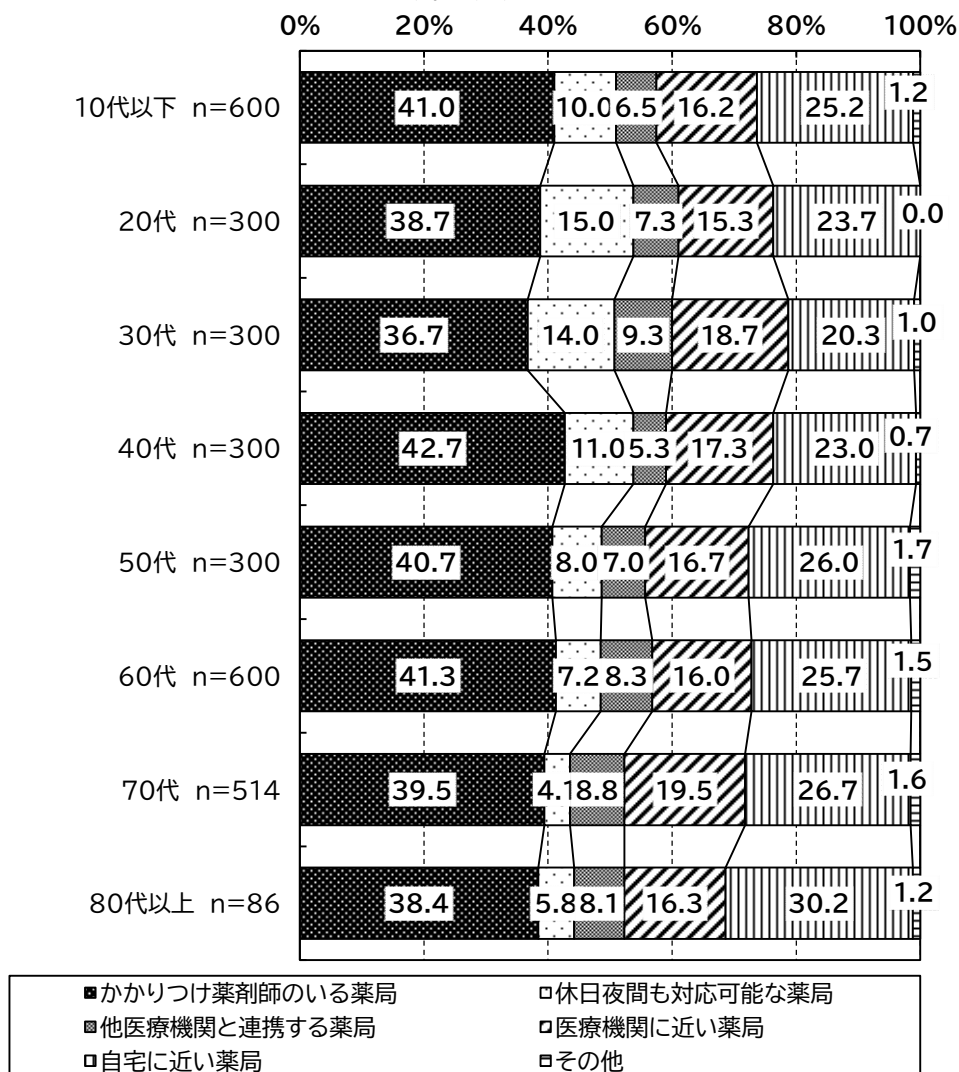
図表 6-71 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（リフィル処方箋を交付された経験別）



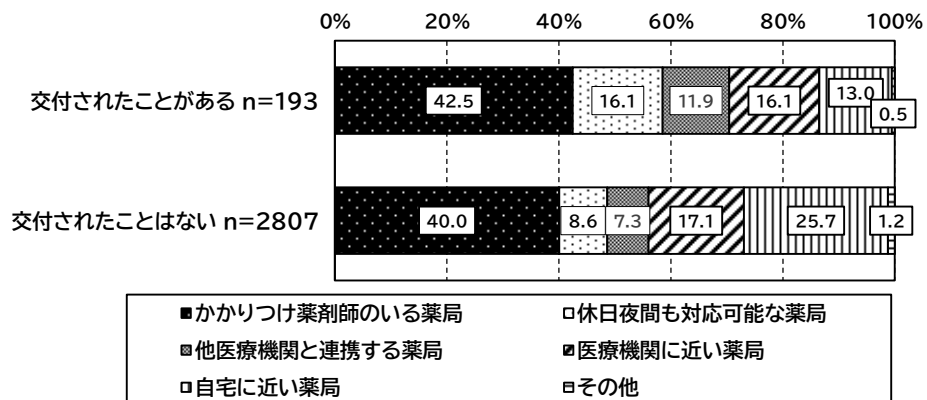
図表 6-72 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいかで最重視のもの
（性別）



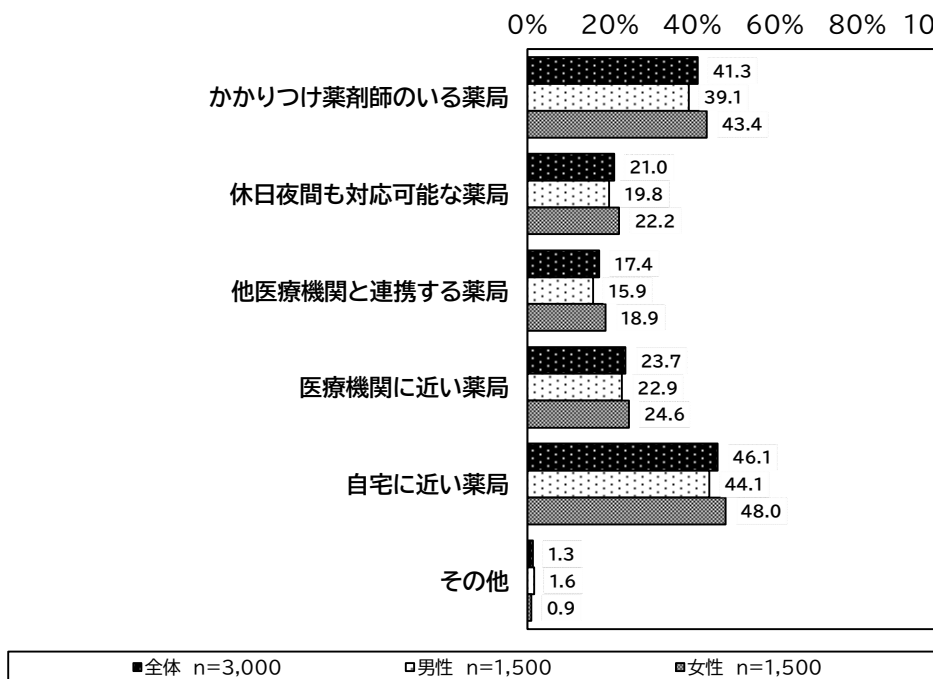
図表 6-73 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいかで最重視のもの
（年代別）



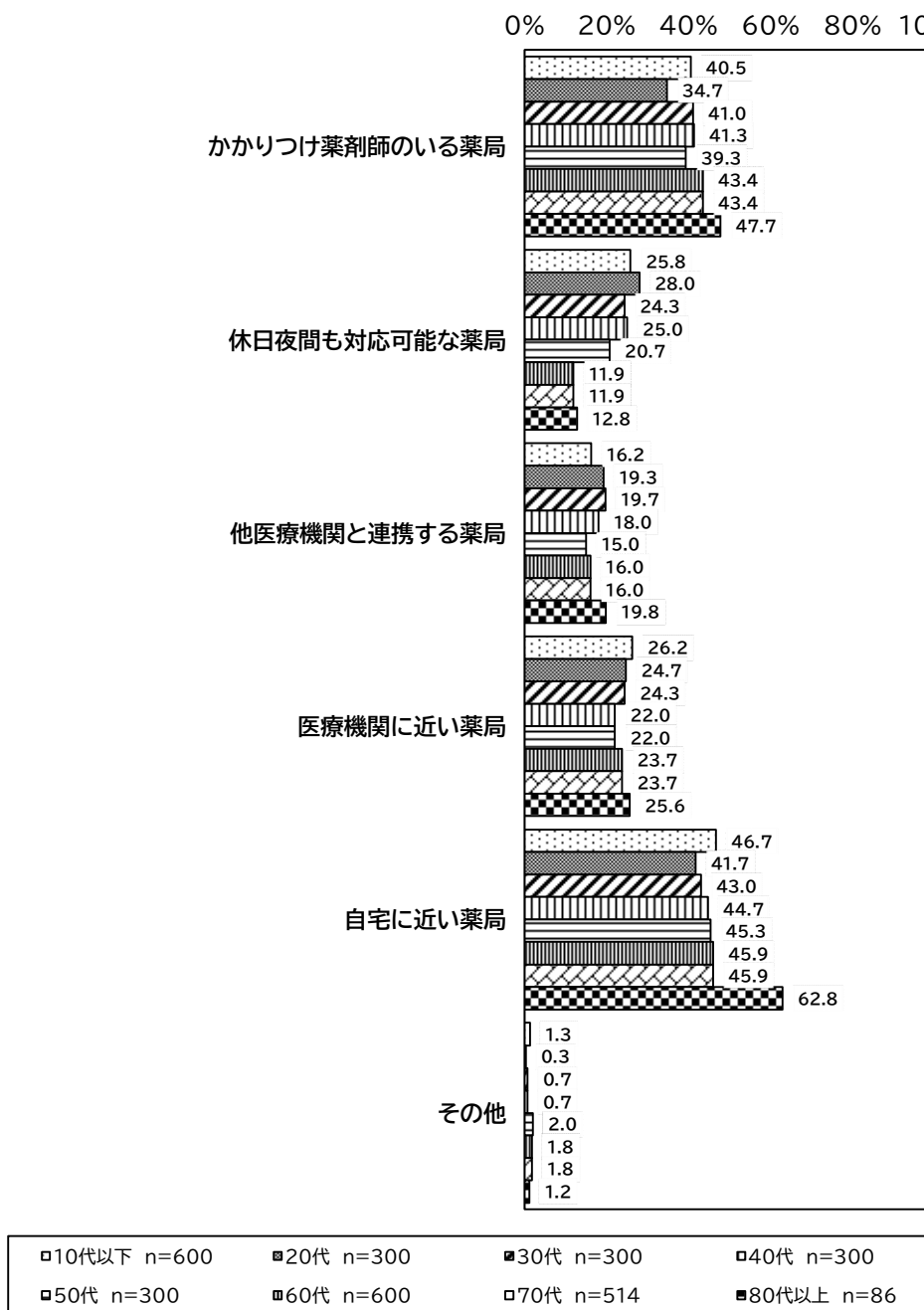
図表 6-74 1回目リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいかで最重視のもの（リフィル処方箋を交付された経験別）



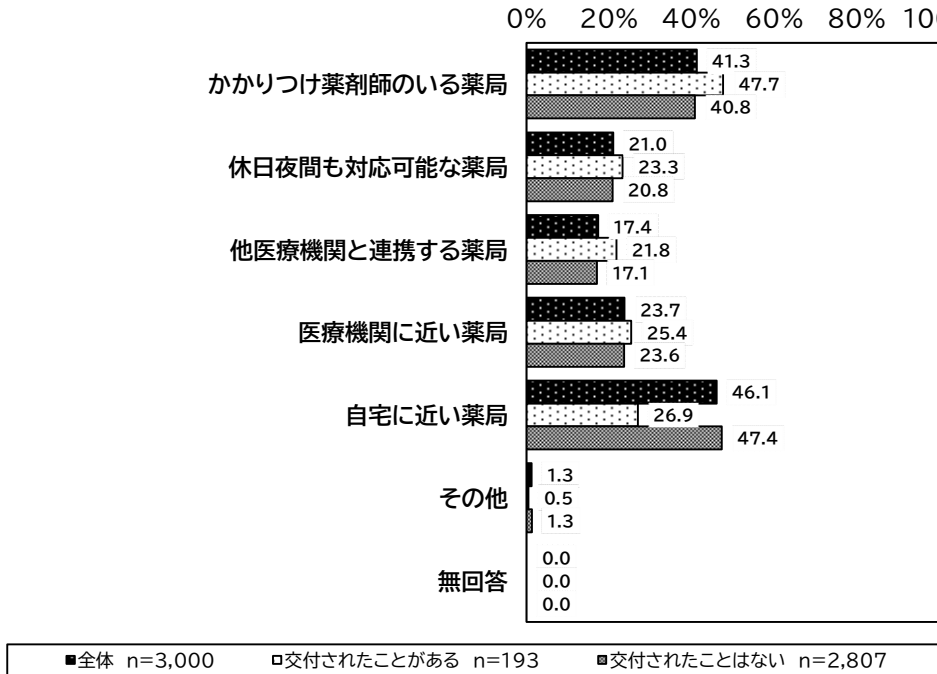
図表 6-75 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）（性別）



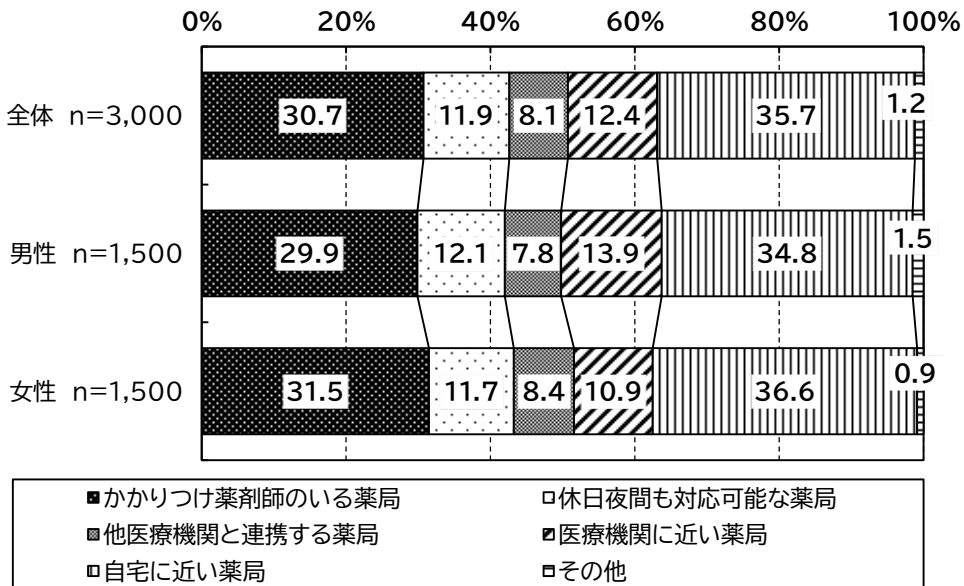
図表 6-76 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（年代別）



図表 6-77 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいか（複数回答）
（リフィル処方箋を交付された経験別）



図表 6-78 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいかで
最重視のもの



別)

の（性

表 6-79 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいかで最重視のもの（年代別）

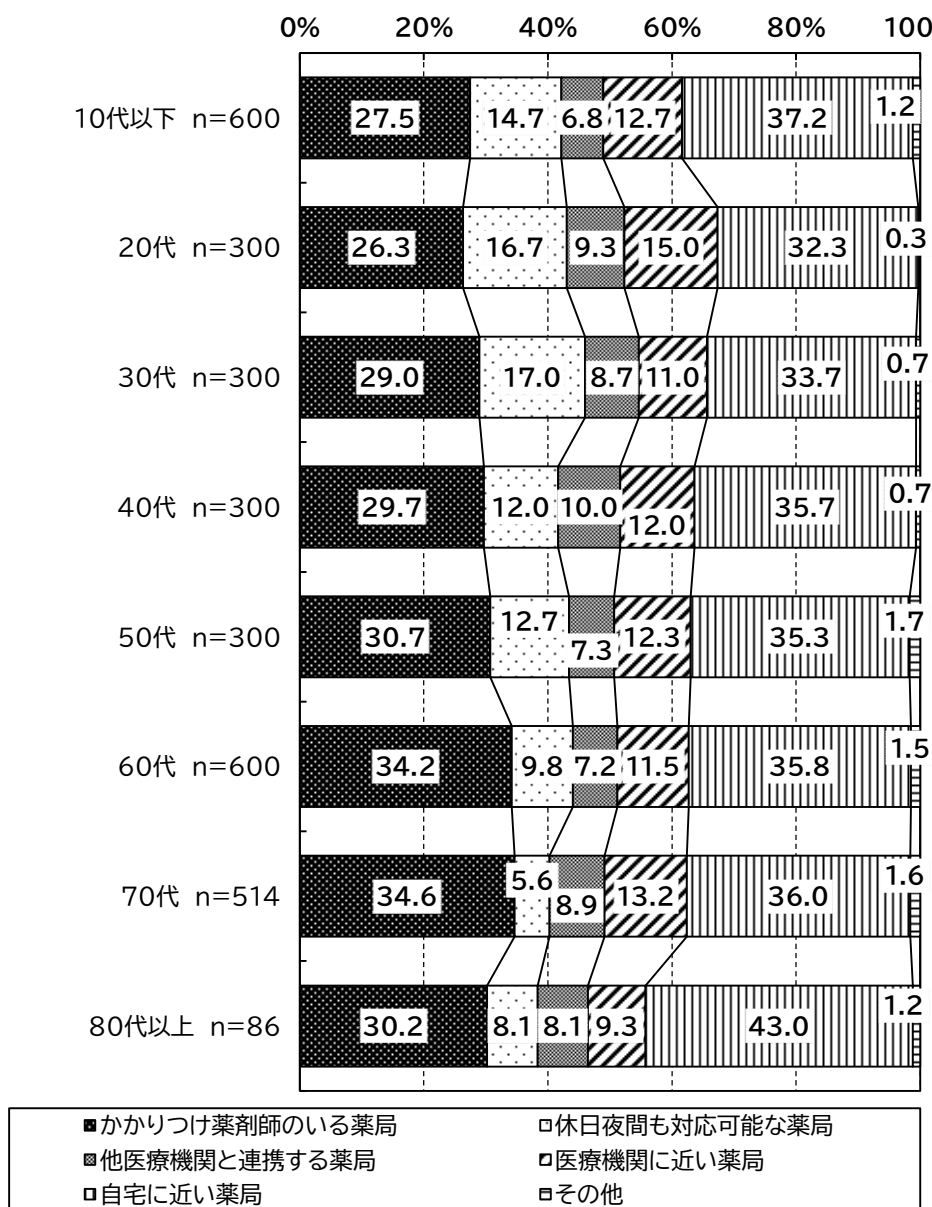
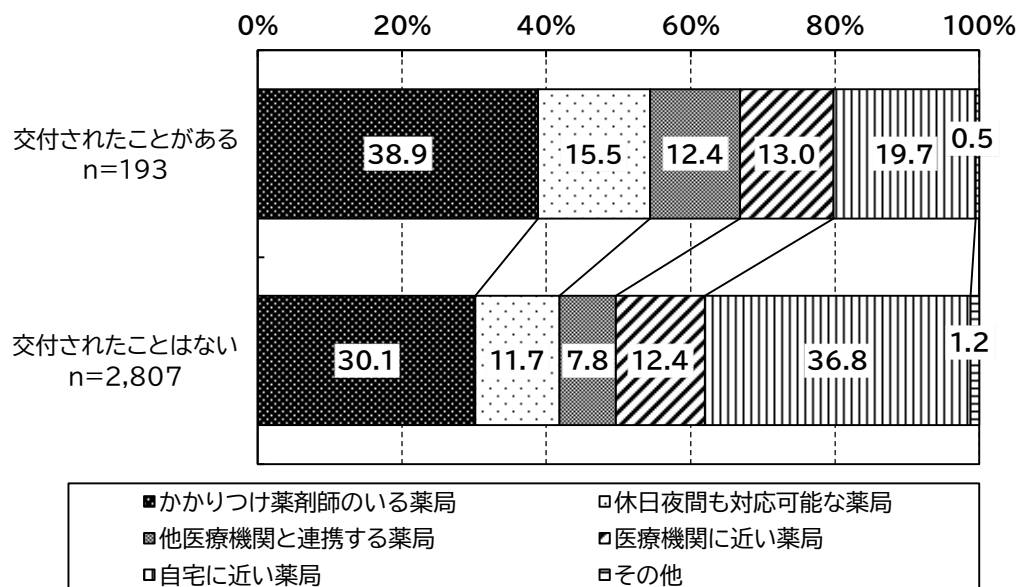


表 6-80 2回目以降リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいかで最重視のもの
(リフィル処方箋を交付された経験別)



6) リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等

【ご意見・ご要望（自由記載）の具体的な内容】

- ・このような制度があることを知らなかった
- ・今のままで十分良い制度と思う
- ・あまり理解されていないのもっと広報・情報が欲しい
- ・「リフィル処方箋」という言葉や内容を患者はわからない場合が多いと思うので、医師や薬剤師からの紹介や説明がほしい
- ・医師側からリフィル処方箋を提案してほしい
- ・1日1回1錠の処方薬をもらうために毎月1回通院し、初診料もかかるのを負担に感じているのでリフィル処方箋制度はありがたい
- ・定期的に医師に診てもらいたいので、リフィル処方箋制度は自分には必要がない
- ・病状の悪化時に医師が対応しなければならないのであれば、通常診察で毎回発行したほうがよい
- ・受診の待ち時間が長く時間ももったいないと持っていたので、ありがたい
- ・金銭的、時間的にも1度の受診で長期間の薬がもらえるのはありがたい
- ・いつでも医師、薬剤師に相談できる仕組みがほしい
- ・かかりつけ医が対応してくれるのかどうか心配
- ・ジェネリック医薬品について安全性の問題などが気になるので、処方時に薬剤師の方から説明があると安心する
- ・湿布や軟膏はその時の使用頻度によって、次回まだ要らない場合が出て来るので調整可能にしてほしい
- ・一度に処方される薬の日数を選べるとよい
- ・価格が少しでも安くなるのであればそれがよい
- ・自己判断で診察を受ける機会をなくして病状の悪化に気が付けないことは心配 など

NDBを用いた集計（リフィル処方箋）

1. リフィル処方箋に係る処方箋料の算定状況（令和4年11月診療分）

	医療機関数	算定回数
病院	937	14,436
診療所	2,463	16,133
全体	3,400	30,569

2. リフィル処方箋の受付状況（令和4年11月診療分）

	薬局数	受付回数
リフィル処方箋 1／2回目	15,869	8,776
リフィル処方箋 2／2回目	12,547	6,316
リフィル処方箋 1／3回目	9,438	5,811
リフィル処方箋 2／3回目	8,517	7,743
リフィル処方箋 3／3回目	6,461	1,304

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和5年度調査) リフィル処方箋の実施状況調査 病院・診療所票

※この「病院・診療所票」は、病院・診療所の開設者・管理者の方に令和4年度診療報酬改定で変更された、症状が安定している患者について医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の影響についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・「※一つだけ○」という質問については、あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。
- ・()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和5年7月1日現在の貴施設の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の状況についてお伺いします(令和5年7月1日現在)。

①所在地(都道府県)	() 都・道・府・県				
②開設者 ^{注1} ※一つだけ○	1. 国	2. 公立	3. 公的	4. 社会保険関係団体	
	5. 医療法人(社会医療法人を除く)	6. 会社	7. その他の法人		
	8. 個人				
③医療機関の種別 ※一つだけ○	1. 病院	→質問④, ⑤, ⑥へ		2. 有床診療所	→質問④, ⑤, ⑥へ
	3. 無床診療所	→質問⑥へ			
【③で「1. 病院」または「2. 有床診療所」と回答した場合、下記④～⑤にご回答ください】					
④許可病床数	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症 病床
	()床	()床	()床	()床	()床
⑤過去1年の病床数変更 ※一つだけ○	1. 変更あり		2. 変更なし		
【すべての方が⑥～⑩にご回答ください】					
⑥標榜診療科 ※当てはまるもの全て	1. 内科 ^{注2} 2. 外科 ^{注3} 3. 精神科 4. 小児科 5. 皮膚科 6. 泌尿器科 7. 産婦人科・産科 8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科 10. 放射線科 11. 脳神経外科 12. 整形外科 13. 麻酔科 14. 救急科 15. 歯科・歯科口腔外科 16. リハビリテーション科 17. その他(具体的に:)				
⑦貴施設の外来分離 ※一つだけ○	1. 外来分離をしている		2. 外来分離をしていない		
⑧地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無 ※一つだけ○	1. 参加あり		2. 参加なし		
⑨外来を担う医師の人数 ※常勤換算は小数点第1位まで	a. 常勤医師 : () 人 b. 非常勤医師 : 実人数 () 人 常勤換算 () 人				
⑩外来の患者数 ※初診患者数+再診延べ患者数	4～6月の合計 : () 人				
⑪処方箋の発行枚数	4～6月の合計 : () 枚				

注1 国立(国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構)

公立(都道府県、市町村、地方独立行政法人)

公的(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)

社会保険関係(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)

医療法人(社会医療法人は含まない)

その他の法人(公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他の法人)

注2 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

注3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

2. リフィル処方箋についてお伺いします。

①リフィル処方箋の制度の認知 ※一つだけ○	1. 制度の内容まで知っている	2. 名称だけ知っている	3. 知らない
【①で「1.制度の内容まで知っている」又は「2.名称だけ知っている」と回答した場合、下記①-1にご回答ください】			
①-1 制度を知ったきっかけ ※一つだけ○	1. 新聞・雑誌のニュース等の報道	2. 医師会等の団体からの案内等	
	3. 薬局からの案内等	4. 保険者側からの案内等	
	5. 患者からの問い合わせ	6. 行政からの案内等	
	7. その他(具体的に: _____)		

【すべての方がご回答ください】

②貴院内でリフィル処方箋を発行したことの
ある医師を知っている、または自身で発行
しているか ※一つだけ○

1. 知っているまたは自身で発行している → 質問②-1～②-7 へ
2. 知らない → 質問②-8 へ

【②で「1. 知っているまたは自身で発行している」と回答した方は全員、下記②-1～②-7をご回答ください】

②-1 貴院全体で発行したリフィル処方箋の枚数の把握状況(令和5年4～6月)

1. わかる 2. わからない → 質問②-4 へ

【わかる場合】

②-2 貴院が全体で発行したリフィル処方箋の発行枚数等 a.4～6月のリフィル処方箋発行枚数(合計) b.4～6月の分割調剤の指示回数(合計)	a. リフィル処方箋の発行枚数	() 枚		
	b. 分割調剤の指示回数	() 回		
②-3 貴院において外来を担当する常勤医師のうち、リフィル処方箋の発行枚数が多い順に上から5名の医師について、下記状況はどうか				
a. 該当する医師の有無 (例えばリフィル処方箋を発行したことの医師が1名の場合、2番目以降は「無」となる。)				
b. 該当医師個人での4～6月のリフィル処方箋発行枚数(合計)				
c. 該当医師個人での4～6月の全処方箋発行枚数(合計)				
d. 本調査の「医師票」を配布した医師 ※1名のみ○				
	a.該当医師の有無	b.リフィル処方箋発行枚数	c.全処方箋発行枚数	d.本調査医師票の配布先
リフィル処方が1番目に多い医師		()枚	()枚	配布した医師1名に○
リフィル処方が2番目に多い医師	有・無	()枚	()枚	
リフィル処方が3番目に多い医師	有・無	()枚	()枚	
リフィル処方が4番目に多い医師	有・無	()枚	()枚	
リフィル処方が5番目に多い医師	有・無	()枚	()枚	

②-4 どのような患者にリフィル処方箋を
発行しているか
※当てはまるもの全て○

1. 自施設にかかりつけの患者
2. 自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者
3. 自施設と連携する薬局以外の薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者
4. その他 (具体的に_____)

②-5 リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書
(トレーシングレポート)の有無 ※一つだけ○

1. あった 2. なかった

【②-5で「1. あった」と回答した場合、下記②-5-a～②-5-cをご回答ください】

②-5-a.リフィル処方箋のトレーシングレポート受領頻度	症状が安定している患者の通常の処方箋と比較して、リフィル処方箋は、 トレーシングレポートの受領頻度が	1. 高い 2. 同程度 3. 低い
------------------------------	---	--------------------

リフィル処方に関するトレーシングレポートで②-5-b.提供された情報 ②-5-c.提供してほしい情報

	②-5-b.提供された情報		②-5-c.提供してほしい情報	
	該当するもの全て	最も多いもの一つ	該当するもの全て	最重要のもの一つ
1. 患者の服用薬(他の医療機関からの処方等も含む)				
2. 患者の服薬状況				
3. 患者に対する服薬指導の要点				
4. 患者の状態(バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等)				
5. 残薬				
6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための技術的工夫等の調剤情報				
7. その他 (具体的に: _____)				

【②で「1. 知っているまたは自身で発行している」と回答した方は全員、下記②-6～②-7をご回答ください】

②-6 薬剤師の受診勧奨を受け受診した患者数
(わからない場合は「-」を記入)

() 人 ※令和5年4月～6月の合計

②-7 リフィル処方箋を発行した理由 ※当てはまるもの全て○	1. 症状が安定していたから 2. 患者に「かかりつけ薬剤師」がいたから 3. 患者が感染症に罹るリスクを減らすことができるから 4. 患者からの希望があったから 5. その他（具体的に：_____）
【②で「2.知らない」と回答した方は全員、下記②-8をご回答ください】	
②-8 貴院ではリフィル処方箋を発行したことはないですか ※一つだけ○ 発行したことがない場合、リフィル処方箋を発行しなかった理由 ※当てはまるもの全て○	1. 発行したことはない 2. 発行した 3. わからない 【理由】 1. 症状が安定している患者がいなかったから 2. 薬剤師と適切に連携して管理できる患者がいなかったから 3. 症状が安定し、薬剤師と連携して管理できるが、医師の判断が必須だったから 4. 長期処方に対応が可能だったから 5. 患者からの求めがないから 6. その他（具体的に：_____）
【すべての方がご回答ください】	
③リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無 ※一つだけ○	1. あった 2. なかった
④リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し ※一つだけ○	1. 積極的に検討する → 質問⑤, ⑦へ ----- 2. 患者希望があれば検討する → 質問⑦へ ----- 3. 検討には消極的 → 質問⑥, ⑦へ -----
【④「1. 積極的に検討する」と回答した方は、以下の⑤をご回答ください】	
⑤「1. 積極的に検討する」と回答した理由 ※当てはまるもの全て○	1. 患者からの希望が多いから 2. 患者の待ち時間が減るから 3. 患者が感染症に罹るリスクを減らすことができるから 4. 医師の負担軽減につながるから 5. その他（具体的に：_____）
【④で「3. 検討には消極的」と回答した方は、以下の⑥をご回答ください】	
⑥「3. 検討には消極的」と回答した理由 ※当てはまるもの全て○	1. 医師が患者の症状の変化に気がつくようになるから 2. 薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから 3. 患者にリフィル処方箋が必要とされていないから 4. 処方箋の不正利用が心配だから 5. リフィル処方箋の仕組みがよくわからないから 6. その他（具体的に：_____）
【すべての方がご回答ください】	
⑦このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること ※当てはまるもの全て○	1. 患者への制度の周知 2. 医師への制度の周知 3. 薬剤師への制度の周知 4. かかりつけ薬剤師制度の普及 5. その他（具体的に：_____）

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。
 令和5年8月31日(木)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和5年度調査) リフィル処方箋の実施状況調査 医師票

※この「医師票」は、病院・診療所の開設者・管理者の方に令和4年度診療報酬改定で変更された、症状が安定している患者について医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の影響についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・「※一つだけ○」という質問については、あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。
- ・()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和5年7月1日現在の貴施設の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 回答者ご自身についてお伺いします(令和5年7月1日現在)。

①性別 ※一つだけ○	1. 男性	2. 女性				
②年代 ※一つだけ○	1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代	6. 70代以上
③主たる担当診療科 ※一つだけ○	1. 内科 ^{注1} 2. 外科 ^{注2} 3. 精神科 4. 小児科 5. 皮膚科 6. 泌尿器科 7. 産婦人科・産科 8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科 10. 放射線科 11. 脳神経外科 12. 整形外科 13. 麻酔科 14. 救急科 15. 歯科・歯科口腔外科 16. リハビリテーション科 17. その他 (具体的に：)					
④外来診察患者数 ※令和5年4月～6月の合計	() 人 ※調査票を受け取った施設の患者のみ					

注1 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

注2 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

2. リフィル処方箋についてお伺いします。

①リフィル処方箋の制度の認知 ※一つだけ○	1. 制度の内容まで知っている 2. 名称だけ知っている 3. 知らない
【①で「1.制度の内容まで知っている」又は「2.名称だけ知っている」と回答した場合、下記①-1をご回答ください】	
①-1リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ ※当てはまるもの全て○	1. 新聞・雑誌のニュース等の報道 2. 医師会等の団体からの案内等 3. 薬局からの案内等 4. 保険者側からの案内等 5. 患者からの問い合わせ 6. 行政からの案内等 7. その他 (具体的に：)
【すべての方がご回答ください】	
②リフィル処方箋の発行有無 ※一つだけ○	1. 発行したことがある →③へ 2. 発行したことはない →p.2⑤へ
【②で「1.発行したことがある」と回答した場合、下記③～④をご回答ください】	
③どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか ※当てはまるもの全て○	1. 自施設のかかりつけの患者 2. 自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者 3. 自施設と連携する薬局以外の薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者 4. その他 (具体的に：)
④あなたがリフィル処方箋を発行した理由 ※当てはまるもの全て○	1. 症状が安定していたから 2. 患者に「かかりつけ薬剤師」がいたから 3. 患者が感染症に罹るリスクを減らすことができるから 4. 患者からの希望があったから 5. その他 (具体的に：)

【②で「2.発行したことはない」と回答した場合、下記⑤をご回答ください】	
⑤あなたがリフィル処方箋を発行しなかった理由 ※当てはまるもの全て○	1. 症状が安定している患者がいなかったから 2. 薬剤師と適切に連携して管理できる患者がいなかったから 3. 症状が安定し、薬剤師と連携して管理できるが、医師の判断が必須だったから 4. 長期処方での対応が可能だったから 5. 患者からの求めがないから 6. その他（具体的に：_____）
【すべての方がご回答ください】	
⑥リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無 ※一つだけ○	1. あった 2. なかった
⑦リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し ※一つだけ○	1. 積極的に検討する → ⑧へ 2. 患者希望があれば検討する → ⑩へ 3. 検討には消極的 → ⑨へ
【⑦で「1. 積極的に検討する」と回答した方は、以下の⑧をご回答ください】	
⑧「1. 積極的に検討する」と回答した理由 ※当てはまるもの全て○	1. 患者からの希望が多いから 2. 患者の待ち時間が減るから 3. 患者が感染症に罹るリスクを減らすことができるから 4. 医師の負担軽減につながるから 5. その他（具体的に：_____）
【⑦で「3. 検討には消極的」と回答した方は、以下の⑨をご回答ください】	
⑨「3. 検討には消極的」と回答した理由 ※当てはまるもの全て○	1. 医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから 2. 薬を処方するには医師の判断が毎回必須と考えるから 3. 患者にリフィル処方箋が必要とされていないから 4. 処方箋の不正利用が心配だから 5. リフィル処方箋の仕組みがよくわからないから 6. その他（具体的に：_____）
【すべての方がご回答ください】	
⑩このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること ※当てはまるもの全て○	1. 患者への制度の周知 2. 医師への制度の周知 3. 薬剤師への制度の周知 4. かかりつけ薬剤師制度の普及 5. その他（具体的に：_____）

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。
 令和5年8月31日(木)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和5年度調査)

リフィル処方箋の実施状況調査 保険薬局票

※この「保険薬局票」は、保険薬局の開設者・管理者の方に、令和4年度診療報酬改定で変更された、症状が安定している患者について医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の影響についてお伺いするものです。

<ご回答方法>

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・「※一つだけ○」という質問については、あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。
- ・() 内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・() 内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和5年7月1日現在の貴薬局の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴薬局の状況についてお伺いします。(令和5年7月1日現在)

① 所在地(都道府県)	() 都・道・府・県	
② 開設者 ※法人の場合は、法人の形態等にも○をつけてください。	1. 法人 ⇒ (11. 株式会社 12. 有限会社 13. 合資会社 14. 合名会社 15. その他) ⇒ (16. 純粋持株会社 ^{※1} 17. 事業持株会社 ^{※2} 18. 持株会社以外 ^{※3}) 2. 個人 3. その他(具体的に:) ※1 自ら製造や販売といった事業は行わず、株式を所有することで、他の会社の事業活動を支配することのみを事業目的とする持株会社のこと。 ※2 グループ各社の株式を持つことで子会社を支配しながら、自らも生産活動などの事業を営む持株会社のこと。 ※3 持株会社以外(会社の総資産に対する子会社の株式の取得価額の合計が50%以下の会社)のこと。	
③ 同一グループ(財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう)等 [※] による薬局店舗数 ※ 同一グループは次の基準により判断する(調剤基本料の施設基準における同一グループの考え方と同様) 1. 保険薬局の事業者の最終親会社 2. 保険薬局の事業者の最終親会社の子会社 3. 保険薬局の事業者の最終親会社の関連会社 4. 1から3までに掲げる者と保険薬局の運営に関するフランチャイズ契約を締結している者	() 店舗 ※ 当該店舗を含めてお答えください。	
④ 開設年 ※当該店舗の開設年をお答えください。	西暦()年	
⑤ 貴薬局は、チェーン薬局(同一経営者が20店舗以上を所有する薬局の店舗)ですか。 ※一つだけ○	1. はい 2. いいえ	
⑥ 貴薬局はどのような場所に立地していますか。 ※一つだけ○	1. 住宅街にある 2. 駅前にある 3. 商店街にある 4. オフィス街にある 5. 大型商業施設(スーパー・デパート)の中にある 6. その他(具体的に:)	
⑦ 応需医療機関数(令和5年4月～6月の月平均値)	() 施設	
⑧ 最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合(期間:令和5年4月～6月, %:4月～6月の月平均値)	() %	
⑧-1 上記⑧の集中度が最も高い医療機関の情報		
1) 診療所・病院の別 ※一つだけ○	1. 診療所 2. 病院	
2) 最も多く処方箋を受け付けた医療機関と貴薬局との位置関係 ※一つだけ○	1. 貴薬局の近隣に医療機関はない 2. 当該医療機関や医療機関の駐車場と同一の敷地内にある 3. 当該医療機関や医療機関の駐車場と隣接し公道を介さずに往来できる 4. 当該医療機関の近隣にある 5. 複数の医療機関が所在する建物(いわゆる医療モール等)と同一の建物・敷地内にある 6. 上記1～5以外の状況	
3) 診療科 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 内科 ^{注1} 2. 外科 ^{注2} 3. 精神科 4. 小児科 5. 皮膚科 6. 泌尿器科 7. 産婦人科・産科 8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科 10. 放射線科 11. 脳神経外科 12. 整形外科 13. 麻酔科 14. 救急科 15. 歯科・歯科口腔外科 16. リハビリテーション科 17. その他(具体的に:)		
注1 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」として回答		
注2 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」として回答		

⑨ 貴薬局の売上高に占める保険調剤 売上の割合 ※令和4年度決算		約 () % ※OTC医薬品等の販売がなく、保険調剤収入のみ である場合は 100%とご記入ください。	
⑩ 令和5年度の調剤基本料 の届出状況 ※一つだけ○		1. 調剤基本料 1	2. 調剤基本料 2
		3. 調剤基本料 3 イ	4. 調剤基本料 3 ロ
		5. 調剤基本料 3 ハ	6. 特別調剤基本料
⑩-1 全処方箋の受付回数(令和5年4月～6月の合計)		() 回	
⑪ 職員数 ※該当者がい ない場合は 「0」とご記入 ください。	職種		非常勤職員
			実人数
	常勤職員 ^{注2}		常勤換算 ^{注3}
	1) 薬剤師		() 人
(うち)かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」		() 人	() 人
2) その他(事務職員等)		() 人	() 人
⑫ 貴薬局の認定等の状況 ※あてはまるもの全てに○		1. 地域連携薬局	2. 専門医療機関連携薬局
		3. 健康サポート薬局	4. 該当なし

注1 かかりつけ薬剤師指導料、かかりつけ薬剤師包括管理料を指します。

注2 常勤職員数(常勤薬剤師数)には、貴薬局における実労働時間が週 32 時間以上である職員(保険薬剤師)の実人数を計上します。常勤薬剤師数については、届出前3月間の勤務状況に基づき算出します。

注3 非常勤職員(非常勤薬剤師)は、貴薬局における実労働時間が週 32 時間に満たない職員(保険薬剤師)をいい、常勤換算数は、以下により算出します(小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで求める)。非常勤薬剤師数については、届出前3月間の勤務状況に基づき算出します。

非常勤薬剤師数(常勤換算) = $\frac{\text{当該保険薬局における週 32 時間に満たない保険薬剤師の実労働時間の合計(時間/3月)}}{32(\text{時間/週}) \times 13(\text{週/3月})}$

2. 届出の状況についてお伺いします。(令和5年7月1日現在)

① 貴薬局における、かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出をしていますか。 ※一つだけ○	
1. 届出あり	2. 届出なし
② 地域支援体制加算の届出をしていますか。 ※一つだけ○	
1. 届出あり	2. 届出なし
③ 連携強化加算の届出をしていますか。 ※一つだけ○	
1. 届出あり	2. 届出なし

3. リフィル処方箋の対応状況についてお伺いします。(令和5年4月～6月末日)

① リフィル処方箋の仕組みについて知っていますか ※一つだけ○	1. 知っている	2. 知らない
② リフィル処方箋の受付経験 ※一つだけ○	1. 受け付けたことがある → ③へ 2. 受け付けたことはない → p.5「4. 医療機関等との連携について」へ	
【②でリフィル処方箋について「1.受け付けたことがある」と回答した場合、下記③～⑮を回答】		
③ 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数	() か所 ※令和4年4月～10月末日の合計数	
④ どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けましたか ※あてはまる番号すべてに○		
1. 近隣の診療所	2. 近隣の病院 (199 床以下)	3. 近隣の病院 (200 床以上 399 床以下)
4. 近隣の病院 (400 床以上)	5. 遠方の診療所	6. 遠方の病院 (199 床以下)
7. 遠方の病院 (200 床以上 399 床以下)		8. 遠方の病院 (400 床以上)
9. 同一敷地内の診療所	10. 同一敷地内の病院 (199 床以下)	11. 同一敷地内の病院 (200 床以上 399 床以下)
12. 同一敷地内の病院 (400 床以上)		13. 同一医療モール内の診療所
14. その他 (具体的に: _____)		

【②でリフィル処方箋について「1.受け付けたことがある」と回答した場合、下記⑤～⑮を回答】	
⑤どの診療科のリフィル処方箋を受け付けましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 内科 ^{注1} 2. 外科 ^{注2} 3. 精神科 4. 小児科 5. 皮膚科 6. 泌尿器科 7. 産婦人科・産科 8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科 10. 放射線科 11. 脳神経外科 12. 整形外科 13. 麻酔科 14. 救急科 15. 歯科・歯科口腔外科 16. リハビリテーション科 17. その他（具体的に： ） ※1 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。 ※2 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児科は、「2.外科」としてご回答ください。
⑤-1 ⑤で選択した中で最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科	() ※⑤の選択肢番号を記入
⑥リフィル処方箋の受付件数（令和5年4月～6月の合計）	() 回
⑦リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数（自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数）(令和5年4月～6月の合計)	() 枚
⑧リフィルの上限まで使用されなかった理由 ※あてはまる番号すべてに○	-1. 薬剤師が受診勧奨をしたから → ⑧-1へ 2. 患者が処方箋期限内に医療機関の受診を希望したから 3. 患者が別の薬局で処方を受けることになったから 4. 患者と連絡は取れていたが、来局前に処方箋期限が切れたから 5. 患者と連絡が取れず、処方箋期限が切れたから 6. その他（具体的に： ） 7. 上限まで使用されなかったことはない 「1.」を選択しなかった場合 → ⑨へ

【⑧で「1.薬剤師が受診勧奨をしたから」を選択した場合、下記⑧-1～⑧-3を回答】			
⑧-1 薬剤師が受診勧奨をした回数（令和5年4月～6月）	全体	うち、リフィル処方箋の調剤時	うち、フォローアップ中
	()回	()回	()回
----- 1回以上の場合 -----			
	受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談状況 ※一つだけ○ <ul style="list-style-type: none"> 1. 受診勧奨後に処方医に患者の情報を報告した 2. 事前に処方医へ相談した 		
⑧-2 薬剤師が受診勧奨をした理由 ※あてはまる番号すべてに○	1. 副作用が疑われたから 2. 患者の症状の変化に気付いたから 3. 服薬状況に注意すべき点があったから 4. その他（具体的に： ）		
⑧-3 受診勧奨の際に行ったこと ※あてはまる番号すべてに○	1. 医師への情報提供 2. 患者への指導 3. その他（具体的に： ）		

【②でリフィル処方箋について「1.受け付けたことがある」と回答した場合、下記⑨～⑮を回答】	
⑨リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験の有無 ※一つだけ○	1. ある → ⑩へ ----- 2. ない → ⑪へ -----
【⑨で「1.ある」と回答した場合、下記⑩を回答】	
⑩リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容 ※あてはまる番号すべてに○	1. 急性期疾患に対する医薬品が含まれていた 2. 処方箋1回の使用期間が判断できなかった 3. 投薬期間が異なる医薬品が同じリフィル処方箋で処方されていた 4. リフィル処方箋による投薬を行うことができない医薬品（投与量に限度が定められている医薬品及び湿布薬）が含まれていた 5. その他（具体的に： ）

【②でリフィル処方箋について「1.受け付けたことがある」と回答した場合、下記⑪～⑮を回答】	
⑪1枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験 ※一つだけ○	1. ある → ⑪-1へ 2. ない → ⑫へ 3. 不明 → ⑫へ

【⑪で「1.ある」と回答した場合、下記⑪-1を回答】					
⑪-1リフィル処方の途中で患者が薬局を変えた場合の内訳		自薬局から他薬局へ		他薬局から自薬局へ	
		2回目から他薬局	3回目から他薬局	2回目から自薬局	3回目から自薬局
	a. 上限3回の処方箋	() 枚	() 枚	() 枚	() 枚
	b. 上限2回の処方箋	() 枚		() 枚	

【⑪-1で「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した場合、下記⑪-2～⑪-3を回答】	
⑪-2 どのような方法で他薬局へ情報提供を行いましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 他の保険薬局に文書を送付した 2. 情報を記録したものを患者に提供した 3. お薬手帳に記載した 4. 他の保険薬局に電話をした 5. 他の保険薬局にメール・FAXを送付した 6. 地域医療情報連携ネットワーク*を利用した 7. その他（具体的に：_____） ※ ICT(情報通信技術)を活用して住民に質の高い医療介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で、病院、診療所(医科・歯科)、薬局、訪問看護事業者、訪問介護事業者等の各関係機関において、その患者の医療介護情報を電子的に共有・閲覧できる仕組み
⑪-3 どのような内容を情報提供しましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 患者の服用薬 2. 患者の服薬状況 3. 患者に対する服薬指導の要点 4. 患者の状態 5. 残薬 6. 調剤上の工夫 7. その他（具体的に：_____）

【⑪-1で「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した場合、下記⑪-4～⑪-5を回答】	
⑪-4 どのような方法で他薬局から情報提供を受けましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 薬局同士で直接、文書を送付された 2. 患者に交付された文書を受け取った 3. お薬手帳 4. 他薬局から電話を受けた 5. 他薬局からメール・FAXを受信した 6. 地域医療情報連携ネットワーク*を利用した 7. 自薬局から連絡した ※ ICT(情報通信技術)を活用して住民に質の高い医療介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で、病院、診療所(医科・歯科)、薬局、訪問看護事業者、訪問介護事業者等の各関係機関において、その患者の医療介護情報を電子的に共有・閲覧できる仕組み
⑪-5 どのような内容を情報提供されましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 患者の服用薬 2. 患者の服薬状況 3. 患者に対する服薬指導の要点 4. 患者の状態 5. 残薬 6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等 7. その他（具体的に：_____）

【②でリフィル処方箋について「1.受け付けたことがある」と回答した場合、下記⑫～⑮を回答】	
⑫リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際、提供してほしい情報 ※あてはまる番号すべてに○	1. 患者の服用薬 2. 患者の服薬状況 3. 患者に対する服薬指導の要点 4. 患者の状態 5. 残薬 6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等 7. その他（具体的に：_____）
⑬リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況 ※一つだけ○	1. 薬局内で手順を定めている 2. 個々の薬剤師の判断に委ねている
⑭リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法 ※主たるものを一つだけ○	1. 紙による管理（メモや調剤録への記載） 2. 電子的な管理（電子薬歴等のシステムやExcel等による管理） 3. その他（具体的に：_____）

⑮ 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること ※あてはまる番号すべてに○	1. 患者が次回調剤日に来局してくれるか 2. 患者が処方箋をなくさないか 3. 患者の状態を注意深く観察して判断できるか 4. 副作用の評価ができるか 5. その他（具体的に：_____）
--	---

4. 医療機関等との連携についてお伺いします。

① 服薬情報等提供料の算定の有無をご回答ください ※あてはまる番号すべてに○	1. 服薬情報等提供料1の算定あり → 令和5年4月～6月の算定回数 () 回 → うちリフィル処方箋 () 回 2. 服薬情報等提供料2の算定あり → 令和5年4月～6月の算定回数 () 回 → うちリフィル処方箋 () 回 3. 服薬情報等提供料3の算定あり → 令和5年4月～6月の算定回数 () 回 → うちリフィル処方箋 () 回 4. 服薬情報等提供料の算定なし																								
②リフィル処方箋の患者に関して医療機関に服薬指導提供書(トレーシングレポート)を提供した経験 ※一つだけ○	1. ある → ②-1へ 2. ない → 「5. リフィル処方箋に関する薬局薬剤師への影響等」へ																								
【②で「1. ある」を選択した場合、下記②-1を回答】																									
②-1リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)で提供した情報の内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>該当するもの全て</th> <th>最も多いもの一つ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 他の医療機関から処方された薬の情報</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 患者の服用薬</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 患者の服薬状況</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 患者に対する服薬指導の要点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 患者の状態</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. その他(具体的に: _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		該当するもの全て	最も多いもの一つ	1. 他の医療機関から処方された薬の情報			2. 患者の服用薬			3. 患者の服薬状況			4. 患者に対する服薬指導の要点			5. 患者の状態			6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等			7. その他(具体的に: _____)		
	該当するもの全て	最も多いもの一つ																							
1. 他の医療機関から処方された薬の情報																									
2. 患者の服用薬																									
3. 患者の服薬状況																									
4. 患者に対する服薬指導の要点																									
5. 患者の状態																									
6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等																									
7. その他(具体的に: _____)																									

5. リフィル処方箋に関する薬局・薬剤師への影響等についてお伺いします。

①リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響 a: 非常にそう思う b: ややそう思う c: あまりそう思わない d: 全くそう思わない ※各項目であてはまるもの一つずつ	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a 非常に そう思う</th> <th>b やや そう思う</th> <th>c あまり そう思 わない</th> <th>d 全く そう思 わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 薬剤師による薬物治療への関与が大きくなることで医療の質の向上につながる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 処方医との連携がより強くなる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 患者の服薬状況の確認のため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 副作用の確認のため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 次回の調剤を受ける予定を確認するため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. リフィル制度の説明をするため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. これまで長期処方フォローアップの対応等を行っていたのでリフィル処方箋でも薬剤師の対応は変わらない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		a 非常に そう思う	b やや そう思う	c あまり そう思 わない	d 全く そう思 わない	1. 薬剤師による薬物治療への関与が大きくなることで医療の質の向上につながる					2. 処方医との連携がより強くなる					3. 患者の服薬状況の確認のため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する					4. 副作用の確認のため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する					5. 次回の調剤を受ける予定を確認するため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する					6. リフィル制度の説明をするため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する					7. これまで長期処方フォローアップの対応等を行っていたのでリフィル処方箋でも薬剤師の対応は変わらない				
	a 非常に そう思う	b やや そう思う	c あまり そう思 わない	d 全く そう思 わない																																					
1. 薬剤師による薬物治療への関与が大きくなることで医療の質の向上につながる																																									
2. 処方医との連携がより強くなる																																									
3. 患者の服薬状況の確認のため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する																																									
4. 副作用の確認のため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する																																									
5. 次回の調剤を受ける予定を確認するため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する																																									
6. リフィル制度の説明をするため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する																																									
7. これまで長期処方フォローアップの対応等を行っていたのでリフィル処方箋でも薬剤師の対応は変わらない																																									
②患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験 ※一つだけ○	1. ある → ②-1へ 2. ない → アンケート調査は終了です																																								
【②で「1.ある」と回答した場合、下記②-1を回答】																																									
②-1 受けた相談の内容 ※最も多いものを一つだけ○	1. リフィル処方箋の制度内容を知りたい 2. 自身がリフィル処方箋の対象になりうるか知りたい 3. リフィル処方箋を希望しているが、どうしたら処方されるか知りたい 4. その他(具体的に: _____)																																								
【②-1で「3.リフィル処方箋を希望しているが、どうしたら処方されるか知りたい」と回答した場合、下記②-2を回答】																																									
②-2 患者の希望を処方医に連絡したことがありますか ※一つだけ○	1. ある 2. ない																																								

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。令和5年8月31日(木)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和5年度調査)

リフィル処方箋の実施状況調査 患者票

※この調査票は、患者さんに、医療機関や薬局の利用状況やお考えなどをお伺いするものです。

※調査結果は、診療報酬の見直しなどについて検討するための資料となります。

※本調査のご回答内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、医師や薬剤師に個人の回答内容をお知らせすることもありません。

※本調査票にご回答頂けない場合も、患者さんに不利益はございません。

※回答はあてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数字や内容・理由などをご記入ください。

1. この調査票のご記入者についてお伺いします。

①ご記入者は患者さんご本人か ※一つだけ○	1. 患者ご本人 (代筆の場合を含む)	2. 本人以外のご家族等
-----------------------	---------------------	--------------

2. 患者さんご自身のことについてお伺いします。

①性別 ※一つだけ○	1. 男性	2. 女性		
②年齢 ※一つだけ○	1. 10代以下	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80代以上
③お住まい	() 都・道・府・県			
④薬局の窓口で支払うお金※がありますか ※お薬の容器代等は含まれません	1. ある	2. ない		

以降の設問についても、全て患者さんのことにお答えください (ご記入者が患者ご本人でない場合も、患者さんについてご回答ください)

3. 医療機関や保険薬局の利用状況等についてお伺いします。

①あなたご自身が、定期的 ^{注1} に受診している医療機関(病院・診療所)、診療科はいくつありますか。	医療機関数：() 件	診療科数：() 件 ※定期的な受診がない場合「0」と記入	
②同じ内容の薬の処方を定期的に受けていますか ※一つだけ○	1. 受けている	2. 受けていない	
【②で「1.受けている」と回答した場合、下記②-1をご回答ください】			
②-1 定期的な処方を受けている期間 ※一つだけ○	1. 1年未満	2. 1年以上3年未満	
	3. 3年以上5年未満	4. 5年以上	
【すべての方がご回答ください】			
③リフィル処方箋 ^{注2} を知っていましたか ※一つだけ○	1. 制度の内容まで知っていた	2. 名称だけ知っていた	3. 知らなかった

注1 定期的：180日間で複数回
注2 リフィル処方箋：症状が安定している患者について、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できる

4. これまでリフィル処方箋を交付された経験についてお伺いします。

①リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがありますか	1. ある →①-1へ	2. ない →②へ
【①で「1.ある」と回答した場合、下記①-1～①-2をご回答ください】		
①-1リフィル処方箋についての説明はどのように行われましたか ※一つだけ○	1. 患者から説明を希望した	2. 医師が自ら説明した
①-2リフィル処方箋についての説明は理解できましたか ※一つだけ○	1. 理解できた	2. 理解できなかった
【すべての方がご回答ください】		
②リフィル処方箋を交付されたことがありますか ※一つだけ○	1. ある →③へ	2. ない →⑧へ
【②で「1.ある」と回答した場合、下記③～⑦をご回答ください】		
③リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬ですか ※当てはまるもの全てに○	1. 内服薬	2. 外用薬
④直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋ですか ※一つだけ○	1. 3回	2. 2回
⑤直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分のお薬が調剤されましたか	a. 1回目の調剤	() 日分
	b. 2回目の調剤	() 日分
	c. 3回目の調剤	() 日分 ※3回処方の場合のみ
⑥リフィル処方箋の1回目の調剤で、どこの薬局に行きましたか ※最も多く行ったものを一つだけ○	1. お住まいの近くではないが受診した医療機関の近隣の薬局 2. お住まいの近くにある薬局 3. その他 ()	
⑦リフィル処方箋の2回目以降の調剤で、薬局を変えましたか ※一つだけ○	1. 1回目から変えていない (同じ薬局に行った) 2. 1回目から薬局を変更した → ⑦-1へ 3. まだ2回目を利用していない	
【⑦で「2. 1回目から薬局を変更した」と回答した場合、下記⑦-1～⑦-2をご回答ください】		
⑦-1 薬局を変更した理由は何ですか ※あてはまるもの全てに○	1. 1回目の薬局の立地が通いにくかったから 2. 1回目の薬局が普段使う薬局ではなかったから 3. 1回目の薬局では薬の相談がしにくかったから 4. その他 (具体的に：)	

⑦-2 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われたことがありますか。 ※一つだけ○	1. ある	2. ない
--	-------	-------

【②で「2.ない」と回答した場合、下記⑧をご回答ください】	
⑧リフィル処方箋が交付されていない理由はなんですか。 ※当てはまるもの全てに○	1. リフィル処方箋について知らなかったから 2. リフィル処方箋について知っていたが、希望しなかったから 3. リフィル処方箋の仕組みが適用できない症状・医薬品だったから 4. その他（具体的に：_____）

5. これからのリフィル処方箋の利用意向についてお伺いします。

①リフィル処方箋のメリット・デメリットと、それらを踏まえた今後の利用意向について、お考えを教えてください。			
①-1リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるものを教えてください。		該当するもの全て	最大のもの一つ
	1. 通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる		
	2. 通院によってかかる医療費が安くなる		
	3. 症状が安定していて、異変時には、医師に相談ができる		
	4. 症状が安定していて、異変時には、薬剤師に相談ができる		
	5. 感染症に罹るリスクを減らすことができる		
	6. 薬がほしだけという患者の状況にあっている		
	7. その他(具体的に：_____)		
①-2リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるものを教えてください。		該当するもの全て	最大のもの一つ
	1. 医師に診てもらえる機会が減ってしまう		
	2. 薬剤師の判断に不安がある		
	3. 2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない		
	4. リフィル処方箋を希望しても発行してもらえないことがある		
	5. 処方箋を保管しておくことが手間である		
	6. 調剤予定日の前後7日でしか薬を受け取れないのは不便である		
	7. 患者は必要だと思わない		
8. その他(具体的に：_____)			
①-3今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思いますか ※一つだけ○	1. 利用したい	2. どちらかと言えば利用したい	
	3. どちらかと言えば利用したくない	4. 利用したくない	

②リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることは何ですか ※あてはまるもの全てに○	1. 信頼する「かかりつけ医」 ^{注1} がいること 2. 信頼する「かかりつけ薬剤師」 ^{注2} のいる薬局があること 3. 薬剤師から薬について十分な説明があること 4. 患者が自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること 5. 「かかりつけ医」や「かかりつけ薬剤師」が24時間対応していること 6. その他（具体的に：_____）				注1：健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと 注2：日頃から患者と継続的に関わることで信頼関係を構築し、薬に関していつでも気軽に相談できる薬剤師のこと	
	③リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいですか		1回目 該当するもの全て	2回目以降 該当するもの全て		1回目 最重視の一つ
	1. かかりつけ薬剤師のいる薬局					
	2. 休日夜間も対応可能な薬局					
	3. 他医療機関と連携する薬局					
	4. 医療機関に近い薬局					
	5. 自宅に近い薬局					
	6. その他(_____)					

6. リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等をお伺いします。

①リフィル処方箋に関して、あなたのご意見・ご要望について自由に記載してください。	
--	--

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。
令和5年8月31日(木)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。